SONY

UP-897MD

SONY

2-345-262-**11** (2)

Video Graphic Printer

取扱説明書 2 ページ JP

Instructions for Use Page 28 GB

Mode d’emploi Page 54 FR

Gebrauchsanweisung Seite 82 DE

Istruzioni per l’uso pagina 108 IT

Manual de instrucciones página 134 ES

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

CE

UP-897MD

© 2005 Sony Corporation

安全のために

本機は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4 ～ 5 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。
21 ページの「本機の性能を保持するために」も併せてお読みください。

故障したら使わない

すぐに、ソニーのサービス窓口または営業担当者にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- **煙が出たら**
- **異常な音、においがしたら**
- **内部に水、異物が入ったら**
- **製品を落としたり、キャビネットを破損したときは**

❶ 電源を切ります。
❷ 電源コードや接続ケーブルを抜きます。
❸ ソニーのサービス窓口または営業担当者までご相談ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

目次

警告 4
注意 5

はじめに

本機の特長 6
各部の名称と働き 6
フロントパネル 6
裏面 7
接続する 8
プリンター用紙について 8
プリンター用紙の種類 8
プリンター用紙を取り付ける 9
取り付けるには 9

操作

メニューで行う調節と設定 11
メニューフロー 11
メニュー一覧 12
メニューの操作方法 14
メニューの設定値を登録する 16
メニュー一覧をプリントする 16
プリントする 17
プリントする 17
プリント画の向き／大きさを選択する 19
明るさやコントラストを調節する 20

その他

本機の性能を保持するために 21
電源について 21
安全のために 21
置き場所について 21
持ち運びについて 21
お手入れ 22
キャビネットのクリーニング 22
ヘッドのクリーニング 22
プラテンローラーのクリーニング 22
主な仕様 23
故障とお考えになる前に 24
エラーメッセージ一覧 25
アフターサービス 26
索引 27

警告　火災　感電

下記の注意を守らないと、
火災や**感電**により**死亡**や**大けが**に
つながることがあります。

禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近付けたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグをもって抜く。

万一、電源コードが傷んだら、ソニーのサービス窓口または営業担当者に交換をご依頼ください。

禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、ソニーのサービス窓口または営業担当者にご相談ください。

分解禁止

分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。
内部の点検や修理は、ソニーのサービス窓口または営業担当者にご依頼ください

禁止

雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所や取扱説明書に記されている使用条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

アース線を接続せよ

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電することがあります。
次の方法でアースを接続してください。

- 電源コンセントが３極の場合
  指定の電源コードを使用することで安全アースが接続されます。
- 電源コンセントが２極の場合
  指定の３極→２極変換プラグを使用し、変換プラグから出ている緑色のアース線を建物に備えられているアース端子に接続してください。

安全アースを取りつけることができない場合は、ソニーのサービス窓口または営業担当者にご相談ください。

禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

指示

移動の際は電源コードや接続コードを抜く

コード類を接続したまま本機を移動させると、コードに傷がついて火災や感電の原因となることがあります。

指示

表示された電源電圧で使用する

製品の表示と異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。

⚠注意

下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

指示

指定された電源コードを使用する

指定以外の電源コードを使用すると、火災や感電の原因となります。

禁止

製品の上に乗らない、重いものを乗せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

指示

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
充分注意して接続・配置してください。

指示

電源コードのプラグ及びコネクターは突き当たるまで差し込む

真っ直ぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

禁止

カッターの刃には触れない

カッターの刃に触れると、けがをすることがあります。

禁止

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から 10cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

手を挟まれないよう注意

ドアパネルの上に指を置かない

ドアパネルを閉める際はドアパネルの上に指を置かないでください。
フロントパネルとの間に挟んでけがの原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

高温

プリント直後サーマルヘッドに触れない

プリント直後は、サーマルヘッドが熱くなっている場合があり、
触れるとやけどの原因となることがあります。

指のケガに注意

プラテンローラーを連続回転させながらクリーニングしない

プラテンローラーをクリーニングする際はプラテンローラーを連続回転させながらクリーニングしないでください。ドアパネルとの間に指を巻き込んでけがの原因となることがあります。

はじめに

本機の特長

静かな高画質・高速プリント

- 高速ドライブ IC 内蔵の薄膜サーマルヘッドを採用。12.8 ドット /mm の高密度印画が可能です。
- 実印画時間約 2 秒 /1 画面（A7 サイズ）で高画質プリントができます。（メニューの「SPEED」で「SP:HI」選択時）
- 白黒 256 階調表現が可能です。
- 温度差による印画ムラを防ぐ温度補正回路を内蔵しています。

メニューによる各種設定

メニュー操作でご使用になる状況に合わせた設定ができます。設定を 3 種類まで保存できます。

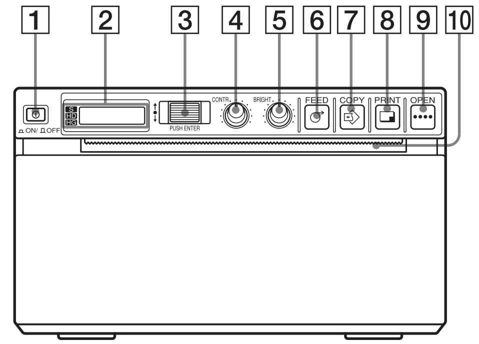
プリンター用紙の取り付けが簡単

ドアパネルを開けてプリンター用紙を落とし込むだけで、簡単に取り付けることができます。

各部の名称と働き

（ ）内の数字は参照ページを示します。

フロントパネル



1 ① 電源 ON/OFF スイッチ（9、14、17、22）
スイッチを ON にして電源を入れると、液晶ディスプレイのバックライトが点灯します。

2 液晶ディスプレイ（11、17）
正常に動作しているときは、バックライトが緑色に点灯しています。また、矢印が、メニューで選択されているプリンター用紙の種類をさしています。
プリンター用紙について詳しくは、「プリンター用紙について」（8 ページ）、および「現在選択されているプリンター用紙について」（17 ページ）をご覧ください。
エラー発生時は、エラーメッセージを表示します。
メニュー操作時は、メニューを表示します。

3 ジョグダイヤル（14、22）
メニュー操作を行うときに使用します。

4 CONTR（コントラスト）つまみ（20）
プリント画のコントラストを調節します。

5 BRIGHT（明るさ）つまみ（20）
プリント画の明暗を調節します。

6 FEED（紙送り）ボタン（10、17）
用紙を送るとき押します。
押している間だけ用紙が送られます。プリント中に押すとプリントを中断できます。

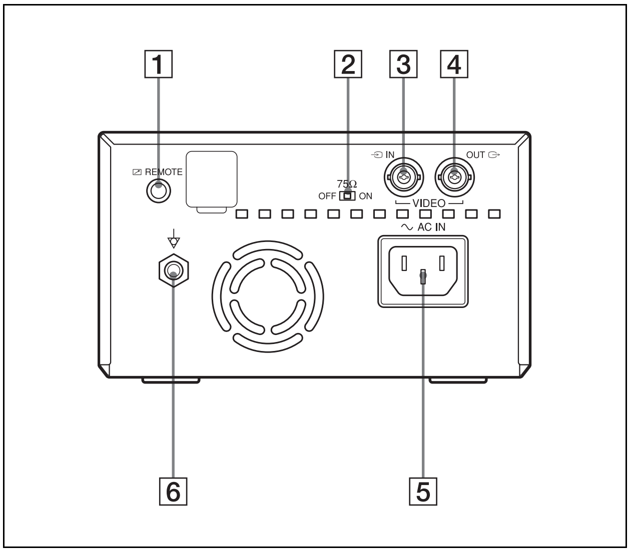
7 COPY（複写）ボタン（18）
最後にプリントした画像を再度プリントするときに押します。
プリント枚数の設定にかかわらず、1回押すごとに1枚プリントされます。

8 PRINT（プリント）ボタン
モニター上に表示されている画像をプリントするときに押します。PRINTボタンを押した瞬間の画像がメモリーに記憶されます。

9 OPEN（開く）ボタン（10、17）
ドアパネルを開けるときに押します。プリント中に押すとプリントを中断できます。

10 ペーパーカッター
プリンター用紙を出口でカットするための刃です。

裏面



1 REMOTE（リモコン）端子（8）
別売りのリモートコントロールユニットRM-91、またはフットスイッチを接続します。

2 75Ω切り換えスイッチ
ON：VIDEO OUTコネクターに何も接続しないときは、この位置にします。
OFF：VIDEO OUTコネクターからの出力信号をモニターテレビまたは他のビデオ機器に接続するときは、この位置にします。

3 VIDEO IN（ビデオ入力）端子
ビデオ機器のビデオ（映像）出力端子に接続します。

4 VIDEO OUT（ビデオ出力）端子
モニターのビデオ（映像）入力に接続します。
VIDEO IN端子から入力した信号またはプリンターで信号処理した信号が出力されます。出力する信号の種類は、メニューのVIDEO設定により決まります。

5 ～AC IN（電源）端子
指定の電源コードをつなぎます。

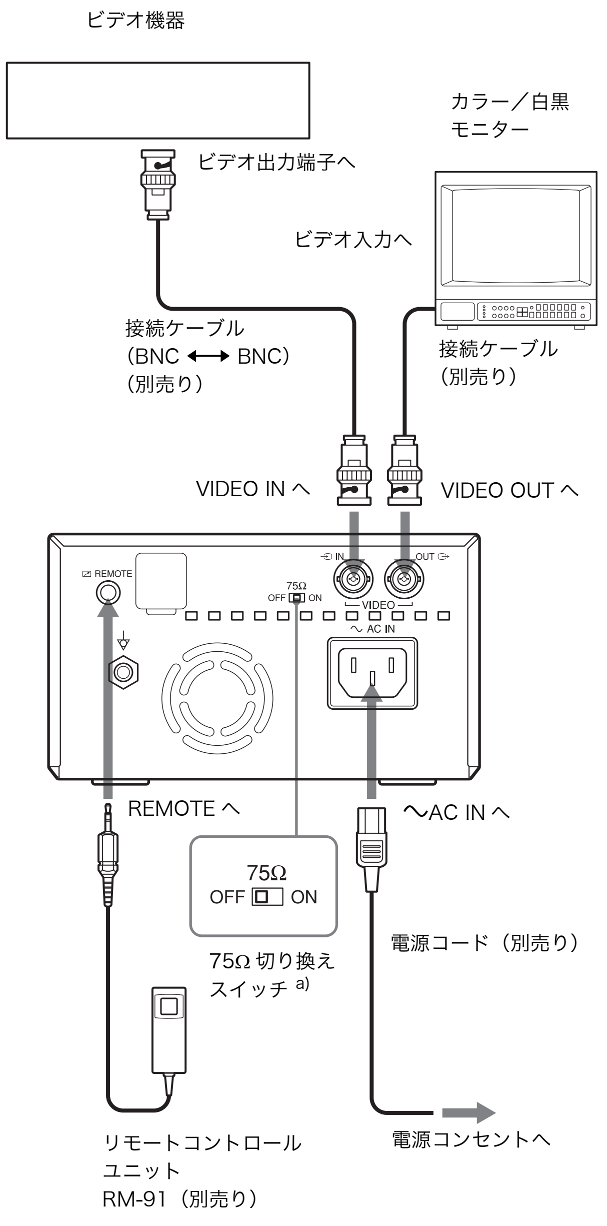
3極→2極変換プラグをお使いになる場合のご注意
アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。アースの接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

6 等電位端子
本機に接続したすべての機器の電位が等しくなります。

接続する

ご注意

- 各機器の電源を切ってから､接続してください。
- 電源コードは最後に接続してください。



a) 75Ω 切り換えスイッチを以下のように切り換えてください。
ON：VIDEO OUT コネクターに何も接続しないときは、この位置にします。
OFF：VIDEO OUT コネクターからの出力信号をモニターテレビまたは他のビデオ機器に接続するときは、この位置にします。

プリンター用紙について

プリンター用紙は、必ず専用のソニー UPP-110S/110HD/110HG をお使いください。他のプリンター用紙をお使いになると、印画品質の保証ができないばかりでなく、プリンターの故障の原因にもなります。
UP-880/890MD 用のプリンター用紙、UPP-110HA もお使いになれませんのでご注意ください。

プリンター用紙の種類

プリンター用紙には次のような特性があります。

印画特性	用紙の種類
TYPE I（Normal ＝標準）	UPP-110S
TYPE II（High Density ＝高濃度）	UPP-110HD
TYPE V（High Glossy ＝高光沢）	UPP-110HG

プリンター用紙についてのご注意

未使用のプリンター用紙を保管する場合：

下記の場所に保管してください。下記以外の場所に保管すると、プリンター用紙が変色することがあります。
- 30 ℃以下の冷暗な場所
- 湿度が低く、日光や室内光があたらない場所
- アルコールなどの揮発性有機溶剤やセロハンテープ、塩化ビニールなどに触れない場所

プリンター用紙を取り付ける場合：

- プリンターに取り付ける際にプリンター用紙の表面に触れないよう注意してください。指紋や汗、折り目などがつくと印画ムラの原因になります。
- プリンター用紙の先端に付いているラベルをはがしたら、必ず先端の 15 ～ 20cm を引き出してください。ラベルの跡が残っていると印画ムラの原因になります。

プリントした用紙を保管する場合：

- 下記の場所に保管してください。下記以外の場所に保管すると、プリンター用紙が変色したり、プリントした画面が薄くなることがあります。
  - 30 ℃以下の冷暗な場所（可塑材を含まない紙や、ポリプロピレンの袋などにはさんで保管してください。）
  - 湿度が低く、直射日光や室内光があたらない場所
  - アルコールなどの揮発性有機溶剤やセロハンテープ、塩化ビニールなどに触れない場所

・ジアゾ式の湿式コピー（青焼）と重ねないでください。また、プリント面どうしを重ねないでください。プリンター用紙が変色したり、プリントした画面が薄くなることがあります。
・プリンター用紙を接着する場合には、両面テープまたは水性のりをお使いください。

プリンター用紙を廃棄する場合：

不燃物として廃棄してください。

プリンター用紙を取り付ける

ご注意

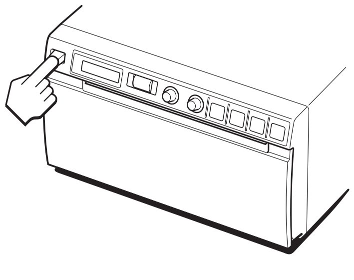
・プリンター用紙を取り付ける前に、「プリンター用紙について」（8 ページ）をご覧ください。
・プリンター用紙を取り付ける際は、プリンター用紙の表面には触れないでください。指紋や汗、折り目などがつくと、印画ムラなど、プリントした画面の品質の低下につながります。
・プリンター用紙には専用の UPP-110S/110HD/110HG 以外は使用しないでください。(8 ページ)
・お使いになる用紙に合わせて、必ずメニューの「MEDIA」の項目を設定してください。(13 ページ)
現在選択されているメディアは液晶ディスプレイで確認できます。詳しくは、「現在選択されているプリンター用紙について」（17 ページ）をご覧ください。

取り付けるには

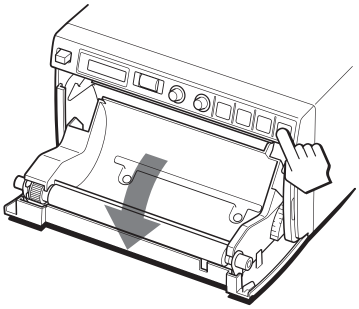
⚠注意

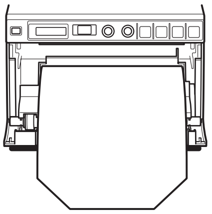
本機には、ペーパーカッターが装備されています。プリンター用紙を取り付ける際、カッター部に触れるとけがの原因となることがあります。充分ご注意ください。

1 電源 ON/OFF スイッチを ON にし、電源を入れる。
プリンター用紙が取り付けられていない場合は、液晶ディスプレイのバックライトがアンバー色に点灯し、「EMPTY」というメッセージが表示されます。



2 OPEN ボタンを押して、ドアを開ける。



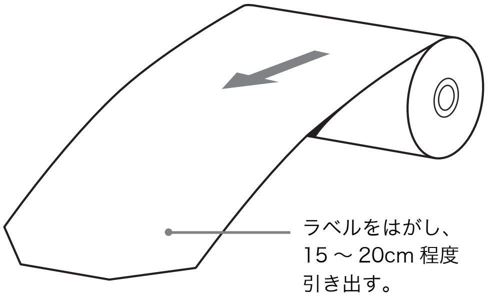


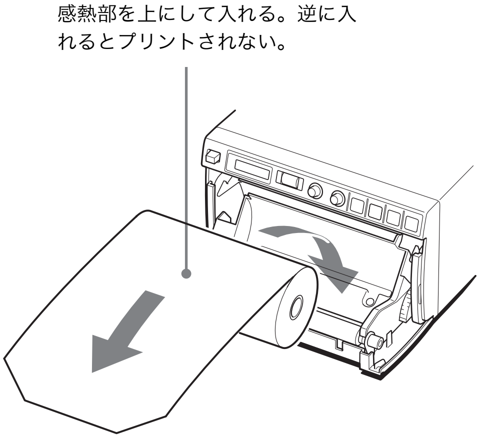
プリンター用紙がまっすぐになるように入れる。

3 プリンター用紙の先端についているラベルをはがし、15 ～ 20cm 程度引き出してから、プリンター用紙トレイに用紙を入れる。

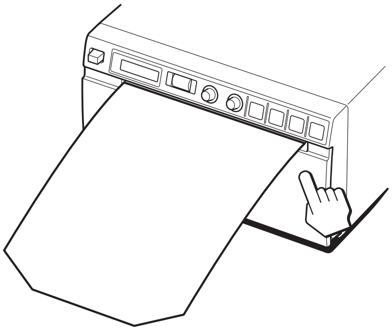
ご注意

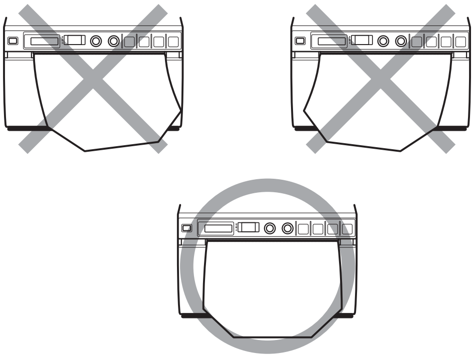
プリンター用紙を引き出すときや、トレイ内に入れるときは、プリンター用紙を落とさないようお気をつけください。ごみなどがつき、使用できなくなることがあります。





4 ドアを手で押して閉める。





ご注意

- プリンター用紙が斜めに取り付けられていると、紙づまりなどの原因になります。
- 手順 3 でプリンター用紙を十分引き出さなかった場合は、プリンター用紙を引っ張らずに、前面パネルの FEED ボタンを押してプリンター用紙を送ってください。

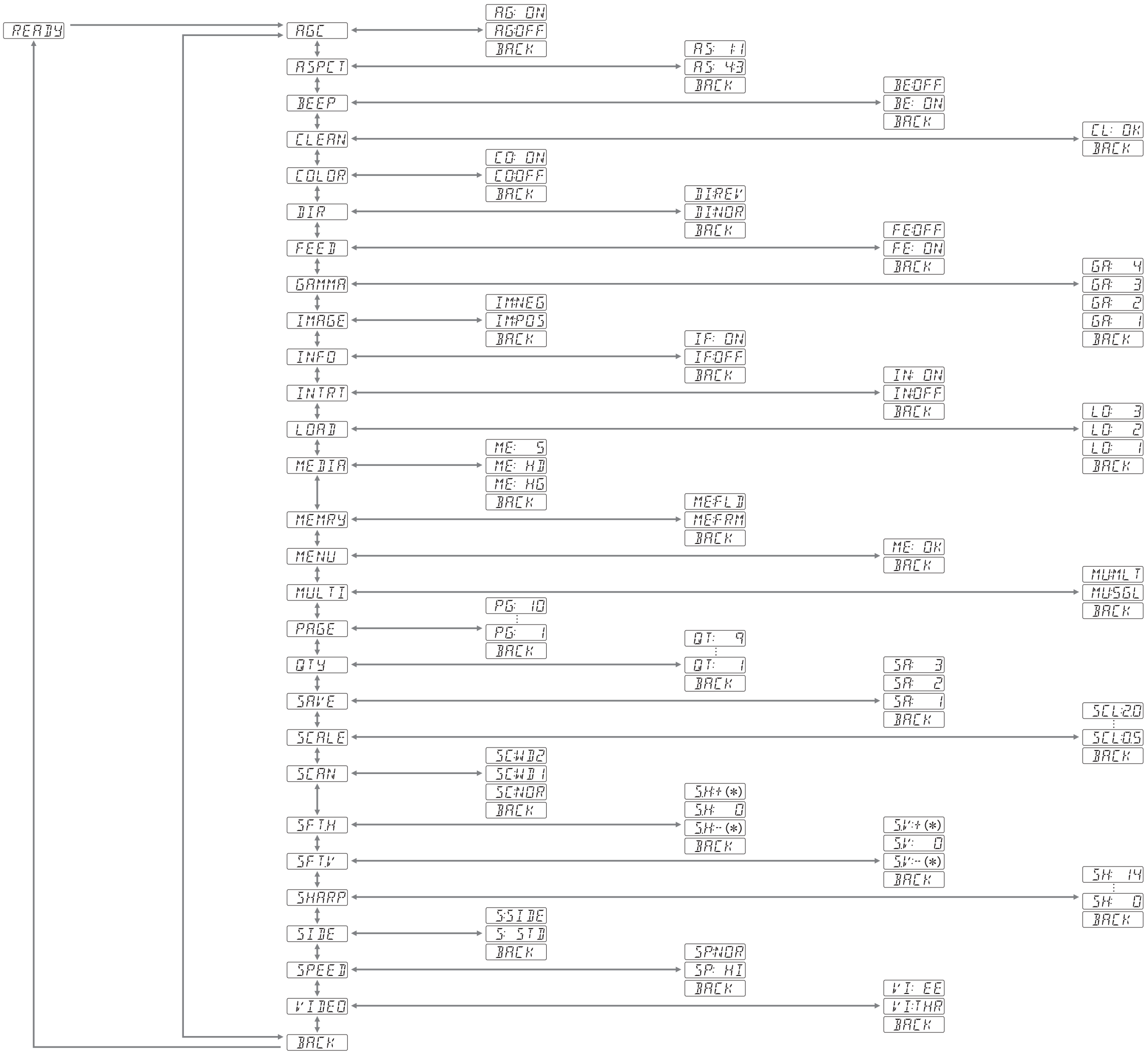
メニューで行う調節と設定

メニューを使って使用状況に合わせたプリンターの各種調節や設定ができます。設定した内容は、プリンターの電源を切っても保持されます。

また、設定した内容を、接続する機器や、個人の好みに合わせてあらかじめユーザー設定として3種類まで記憶させておくことができます。

メニューフロー

液晶ディスプレイパネルは、ジョグダイヤルを押すと、以下のフローのようにメニューの表示内容が変わり、各種設定を行うことができます。



メニュー項目「SFT.H」、「SFT.V」の＊マークについて
上記項目を設定中、ジョグダイヤルを回して表示される数値を示しています。この数値は、「SCALE」、「SCAN」、「SIDE」の設定値および取り込む画像の映像方式によって変化します。

メニュー一覧

メニュー項目の設定内容を一覧表で説明します。
一覧表の中　　　で囲んである設定は、初期設定です。

操作

項目	内容	設定
AGC	不適正なレベルの入力信号を、適切なレベルに補正します。	AG:ON：プリント画が全体的に白とび・黒つぶれを起こしている場合。 AG:OFF：通常はこの位置にします。 BACK：設定変更をキャンセルして項目欄に戻る場合。
ASPCT [a)]	アスペクト比を切り換えます。	AS:1:1：アスペクト比が 1:1 の画面をプリントする場合。 AS:4:3：通常はこの位置にしておきます。 BACK：設定変更をキャンセルして項目欄に戻る場合。
BEEP	操作音とアラーム音が鳴るか鳴らないかを切り換えます。	BE: OFF：操作音を鳴らさない場合。 BE: ON：操作音とアラーム音を鳴らす場合。 BACK：設定変更をキャンセルして項目欄に戻る場合。
CLEAN	ヘッドのクリーニングをします。	CL:OK：ヘッドのクリーニングを開始する場合。必ず付属のクリーニングシートをご使用ください。 BACK：クリーニングをキャンセルして項目欄に戻る場合。
COLOR	入力信号に従って切り換えます。	CO:ON：印画するビデオ信号がカラーの場合。 CO:OFF：印画するビデオ信号が白黒の場合。 BACK：設定変更をキャンセルして項目欄に戻る場合。
DIR [b)]	プリント方向を切り換えます。	DI:REV：画像を逆方向（画面の上から先）にプリントする場合。 DI:NOR：画像を正方向（画面の下から先）にプリントする場合 [a)] BACK：設定変更をキャンセルして項目欄に戻る場合。
FEED	プリント後のプリンター用紙の送りかたを切り換えます。	FE:OFF：余白をすくなくするとき、または複数枚まとめてプリントする場合。プリンター用紙 1 枚あたりの余白が短いので、用紙の 1 巻あたりの印画枚数を多くとることができます。ただし、ペーパーカット時は FEED ボタンを押して、用紙を送ってカットしてください。 FE:ON：プリント後に余白をつけてプリンター用紙を送る場合。 BACK：設定変更をキャンセルして項目欄に戻る場合。
GAMMA（「MEDIA」で「ME: S」が選択されている場合は、TONE 1 に固定されます。）	トーンを切り換えます。	GA: 4：TONE 4 最軟調 GA: 3：TONE 3 硬調 GA: 2：TONE 2 標準 GA: 1：TONE 1 軟調 BACK：設定変更をキャンセルして項目欄に戻る場合。
IMAGE	白黒反転を切り換えます。	IM:NEG：白黒反転したプリント画を作成する場合。 IM:POS：白黒反転させずに、普通にプリントする場合。 BACK：設定変更をキャンセルして項目欄に戻る場合。
INFO	プリントの条件（コントラスト、ブライト、ガンマ、シャープネス情報）をプリント画の下にプリントします。	IF:ON：プリント情報を印刷する場合。 IF:OFF：印刷しない場合。 BACK：設定変更をキャンセルして項目欄に戻る場合。
INTRT	プリントの中断の動作を切り換えます。	IN:ON：プリント中に再度 PRINT ボタンを押して、プリントを中断し、PRINT ボタンを押した瞬間の画像を新たにプリントする場合。 IN:OFF：プリント中に再度 PRINT ボタンを押してもプリントを中断せず、そのプリントが完了した後、プリント中に PRINT ボタンを押した瞬間の画像のプリントを行う場合。 BACK：設定変更をキャンセルして項目欄に戻る場合。

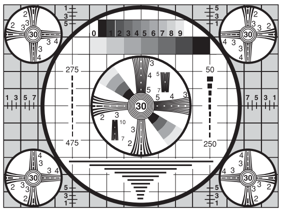
項目	内容	設定
LOAD	登録されている設定を呼び出します。	LO: 3：「SAVE」で保存した番号 3 の設定を呼び出す場合。 LO: 2：「SAVE」で保存した番号 2 の設定を呼び出す場合。 LO: 1：「SAVE」で保存した番号 1 の設定を呼び出す場合。 BACK：設定変更をキャンセルして項目欄に戻る場合。
MEDIA	ご使用になるプリンター用紙に合わせて切り換えます。	ME: S：UPP-110S を使用する場合。 ME:HD：UPP-110HD を使用する場合。 ME:HG：UPP-110HG を使用する場合。 BACK：設定変更をキャンセルして項目欄に戻る場合。
MEMRY	メモリーモードを切り換えます。	ME:FLD：動きの速い画像（ボールがバットに当たる瞬間など）をプリントすると、画像がぶれて二重になることがある場合。 ME:FRM：通常はこの位置にしておきます。 BACK：設定変更をキャンセルして項目欄に戻る場合。
MENU	現在の設定値をメニュー一覧で印刷します。	ME:OK：メニュー一覧をプリントする場合。 BACK：メニュー一覧の印刷をキャンセルして項目欄に戻る場合。
MULTI	1 枚のプリンター用紙にプリントする画像の数を指定します。	MU:MLT：画像を 2 つプリントする（2 分割画面） MU:SGL：画像を 1 つプリントする（フル画面）。 BACK：設定変更をキャンセルして項目欄に戻る場合。
PAGE（「MULTI」で「MU:MLT」が選択されている場合は、本メニュー項目は表示されません。）	PRINT ボタンを押すごとに画像がメモリーに記憶されます。10 回分まで記憶されます。メモリーに保存されている画像を選択してプリントします。	PG:1 〜 PG:10：1 つの画像を選択し、COPY ボタンを押すとプリントします。 BACK：設定変更をキャンセルして項目欄に戻る場合。
QTY	プリント枚数を設定します。	QT: 1 〜 QT:9：同じプリント画のプリントを 1 枚から 9 枚の間で選択できます。 BACK：設定変更をキャンセルして項目欄に戻る場合。

項目	内容	設定
SAVE	メニューの設定値を 3 通り登録します。	SA: 3：設定番号 3 として登録する場合。 SA: 2：設定番号 2 として登録する場合。 SA: 1：設定番号 1 として登録する場合。 BACK：設定変更をキャンセルして項目欄に戻る場合。
SCALE	プリント画を拡大、または縮小します。	SCL:2.0（2 倍）から SCL:0.5（1/2 倍）まで、0.1 刻みで設定します。 SCL:1.0 が初期設定値です。 BACK：設定変更をキャンセルして項目欄に戻る場合。
SCAN [c)]	プリントする画像の範囲を切り換えます。	SC:WD2、SC:WD1、SC:NOR の順にプリントする範囲が広くなります。 BACK：設定変更をキャンセルして項目欄に戻る場合。
SFT.H	プリントする画像の水平方向の位置を指定します。	S.H:0：水平位置を調節します。ジョグダイヤルを回して表示される数値は、「SCALE」、「SCAN」、「SIDE」の設定、および取り込む画像の映像方式によって変化します。 BACK：設定変更をキャンセルして項目欄に戻る場合。
SFT.V	プリントする画像の垂直方向の位置を指定します。	S.V: 0：垂直位置を調節します。ジョグダイヤルを回して表示される数値は、「SCALE」、「SCAN」、「SIDE」の設定、および取り込む画像の映像方式によって変化します。 BACK：設定変更をキャンセルして項目欄に戻る場合。
SHARP	プリント画の輪郭を強調します。	0 〜 14 の 15 段階で切り換えます。「0」はオフです。初期設定値は「2」です。 BACK：設定変更をキャンセルして項目欄に戻る場合。
SIDE [d)]	プリント画の向きを切り換えます。	S:SIDE：画像を横向きにする場合。 S:STD：画像をモニター画面に映し出されている向きでプリントする場合。 BACK：設定変更をキャンセルして項目欄に戻る場合。

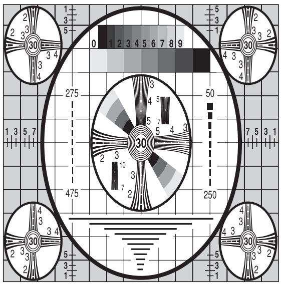
操作

項目	内容	設定
SPEED（「MEDIA」で「ME:HD」が選択されていると、印画スピードは、標準に設定され、このメニュー項目は表示されません。）	プリンターの印画スピードを切り換えます。	SP:NOR：標準のスピードでプリントする場合。 SP:HI：高速でプリントする場合。 BACK：設定変更をキャンセルして項目欄に戻る場合。 **ご注意** 「SP:HI」に設定した場合、印画中の消費電力が「SP:NOR」に設定した場合よりやや高くなります。
VIDEO	裏面の VIDEO OUT 端子からの出力信号を切り換えます。	VI:EE：VIDEO IN 端子に入力した信号を信号処理させて出力させる場合。 VI:THR：VIDEO IN 端子に入力した信号を信号処理の電気回路を通さずにそのまま出力させる場合。 BACK：設定変更をキャンセルして項目欄に戻る場合。
BACK	メニューモードから抜けます。	選択して、ジョグダイヤルを押すと、メニューモードから抜け、液晶ディスプレイは、「READY」表示に戻ります。

a) アスペクト比は以下のようになります。

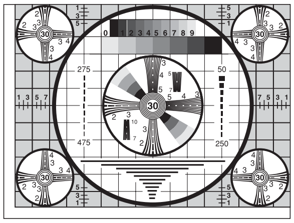


「AS:4:3」の場合

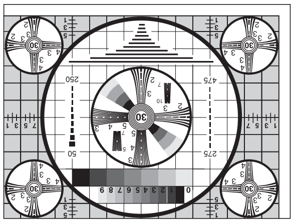


「AS:1:1」の場合

b) プリント方向は以下のようになります。

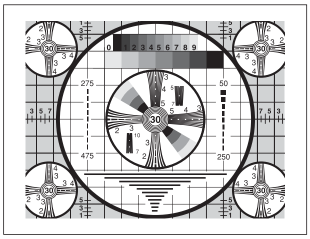


「DI: NOR」の場合

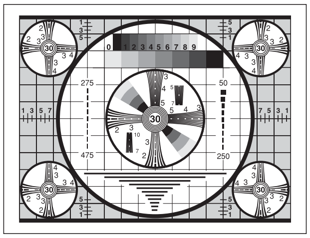


「DI: REV」の場合

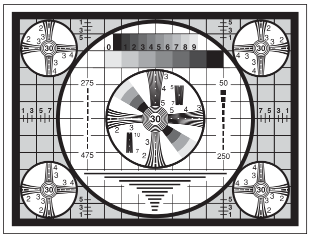
c) プリントする範囲は以下のようになります。



「SC:NOR」の場合



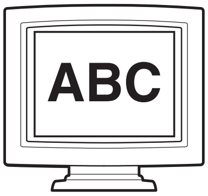
「SC:WD1」の場合



「SC:WD2」の場合

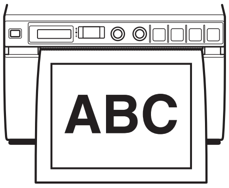
d) プリント画の向きは以下のようになります。

モニター画面に映し出されている画像

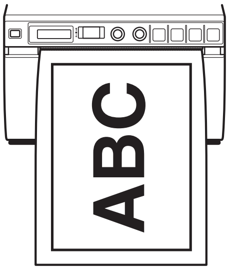


プリント画

「S:STD」の場合



「S:SIDE」の場合

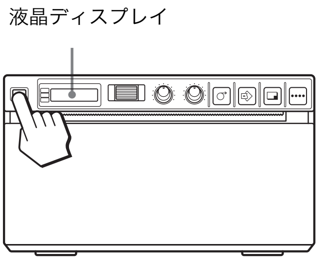


メニューの操作方法

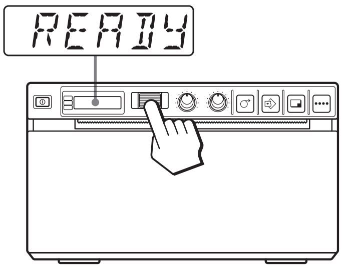
ここでは、プリント方向の設定を例にとって、メニューの基本操作を説明します。

1 電源 ON/OFF スイッチを ON にし、電源を入れる。

液晶ディスプレイのバックライトが緑色に点灯します。

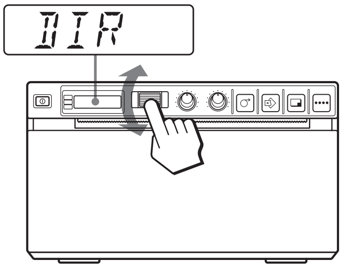


2 液晶ディスプレイに「READY」が表示されていることを確認し、ジョグダイヤルを押す。

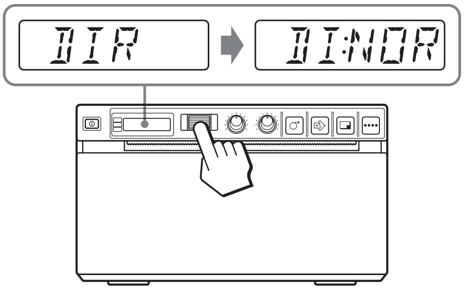


メニューモードに入ります。
ご購入後メニュー操作を初めて行った場合は、液晶ディスプレイに、最初のメニュー項目「AGC」が表示されます。
既にメニュー操作を行った場合は、最後に設定したメニュー項目が表示されます。

3 ジョグダイヤルを上下に回転させて、「DIR」を表示させる。

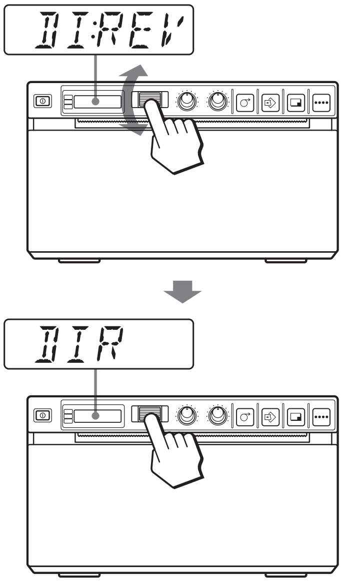


4 ジョグダイヤルを押す。



プリント方向の設定モードに入ります。
液晶ディスプレイには、工場出荷時の設定「DI:NOR」が表示されています。「DI:NOR」が現在の設定です。
この設定を「DI:REV」に変更します。

5 ジョグダイヤルを上下に回して、「DI:REV」を表示させ、ジョグダイヤルを押す。



プリント方向として、「DI:REV」が登録されます。
液晶ディスプレイの表示は「DIR」に戻ります。

ご注意

メニュー項目、または設定を表示させてから、ジョグダイヤルを押さずに約 20 秒たつと、「READY」表示に戻り、メニューモードから抜けます。
この場合は、DIR の設定は変更されません。

設定をキャンセルするには

① 手順 5 でジョグダイヤルを回して、「BACK」を表示させる。

② ジョグダイヤルを押す。
液晶ディスプレイの表示は「DIR」に戻ります。

引き続きメニュー操作を行うには

手順3～5を繰り返して残りの項目を設定します。

メニュー操作を終了するには

1 手順5の後、ジョグダイヤルを回し、「BACK」を表示させる。

2 ジョグダイヤルを押す。
液晶ディスプレイの表示は、「READY」に変わります。
本機は、メニューモードから抜けます。

メニュー操作のロック機能について

ジョグダイヤルを押したときにアラーム音が鳴り、液晶ディスプレイに「LOCK」と表示された場合メニュー操作機能がロックされジョグダイヤルが働きません。メニュー操作を行いたい場合は、お近くの代理店、またはソニー営業担当者にお問い合わせください。

メニューの設定値を登録する

メニューで設定した値をプリンターに登録して、あとから呼び出すことができます。3通りの設定内容を登録することができます。
登録された設定値は、プリンターの電源を切っても保持されます。

ご注意

プリンターを初めてお使いになるときは、工場出荷時の値がすべての番号にあらかじめ登録されています。

設定内容を登録するには

1 すべての項目を希望の値に設定する。

2 ジョグダイヤルを回して、「SAVE」を表示させ、ジョグダイヤルを押す。

3 ジョグダイヤルを回して希望の番号を選び、ジョグダイヤルを押す。
手順1で行った設定値が手順3で選んだ番号に登録されます。

設定内容を呼び出すには

登録した設定内容を呼び出します。

1 液晶ディスプレイに「READY」が表示されていることを確認して、ジョグダイヤルを押す。

2 ジョグダイヤルを回して、「LOAD」を表示させ、ジョグダイヤルを押す。

3 ジョグダイヤルを回して希望の設定内容の番号を選び、ジョグダイヤルを押す。
手順3で選んだ番号の設定が呼び出されます。

呼び出した番号の設定値を変更した場合

プリンターは設定し直した値で動作します。この場合は、電源を切っても新たに別の番号を呼び出さない限り、電源を切る前の設定でプリンターは動作します。
別の番号を呼び出した場合は、修正した内容は消えてしまいます。

変更した内容を残して保存するには

例：設定1を呼び出して変更し、設定1はそのまま残しておき、変更した設定値を設定2として登録します。

1 「設定内容を呼び出すには」の手順で、「LO:1」を呼び出す。

2 メニュー項目を必要に応じて変更する。

3 「設定内容を登録するには」の手順で「SA:2」を選択する。

4 ジョグダイヤルを押す。
手順2で変更した設定値が設定2の設定値として登録されます。

メニュー一覧をプリントする

現在のメニューの設定をプリントできます。

1 ジョグダイヤルを押す。
最後に設定したメニュー項目が表示されます。

2 ジョグダイヤルを回して、「MENU」を表示させ、ジョグダイヤルを押す。

3 ジョグダイヤルを回して、「ME: OK」を表示させ、ジョグダイヤルを押す。
現在のメニューの設定のプリントが開始されます。
液晶ディスプレイに「MENU」が表示されます。

4 ジョグダイヤルを回して、「BACK」を表示させ、ジョグダイヤルを押す。
「READY」が表示され、通常モードに戻ります。

プリントする

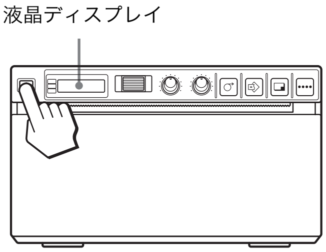
プリント前の確認

- プリントする前に次のことを確認してください。
- 接続は正しいですか？（8 ページ）
- プリンター用紙は正しく取り付けてありますか？（9 ページ）
- メニューでの調節は済んでいますか？（11 ページ）
- ビデオ信号が入力されていますか？

プリントする

本機では、メニューを使って、プリント画の向きや大きさ、プリント方法などが設定できます。
ここでは、これらの各種設定が済んだあとの操作について説明します。

1 電源 ON/OFF スイッチを ON にし、電源を入れる。
液晶ディスプレイのバックライトが緑色に点灯します。「READY」が表示されます。



2 ビデオ機器などの入力源からの画像をモニターに映し出す。

3 プリントしたい画像が映っているときに、PRINT ボタンを押す。
押した瞬間の画面がプリントされます。
PRINT ボタンを押した瞬間の画像は、メモリーに保存されます。10 枚まで保存され、10 枚を超えると一番最初に取り込んだ画像から上書きされていきます。

液晶ディスプレイにメッセージが表示された場合

異常が起こると、液晶ディスプレイのバックライトがアンバー色に点灯し、以下のメッセージが表示されます。

メッセージ	意味
EMPTY	用紙が入っていません。用紙を入れてください。
DOOR	ドアが開いています。きちんと閉めてください。

プリント中にプリントしなくなった場合

真っ黒に近い画像を連続してプリントし続けると、液晶ディスプレイに「COOL」というメッセージが表示され、プリントしなくなる場合があります。これは、サーマルヘッドの温度上昇をふせぐためです。メッセージが消えるまでお待ちください。

プリントを中断するには

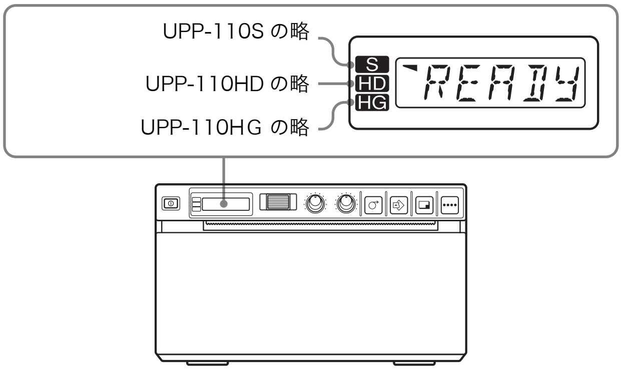
プリント中に、OPEN もしくは FEED ボタンを押します。プリント動作が止まります。

プリンター用紙を送るには

FEED ボタンを押します。押している間、プリンター用紙が送られます。プリンター用紙は引っ張らないでください。

現在選択されているプリンター用紙について

液晶ディスプレイ上で、現在使用しているプリンター用紙を確認できます。液晶ディプレイ内の矢印が、現在メニューで選択されているプリンター用紙を指しています。下図の例では、現在選択されているプリンター用紙は、UPP-110S です。



プリント画がぶれていたら

速く動いている画像を取り込むと、画像がぶれてしまうことがあります。このとき、メニューの「MEMRY」の設定をを「ME:FLD」に変えてプリントすることにより、プリント画からぶれを取り除くことができます。この場合、解像度が少し落ちます。

メモリーに記憶されている画像を呼び出してプリントするには

PRINT ボタンを押すごとに画像がメモリーに記憶されます。10 回分の画像がメモリーに記憶されていき、上書きされていきます。
常に、メモリーには、10 枚分の画像が記憶されています。この画像を呼び出してプリントできます。

1 メニュー項目の「PAGE」を選択する。
メニュー操作については、「メニューの操作方法」（14 ページ）をご覧ください。

2 ジョグダイヤルを押す。
液晶ディスプレイには、「PG:1」が表示され、最後にプリントした画像がモニター画面に表示されています。
「PG」の数が増えるに従い、古い画像になります。

3 ジョグダイヤルを上下に回して、プリントしたい画像をモニターに表示させる。

4 ジョグダイヤルを押す。
手順 3 で選択した画像が選択されます。

5 COPY ボタンを押す。
手順 3 で選択した画像がプリントされます。

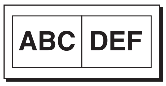
1 枚に 2 画面をプリントするには

メニューの「MULTI」項目を「MU:MLT」に設定しておくと異なる 2 つの画像を取り込んで 1 度にプリントできます。

1 メニューの「MULTI」を「MU:MLT」に設定する。

2 ［プリントする」の手順 3（17 ページ）で PRINT ボタンを押す。
そのときの画像が取り込まれます。

3 再度、プリントしたい画像が映っているときに、PRINT ボタンを押す。
プリントが開始されます。



手順 2 で取り込んだ画像　手順 3 で取り込んだ画像

メニューの「INFO」を「IF:ON」に設定した場合、プリント情報のコントラストとブライトについては、手順 3 で取り込んだ画像の情報がプリントされます。

同じ画像をもう 1 度プリントするには

COPY ボタンを押します。最後にプリントした画像と同じものがプリントされます。この場合、プリント枚数の設定にかかわらず、1 枚だけプリントされます。

ご注意

- 電源を入れた直後など、プリンターに画像が記憶されていない状態で COPY ボタンを押すと、アラームブザーが鳴り、コピーできません。
- 電源を OFF にしたときには、保存された画像は消えてしまいます。

同じ画像を連続してコピーするには

COPY ボタンを押して、1 枚目をプリント中に COPY ボタンを押します。COPY を押したときにブザーがピッと鳴り、COPY ボタンを押した数だけ、連続してコピーできます。枚数は、最初の 1 枚を含めて最大 20 枚までです。

ご注意

この最大枚数は、PRINT ボタンを押してプリントした枚数も含まれます。例えば、5 回 PRINT ボタンを押してプリントした後、最後に PRINT ボタンを押してプリントしたものを COPY ボタンを押して連続コピーする場合、最大枚数は 15 枚となります。

途中で止めるには

プリント中に、OPEN もしくは FEED ボタンを押します。

画像の向き／大きさを変えてコピーするには

最後にプリントした画像を違う向き／大きさでコピーすることができます。「プリント画の向き／大きさを選ぶ」で向き／大きさを選んでからCOPY ボタンを押します。

プリント画の向き／大きさを選択する

メニューの以下の項目を使ってプリント画の向き、大きさを選択できます。
- SIDE：プリント画の向きを選択します。
- SCALE：プリント画を拡大または縮小します。
- SFT.H、SFT.V：プリントする範囲を水平方向、および垂直方向に指定します。

プリント画の向きを決めるには

メニューの「SIDE」でモニター画面の向きか、横向きかを選択できます。

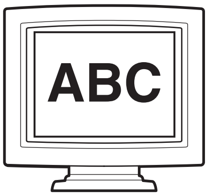
画像をモニター画面に映し出されている向きでプリントする場合

「S:STD」を選択します。

画像を横向きにするとき

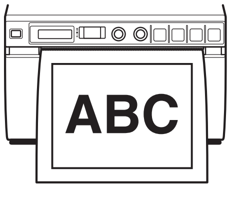
「S:SIDE」を選択します。

モニター画面に映し出されている画像

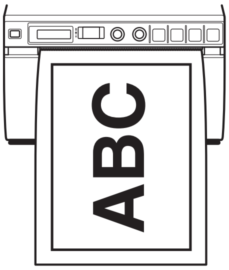


プリント画

「S:STD」の場合



「S:SIDE」の場合



画像の大きさを決めるには

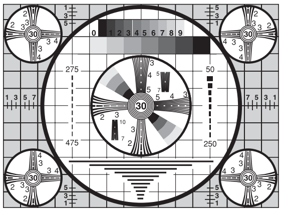
メニュー項目の「SCALE」で画像を拡大したり、縮小したりできます。
最大2倍の大きさ、最小0.5倍の大きさで0.1刻みで設定できます。

プリントする範囲の位置を決めるには

メニュー項目の「SFT.H」「SFT.V」でプリントする範囲を水平方向、垂直方向に設定できます。モニター画面を見ながら設定できます。
モニター画面上に表示される枠が、設定値を変更するにしたがって移動します。枠内の画像がプリントされます。

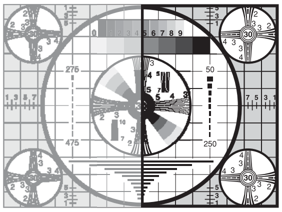
例：「SIDE」が「S:STD」、「SCALE」が「 SCL:2.0」に設定されている場合

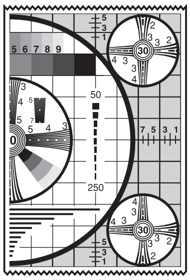
元の画像



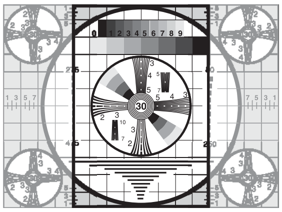
モニター画面　　**プリント画**

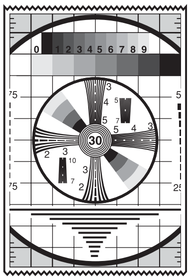
「S.H:+(*)」の場合



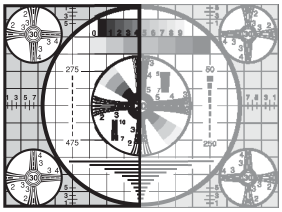


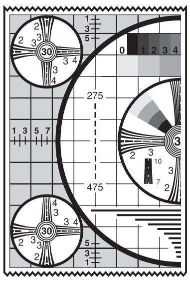
「S.H:0」の場合





「S.H:-(*)」の場合

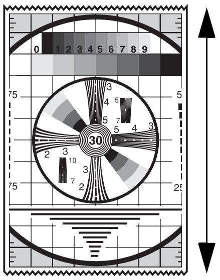




(*) の値は、「SCALE」および「SCAN」の設定値および取り込む画像の映像方式によって変化します。

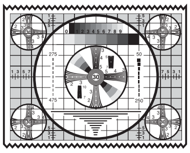
「SCALE」の設定によるプリント画の大きさの違い

「SIDE」が「S:STD」、
「SCALE」が「 SCL:2.0」



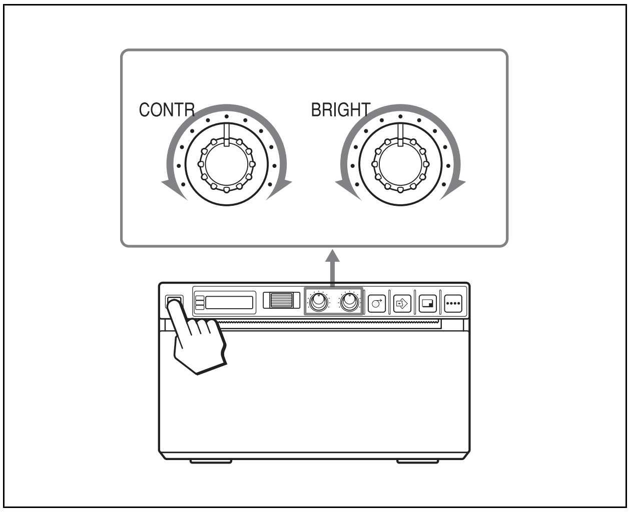
「SCL:1.0」の
2倍の長さ

「SIDE」が「S:STD」、
「SCALE」が「 SCL:1.0」



明るさやコントラストを調節する

本機前面のCONTRつまみ／BRIGHTつまみを使ってプリント画の明るさとコントラストを調節できます。



コントラストを調節するには

プリンター前面のCONTRつまみを使って調節します。

コントラストを強くするには：CONTRつまみを時計方向に回します。

コントラストを弱くするには：CONTRつまみを反時計方向に回します。

明るさを調節するには

プリンター前面のBRIGHTつまみを使って調節します。

明るくするには：BRIGHTつまみを時計方向に回します。

暗くするには：BRIGHTつまみを反時計方向に回します。

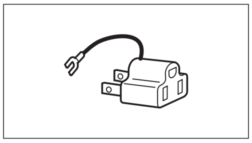
ご注意

メニュー操作機能がロックされている場合、ジョグダイヤルに加えて、CONTRつまみ、BRIGHTつまみも働きません。操作を行いたい場合は、お近くの代理店、またはソニー営業担当者にお問い合わせください。

本機の性能を保持するために

電源について

- 電源は AC100V をお使いください。
- 電源コンセントが２芯の場合は、３極 → ２極変換プラグをご使用ください。



アースの接続は、必ず変換プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。アースの接続をはずす場合は、必ず変換プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。
- 電源コードは傷つけないでください。
- 長い間使わないときは、電源コードを抜いておいてください。
- 電源コードを抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。

安全のために

- キャビネットは絶対に開けないでください。内部に触れると危険です。
- 内部にものを落とさないでください。

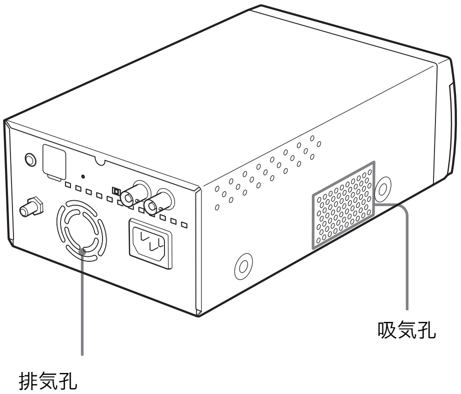
⚠注意

- 本機には、ペーパーカッターが装備されています。プリンター用紙を取り付ける際、カッター部に触れるとけがの原因となることがあります。十分ご注意ください。

置き場所について

- 水平な場所に置いてください。傾けた状態で本機を使用すると故障の原因になります。
- 暑い所や湿気の多い所に置かないでください。
- 湿気の低い冬場では、湿度 35% 以上の環境で使うことをおすすめします。
- 結露にご注意ください。

温度の低い場所から暖かい場所に移動したり、暖房で湯気や湿気がたち込めた部屋に置くと、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。この状態で本機を使用すると、正常に動かないばかりでなく、故障の原因になります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置してください。
- プリンター内部の温度上昇を防ぐために、プリンター周囲はスペースを充分に空けてください。特に、プリンター左側面の吸気孔と裏面にある排気孔の間を空気が充分に流れるように注意して設置してください。



持ち運びについて

- ぶつけたり、落としたりしないように気をつけてください。
- 持ち運びの際は、プリンター用紙を取り外してください。プリンター用紙を取り付けたまま持ち運ぶと故障の原因になることがあります。

お手入れ

キャビネットのクリーニング

キャビネットの汚れは、水または水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布をかたくしぼってから拭き取ってください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めることがありますので使用しないでください。

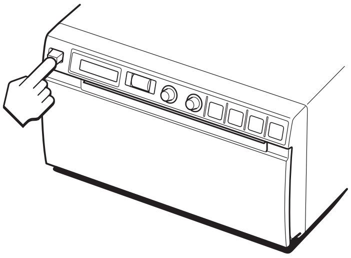
ヘッドのクリーニング

プリント画に白いスジが生じたら、付属のヘッドクリーニングシートでヘッドをきれいにしてください。
ヘッドのクリーニングは、メニューを使用します。

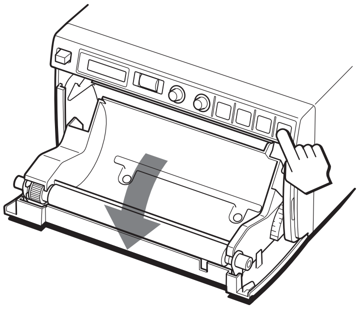
⚠注意

本機には、ペーパーカッターが装備されています。ヘッドをクリーニングする際、カッター部に触れるとけがの原因となることがあります。充分ご注意ください。

1 電源 ON/OFF スイッチを ON にし、電源を入れる。

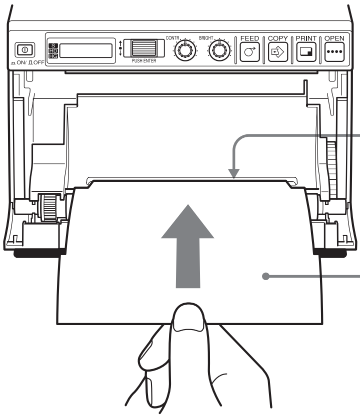


2 OPEN ボタンを押し、ドアを開ける。



プリンター用紙が入っていたら取り除いてください。

3 付属のヘッドクリーニングシートの黒い面を下にして、トレイ内にある窪みに差し込む。



4 ドアを手で押して閉める。

5 ジョグダイヤルを押す。
最後に設定したメニュー項目が表示されます。

6 ジョグダイヤルを回して、「CLEAN」を表示させ、ジョグダイヤルを押す。

7 「CL: OK」が表示されていることを確認し、ジョグダイヤルを押す。
ヘッドのクリーニングが開始されます。
液晶ディスプレイには「CLEAN」が表示されます。
クリーニングシートが止まり、アラーム音が鳴ったら、クリーニングが終了です。

8 OPEN ボタンを押してドアを開け、ヘッドクリーニングシートを取り除く。

9 ドアを手で押して閉める。

ご注意

ヘッドクリーニングシートは必要に応じてお使いください。ヘッドのクリーニングを頻繁に行うと、故障の原因になる場合があります。

プラテンローラーのクリーニング

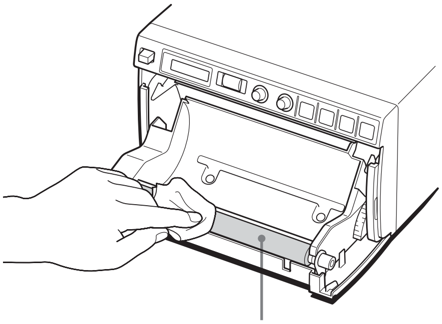
プラテンローラーが汚れてくると、プリンター用紙がスムーズに送られなくなってきます。スムーズに送られなくなったら、水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布で、プラテンローラーの汚れをふき取ってください。

1 電源 ON/OFF スイッチを ON にし、電源を入れる。

2 OPEN ボタンを押し、ドアを開ける。
プリンター用紙が入っていたら取り除いてください。

その他

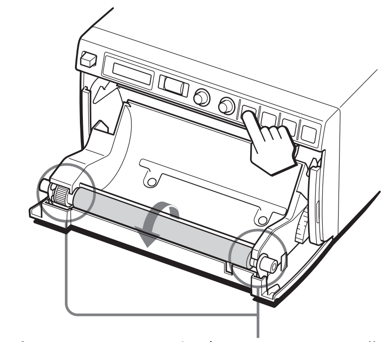
3 水で薄めた中性洗剤で湿らせた布でプラテンローラーを軽く拭く。



ご注意

- 拭いた面が完全に乾いてから、プラテンローラーを回して他の部分を拭いてください。
- プラテンローラーは手で回さないでください。必ずFEEDボタンを使って回してください。FEEDボタンを押すと、プラテンローラーが自動的に回ります。
- 本機には、ペーパーカッターが装備されています。カッター部に触れるとけがの原因となることがあります。充分ご注意ください。

4 FEEDボタンを押し、プラテンローラーの掃除したい面が現れたら、FEEDボタンを離す。



ご注意

- FEEDボタンを押している間は、プラテンローラーが回っています。指を挟まれないようご注意ください。
- 必ず、プラテンローラーが停止してから掃除してください。

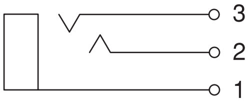
5 手順3、4を繰り返して、プラテンローラーの全表面をクリーニングする。

6 プラテンローラーが完全に乾いてからドアを手で押して閉める。

主な仕様

電源	AC100 V、50/60 Hz
入力電流	1.5 A
動作環境	温度：5 ℃～ 35 ℃ 湿度：20 % ～ 80 %
輸送保存環境時	温度：－ 20 ℃～ + 60 ℃ 湿度：20 % ～ 90 %
最大外形寸法	154 × 88 × 240 mm（幅 / 高さ / 奥行き）
質量	2.6 kg（本体のみ）
感熱ヘッド	薄膜サーマルヘッド　1280 ドット
階調数	256 階調（8 ビット）
解像度（「SCAN」が「SC:WD1」のとき）	EIA：1210 × 490 ドット CCIR：1210 × 582 ドット
画面寸法（「SCAN」が「SC:WD1」のとき）	「SIDE」が「S:STD」の場合 EIA：94 × 73 mm CCIR：94 × 71 mm 「SIDE」が「S:SIDE」の場合 EIA：124 × 96 mm CCIR：127 × 96 mm
プリント速度	約 2 秒 /1 画面（標準設定時）（メニュー項目の「SPEED」で「SP:HI」設定時） 約 3.3 秒 /1 画面（標準設定時）（メニュー項目の「SPEED」で「SP:NOR」設定時）
ピクチャーメモリー	10 フレーム（800 k × 8 bit 相当）
入力端子	VIDEO IN（BNC） EIA または CCIR 方式コンポジットビデオ信号：1.0V p-p、75 Ω／ハイインピーダンス切り換え方式（EIA/CCIR 自動判別方式）
出力端子	VIDEO OUT（BNC） EIA または CCIR 方式コンポジットビデオ信号：1.0 Vp-p、75 Ω ループスルー／ EE 切り換え方式

リモート端子　REMOTE（ステレオミニジャック）
端子仕様



1 GND
2 PRINT SIGNAL (TTL)
100msec 以上 LOW のパルスが入力されるとプリントが開始されます。
3 PRINT BUSY (TTL)
プリント中は HIGH レベルになります。

付属品　ヘッドクリーニングシート (1)
メディアラベル (1)
取扱説明書 (1)
ご相談窓口のご案内 (1)

別売りアクセサリー
AC 電源コード
部品番号　1-791-041-xx
3 極 ⟶ 2 極変換プラグ
部品番号　1-793-461-xx

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

注意

日本国内で使用する電源コードセットは、電気用品安全法で定める基準を満足した承認品が要求されます。ソニー推奨の電源コードセットをご使用ください。

故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前にもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーのサービス窓口または営業担当者にお問い合わせください。

こんなときは	ご確認ください
細かいゴミが最初にプリントした数枚に現れる。	プリンター用紙を交換したばかりではありませんか？ →FEED ボタンを押して、紙を 15 ～ 20 cm 引き出してからプリントしてください。
PRINT ボタンを押してもプリントしない。	・用紙が送られない場合 →電源は入っていますか？ →正しく接続されていますか？ →用紙がたるんでいませんか？ →メニュー「MULTI」の項目が「MU:MLT」になっていませんか？ ・アラームブザーが鳴った場合 →サーマルヘッドが温度上昇していませんか？真っ黒に近い画像を連続してプリントすると、サーマルヘッドの温度が上昇する場合があります。しばらくプリントをやめてください。 →ビデオ信号は入力されていますか？ →用紙は正しく取り付けてありますか？ ・用紙は送られるがプリントされない場合 →用紙の感熱面を上にして取り付けましたか？（9 ページ）
プリント画の周囲に黒い線ができる。または周囲が欠けている。	メニュー「SCAN」の項目の設定を変えてください。
紙詰まりが起きた。	・OPEN ボタンを押してドアパネルを開け、プリンター用紙を取り出してから、詰まった紙を手でゆっくり引き出してください。 ・プリンターが結露していませんか？ →寒い所から急に暑い所にプリンターを移すと、内部に水滴がつくこと（結露）があります。結露したら電源を切ったまま1～2時間放置してください。
印画ムラが起きる。	ヘッドが汚れていませんか？ →付属のヘッドクリーニングシートを使って、ヘッドをきれいにしてください。（22 ページ）
全面が真っ黒に近い画像を連続してプリントしたら、プリントしなくなってしまった。液晶ディスプレイに「COOL」と表示された。	真っ黒に近い画像を連続してプリントし続けると、それ以上プリントしなくなることがあります。サーマルヘッドの温度上昇を抑えるために保護回路が動作しているためです。 →メッセージが消えるまでお待ちください。

こんなときは	ご確認ください
白い線や小さい文字がぼけたり、二重になって見える。	白黒ビデオ信号に対して、メニュー「COLOR」の項目が「CO:ON」に設定されていませんか？ →「CO:OFF」に設定してください。
全体的に細かいチェック模様が見える。	カラービデオ信号に対して、メニュー「COLOR」の項目が「CO:OFF」に設定されていませんか？ →「CO:ON」に設定してください。
プリント画が明るすぎる、または暗すぎる。	・ 75Ω切り換えスイッチは正しく設定してありますか？ ・ メニューの「MEDIA」項目は正しく設定してありますか？ ・ メニューの「GAMMA」項目は正しく設定してありますか？
プリントされた画像が長い。	メニューの「ASPCT」項目で、「AS:1:1」が選択されていませんか？ →「AS:4:3」にしてください。
プリンター用紙がスムーズに送られない。	プラテンローラーが汚れていませんか？ →プラテンローラーをクリーニングしてください。(22 ページ)

エラーメッセージ一覧

液晶ディスプレイに表示されるメッセージは以下のとおりです。メッセージに従って次に示す処置をしてください。

エラーメッセージ	意味／対処
DOOR	ドアが開いています。 →ドアをロックされるまできちんと閉めてください。
EMPTY	・ プリンター用紙がありません。 ・ プリンター用紙を使い切りました。 →プリンター用紙を取り付けてください。
COOL	サーマルヘッドの温度上昇を抑えるために、保護回路が動作しています。 →メッセージ消えるまでお待ちください。自動的にプリントを開始します。
LOCK	メニュー操作機能がロックされています。 ジョグダイヤル、CONTR つまみ、および BRIGHT つまみは働きません。 →メニュー操作を行いたい場合は、お近くの代理店、またはソニー営業担当者にお問い合わせください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも調子の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、またはお近くのソニーの業務用ご相談窓口にご相談ください。

その他

索引

あ

アフターサービス........................ 26
安全のために................................ 2

え

エラーメッセージ........................ 17

か

各部の名称と働き
　フロントパネル........................ 6
　裏面.. 7

く

クリーニング
　キャビネット 22
　プラテンローラー 22
　ヘッド.................................. 22
クリーニングシート 22

こ

故障とお考えになる前に 24
この取扱説明書について 6, 11

し

仕様... 23
使用上のご注意
　安全...................................... 21
　置き場所 21
　警告 4
　注意 5
　電源 21
　持ち運び 21

せ

接続... 8
　ご注意..................................... 8

と

特長... 6

は

はじめに 6, 11

ふ

プリンター用紙
　ご注意..................................... 8
　種類 8
　取り付け 9
プリント
　コントラストを調節............... 20
　明るさを調節 20
　同じ画像をプリントする......... 18
　中断する 17
　プリントする......................... 17
　用紙を送る 17

め

メニュー
　一覧...................................... 12
　一覧をプリントする 16
　基本操作............................... 14
　設定値の登録......................... 16
　設定を呼び出す 16
　フロー 11

Owner's Record

The model and serial numbers are located at the rear. Record these numbers in the space provided below. Refer to these numbers whenever you call upon your Sony dealer regarding this product.

Model No. ____________________
Serial No. ____________________

WARNING

To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose this apparatus to rain or moisture.

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

THIS APPARATUS MUST BE EARTHED.

This symbol indicates the equipotential terminal which brings the various parts of a system to the same potential.

This symbol is intended to alert the user to the presence of important operating and maintenance (servicing) instructions in the literature accompanying the appliance.

For the customers in the U.S.A.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

The shielded interface cable recommended in this manual must be used with this equipment in order to comply with the limits for a digital device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC Rules.

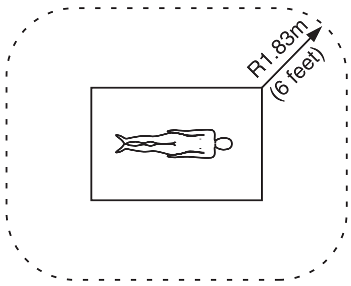
For the customers in Canada

This unit has been certified according to Standard CSA C22.2 No.601.1.

For the customers in the U.S.A. and Canada

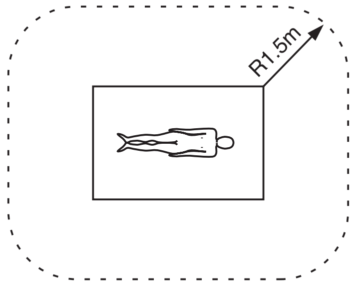
Model UP-897MD is Non-Patient Equipment.
This unit can not be used in the vicinity of patients.

* Patient Vicinity



Important safeguards/notices for use in the medical environments

1. All the equipments connected to this unit shall be certified according to Standard IEC60601-1, IEC60950-1, IEC60065 or other IEC/ISO Standards applicable to the equipments.
2. When this unit is used together with other equipment in the patient area*, the equipment shall be either powered by an isolation transformer or connected via an additional protective earth terminal to system ground unless it is certified according to Standard IEC60601-1.
   * Patient Area



3. The leakage current could increase when connected to other equipment.
4. This equipment generates, uses, and can radiate frequency energy. If it is not installed and used in accordance with the instruction manual, it may cause interference to other equipment. If this unit causes interference (which can be determined by unplugging the power cord from the unit), try these measures: Relocate the unit with respect to the susceptible equipment. Plug this unit and the susceptible equipment into different branch circuit.

Consult your dealer. (According to standard EN60601-1-2 and CISPR11, Class B, Group 1)

Caution

When you dispose of the unit or accessories, you must obey the law in the relative area or country and the regulation in the relative hospital.

Warning on power connection

Use a proper power cord for your local power supply.

1. Use the approved Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug with earthing-contacts that conforms to the safety regulations of each country if applicable.
2. Use the Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector /Plug conforming to the proper ratings (Voltage, Ampere).

If you have questions on the use of the above Power Cord/Appliance Connector/Plug, please consult a qualified service personnel.

Warning on power connection for medical use

Please use the following power supply cord.
With connectors (plug or female) and cord types other than those indicated in this table, use the power supply cord that is approved for use in your area.

	United States	Canada
Plug Type	HOSPITAL GRADE*	HOSPITAL GRADE*
Female end	E62405, E35708	LR53182, LL022442, LL088408
Cord type	E159216, E35496 Min.Type SJT Min.18 AWG	LL112007-1, LL20262, LL32121, LL84494 Min.Type SJT Min.18AWG
Minimum cord set rating	10A/125V	10A/125V
Safety approval	UL Listed	CSA

*Note: Grounding reliability can only be achieved when the equipment is connected to an equivalent receptacle marked ‘Hospital Only’ or ‘Hospital Grade’.

GB

Table of Contents

Getting Started

Overview **31**
Location and Function of Parts and Controls .. **31**
Front Panel 31
Rear Panel 32
Connections **33**
Connecting to the USB Connector 33
Paper **33**
Paper You Can Use 33
Loading Paper in the Unit **34**
Loading Paper 34

Operation

Adjustments and Settings Using the Menu **36**
Menu Flow 36
Menu List 37
Basic Menu Operations 40
Registering Menu Settings 41
Printing the Menu List 42
Printing **42**
Starting a Print Job 42
Selecting the Printing Direction and Image Size 44
Adjusting the Contrast and Brightness 45

Others

Precautions **47**
On Safety 47
On the Printer Carriage 47
On Installation 47
Maintenance **48**
Cleaning the Cabinet 48
Cleaning the Thermal Head 48
Cleaning the Platen Roller 48
Specifications **49**
Troubleshooting **50**
Error Messages **51**
Index **52**

Getting Started

Overview

Quiet, High Quality, Fast Printing

- Employs a thin thermal head with a built-in high speed drive IC, capable of high resolution images of 12.8 dots/mm.
- Print speeds of approximately 1 high quality image (A-7 size single printout) every 2 seconds when printing at high speed (when “SP:HI” is selected in “SPEED” menu item).
- Monochrome printing with up to 256 shades of gradation.
- Built-in temperature correction circuits prevent temperature changes which could cause blurred prints.

Easy printer settings using a menu

You can make up the settings to meet your requirements using a menu. You can store up to three settings as a set of user settings.

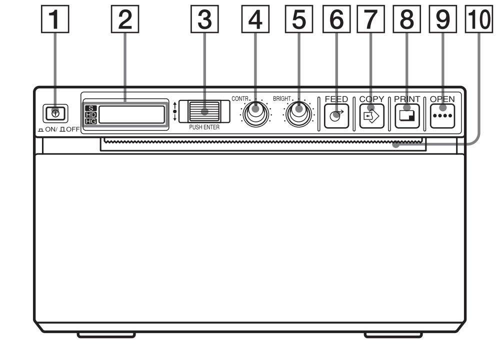
Easy Paper Loading

Free access to the door panel allows you to drop paper into the unit for easy loading.

Location and Function of Parts and Controls

For more details, see the referenced page numbers enclosed in parentheses ().

Front Panel



1 **Power ON/OFF Switch (34, 40, 42, 48)**
Press to switch to ON to turn the power on. The back light on the LCD lights in green.

2 **Printer window display (LCD: liquid crystal display) (36, 42)**
The back light lights in green when the unit operates normally. Also, in normal operation, the paper currently selected is indicated by the pointer on the LCD.
For detailed information on the paper, see “Paper” on page 33 and “Paper currently selected” on page 43.
If an error occurs, a corresponding alarm message is displayed.
During menu operations, menu items and settings are displayed

3 **Jog dial (40, 48)**
Used to make menu operations.

4 **CONTR (contrast) control (45)**
Adjusts the contrast of the printouts.

5 **BRIGHT (brightness) control (45)**
Adjusts the brightness of the printouts.

6 **FEED button (35, 43)**
Hold down to feed paper. While a print job is in progress, press to cancel the print job.

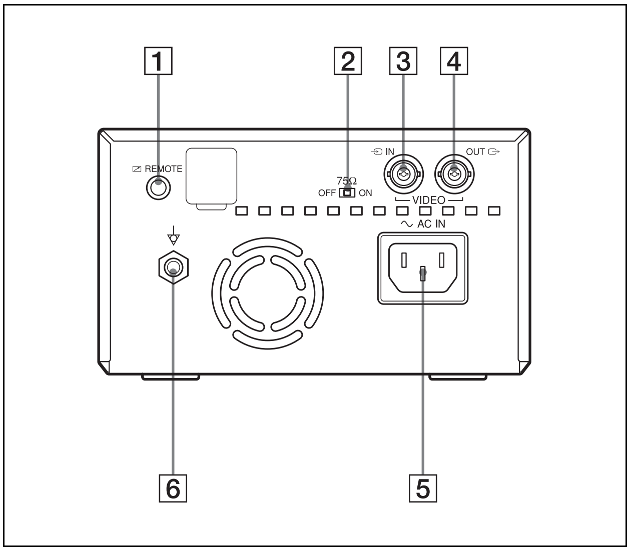
7 COPY button (43)
Prints another copy of the previous printout.
You can make only one copy each time you press this button regardless of the print quantity set using the menu.

8 PRINT button
Prints the image currently displayed on the video monitor. The image displayed when you press the PRINT button is stored in memory.

9 OPEN button (34, 43)
Press to open the paper door. While a print job is in progress, press to cancel the print job.

10 **Paper cutter**
Cuts the paper as each image is printed.

Rear Panel



1 **REMOTE connector (33)**
Connects the RM-91 remote control unit or the foot switch for controlling print operation from a distance.

2 **75 Ω select switch**
ON: When nothing is connected to the VIDEO OUT connector, set the switch to this position.
OFF: When a video monitor or other video equipment is connected to the VIDEO OUT connector, set the switch to this position.

3 **VIDEO IN (input) connector (BNC type)**
Connect to the video output connector of the video equipment.

4 **VIDEO OUT (output) connector (BNC type)**
Connect to the video input connector of the video monitor. The output signal depends on the setting of the "VIDEO" item of the menu.

5 **AC IN connector**
Use a proper power cord for your local power supply (not supplied).
Refer to "Warning on power connection" on page 29 and "Warning on power connection for medical use" on page 29.

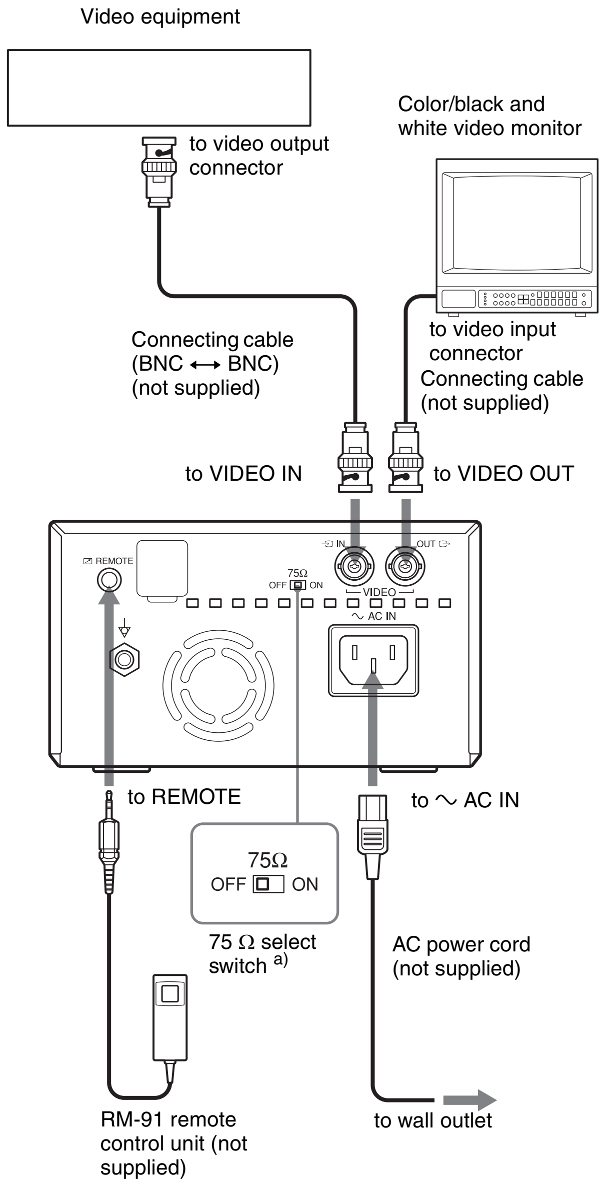
6 **Equipotential terminal**
Used to connect to the equipotential plug to bring the various parts of a system to the same potential.
Refer to "Important safeguards/notices for use in the medical environments" on page 28.

Connections

Notes

- Turn off the power to each device before making any connections.
- Connect the AC power cord last.

Connecting to the USB Connector



a) Set the 75 Ω select switch as follows.
ON: When nothing is connected to the VIDEO OUT connector, set the switch to this position.
OFF: When a video monitor or other video equipment is connected to the VIDEO OUT connector, set the switch to this position.

Paper

Use only Sony UPP-110S/110HD/110HG paper designed for use with this unit. High print quality cannot be guaranteed if any other paper is used with this unit, and such paper could damage the unit.
You cannot use the UPP-110HA as specified for the UP-880/890MD series printer.

Paper You Can Use

Print paper characteristics are as follows.

Print Characteristics	Paper Type
TYPE I (Normal)	UPP-110S
TYPE II (High Density)	UPP-110HD
TYPE V (High Glossy)	UPP-110HG

Notes on storing and handling paper

Storing unused paper

- Stored unused paper at a temperature below 30°C (86°F) in a dry location that is not exposed to direct sunlight.
- Do not store unused paper near volatile liquids or allow the paper to contact any organic volatile liquid, cellophane tape, or any compound of vinyl chloride.

Loading paper

- Handle the paper carefully when loading to avoid touching the printing surface with your fingers. Perspiration or oil from you hands could cause pictures to blur.
- After removing the label from the leading edge of the paper, pull the paper out 15~20 cm (about 6~8 in.) before printing. Label adhesive remaining on the paper could spoil a picture.

Storing printouts

- To prevent printouts from fading or changing color, store them in a cool, dry location where the temperature is not higher than 30°C (86°F).
- Store printouts in a polypropylene pouch or between sheets of paper that contain no plastic.
- Do not store printouts where they will be exposed to direct sunlight or high humidity.
- Do not store printouts near volatile liquids or allow the prints to contact any organic volatile liquid, cellophane tape, or any compound of vinyl chloride.
- To prevent fading, do not stack printouts on or under a diazo copy sheet.
- To mount printouts on another sheet of paper, use double-sides tape or a water base adhesive.
- Do not incinerate waste printer paper.

Loading Paper in the Unit

Notes

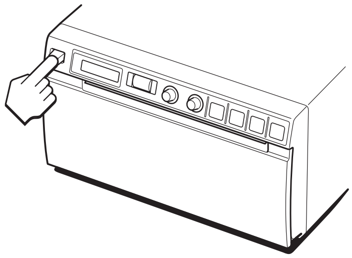
- Before loading paper in the unit, see "Notes on storing and handling paper" (page 33).
- Always handle paper carefully when loading to avoid adversely affecting the quality of the printouts. Never bend or crease the paper and never touch the printing surface with your fingers. Fingerprints perspiration can blur printing.
- Do not use any paper other than UPP-110S/110HD/110HG paper. (page 33)
- Be sure to set the "MEDIA" menu item to the paper to be used. You can confirm the media currently selected on the LCD. (page 38)

Loading Paper

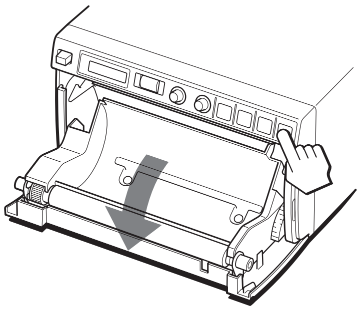
Caution

A paper cutter is mounted with the unit. When loading paper, be careful not to touch the paper cutter. Touching the paper cutter may cause injury.

1 Press the power ON/OFF switch to turn the unit on. When paper is not loaded yet, the back light on the LCD lights in umber and the message "EMPTY" is displayed.



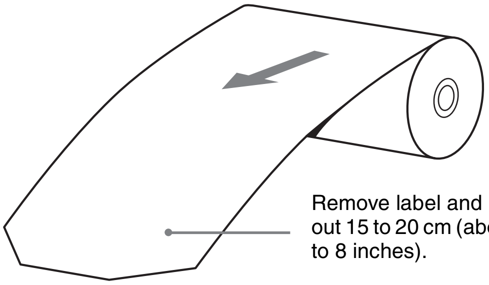
2 Press the OPEN button to open the paper door.

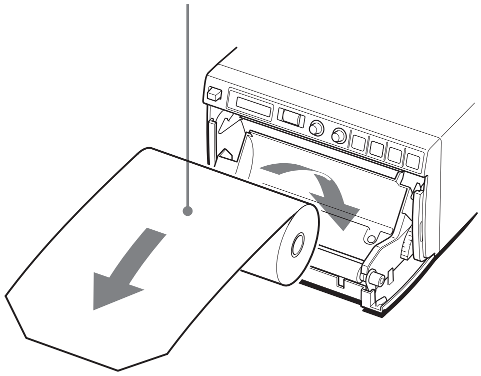


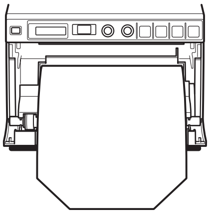
3 Remove the label from the leading edge of the paper, pull out about 15~20 cm (about 6~8 in.) of the paper, and then set the paper roll in the paper tray.

Note

To avoid exposing the paper to dust, dirt, etc. always handle it carefully when removing from its package and loading it in the unit. Paper exposed to dirt or dust cannot be used for printing.

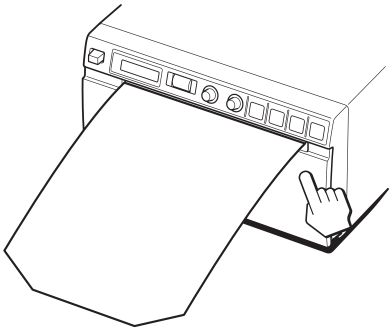


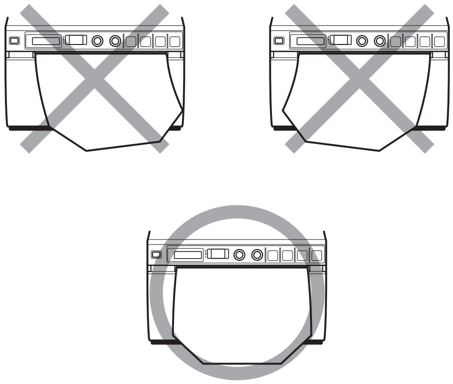




Make sure that the paper is set straight.

4 Close the paper door and press on it to shut it.





Notes

- Make sure that the paper is loaded straight. If it is skewed, this could cause the paper to jam.
- If you did not pull out enough paper in step 3, press the FEED button on the operation panel to feed some more paper out of the unit without pulling out the paper.

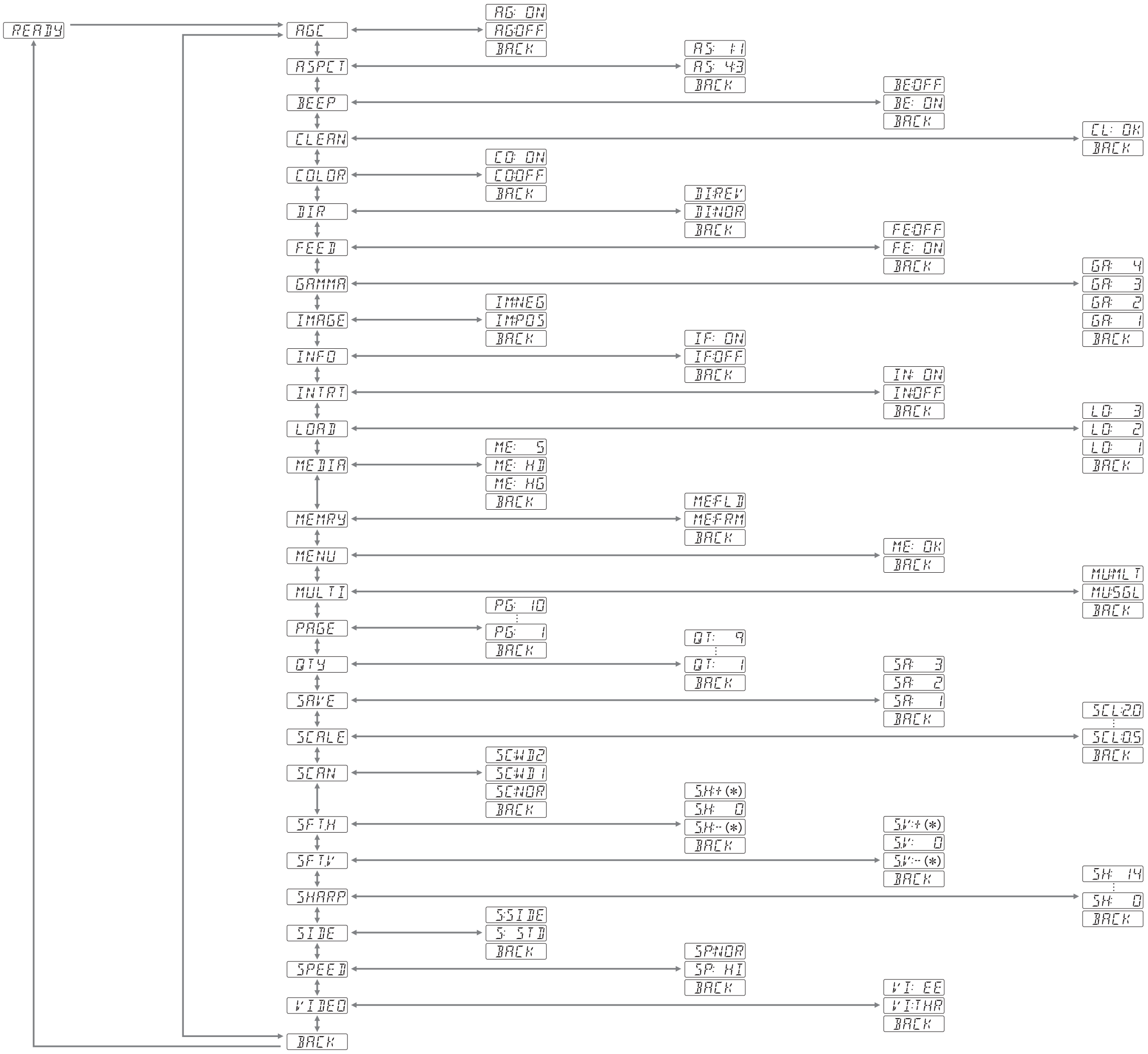
You can set up the unit according to its intended purpose, connected equipments or your individual preferences.
You can store up to three settings as a set of user settings.

Adjustments and Settings Using the Menu

You can carry out adjustments and settings to meet your requirements. Those settings and adjustments are retained even if the unit is turned off.

Menu Flow

The contents displayed on the LCD changes in sequence as you turn the jog dial as shown in the following menu flow chart, and you can make the settings for each menu item.



About * in the "SFT:H" and "SFT:V" menu items
* means the numeric value displayed by turning the jog dial. This numeric value changes depending on the settings of "SCALE", "SCAN" and "SIDE", and the signal system of the image to be captured.

Menu List

This section describes the menus displayed as you turn the jog dial. The setting surrounded by [ ] indicates the factory setting.

Item	Function	Settings
AGC	To adjust the input signal to the optimum printing level	AG:ON: Adjusts the input signal to the optimum level, when the printout image appears too dark or too light. [AG:OFF]: Normally select this setting. BACK: Cancels the setting change and returns to the item selection column.
ASPCT a)	To select the aspect ratio	AS:1:1: Prints a video signal with an aspect ratio of 1:1. [AS: 4:3]: Normally select this setting. BACK: Cancels the setting change and returns to the item selection column
BEEP	To select whether the operation and error tones sound	BE: OFF: The operation tone does not sound. [BE: ON]: The operation and error tones sound. BACK: Cancels the setting change and returns to the item selection column.
CLEAN	To start head cleaning	[CL: OK]: Starts the head cleaning. Be sure to use the supplied cleaning sheet. BACK: Cancels the head cleaning and returns to the item selection column.
COLOR	To select the input signal to be printed	CO:ON: Prints the color signal. [CO:OFF]: Prints the black and white signal. BACK: Cancels the setting change and returns to the item selection column.
DIR b)	To select whether the top or bottom of the screen is to be printed first	DI: REV: Starts to print in the reverse direction (from the top of the screen). [DI: NOR]: Starts to print in the normal direction (from the bottom of the screen). BACK: Cancels the setting change and returns to the item selection column.

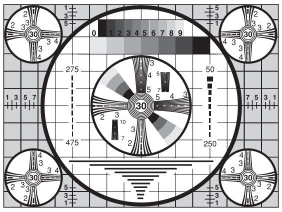
Item	Function	Settings
FEED	To select the paper feed method to be used after printing	FE: OFF: Feeds less paper between prints to conserve paper, or when printing multiple pictures on the same sheet. More pictures can be printed on one sheet, but because there is so little space between printed pictures, you must press the FEED button before cutting the paper. [FE: ON]: Feeds extra blank paper between prints. BACK: Cancels the setting change and returns to the item selection column.
GAMMA (When the “ME:S” is selected in “MEDIA” is selected, GAMMA is fixed to TONE 1.)	To select the tone of the printouts (density gradation)	GA:4: TONE 4 Softest gradation GA:3: TONE 3 Hard gradation [GA:2]: TONE 2 Standard GA:1: TONE 1 Soft gradation BACK: Cancels the setting change and returns to the item selection column.
IMAGE	To set the printout to either positive printout or negative printout	IM:NEG: Makes negative printouts. [IM:POS]: Makes normal printouts. BACK: Cancels the setting change and returns to the item selection column.
INFO	To select whether or not the print conditions (such as contrast, brightness, gammas and sharpness information) are printed under the image	IF:ON: Prints the information. [IF:OFF]: Does not print the information. BACK: Cancels the setting change and returns to the item selection column.
INTRT	To change the operation of printing interruption	IN:ON: Stops printing by pressing the PRINT button during printing and prints a new image captured at instant you pressed the PRINT button. [IN:OFF]: Does not stop printing even if the PRINT button is pressed. After completing the current printing, the unit prints the image captured at instant you pressed the PRINT button. BACK: Cancels the setting change and returns to the item selection column.

Item	Function	Settings
LOAD	To load the registered settings	LO:3: Loads the "SA:3" settings registered using the "SAVE" menu item. LO:2: Loads the "SA:2" settings registered using the "SAVE" menu item. LO:1: Loads the "SA:1" settings registered using the "SAVE" menu item BACK: Cancels the setting change and returns to the item selection column.
MEDIA	To select the type of paper	ME:S: Uses the UPP-110S. ME:HD: Uses the UPP-110HD. ME: HG: Uses the UPP-110HG BACK: Cancels the setting change and returns to the item selection column.
MEMRY	To select the memory mode	ME:FLD: When printing fast-moving images (such as a ball being thrown), the printout may be blue. If this happens, select this setting. [ME:FRM]: Normally select this setting. BACK: Cancels the setting change and returns to the item selection column.
MENU	To print the menu settings currently selected	ME:OK: Prints the menu list currently set. BACK: Cancels printing and goes back to its item column.
MULTI	To specify the number of images to be printed on one sheet of the printout	MU:MLT: Prints two images on one sheet of the printout (two reduced images). [MU:SGL]: Prints one image. (full-size image). BACK: Cancels the setting change and returns to the item selection column.
PAGE (This item is not displayed when "MU:MLT" is selected in "MULTI."	Each time you press the PRINT button, the image is stored in memory. Up to ten images can be stored. You can select the desired image from 10 kinds of images stored in memory and make a printout.	PG:1 to PG:10: Prints by selecting the desired ONE image from among images 1 to10 and pressing the COPY button. BACK: Cancels the setting change and returns to the item selection column.

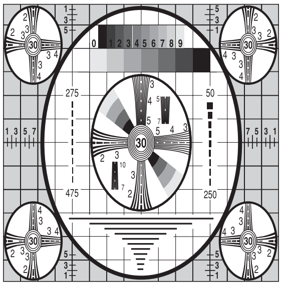
Item	Function	Settings
QTY	To set the print quantity	QT:1 to QT:9: Makes the same printouts. You can select the desired number of same printongs between 1 and 9. BACK: Cancels the setting change and returns to the item selection column.
SAVE	To register up to three kinds of settings	SA:3: Registers the menu settings as No.3. SA:2: Registers the menu settings as No.2. SA:1: Registers the menu settings as No.1. BACK: Cancels the setting change and returns to the item selection column.
SCALE	To enlarge or reduce the image to be printed	The scale can be set between SCL:2.0 (two times) and SCL:0.5 (one half) in increments of 0.5. [SCL:1.0] is the factory setting. BACK: Cancels the setting change and returns to the item selection column.
SCAN [c)]	To set the range of the image to be printed	The range is widened in the sequence of SC:NOR, SC:WD1 and SC:WD2. BACK: Cancels the setting change and returns to the item selection column.
SFT.H	To specify the horizontal position of the image to be printed	[S.H:0]: Adjusts the horizontal position. The numeric value displayed by turning the jog dial depends on the settings of "SCALE", "SCAN", and "SIDE", and the signal system of the image to be captured. BACK: Cancels the setting change and returns to the item selection column.
SFT.V	To specify the vertical position of the image to be printed	[S.V:0]: Adjusts the vertical position. The numeric value displayed by turning the jog dial depends on the settings of "SCALE", "SCAN", and "SIDE", and the signal system of the image to be captured. BACK: Cancels the setting change and returns to the item selection column.

Item	Function	Settings
SHARP	To adjust the sharpness of the printout	You can set the sharpness to any of 15 steps, from 0 to 14. At a setting of 0, the outline of the printout is not emphasized. A setting of step 2 is the factory setting. BACK: Cancels the setting change and returns to the item selection column.
SIDE [d)]	To select the direction in which the image is to be printed	S:SIDE: Prints the image rotated by 90 degrees counterclockwise. S:STD: Prints the image in the same direction as that displayed on the monitor. BACK: Cancels the setting change and returns to the item selection column.
SPEED (When "ME:HD" is selected in "MEDIA," the printing speed is fixed to "SP:NOR" and this item is not displayed.)	To select the printing speed	SP:NOR: Prints at the normal speed. SP:HI: Prints at high speed. BACK: Cancels the setting change and returns to the item selection column. **Note** When "SP:HI" is selected, the power consumption is a little higher, compared with printing at the normal speed.
VIDEO	To select the video signal output from the VIDEO OUT connector on the rear panel	VI:EE: Outputs the signal after it is processed by the printer. VI:THR: Outputs the signal directly without processing. BACK: Cancels the setting change and returns to the item selection column.
BACK	To exit menu mode	Display this item and then press the jog dial. The unit exits the menu mode and "READY" is displayed on the LCD.

a) The aspect ratio is as follows.

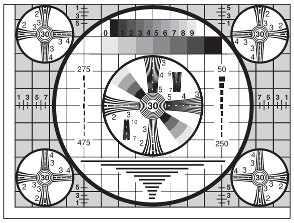


When AS:4:3 is selected

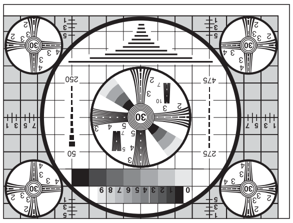


When AS:1:1 is selected

b) The printing direction is as follows.

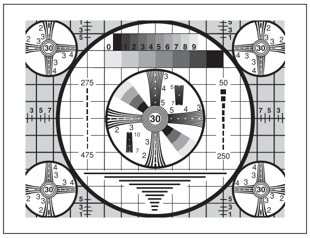


When DI:NOR is selected

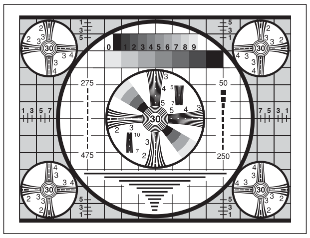


When DI: REV is selected

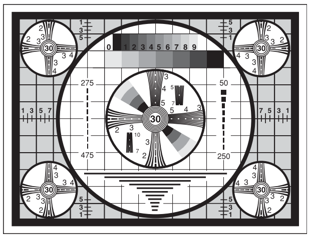
c) The range of the image to be printed is as follows.



When SC:NOR is selected



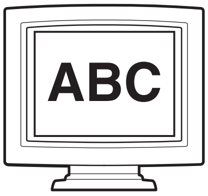
When SC:WD1 is selected



When SC:WD2 is selected

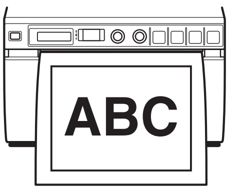
d) The print direction of the images printed is as follows.

Image displayed on the monitor

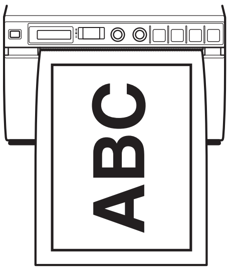


Printouts

When S:STD is selected.



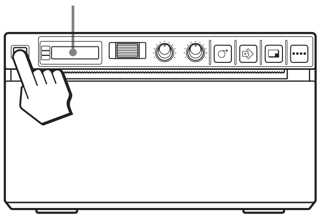
When S:SIDE is selected



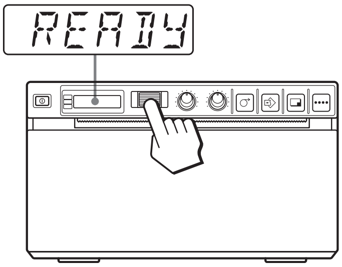
Basic Menu Operations

This section describes the basic menu operation which are common to each menu, taking "How to set the printing direction" as an example.

1 Press the power ON/OFF switch to ON to turn the unit on.
The back light on the LCD lights in green.

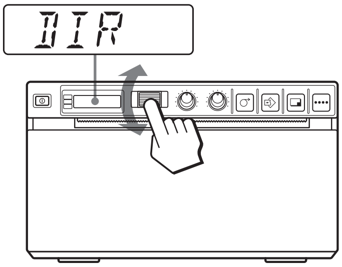


2 Confirm that "READY" is displayed on the LCD, and press the jog dial.

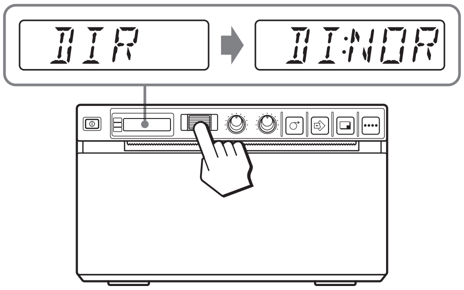


The unit enters the menu mode.
When you perform a menu operation for the first time after you purchase the unit, the top item of the "AGC" menu is displayed.
If you have performed a menu operation already, the item that you set last is displayed.

3 Display "DIR" by turning the jog dial up or down.

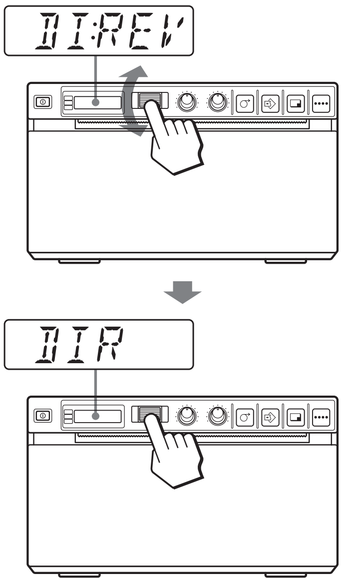


4 Press the jog dial.



The unit enters the mode in which you can select the printing direction.
"DI:NOR," which is the factory setting, is displayed on the LCD. "DI:NOR" is the currently selected setting.
In this menu operation, you will change the setting to "DI:REV."

5 Display "DI:REV" in the LCD by turning the jog dial up or down, and then press the jog dial.



"DI:REV" is registered as the printing direction.

Note

If about 20 seconds elapse without making any menu operation after you have displayed the menu item or setting, the display returns to "READY" on the LCD and the unit exits the menu mode. In such a case, the setting of "DIR" is not changed.

To cancel the setting

1 Display "BACK" by turning the jog dial in step 5.

2 Press the jog dial.
The display on the LCD returns to "DIR."

To continue menu operations

Make settings by repeating steps 3 to 5.

To end the menu operation

1 Display "BACK" by turning the jog dial after performing the operation of step 5.

2 Press the jog dial.
The display returns to "READY."
The unit exits the menu mode.

Menu lock function

If the message "LOCK" is displayed and you hear the alarm sound when you press the jog dial, the jog dial is disabled because the menu operation function is locked.

If you want to perform a menu operation, contact the nearest authorized dealer.

Registering Menu Settings

You can store up to three sets of settings made using the menu, and you can load the desired setting when needed. The unit retains these settings even if you turn off the power.

Note

When you use the unit for the first time after you purchase it, factory settings are registered in all three of the stored selections.

Registering new settings

1 Make all of the required settings.

2 Display "SAVE" by turning the jog dial, and then press the jog dial.

3 Display the desired number by turning the jog dial, and then press the jog dial, again.
The settings made in step 1 are registered in the number selected in step 3.

Loading the desired settings

You can load the desired settings and make printouts with the loaded settings.

1 Confirm that "READY" is displayed on the LCD, and press the jog dial.

2 Display "LOAD" by turning the jog dial, and then press the jog dial again.

3 Display the number corresponding to the desired settings, and then press the jog dial.
Settings corresponding to the number selected in step 3 are loaded.

When you change the loaded settings

The unit operates according to the changed settings. In this case, the unit operates according to these settings until you load another set of settings, even if you turn off the unit. When you load another group of settings, the settings loaded previously are cleared.

To retain previously loaded settings

Example: Settings registered as "SA:1" are loaded and settings are to be changed. To retain the original settings of "SA:1" and to register the new settings as "SA:2," proceed as follows.

Operation

1 Load the settings of “LO:1” following the procedure for loading the desired settings.

2 Change the loaded settings as required.

3 Select “SA:2” following procedure for registering the settings.

4 Press the jog dial.
The settings, changed in step 2, are registered as “SA:2” (No.2).

Printing the Menu List

You can make a printout of the current menu settings.

1 Press the jog dial.
The menu item you changed last is displayed.

2 Display “MENU” by turning the jog dial, and then press the jog dial.

3 Display “ME:OK” by turning the jog dial and then press the jog dial.
The unit starts printing the current menu settings. “MENU” is displayed on the LCD.

4 Display “BACK” by turning the jog dial, and then press the jog dial.
The message “READY” is displayed on the LCD, and the unit returns to the normal printing mode.

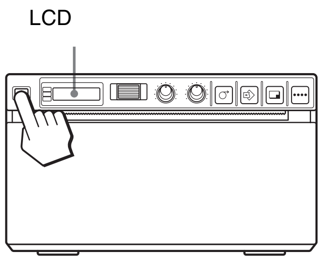
Printing

Before Starting a Print Job
Always check the following points:
- unit connected correctly? (page 33)
- Paper loaded correctly? (page 34)
- Menu settings and menu adjustments done correctly? (page 36)
- Video source being input? (page 33)

Starting a Print Job

You can set up the printing direction, image size, all sorts of settings for printing, using the menu. This section describes operations after completing all sorts of settings using the menu.

1 Press the power ON/OFF switch to turn the unit on.
The back light on the LCD lights in green, and “READY” is displayed on the LCD.



2 Start the video source.
This operation is done using the controls of the video equipment which you are using as a source.

3 Press the PRINT button when the image you want to print is on the video monitor.
The image displayed at the instant you press the PRINT button is captured into memory and is printed out immediately. Up to 10 captured images are stored in memory. When captured image exceeds 10, the oldest data is overwritten with the latest one in sequence.

When the message is displayed on the LCD

If a problem occurs, the back light on the LCD lights in umber and the error message stating the problem is displayed on the LCD.

Message	Cause and remedy
EMPTY	Paper is not loaded. Load paper.
DOOR	The door is open. Close the door.

When the unit stops printing during printing

When printing almost black images continuously, the thermal head protection circuit may shut down the unit to prevent the thermal head from overheating. In such a case, the message “COOL” is displayed on the LCD. Leave the unit until the head cools down and this message disappears.

To cancel a print job in progress

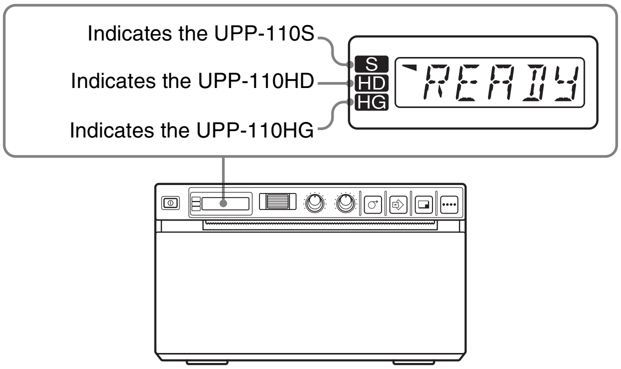
To cancel a print job in progress, press the OPEN button or the FEED button.

To feed paper

To feed paper, press the FEED button. The unit will continue to feed paper as long as you hold down the FEED button. Do not attempt to pull paper out of the unit with your hand.

Paper currently selected

You can confirm the paper currently selected on the LCD. The pointer points to the paper currently selected. In the following figure, the currently selected paper is the UPP-110S paper.



If the printout image is blurred

A rapidly moving image may be blurred when printed. Should this occur, make a printout with “ME:FLD” selected in the “MEMRY” menu item.

Printing images stored in memory

Each time you press the PRINT button, the image is stored in memory. After 10 images have been stored, the oldest image data is overwritten with the newest captured image in sequence. There are always 10 images stored in memory. You can load the desired one from among them and print it using the menu.

1 Select “PAGE” from among the menu items.

For detailed information on menu operation, see “Basic Menu Operations” on page 40.

2 Press the jog dial.
“PG:1” is displayed on the LCD, and the image printed last is displayed on the monitor.
As the number increases, the image displayed becomes older.

3 Display the image that you want to print by turning the jog dial up or down.

4 Press the jog dial.
The image selected in step 3 is loaded.

5 Press the COPY button.
The image selected in step 3 is printed.

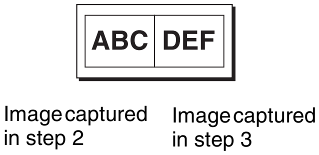
Printing two different images on one sheet

“MU:MLT” selected in the “MULTI” menu item allows you to capture two different images and print them on one sheet.

1 Select “MU:MLT” in the “MULTI” menu item.

2 Press the PRINT button in step 3, following the operations outlined in “Starting a Print Job” on page 42.
The image displayed at the instant you press the PRINT button is captured.

3 Press the PRINT button again when the image you want to print is on the video monitor.
The printer start printing two images on one sheet as follows.



When “IF:ON” is selected in “INFO,” data on the contrast and brightness of the image captured in step 3 is printed under the image.

Making Copies of the Last Printout

Press the COPY button. The unit makes a copy of the last printout. The image of the last printout is retained in the unit’s memory until you make a printout of another image or turn the power off. You can make only one copy regardless of the print quantity set using the menu.

Notes

- If you press the COPY button immediately after turning the power on, the alarm buzzer will sound as nothing is stored in memory.
- Turning off the power of the printer will cause the image stored in memory to be lost.

To make multiple copies of the same printout

Press the COPY button as many times as necessary (maximum 20 copies including the first printout) while copying the first printout. Each time you press the COPY button, a short buzzer sounds.

Note

The number of printouts printed by pressing the PRINT button is also included in the maximum number. For example, If you press the COPY button after you pressed the PRINT button five times and made five printouts, the number of multiple copies of the same printout becomes 15.

To interrupt copying

Press the OPEN or FEED button while copying.

To make copies in different directions and sizes

You can copy the image stored last in a different direction and size. Before pressing the COPY button, select the printing direction and size.

Selecting the Printing Direction and Image Size

You can select the printing direction and image size using the following menu items.
"SIDE": Selects the direction in which the image is to be printed.
"SCALE": Enlarges or reduces the size of the image to be printed.
SFT.H and SFT.V: Sets the printing range vertically and horizontally.

Selecting the printing direction

You can select the printing direction using the "SIDE" menu item.

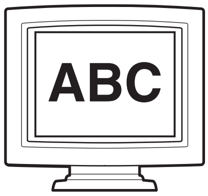
To print in the same direction as the one displayed on the video monitor

Select "S:STD" from "SIDE."

To print the image rotated by 90 degree counterclockwise

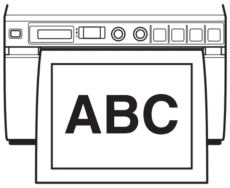
Select "S:SIDE" from "SIDE."

Image displayed on the video monitor

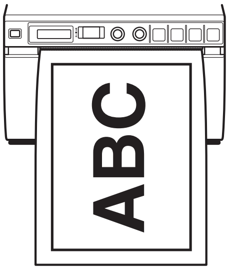


Printouts

When "S:STD" is selected



When "S:SIDE" is selected



Selecting the image size

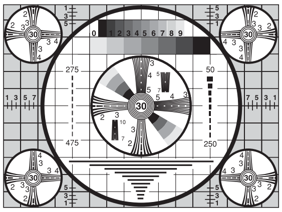
The "SCALE" menu item allows you to enlarge or reduce the size of the image. You can set the image size from half the normal size of the image up to two times the size of the image in 0.1 step increments.

To set the range of the image to be printed

You can set the printing range vertically and horizontally using "SFT.V" and "SFT.H" menu items.
You can set the range while watching the image displayed on the monitor.
The frame displayed on the monitor moves according to the value being changed using the jog dial. The image within the frame is printed.

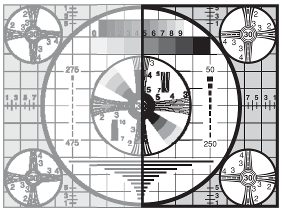
Example: “S:STD” selected from “SIDE” and “SCL:2.0” selected from “SCALE”

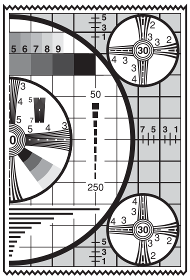
Original image



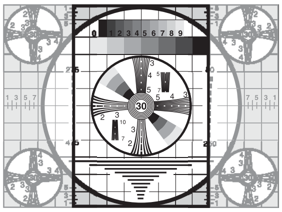
Images on the monitor | **Printouts**

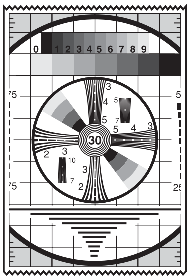
When “S.H:+(*)” is selected



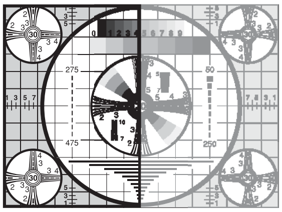


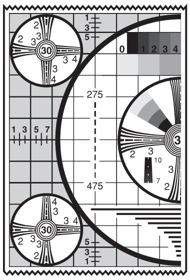
When “S.H:0” is selected





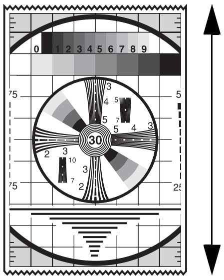
When “S.H:–(*)” is selected





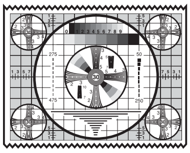
Difference of the size of the printout depending on the setting of “SCALE”

When “S:STD” is selected from “SIDE” and “SCL:2.0” is selected from “SCALE”



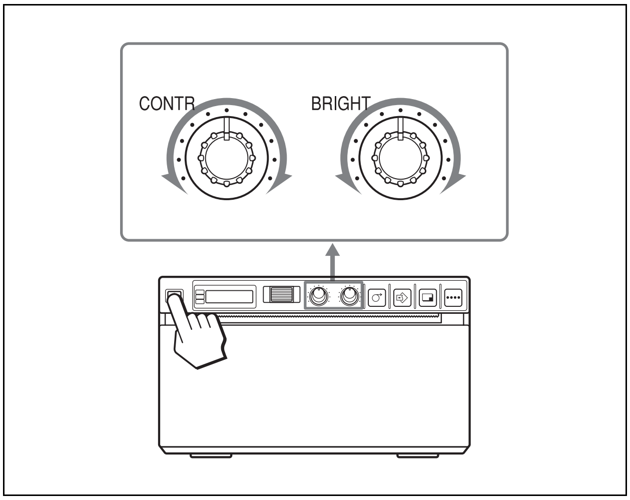
The length is two times longer than the length when “SCL:1.0” is selected.

When “S:STD” is selected from “SIDE” and “SCL:1.0” is selected from “SCALE”



Adjusting the Contrast and Brightness

You can adjust the contrast and brightness of the unit using the CONTR control and BRIGHT control on the front panel.



To adjust the contrast

You can adjust the contrast of printouts using the CONTR control.

To make the contrast stronger: Turn the CONTR control clockwise.

To make the contrast weaker: Turn the CONTR control counterclockwise.

To adjust the brightness

You can adjust the brightness of printouts using the BRIGHT control.

To make the image brighter: Turn the BRIGHT control clockwise.

To make the image darker: Turn the BRIGHT control counterclockwise.

Note

When the menu operation function is locked, CONTR and BRIGHT controls are also disabled in addition to the jog dial. If you want to use the CONTR and BRIGHT controls, contact the nearest authorized dealer.

Precautions

On Safety

- Check the operating voltage before operation. Operate the unit only with a power source specified in "Specifications".
- Stop operation immediately if any liquid or solid object falls into the cabinet. Unplug the unit and have it checked by qualified personnel.
- Unplug the unit from the wall outlet if you will not be using it for a long time. Disconnect the power cord by grasping the plug. Never pull the cord itself.
- Do not disassemble the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.
- Connect the power plug of the unit to a wall outlet with a protective earth terminal. The safety earth should be properly established.

Caution on the paper cutter

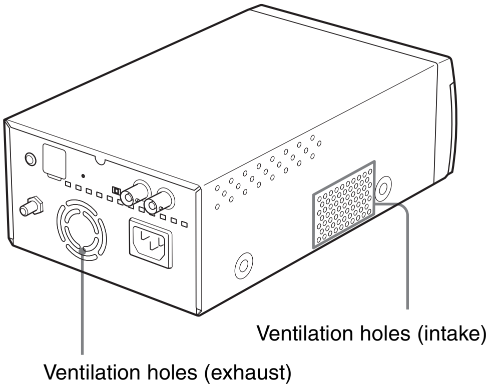
A paper cutter is mounted with the unit. When loading a paper or cleaning the unit, be careful not to touch the paper cutter. Touching the paper cutter may cause injury.

On the Printer Carriage

Do not carry or move the unit when the paper roll is placed in the unit. Doing so may cause a malfunction.

On Installation

- Place the unit on a level and stable surface. If you use the unit with placed on an uneven surface, malfunction of the unit is likely to occur.
- Do not install the unit near heat sources. Avoid locations near radiators or air ducts, or places subject to direct sunlight or excessive dust, humidity, mechanical shock or vibration.
- Provide adequate air circulation to prevent heat build-up. Do not place the unit on surfaces such as rugs, blankets, etc., or near materials such as curtains and draperies.
- To prevent internal heat built-up, leave enough room around the printer for air to circulate through the ventilation holes (intake) on the left hand side and the ventilation holes (exhaust) on the rear of the cabinet.



- If the unit is subjected to wide and sudden changes in temperature, such as when it is moved from a cold room to a warm room or when it is left in a room with a heater that tends to produce large amounts of moisture, condensation may form inside the unit. In such cases the unit will probably not work properly, and may even develop a fault if you persist in using it. If moisture or condensation forms, turn off the power and allow the unit to stand for at least one hour.

Maintenance

Cleaning the Cabinet

Use a wrung out damp cloth, or a damp cloth soaked in water and a mild detergent, to clean the cabinet surface. To avoid damaging the cabinet of the unit, never use alcohol, thinner, or any other type of organic solvent, or any type of abrasive cleaner, to clean the cabinet.

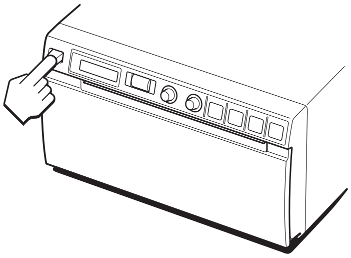
Cleaning the Thermal Head

If the printout is dirty or white stripes appear on the printouts, clean the thermal head using the cleaning sheet supplied.
Carry out the head cleaning operation using the menu.

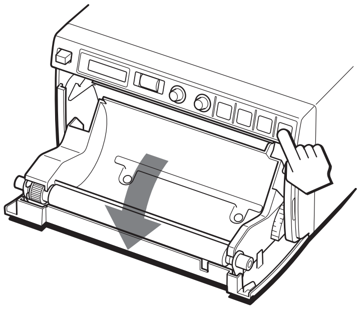
Note

A paper cutter is mounted with the unit. When cleaning the thermal head, be careful not to touch the paper cutter. Touching the paper cutter may cause injury.

1. Press the power ON/OFF switch to ON to turn the unit on.

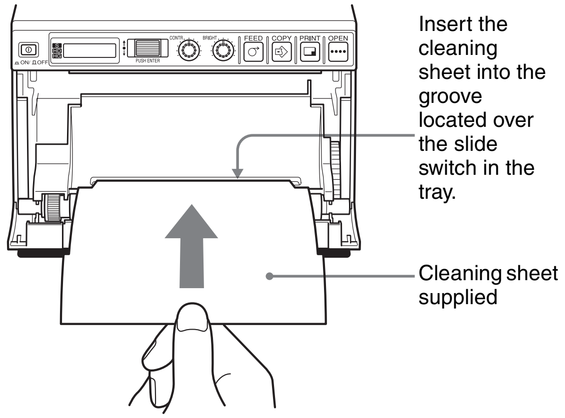


2. Press the OPEN button to open the door.



If the paper is loaded in the paper tray, remove it.

3. Insert the cleaning sheet, with the black surface facing down, into the groove of the paper tray.



4. Close the door by pushing it.
5. Press the jog dial.
The menu item changed last is displayed.
6. Display "CLEAN" by turning the jog dial, and then press the jog dial.
7. Confirm that "CL:OK" is displayed, and then press the jog dial.
The unit starts cleaning the thermal head.
"CLEAN" is displayed on the LCD.
When the cleaning sheet stops and the alarm sounds, the cleaning is completed.
8. Press the OPEN button to open the door and remove the cleaning sheet.
9. Close the door by pushing it.

Note

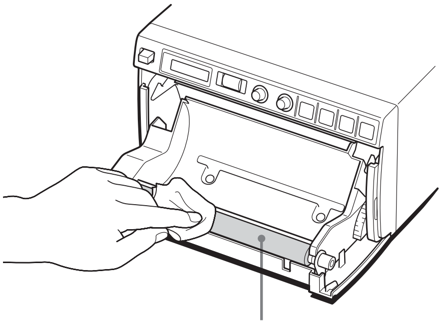
Clean the thermal head only when necessary. If you clean the thermal head too frequently, it may cause a malfunction.

Cleaning the Platen Roller

If the paper cannot be ejected smoothly after printing, the platen roller may be dirty.
In such a case, clean the platen roller with a soft cloth moistened with a damp clothe soaked in water and a mild detergent.

1. Press the power ON/OFF switch to ON to turn the unit on.
2. Press the OPEN button to open the door.
If the paper is loaded in the paper tray, remove it.

3 Clean the platen roller gently with a damp clothe soaked in water and a mild detergent.

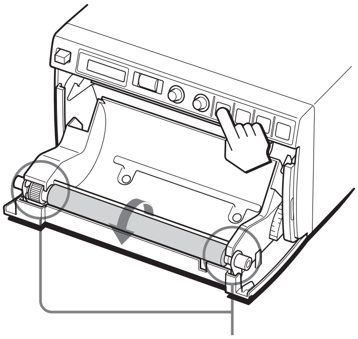


Platen roller

Notes

- After the surface of the platen roller wiped has been dried completely, turn the platen roller to clean another portion.
- Do not turn the platen roller with hands. Use the FEED button to turn it. To clean another part of the surface of the platen roller, go to the next step.

4 Press and hold down the FEED button so that the platen roller turns automatically. Release the FEED button when the surface of the platen roller to be cleaned appears.



Be careful so that you have your fingers caught in the turning platen roller.

Notes

- The platen roller is turning while you are pressing the FEED button. Be careful so that you have your fingers caught in the turning platen roller.
- Be sure to start cleaning only after the platen roller has stopped completely.

5 Repeat steps 3 and 4 until the platen roller becomes clean.

6 After the platen roller has been dried completely, close the door by pushing it.

Specifications

Power requirement
100 to 240 V AC, 50/60 Hz

Input current 1.5 A to 0.8 A

Operating temperature
5 °C to 35 °C (41 °F to 95 °F)

Operating humidity
20 % to 80 %

Storage and transport temperature
–20 °C to +60 °C (–4 °F to +140 °F)

Storage and transport humidity
20 % to 90 %

Dimensions 154 × 88 × 240 mm (w/h/d)
(6 1/6 × 3 1/2 × 9 1/2 inches)

Mass 2.6 kg (5 lb 11 oz) (printer only)

Thermal head Thin-film thermal head, 1280 dots

Gradation 256-level gradation (8-bit)

Resolution (when “SC:WD1” is selected from “SCAN”)
EIA: 1210 × 490 dots
CCIR: 1210 × 582 dots

Picture size (when “SC:WD1” or “SC:NOR” is selected from “SCAN”)
When “S:STD” is selected from “SIDE”
EIA: 94 × 73 mm
CCIR: 94 × 71 mm
When “S:SIDE” is selected from “SIDE”
EIA: 124 × 96 mm
CCIR: 127 × 96 mm

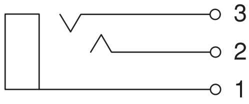
Printing speed About 2 sec./image (at standard setting) (when “SP:HI” is selected from “SPEED”)
About 3.3 sec./image (at standard setting) when “SP:NOR” is selected from “SPEED”)

Picture memory 10 frames (800 k × 8 bits for one frame)

Input connector VIDEO IN (BNC type)
EIA or CCIR composite video signals 1.0 Vp-p, 75 ohms/high-impedance (EIA/CCIR automatically discriminated)

Output connector
VIDEO OUT (BNC type)
EIA or CCIR composite video signals 1.0 Vp-p, 75 ohm loop-through/EE switchable

REMOTE connector (stereo mini jack)



1 GND

Others

2 PRINT SIGNAL (TTL)
Input of LOW pulse over 100 msec. initiates print.
3 PRINT BUSY (TTL)
Goes HIGH during printing

Accessories provided
Thermal head cleaning sheet (1)
Media label (1)
Operating Instructions (1)
Service Contact List (1)

Medical Specifications
Protection against electric shock:
Class I
Protection against harmful ingress of water:
Ordinary
Degree of safety in the presence of flammable anesthetics or oxygen:
Not suitable for use in the presence of flammable anesthetics or oxygen
Mode of operation:
Continuous

The design and these specifications are subject to change without prior notification.

Troubleshooting

Before you call for service, please check the problems and solutions described below. If you cannot solve the problem, contact the nearest authorized dealer.

Symptom	Causes/remedies
First few prints spotted with small dots.	New paper roll just installed? →If a new roll of paper has just been loaded, paper dust may cause white spots in printed images. Press the FEED button and hold it down to feed about 15~20 cm (6~8 in.) and then release.(page 34)
Print job does not start.	• Paper does not feed. →Power switched on? →Unit connected correctly? (page 33) →Paper roll loose? (page 34) →"MU:MLT" selected from the "MULTI" menu item? (page 38) • Alarm sounds. →Paper loaded correctly? (page 34) →Has the thermal head overheated? The thermal head may overheat when the unit prints dark image continuously. Wait until the head cools down. →Is the video signal of the image input? (page 33) • Paper feeds but printing does not start. →Paper loaded with the wrong side up? (page 34)
Black borders or missing portions around the printout	This problem may result from the video signal input to the unit. →Change the setting of the "SCAN" menu item. (page 38)
Paper Jams	• Jammed paper visible? →Press the OPEN button to open the paper door, remove the printout or the paper roll, and then gently pull the jammed paper out of the unit. • Condensation collected in unit? →If the unit has just been brought into a warm room from a cold location, condensation may have formed inside the unit. Switch the unit off and let it set for 1 - 2 hours (until it warms to room temperature), then try printing again.
Printouts dirty.	Thermal head dirty? →Use the head cleaning sheet provided with the unit to clean the thermal head. (page 48)
Paper is not fed smoothly.	Platen roller dirty? →Clean the platen roller. (page 48)

Symptom	Causes/remedies
The unit stops printing while printing almost black images and the message “COOL” is displayed on the LCD.	When printing almost black images continuously, the thermal head protection circuit may shut down the unit to prevent the thermal head from overheating. →Stop printing and allow the thermal head to cool.
White lines or small letters on the screen are not printed clearly.	Is “CO:ON” selected in the “COLOR” menu item for black and white input signals? →Select “CO:OFF” in “COLOR” when the input signal is a black and white signal. (page 37)
Small squares appear over the whole screen.	Is “CO:OFF” selected in the “COLOR” menu item for color input signals? Select “CO:ON” in “COLOR” when the input signal is a color signal. (page 37)
The printout is too dark or too light.	• Is the 75 Ω select switch set correctly? (page 33) • Is the “MEDIA” menu item set correctly? (page 38) • Is the “GAMMA” menu item set correctly? (page 37)
The printout seems stretched or enlarged.	Is “AS:1:1” selected in the “ASPCT” menu item? →Select “AS:4:3.” (page 37)

Error Messages

Messages appear on the LCD under the following conditions. Take the remedial actions shown next to the messages to correct the problem.

Messages	Description and remedy
DOOR	The paper door is open. →Close the paper door until it is locked securely.
EMPTY	• There is no paper loaded. • Paper has been used up. →Load some paper. (page 34)
COOL	The protection circuit that prevents the thermal head from overheating has been activated. →Wait for the message to disappear. Printing will then resume automatically.
LOCK	The menu operation function is locked. The jog dial, CONTR control and BRIGHT control are disabled. →If you want to perform menu operations or use those controls, contact the nearest authorized dealer.

Index

C

Connections 33

E

Error messages 51

G

Getting Started 31

L

Location and function of parts and controls
- front panel 31
- rear panel 32

M

Maintenance
- cleaning the cabinet 48
- cleaning the platen roller 48
- cleaning the thermal head 48

Menu
- basic operations 40
- list 37
- loading the menu settings 41
- menu flow 36
- printing the menu list 42
- storing the menu settings 41

O

Overview 31

P

Paper
- loading 34
- notes on storing and handling 33
- paper you can use 33

Precautions
- on installation 47
- paper cutter 47
- printer carriage 47
- safety 47

Printing
- adjusting the brightness 45
- adjusting the contrast 45
- cancelling 43
- staring a print job 42

S

Specifications 49

T

Troubleshooting 50

AVERTISSEMENT

Afin de réduire les risques d'incendie ou d'électrocution, ne pas exposer cet appareil à la pluie ou à l'humidité.

Pour prévenir tout risque d'électrocution, ne pas ouvrir le boîtier. Confier l'entretien de cet appareil exlusivement à un personnel qualifié.

CET APPAREIL DOIT ÊTRE RELIÉ À LA TERRE.

Symbole

Ce symbole indique la borne équipotentielle qui ramène les différentes parties d'un système à la même tension.

Ce symbole est destiné à attirer l'attention de l'utilisateur sur la présence d'instructions d'utilisation et de maintenance (réparation) importantes dans la documentation accompagnant l'appareil.

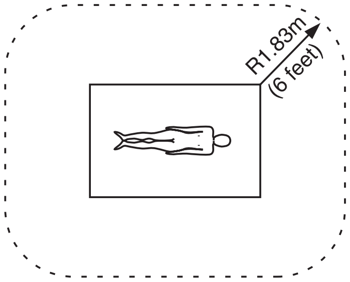
Pour les utiisateurs au Canada

Cet appareil a été homologué conformément à la norme CSA C22.2 No.601.1.

Pour les clients des Etats-Unis et du Canada

L'imprimante UP-897MD est un équipement de type non patient.
Elle ne doit pas être utilisée à proximite des patients.

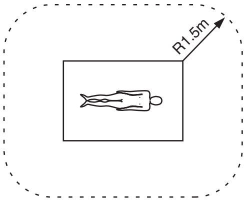
* Proximité des patients



Instructions de sécurité importantes en vue d'une utillsation dans un environnement médical

1. Tous les équipements raccordés à cet appareil doivent être agréés suivant les normes IEC60601-1, IEC60950-1, IEC60065 ou les autres normes IEC/ISO applicables à ces équipements.
2. Si cet appareil est utilisé conjointement avec d'autres équipements à proximité d'un patient*, ces équipements doivent être alimentés par un transformateur d'isolement ou raccordés à la mise à la terre du système par une borne de terre de protection sauf s'ils sont agréés suivant la norme IEC60601-1.

* Proximité d'un patient



3. Dans le cas d'une connexion à d'autres équipements, le courant de fuite peut augmenter.
4. Cet appareil génère, utilise et peut émettre des radiofréquences. S'il n'est pas installé et utilisé conformément au mode d'emploi, il peut provoquer des interférences avec d'autres appareils. Si cet appareil génère des interférences (ce que l'on peut facilement contrôler en débranchant le cordon d'alimentation de l'appareil), appliquez l'une des mesures suivantes : installez cet appareil à un autre endroit en tenant compte de l'autre équipement. Branchez cet appareil et l'autre équipement sur des circuits d'alimentation différents. Consultez votre revendeur. (Suivant les normes EN60601-1-2 et CISPR11, Classe B, Groupe 1.)

Attention

Lorsque vous éliminez l'appareil ou ses accessoires, vous devez vous conformer aux dispositions légales applicables en la matière dans votre zone géographique ou dans votre pays ainsi qu'au règlement de l'hôpital en question.

Avertissement sur le connecteur d'alimentation

Utiliser un cordon d'alimentation approprié à votre tension d'alimentation secteur locale.

1. Utiliser un cordon d'alimentation approuvé (conducteur d'alimentation 3 âmes)/connecteur d'appareil/prise avec contacts de mise à la terre conforme aux règles de sécurité de chaque pays si applicable.
2. Utiliser un cordon d'alimentation approuvé (conducteur d'alimentation 3 âmes)/connecteur d'appareil/prise conforme aux valeurs nominales (tension, ampérage) correctes.

Pour toute question concernant l'utilisation du cordon d'alimentation/connecteur/fiche ci-dessus, veuillez consulter un personnel de service après-vente qualifié.

Avertissement sur le connecteur d'alimentation pour usage médical

Prière d'utiliser le code d'alimentation électrique suivant.
Avec des connecteurs (fiche ou fiche femelle) et des types de câbles différents de ceux indiqués dans ce tableau, utiliser le câble d'alimentation électrique agréé pour votre secteur.

	Etats-Unis	**Canada**
Type de fiche	CLASSE HOPITAL*	CLASSE HOPITAL*
Fiche femelle	E62405, E35708	LR53182, LL022442, LL088408
Type de câble	E159216, E35496 Min.Type SJT Min.18 AWG	LL112007-1, LL20262, LL32121, LL84494 Min.Type SJT Min.18AWG
Intensité nominale du câble minimale	10A/125V	10A/125V
Agréation de sécurité	UL Listed	CSA

*Remarque : la fiabilité de la mise à la terre n'est réalisable que si l'équipement est branché sur une prise de courant équivalente identifiée « Hôpital uniquement» ou « Classe hôpital ».

FR

Table des matières

Prise en main

Généralités ... 57
Emplacement et fonction des composants et commandes ... 57
Panneau avant ... 57
Panneau arrière ... 58
Connexions ... 59
Connexion au port USB ... 59
Papier ... 59
Papiers Supportés ... 59
Chargement du papier dans l'imprimante ... 60
Chargement du papier ... 60

Utilisation

Réglages à l'aide du menu ... 62
Menu déroulant ... 62
Liste de menu ... 63
Fonctionnement du menu de base ... 66
Enregistrement des réglages de menu ... 68
Impression de la liste de menu ... 68
Impression ... 69
Lancement d'un travail d'impression ... 69
Sélection du sens d'impression et de la taille de l'image ... 71
Ajustement du contraste et de la luminosité ... 72

Autres

Précautions ... 74
Sécurité ... 74
Transport de l'imprimante ... 74
Installation ... 74
Entretien ... 75
Nettoyage du châssis ... 75
Nettoyage de la tête thermique ... 75
Nettoyage du rouleau du plateau ... 76
Spécifications ... 77
Dépannage ... 78
Messages d'erreur ... 79
Index ... 80

Généralités

Impression rapide, silencieuse, de haute qualité

- Tête thermique pour papier mince équipée d'un IC très rapide, capable de produire des images haute résolution à 12,8 points/mm.
- Vitesses d'impression d'environ 1 image de haute qualité (tirage unique au format A-7) toutes les 2 secondes lors de l'impression à haute vitesse (si « SP:HI » est sélectionné dans l'élément « SPEED » du menu).
- Impression monochrome : jusqu'à 256 niveaux de gris.
- Circuits de correction de température intégrés permettant d'éviter les variations de température susceptibles de maculer les impressions.

Simplicité des réglages d'impression grâce à un menu

Vous pouvez effectuer les réglages souhaités au moyen d'un menu. Vous pouvez stocker jusqu'à trois réglages qui seront conservés comme réglages d'utilisateur prédéfinis.

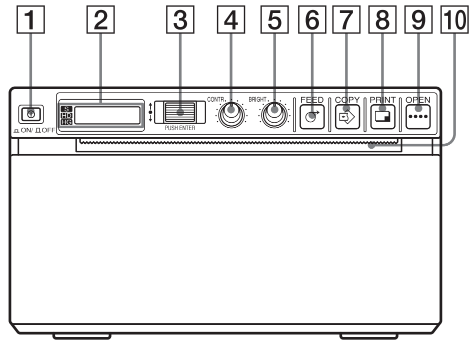
Facilité de chargement du papier

L'accès au magasin est aisé ce qui facilite le chargement du papier dans l'appareil.

Emplacement et fonction des composants et commandes

Pour plus de détails, reportez-vous aux numéros de page indiqués entre parenthèses ().

Panneau avant



1 **①Interrupteur ON/OFF (60, 66, 69, 75)**
Appuyez sur l'interrupteur ON pour mettre l'appareil sous tension. Le voyant de l'écran LCD affiche une lumière verte.

2 **Ecran LCD de l'imprimante (LCD : affichage à cristaux liquides) (62, 69)**
Le voyant affiche une lumière verte lorsque l'appareil fonctionne normalement. De même, lorsque l'appareil fonctionne normalement, le papier en cours de sélection est indiqué par le pointeur sur l'écran LCD.
Pour plus d'informations sur les types de papier, reportez-vous aux rubriques « Papier » à la page 59 et « Papier en cours de sélection » à la page 69.
En cas d'erreur, le message d'avertissement approprié s'affiche.
Lorsque des opérations sont effectuées dans les menus, les éléments et réglages des menus s'affichent.

3 **Molette Jog (66, 75)**
Utilisée pour effectuer des opérations de menu.

4 **Bouton CONTR (contraste) (72)**
Ajuste le contraste des impressions.

Prise en main

5 **Bouton BRIGHT (luminosité) (72)**
Ajuste la luminosité des impressions.

6 **Touche FEED (61, 69)**
Permet d'alimenter le papier lorsque vous la maintenez enfoncée. En cours d'impression, cette touche permet d'annuler le travail.

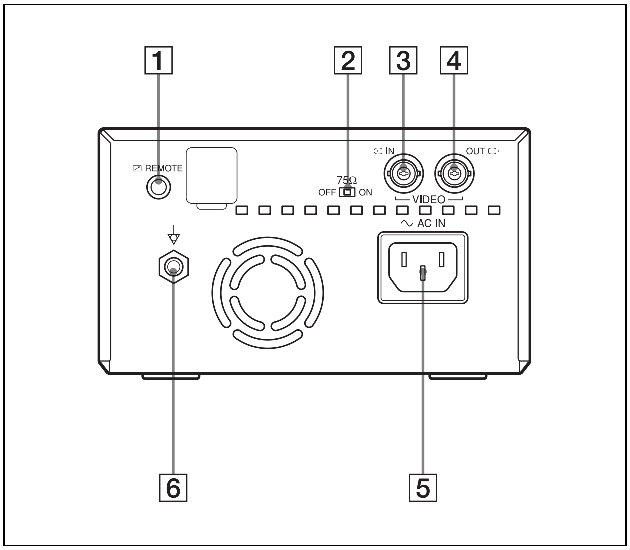
7 **Touche COPY (70)**
Imprime un exemplaire supplémentaire de la dernière impression effectuée.
Vous ne pouvez effectuer qu'une seule copie lorsque vous appuyez sur cette touche, indépendamment du nombre d'exemplaires défini au moyen du menu.

8 **Touche PRINT**
Imprime l'image actuellement affichée sur le moniteur vidéo. L'image affichée lorsque vous appuyez sur la touche PRINT est enregistrée en mémoire.

9 **Touche OPEN (61, 69)**
Permet d'ouvrir le magasin. En cours d'impression, cette touche permet d'annuler le travail.

10 **Massicot**
Coupe le papier après l'impression d'une image.

Panneau arrière



1 **Connecteur de (REMOTE) télécommande (59)**
Permet de raccorder la télécommande RM-91 ou le commutateur au pied afin de commander l'impression à distance.

2 **Sélecteur 75 Ω**
ON : Lorsque rien n'est branché sur le connecteur VIDEO OUT, réglez le sélecteur sur cette position.
OFF : Lorsqu'un moniteur vidéo ou un autre appareil vidéo est branché sur le connecteur VIDEO OUT, réglez le sélecteur sur cette position.

3 **Connecteur VIDEO IN (entrée) (type BNC)**
Pour brancher le connecteur de sortie vidéo de l'appareil vidéo.

4 **Connecteur VIDEO OUT (sortie) (type BNC)**
Pour brancher le connecteur d'entrée vidéo du moniteur vidéo. Le signal de sortie dépend du réglage de l'élément « VIDEO » du menu.

5 **Connecteur AC IN**
Utilisez un cordon d'alimentation adéquat pour votre alimentation secteur locale (non fourni). Reportez-vous à la section « Avertissement sur le connecteur d'alimentation » à la page 54 et « Avertissement sur le connecteur d'alimentation pour usage médical » à la page 55.

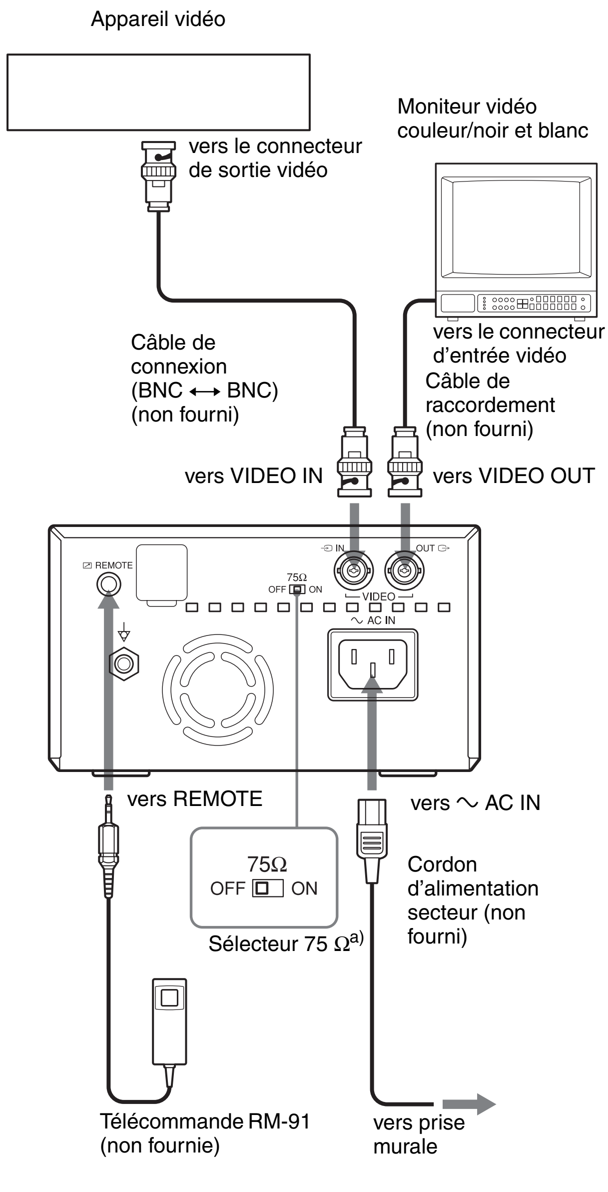
6 **Borne équipotentielle**
Permet de raccorder l'appareil à la prise équipotentielle pour amener les différentes parties du système au même potentiel. Reportez-vous à la section « Instructions de sécurité importantes en vue d'une utillsation dans un environnement médical » à la page 54.

Connexions

Remarques

- Mettez tous les périphériques hors tension avant de procéder à quelque raccordement que ce soit.
- Raccordez le cordon d'alimentation secteur en dernier.

Connexion au port USB



a) Réglez le sélecteur 75 Ω comme suit.
ON : Lorsque rien n'est branché sur le connecteur VIDEO OUT, réglez le sélecteur sur cette position.
OFF : Lorsqu'un moniteur vidéo ou un autre appareil vidéo est branché sur le connecteur VIDEO OUT, réglez le sélecteur sur cette position.

Papier

Il est recommandé d'utiliser uniquement du papier Sony UPP-110S/110HD/110HG conçu pour cette imprimante. La qualité d'impression ne peut être garantie si vous utilisez d'autres papiers. En outre, ces derniers peuvent endommager l'imprimante.
Vous ne pouvez pas utiliser le papier UPP-110HA spécifié pour l'imprimante UP-880/890MD.

Papiers Supportés

Les caractéristiques des papiers imprimante sont les suivantes.

Caractéristiques d'impression	Type de papier
TYPE I (Normal)	UPP-110S
TYPE II (Haute densité)	UPP-110HD
TYPE V (Glacé)	UPP-110HG

Remarques sur le stockage et la manipulation du papier

Stockage du papier non utilisé

- Le papier inutilisé doit être stocké dans un endroit sec, d'une température inférieure à 30°C (86°F), à l'abri de la lumière directe du soleil.
- Le papier inutilisé doit être tenu éloigné des liquides volatils et ne doit pas entrer en contact avec un liquide volatil organique, un ruban adhésif en bobine ou un composant de chlorure de vinyle.

Chargement du papier

- Manipulez le papier avec précaution lorsque vous le chargez dans l'imprimante en veillant à ne pas toucher la surface d'impression avec les doigts. Les traces de transpiration ou de graisse provenant de vos doigts risquent de maculer les impressions.
- Après avoir retiré l'étiquette du bord d'attaque du papier, tirez le papier de 15 à 20 cm (environ 6 à 8 po.) environ avant de lancer l'impression. a substance adhésive de l'étiquette risquerait d'altérer l'image.

Stockage des tirages

- Pour éviter l'atténuation ou l'altération des niveaux de gris des tirages, stockez ces dernières dans un endroit sec et frais, où la température ne dépasse pas 30°C (86°F).
- Stockez les tirages dans une pochette en polypropylène ou entre des feuilles de papier dépourvues de substance plastique.
- Conservez les tirages à l'abri d'une humidité excessive et de la lumière directe du soleil.

- Les tirages doivent être tenus éloignés des liquides volatils et ne doivent pas entrer en contact avec un liquide volatil organique, un ruban adhésif en bobine ou un composant de chlorure de vinyle.
- Pour éviter l'atténuation des couleurs, n'empilez pas les tirages sur ou sous une feuille diazo.
- Pour coller les tirages sur une autre feuille de papier, utilisez du ruban adhésif double face ou un ruban adhésif à base d'eau.
- Ne brûlez pas le papier imprimante à jeter.

Chargement du papier dans l'imprimante

Remarques

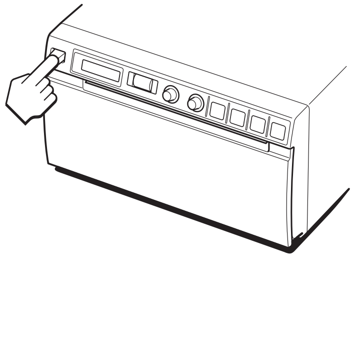
- Avant de procéder au chargement du papier dans l'imprimante, reportez-vous à la section « Remarques sur le stockage et la manipulation du papier » (page 59).
- Veillez à toujours manipuler le papier avec précaution lors de son chargement afin d'éviter toute altération de la qualité des tirages. Veillez à ne jamais plier ni froisser le papier ou encore à toucher la surface d'impression avec les doigts. En effet, les traces de transpiration provenant des doigts peuvent maculer l'impression.
- Veuillez uniquement utiliser du papier UPP-110S/ 110HD/110HG. (page 59)
- Veillez à sélectionner le papier utilisé dans l'élément « MEDIA » du menu. Vous pouvez vérifier le type de papier actuellement sélectionné grâce à l'écran LCD. (page 64)

Chargement du papier

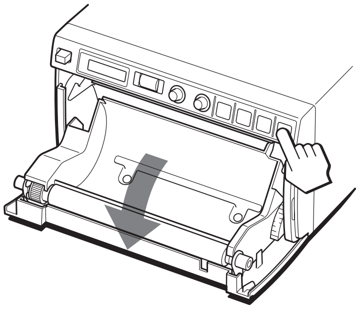
Avertissement

L'imprimante est dotée d'un massicot. Lorsque vous chargez du papier, prenez soin à ne pas toucher le massicot. Le massicot peut causser des blessures.

1 Mettez l'imprimante sous tension en appuyant sur l'interrupteur ON/OFF.
Quand le papier n'est pas encore chargé, le voyant de l'écran LCD s'allume de façon ombrée et le message « EMPTY » s'affiche.



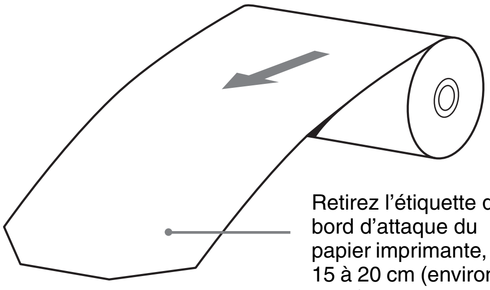
2 Ouvrez le magasin en appuyant sur la touche OPEN.

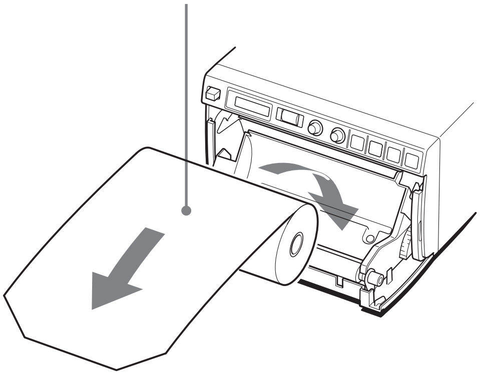


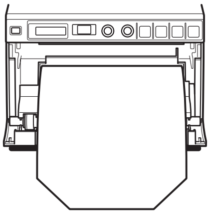
3 Retirez l'étiquette du bord d'attaque du papier imprimante, tirez environ 15 à 20 cm (environ 6 à 8 po.) environ de papier, puis placez le rouleau de papier dans le magasin.

Remarque

Pour éviter d'exposer le papier à la poussière, la saleté, etc., veillez à toujours le manipuler avec précaution lorsque vous le déballez puis le chargez dans l'imprimante. Le papier sale ou poussiéreux ne peut être utilisé pour l'impression.

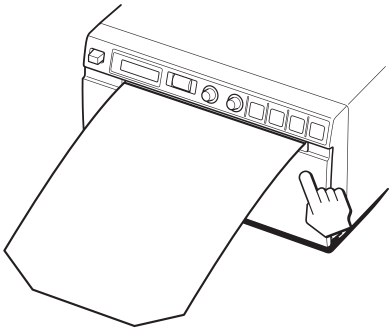


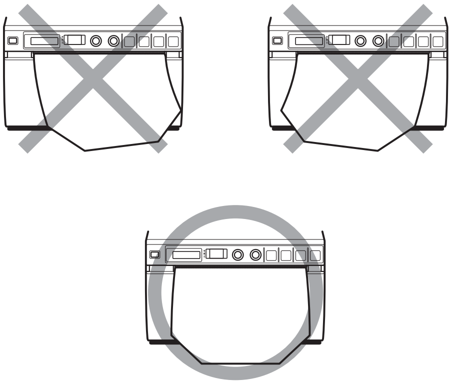




Vérifiez que le papier est droit.

4 Refermez le magasin et appuyez sur son capot.





Remarques

- Vérifiez que le papier est correctement chargé et droit. Un papier en biais est susceptible d'entraîner un bourrage.
- Si vous n'avez pas fait avancer suffisamment de papier à l'étape 3, appuyez sur la touche FEED du panneau de commande pour extraire davantage de papier de l'imprimante sans tirer sur le papier.

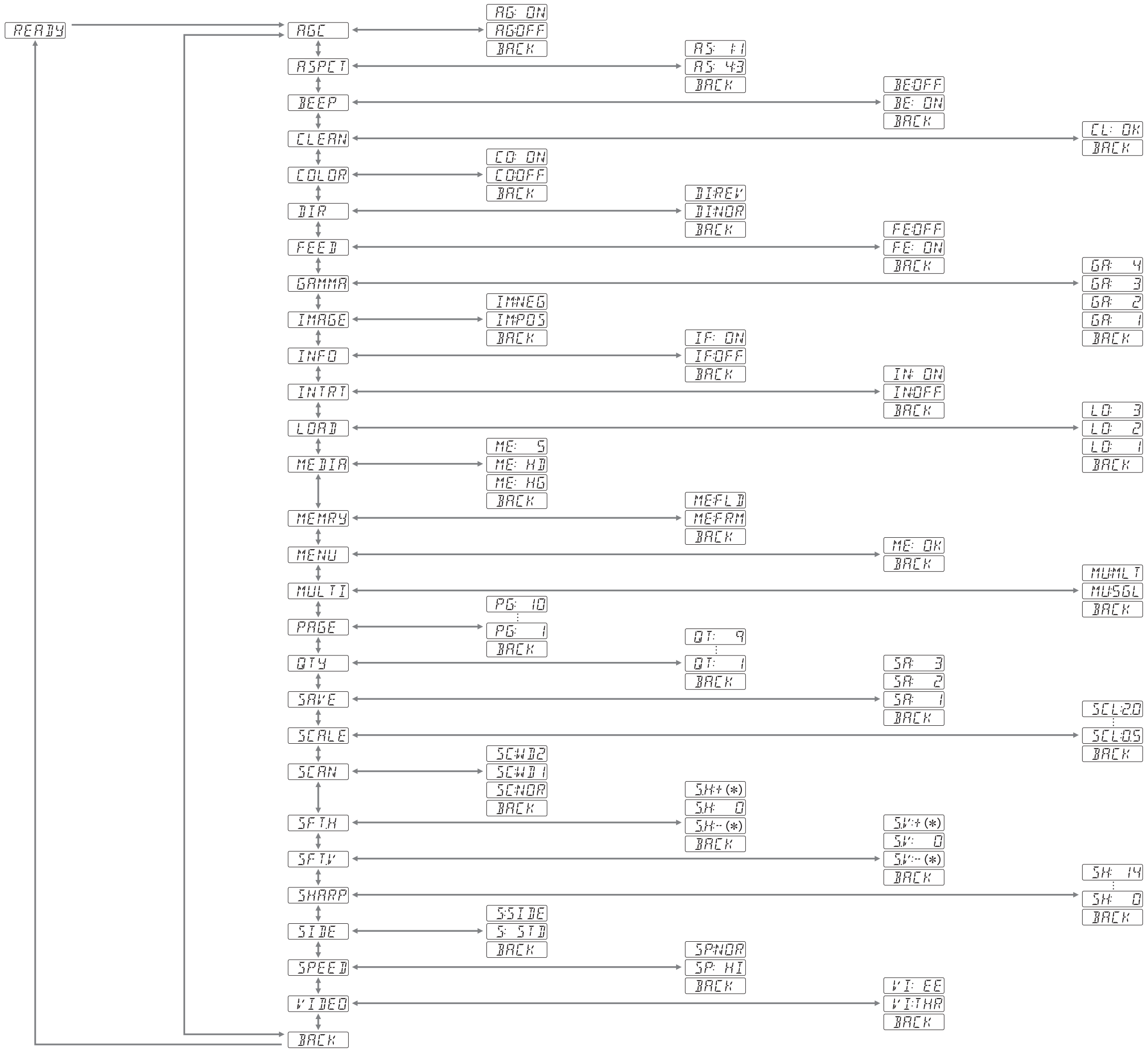
Réglages à l'aide du menu

Vous pouvez effectuer des réglages à votre convenance. Ces réglages seront conservés en mémoire une fois l'imprimante éteinte.

La configuration choisie dépend de l'utilisation prévue, des appareils raccordés et de vos préférences.
Vous pouvez stocker jusqu'à trois réglages qui seront conservés comme réglages d'utilisateur prédéfinis.

Menu déroulant

Les éléments affichés sur l'écran LCD changent au fur et à mesure que vous tournez la molette Jog, comme le montre le diagramme suivant, et vous pouvez effectuer des réglages pour chaque élément de menu.



A propos de * dans les éléments « SFT:H » et « SFT:V » du menu
* indique la valeur numérique affichée lorsque l'on tourne la molette Jog. Cette valeur numérique change selon les réglages de « SCALE», « SCAN » et « SIDE » et le système de signal de l'image à capturer.

Liste de menu

Cette rubrique décrit les menus qui s'affichent à l'écran lorsque vous tournez la molette Jog. Un réglage entouré par [ ] désigne un réglage usine.

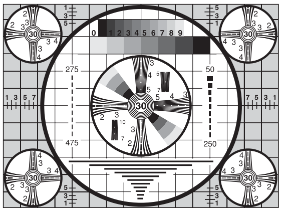
Elément	Fonction	Paramètres
AGC	Pour régler le signal d'entrée sur le niveau optimal d'impression	AG:ON : Règle le signal d'entrée sur le niveau optimal lorsque l'image imprimée apparaît trop sombre ou trop claire. [AG:OFF] : En principe, sélectionnez cette position. BACK : Annule la dernière modification effectuée et renvoie à la colonne de sélection d'un élément.
ASPCT [a)]	Pour sélectionner le format de l'image	AS:1:1 : Imprime un signal vidéo au format 1:1. [AS: 4:3] : En principe, sélectionnez cette position. BACK : Annule la dernière modification effectuée et renvoie à la colonne de sélection d'un élément.
BEEP	Permet d'activer ou de désactiver les bips de confirmation et d'erreur	BE: OFF : Le bip de confirmation est désactivé. [BE: ON] : Les bips de confirmation et d'erreur sont activés. BACK : Annule la dernière modification effectuée et renvoie à la colonne de sélection d'un élément.
CLEAN	Pour lancer l'opération de nettoyage de la tête d'impression	[CL: OK] : Démarre le nettoyage de la tête. Assurez-vous d'avoir bien utilisé la feuille de nettoyage fournie. BACK : Annule le nettoyage de la tête effectuée et renvoie à la colonne de sélection d'un élément.
COLOR	Pour sélectionner le signal d'entrée à imprimer	CO: ON : Imprime le signal couleur. [CO:OFF] : Imprime le signal noir et blanc. BACK : Annule la dernière modification effectuée et renvoie à la colonne de sélection d'un élément.
DIR [b)]	Pour sélectionner si l'impression doit commencer par le haut ou le bas de la page	DI: REV : Lance l'impression dans le sens inverse (commence par le haut de l'écran). [DI: NOR] : Lance l'impression dans le sens normal (commence par le bas de l'écran). BACK : Annule la dernière modification effectuée et renvoie à la colonne de sélection d'un élément.

Elément	Fonction	Paramètres
FEED	Pour sélectionner la méthode d'alimentation du papier devant être utilisée après l'impression	FE: OFF : Alimente moins de papier entre les impressions par souci d'économie, ou lors de l'impression de plusieurs images sur la même feuille. Vous pouvez imprimer plusieurs images sur une même feuille. Toutefois, en raison de l'espace réduit qui existe entre chaque image, vous devez appuyer sur la touche FEED avant de couper le papier. [FE: ON] : Alimente du papier blanc entre les impressions. BACK : Annule la dernière modification effectuée et renvoie à la colonne de sélection d'un élément.
GAMMA (Lorsque « ME:S » est sélectionné dans « MEDIA », GAMMA est réglé sur TONE 1.)	Pour sélectionner le ton des impressions (niveaux de densité)	GA:4 : TONE 4 niveau le moins dense GA:3 : TONE 3 densité élevée [GA:2] : TONE 2 densité standard GA:1 : TONE 1 densité moyenne BACK : Annule la dernière modification effectuée et renvoie à la colonne de sélection d'un élément.
IMAGE	Pour sélectionner si l'impression doit être positive ou négative	IM:NEG : Effectue des impressions négatives. [IM:POS] : Effectue des impressions normales. BACK : Annule la dernière modification effectuée et renvoie à la colonne de sélection d'un élément.
INFO	Pour sélectionner si les conditions d'impression (telles que les informations sur le contraste, la luminosité, les gammas et la netteté) doivent être imprimées en-dessous de l'image	IF:ON : Imprime les informations. [IF:OFF] : N'imprime pas les informations. BACK : Annule la dernière modification effectuée et renvoie à la colonne de sélection d'un élément.

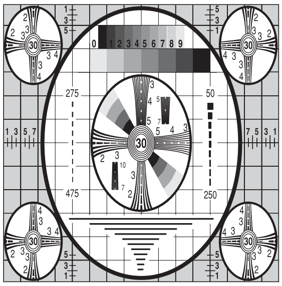
Elément	Fonction	Paramètres
INTRT	Pour changer le fonctionnement de la fonction d'interruption de l'impression	IN:ON : Arrête l'impression en cas d'appui sur la touche PRINT pendant l'impression et impression de la nouvelle image capturée au moment de l'appui sur la touche PRINT. [IN:OFF] : N'arrête pas l'impression même si la touche PRINT est actionnée. Après avoir terminé l'impression en cours, l'imprimante imprime l'image capturée au moment de l'appui sur la touche PRINT. BACK : Annule la dernière modification effectuée et renvoie à la colonne de sélection d'un élément.
LOAD	Pour charger les réglages enregistrés	LO:3 : Charge les réglages « SA:3 » enregistrés au moyen de la fonction « SAVE » du menu. LO:2 : Charge les réglages « SA:2 » enregistrés au moyen de la fonction « SAVE » du menu. [LO:1] : Charge les réglages « SA:1 » enregistrés au moyen de la fonction « SAVE » du menu. BACK : Annule la dernière modification effectuée et renvoie à la colonne de sélection d'un élément.
MEDIA	Pour sélectionner le type de papier	ME:S : Utilise le type UPP-110S. ME:HD : Utilise le type UPP-110HD. [ME: HG] : Utilise le type UPP-110HG. BACK : Annule la dernière modification effectuée et renvoie à la colonne de sélection d'un élément.
MEMRY	Pour sélectionner le mode de mémoire	ME:FLD : Lors de l'impression d'images rapides (comme le lancement d'une balle), le tirage peut être flou. Si cette situation se produit, sélectionnez ce réglage. [ME:FRM] : En principe, sélectionnez cette position. BACK : Annule la dernière modification effectuée et renvoie à la colonne de sélection d'un élément.
MENU	Pour imprimer les réglages de menu actuellement sélectionnés	[ME:OK] : Imprime la liste de menu actuellement sélectionnée. BACK : Annule l'impression et renvoie à sa colonne d'élément.
MULTI	Pour spécifier le nombre d'images à imprimer sur une feuille du tirage	MU:MLT : Imprime deux images sur une feuille du tirage (deux images réduites). [MU:SGL] : Imprime une image. (image pleine page). BACK : Annule la dernière modification effectuée et renvoie à la colonne de sélection d'un élément.
PAGE (Cet élément n'est pas affiché lorsque « MU:MLT » est sélectionné dans « MULTI »)	Chaque fois que vous appuyez sur la touche PRINT, l'image est enregistrée en mémoire. Possibilité d'enregistrer jusqu'à dix images. Vous pouvez sélectionner l'image voulue parmi 10 types d'images en mémoire et effectuer une impression.	[PG:1] à PG:10 : Imprime lorsque vous sélectionnez l'image UNIQUE voulue parmi les images 1 à 10 et que vous appuyez sur la touche COPY. BACK : Annule la dernière modification effectuée et renvoie à la colonne de sélection d'un élément.
QTY	Pour définir le volume d'impression	[QT:1] à QT:9 : Réalise les mêmes tirages. Vous pouvez sélectionner le nombre voulu d'impressions entre 1 et 9. BACK : Annule la dernière modification effectuée et renvoie à la colonne de sélection d'un élément.
SAVE	Pour enregistrer jusqu'à trois sortes de réglages	SA:3 : Enregistre les réglages de menu sous le No.3. SA:2 : Enregistre les réglages de menu sous le No.2. [SA:1] : Enregistre les réglages de menu sous le numéro 1. BACK : Annule la dernière modification effectuée et renvoie à la colonne de sélection d'un élément.

Elément	Fonction	Paramètres
SCALE	Pour agrandir ou réduire l'image à imprimer	L'échelle peut être réglée entre SCL:2,0 (deux fois) et SCL:0,5 (la moitié) par pas de 0,5. [SCL:1,0] est le réglage d'usine. BACK : Annule la dernière modification effectuée et renvoie à la colonne de sélection d'un élément.
SCAN [c]	Pour régler la plage de l'image à imprimer	La plage est élargie dans l'ordre SC:NOR, SC:WD1 et SC:WD2. BACK : Annule la dernière modification effectuée et renvoie à la colonne de sélection d'un élément.
SFT.H	Pour régler la position horizontale de l'image à imprimer	[S.H:0] : Règle la position horizontale. La valeur numérique affichée lorsque l'on tourne la molette Jog dépend des réglages de « SCALE », « SCAN » et « SIDE » et du système de signal de l'image à capturer. BACK : Annule la dernière modification effectuée et renvoie à la colonne de sélection d'un élément.
SFT.V	Pour régler la position verticale de l'image à imprimer	[S.V:0] : Règle la position verticale. La valeur numérique affichée lorsque l'on tourne la molette Jog dépend des réglages de « SCALE », « SCAN » et « SIDE » et du système de signal de l'image à capturer. BACK : Annule la dernière modification effectuée et renvoie à la colonne de sélection d'un élément.
SHARP	Pour ajuster la netteté de l'impression	Vous pouvez régler la netteté sur l'un des 15 niveaux, sur une une échelle de 0 à 14. Un réglage de 0 signifie que l'impression n'est pas accentuée. Le réglage de 2 est le réglage d'usine. BACK : Annule la dernière modification effectuée et renvoie à la colonne de sélection d'un élément.
SIDE [d]	Pour sélectionner le sens dans lequel l'image doit être imprimée	S:SIDE : Imprime l'image orientée selon un angle de 90 degrés dans le sens contraire des aiguilles d'une montre. S:STD : Imprime l'image dans le même sens que celui affiché sur le moniteur. BACK : Annule la dernière modification effectuée et renvoie à la colonne de sélection d'un élément.
SPEED (Lorsque « ME:HD » est sélectionné dans « MEDIA », la vitesse d'impression est réglée sur « SP:NOR » et cet élément n'est pas affiché.)	Pour sélectionner la rapidité d'impression	SP:NOR : Imprime à vitesse normale. SP:HI : Imprime à grande vitesse. BACK : Annule la dernière modification effectuée et renvoie à la colonne de sélection d'un élément. **Remarque** Lorsque « SP:HI » est sélectionné, la consommation est légèrement supérieure par rapport à la consommation à la vitesse d'impression normale.
VIDEO	Pour sélectionner la sortie de signal vidéo au connecteur VIDEO OUT sur le panneau arrière	VI:EE : Sort le signal après son traitement par l'imprimante. VI:THR : Sort le signal directement, sans traitement. BACK : Annule la dernière modification effectuée et renvoie à la colonne de sélection d'un élément.
BACK	Pour quitter le mode menu	Affichez cet élément puis appuyez sur la molette Jog. Le menu mode est fermé et « READY » s'affiche sur l'écran LCD.

a) Le format est le suivant.

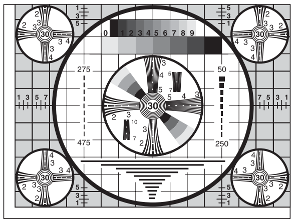


Lorsque AS:4:3 est sélectionné

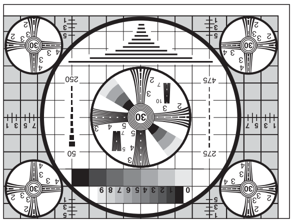


Lorsque AS:1:1 est sélectionné

b) Le sens d'impression est le suivant.

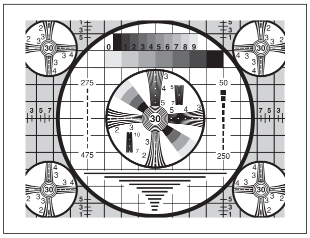


Lorsque DI:NOR est sélectionné

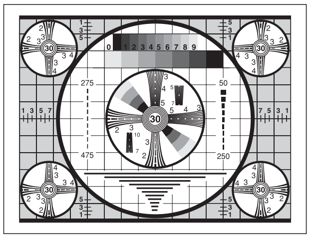


Lorsque DI: REV est sélectionné

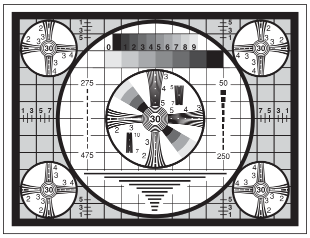
c) La plage de l'image à imprimer est la suivante.



Lorsque SC:NOR est sélectionné



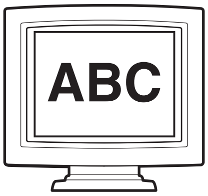
Lorsque SC:WD1 est sélectionné



Lorsque SC:WD2 est sélectionné

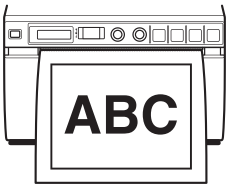
d) Le sens d'impression des images imprimées est le suivant.

Image affichée sur le moniteur

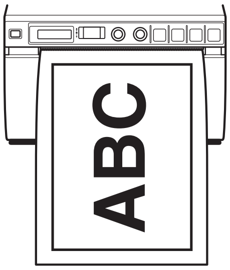


Tirages

Quand le mode S:STD est sélectionné.



Quand le mode S:SIDE est sélectionné

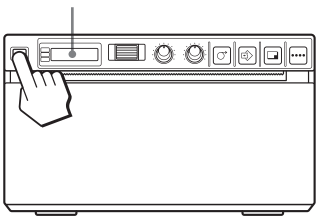


Fonctionnement du menu de base

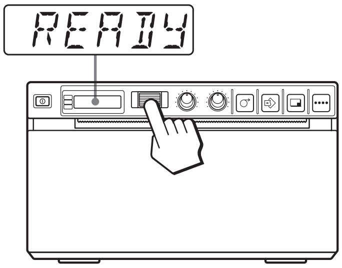
Cette section décrit les opérations de menu de base communes à chaque menu, en prenant pour exemple la rubrique « Détermination du sens d'impression ».

1 Mettez l'interrupteur ON/OFF sur ON pour mettre l'imprimante sous tension.
Le voyant de l'écran LCD affiche une lumière verte.

Ecran LCD

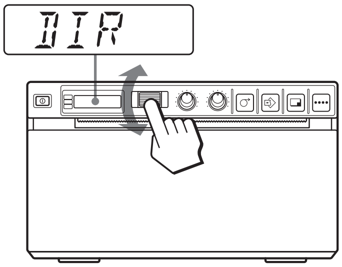


2 Vérifiez que « READY » s'affiche sur l'écran LCD, puis appuyez sur la molette Jog.

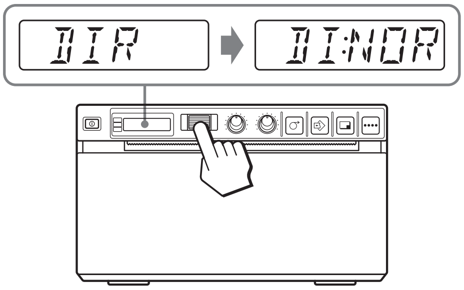


L'imprimante passe en mode menu.
Lorsque vous effectuez la toute première opération de menu après avoir installé l'imprimante, l'élément supérieur du menu « AGC » s'affiche.
Si vous avez déjà effectué une opération de menu, l'élément que vous avez défini en dernier s'affiche.

3 Affichez « DIR » en tournant la molette Jog.

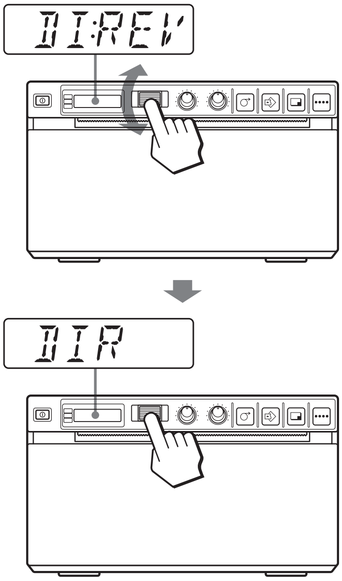


4 Appuyez sur la molette Jog.



L'imprimante passe au mode dans lequel vous pouvez sélectionner le sens d'impression.
Le réglage d'usine « DI:NOR » s'affiche sur l'écran LCD. Le réglage actuellement sélectionné est « DI:NOR ».
Dans cet exemple, vous allez modifier le réglage pour le définir sur « DI:REV ».

5 Affichez « DI:REV » sur l'écran LCD en tournant la molette Jog, puis appuyez sur la molette Jog.



« DI:REV » est maintenant le sens d'impression enregistré.

Remarque

Si environ 20 secondes s'écoulent sans qu'aucune opération de menu n'ait été effectuée après l'affichage d'un élément ou réglage de menu, l'écran LCD revient à l'affichage « READY » et l'imprimante quitte le mode menu. Dans ce cas, le réglage de « DIR » n'est pas modifié.

Annulation du réglage

1 Affichez « BACK » en tournant la molette Jog à l'étape 5.

2 Appuyez sur la molette Jog.
L'écran LCD revient à l'affichage « DIR ».

Pour poursuivre les opérations de menu

Effectuez les réglages en répétant les étapes 3 à 5.

Pour achever les opérations de menu

1 Affichez « BACK » en tournant la molette Jog après avoir effectué l'opération de l'étape 5.

2 Appuyez sur la molette Jog.
L'affichage revient à « READY ».
L'imprimante quitte le mode menu.

Fonction de verrouillage du menu

Si le message « LOCK » s'affiche et que l'alarme se déclenche lorsque vous appuyez sur la molette d'accélération, la molette d'accélération est désactivée parce que la fonction d'utilisation du menu est verrouillée. Si vous souhaitez utiliser une fonction du menu, contactez votre revendeur.

Enregistrement des réglages de menu

Vous pouvez stocker jusqu'à trois ensembles de réglages au moyen du menu, que vous pouvez charger quand vous en avez besoin. L'imprimante conserve ces réglages même en cas de mise hors tension.

Remarque

Lorsque vous utilisez l'imprimante pour la première fois avoir l'avoir achetée, les réglages d'usine sont enregistrés dans les trois sélections conservées en mémoire.

Enregistrement de nouveaux réglages

1. Effectuez l'ensemble des réglages désirés.
2. Affichez « SAVE » en tournant la molette Jog puis appuyez sur celle-ci.
3. Affichez le numéro d'enregistrement désiré en tournant la molette Jog puis appuyez sur celle-ci. Les réglages effectués au cours de l'étape 1 sont enregistrés dans le numéro sélectionné au cours de l'étape 3.

Chargement des réglages désirés

Vous pouvez charger les réglages désirés et effectuer les impressions selon les réglages chargés.

1. Vérifiez que « READY » s'affiche sur l'écran LCD, puis appuyez sur la molette Jog.
2. Affichez « LOAD » en tournant la molette Jog puis appuyez sur celle-ci.
3. Affichez le numéro correspondant aux réglages désirés puis appuyez sur la molette Jog. Les réglages correspondant au numéro sélectionné lors de l'étape 3 sont chargés.

Lorsque vous modifiez les réglages chargés

L'imprimante effectue les travaux d'impression en fonction des réglages modifiés. Dans ce cas, l'imprimante effectue les travaux en fonction de ces réglages jusqu'à ce que vous chargiez un autre ensemble de réglages, même si vous l'éteignez. Lorsque vous chargez un autre groupe de réglages, les réglages précédemment chargés ne sont plus appliqués.

Pour conserver des réglages précédemment chargés

Exemple : Les réglages enregistrés sous le numéro « SA:1 » sont chargés et doivent être modifiés. Pour conserver les réglages originaux de « SA:1 » et enregistrer les nouveaux réglages à l'emplacement « SA:2 », procédez comme suit.

1. Chargez les réglages de « LO:1 » en suivant la procédure de chargement des réglages désirés.
2. Modifiez les réglages chargés en fonction de vos besoins.
3. Sélectionnez « SA:2 » en suivant la procédure d'enregistrement des réglages.
4. Appuyez sur la molette Jog. Les réglages modifiés à l'étape 2 sont enregistrés sous « SA:2 » (numéro 2).

Impression de la liste de menu

Vous pouvez effectuer une impression des réglages de menu actuels.

1. Appuyez sur la molette Jog. L'élément de menu que vous avez modifié pour la dernière fois s'affiche.
2. Affichez « MENU » en tournant la molette Jog puis appuyez sur celle-ci.
3. Affichez « ME:OK » en tournant la molette Jog puis appuyez sur celle-ci. L'imprimante démarre l'impression des réglages de menu actuels. « MENU » s'affiche sur l'écran LCD.
4. Affichez « BACK » en tournant la molette Jog puis appuyez sur celle-ci. Le message « READY » s'affiche sur l'écran LCD et l'imprimante revient au mode d'impression normal.

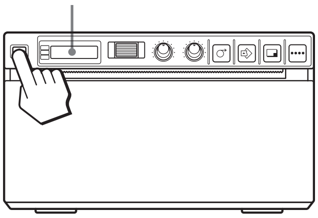
Impression

Avant de lancer un travail d'impression
Veillez à toujours vérifier les points suivants :
- L'imprimante est-elle connectée correctement ? (page 59)
- Le papier est-il chargé correctement ? (page 60)
- Les réglages de menus désirés ont-ils été effectués ? (page 62)
- Source vidéo en cours d'entrée ? (page 59)

Lancement d'un travail d'impression

Vous pouvez définir le sens d'impression, la taille de l'image et toutes sortes de réglages pour l'impression à l'aide du menu. Cette section décrit le fonctionnement après les différents réglages effectués à l'aide du menu.

1 Mettez l'interrupteur ON/OFF sur ON pour mettre l'imprimante sous tension.
Le voyant de l'écran LCD affiche une lumière verte, et « READY » s'affiche sur l'écran LCD.



2 Démarrez la source vidéo.
Cette opération s'effectue à l'aide des commandes de l'appareil vidéo faisant office de source.

3 Appuyez sur la touche PRINT lorsque l'image à imprimer apparaît sur le moniteur vidéo.
L'image affichée à l'instant où vous appuyez sur la touche PRINT est enregistrée en mémoire et imprimée immédiatement. Jusqu'à 10 images capturées peuvent être enregistrées dans la mémoire. Lorsque ce nombre est dépassé, les anciennes images sont successivement écrasées par les nouvelles.

Lorsque le message s'affiche sur l'écran LCD

Si un problème survient, le voyant de l'écran LCD s'affiche de façon ombrée et le message d'erreur indiquant le type de problème s'affiche sur l'écran LCD.

Message	Cause et solution
EMPTY	Le papier n'est pas chargé. Chargez du papier.
DOOR	Le magasin est ouvert. Fermez le magasin.

Si l'imprimante s'arrête d'imprimer en cours d'impression

En cas d'impression d'images presque noires en continu, le circuit de protection de la tête thermique peut arrêter l'imprimante pour éviter la surchauffe de la tête thermique. Dans ce cas, le message « COOL » s'affiche sur l'écran LCD.
Attendez que la tête refroidisse et que ce message disparaisse.

Pour annuler une tâche d'impression en cours

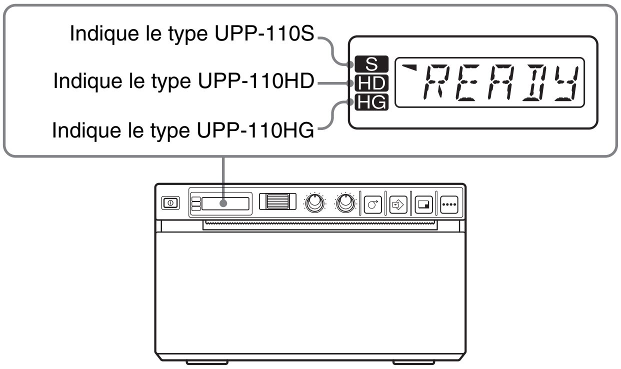
Pour annuler un travail d'impression en cours, appuyez sur la touche OPEN ou FEED.

Pour alimenter l'imprimante en papier

Pour alimenter l'imprimante en papier, appuyez sur la touche FEED. L'imprimante continue à faire avancer le papier tant que vous maintenez la touche FEED enfoncée. Veillez à ne pas tirer le papier de l'imprimante manuellement.

Papier en cours de sélection

Vous pouvez vérifier le type de papier actuellement sélectionné grâce à l'écran LCD. Le pointeur pointe vers le papier en cours de sélection. Dans la figure suivante, le papier en cours de sélection est le papier UPP-110S.



Si le tirage est flou

Une image animée d'un mouvement rapide peut être floue à l'impression. Si cette situation se produit, réalisez une impression en ayant sélectionné « ME:FLD » dans l'élément « MEMRY » du menu.

Utilisation

Impression d'images enregistrées en mémoire

Chaque fois que vous appuyez sur la touche PRINT, l'image est enregistrée en mémoire. Lorsque 10 images ont été enregistrées, l'image la plus ancienne est écrasée par l'image nouvellement saisie et ainsi de suite. Il y a toujours 10 images en mémoire. Vous pouvez charger l'image voulue parmi elles et l'imprimer à l'aide du menu.

1 Sélectionnez « PAGE » parmi les éléments du menu.
Pour des informations détaillées sur l'utilisation du menu, reportez-vous à « Fonctionnement du menu de base » à la page 66.

2 Appuyez sur la molette Jog.
« PG:1 » est affiché sur l'écran LCD et l'image imprimée en dernier est affichée sur le moniteur. L'image affichée vieillit lorsque le nombre augmente.

3 Affichez l'image à imprimer en tournant la molette Jog vers le haut ou le bas.

4 Appuyez sur la molette Jog.
L'image saisie à l'étape 3 est chargée.

5 Appuyez sur la touche COPY.
L'image sélectionnée à l'étape 3 est imprimée.

Impression de deux images différentes sur une seule feuille

Lorsque vous sélectionnez « MU:MLT » dans l'élément « MULTI » du menu, vous pouvez saisir deux images différentes et les imprimer sur une seule page.

1 Sélectionnez « MU:MLT » dans l'élément « MULTI » du menu.

2 Appuyez sur la touche PRINT à l'étape 3 en suivant les opérations décrites dans la section « Lancement d'un travail d'impression » à la page 69.
L'image affichée à l'instant où vous appuyez sur la touche PRINT est saisie.

3 Appuyez sur la touche PRINT de nouveau lorsque l'image à imprimer apparaît sur le moniteur vidéo.
L'imprimante commence à imprimer deux images sur une seule feuille comme suit.

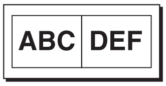


Image saisie à l'étape 2 — Image saisie à l'étape 3

Lorsque « IF:ON » est sélectionné dans « INFO », les données sur le contraste et la luminosité de l'image capturée à l'étape 3 sont imprimées en-dessous de l'image.

Exécution de copies du dernier tirage

Appuyez sur la touche COPY. L'imprimante effectue une copie du dernier tirage. L'image du dernier tirage est conservée dans la mémoire de l'imprimante jusqu'à ce que vous effectuiez un tirage d'une autre image ou que vous mettiez l'appareil hors tension. Vous pouvez effectuer une copie uniquement, indépendamment du nombre d'exemplaires défini au moyen du menu.

Remarques

- Si vous appuyez sur la touche COPY juste après avoir mis l'imprimante sous tension, le signal d'alarme retentit car la mémoire est vide.
- La mise hors tension de l'imprimante provoque l'effacement de l'image enregistrée en mémoire.

Pour effectuer plusieurs copies du même tirage

Appuyez autant de fois que nécessaire sur la touche COPY (20 copies maximum, premier tirage inclus) pendant la copie du premier tirage. Chaque fois que vous appuyez sur la touche COPY, un signal bref retentit.

Remarque

Le nombre de tirages imprimés en appuyant sur la touche PRINT est également inclus dans le nombre maximum. Par exemple, si vous appuyez sur la touche COPY après avoir appuyé sur la touche PRINT cinq fois et fait cinq tirages, le nombre de copies multiples du même tirage devient 15.

Pour interrompre la copie

Appuyez sur la touche OPEN ou FEED pendant la copie.

Pour effectuer des copies dans différents sens et tailles

Vous pouvez imprimer l'image enregistrée en dernier dans différents sens et tailles. Avant d'appuyer sur la touche COPY, sélectionnez le sens et la taille d'impression.

Sélection du sens d'impression et de la taille de l'image

Vous pouvez sélectionner le sens d'impression et la taille de l'image à l'aide des éléments suivants du menu.
« SIDE » : Sélectionne le sens dans lequel l'image doit être imprimée.
« SCALE » : Elargit ou réduit la taille de l'image à imprimer.
SFT.H et SFT.V : Sélectionne la plage d'impression verticalement et horizontalement.

Sélection du sens d'impression

Vous pouvez sélectionner le sens d'impression à l'aide de l'élément « SIDE » du menu.

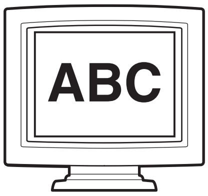
Pour imprimer dans le même sens que celui affiché sur le moniteur vidéo

Sélectionner « S:STD » dans l'élément « SIDE » du menu.

Pour imprimer l'image tournée de 90 degrés dans le sens contraire des aiguilles d'une montre

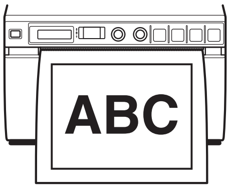
Sélectionner « S:SIDE » dans l'élément « SIDE » du menu.

Image affichée sur le moniteur vidéo

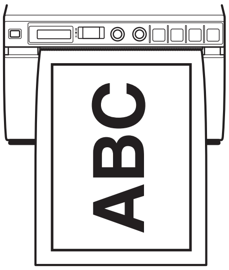


Tirages

Quand le mode « S:STD » est sélectionné



Quand le mode « S:SIDE » est sélectionné



Sélection de la taille de l'image

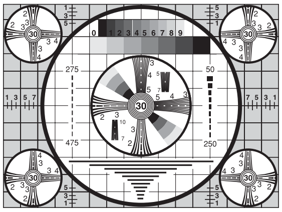
L'élément « SCALE » du menu permet d'élargir ou de réduire la taille de l'image. Vous pouvez régler la taille de l'image entre la moitié de la taille normale de l'image jusqu'à deux fois sa taille par pas de 0,1.

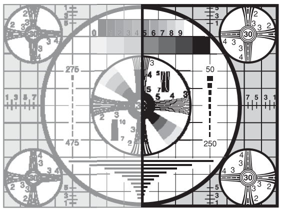
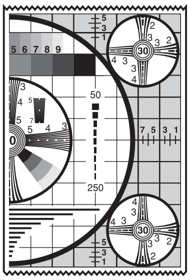
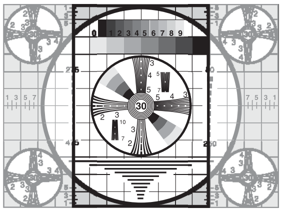
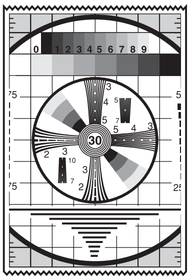
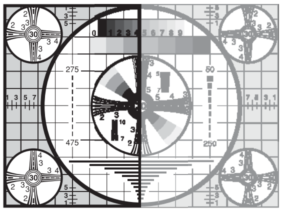
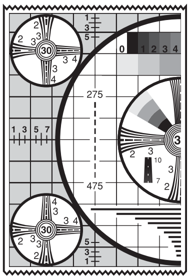
Pour régler la plage de l'image à imprimer

Vous pouvez régler la plage d'impression verticalement et horizontalement à l'aide des éléments « SFT.V » et « SFT.H » du menu.
Vous pouvez définir la plage tout en observant l'image affichée sur le moniteur.
L'image affichée sur le moniteur se déplace selon la valeur modifiée à l'aide de la molette Jog. L'image dans le cadre est imprimée.

Exemple : « S:STD » sélectionné dans « SIDE » et « SCL:2.0 » sélectionné dans « SCALE »

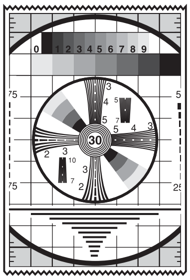
Image d'origine



Images sur le moniteur	Tirages
Lorsque « S.H:+(*) » est sélectionné 	
Lorsque « S.H:0 » est sélectionné 	
Lorsque « S.H:–(*) » est sélectionné 	

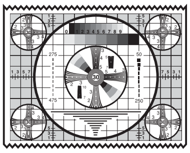
Différence de taille du tirage selon le réglage de « SCALE »

Lorsque « S:STD » est sélectionné dans « SIDE » et « SCL:2.0 » est sélectionné dans « SCALE »



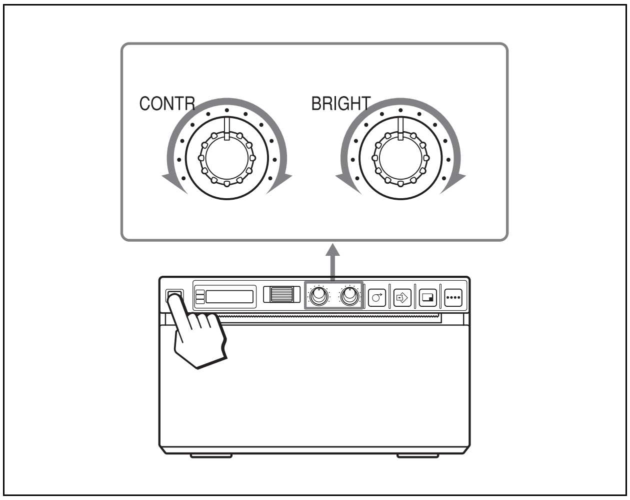
La longueur est deux fois supérieure à la longueur lorsque « SCL:1.0 » est sélectionné.

Lorsque « S:STD » est sélectionné dans « SIDE » et « SCL:1.0 » est sélectionné dans « SCALE »



Ajustement du contraste et de la luminosité

Vous pouvez ajuster le contraste et la luminosité de l'imprimante au moyen des boutons CONTR et BRIGHT situés sur le panneau avant.



Pour ajuster le contraste

Ajustez le contraste des impressions au moyen du bouton CONTR.

Pour accentuer le contraste : Tournez le bouton CONTR dans le sens des aiguilles d'une montre.

Pour atténuer le contraste : Tournez le bouton CONTR dans le sens contraire des aiguilles d'une montre.

Pour ajuster la luminosité

Ajustez la luminosité des impressions au moyen du bouton BRIGHT.

Pour accentuer la luminosité : Tournez le bouton BRIGHT dans le sens des aiguilles d'une montre.

Pour atténuer la luminosité : Tournez le bouton BRIGHT dans le sens contraire des aiguilles d'une montre.

Remarque

Lorsque la fonction d'utilisation du menu est verrouillée, les boutons CONTR et BRIGHT sont également désactivés en plus de la molette Jog. Si vous souhaitez utiliser les commandes CONTR et BRIGHT, contactez votre revendeur.

Précautions

Sécurité

- Vérifiez la tension secteur avant toute utilisation. Faites uniquement fonctionner l'appareil avec l'une des sources d'alimentation spécifiées dans les « Spécifications ».
- Interrompez immédiatement le fonctionnement de l'imprimante si un liquide ou un solide tombe à l'intérieur du châssis. Débranchez l'appareil et faites-le vérifier par le personnel qualifié.
- Débranchez l'appareil de la prise murale si vous prévoyez de ne pas l'utiliser pendant une période prolongée. Débranchez le câble d'alimentation en le saisissant par la fiche. Ne jamais tirer sur le câble proprement dit.
- Ne démontez pas le châssis. Confier l'entretien de cet appareil exclusivement à un personnel qualifié.
- Branchez la fiche du câble d'alimentation sur une prise murale mise à la terre. L'imprimante doit être correctement reliée à la terre.

Précaution relative au massicot

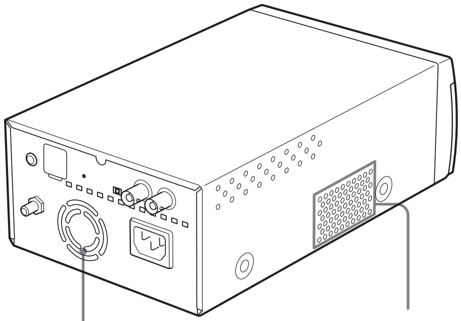
L'imprimante est dotée d'un massicot. Lorsque vous chargez du papier ou que vous nettoyez l'imprimante, prenez soin à ne pas toucher le massicot. Le massicot peut causser des blessures.

Transport de l'imprimante

Ne transportez et ne déplacez pas l'imprimante quand le rouleau de papier est installé à l'intérieur. Cela risquerait de provoquer un dysfonctionnement.

Installation

- Installez l'imprimante sur une surface plane et stable. Si vous utilisez l'imprimante placez sur une surface inégale, l'imprimante risque de présenter une défaillance.
- N'installez pas l'imprimante à proximité de sources de chaleur. Evitez les emplacements proches de radiateurs ou de conduites d'air chaud ou soumis aux rayons de soleil ou à de la poussière, à une humidité excessive, à des chocs mécaniques ou à des vibrations.
- Veillez à assurer une circulation de l'air adéquate pour éviter toute surchauffe. Ne placez pas l'imprimante sur des surfaces telles que des tapis, etc., ou à proximité de rideaux et de draperies.
- Pour éviter que l'imprimante ne surchauffe, laissez suffisamment d'espace afin de permettre à l'air de circuler à travers les orifices de ventilation (entrée) situés à gauche et les orifices de ventilation (sortie) situés à l'arrière du châssis.



- Si l'imprimante est soumise à des variations brusques et importantes de température, par exemple lorsqu'elle est transportée d'un local froid à un local chaud ou lorsqu'elle reste dans un local avec un chauffage ayant tendance à produire une forte humidité, de la condensation risque de se former à l'intérieur de l'imprimante. Cela risque d'entraîner son dysfonctionnement, voire de provoquer une défaillance si vous persistez à vouloir l'utiliser. Si de l'humidité ou de la condensation se forme, mettez l'imprimante hors tension et laissez-la reposer pendant au moins une heure.

Entretien

Nettoyage du châssis

Pour nettoyer la surface de l'imprimante, utilisez un chiffon humide ou un chiffon imbibé d'eau et d'un détergent doux.
Pour nettoyer le boîtier de l'imprimante en évitant de l'endommager, veillez à ne jamais utiliser d'alcool ni diluant ni tout solvant organique ou produit abrasif.

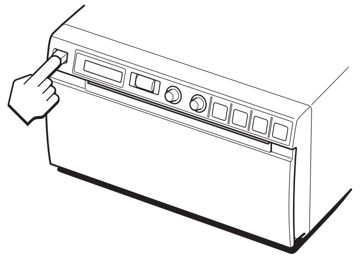
Nettoyage de la tête thermique

Si une impression est sale ou si elle contient des bandes blanches, nettoyez la tête thermique à l'aide de la feuille de nettoyage fournie avec l'imprimante.
Effectuez la procédure de nettoyage de la tête à l'aide du menu.

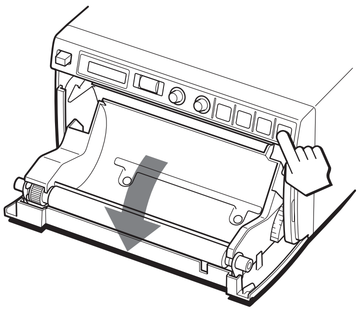
Remarque

L'imprimante est dotée d'un massicot. Prenez garde à ne pas toucher la lame du massicot lorsque vous nettoyez la tête thermique. Le massicot peut causser des blessures.

1 Mettez l'interrupteur ON/OFF sur ON pour mettre l'imprimante sous tension.

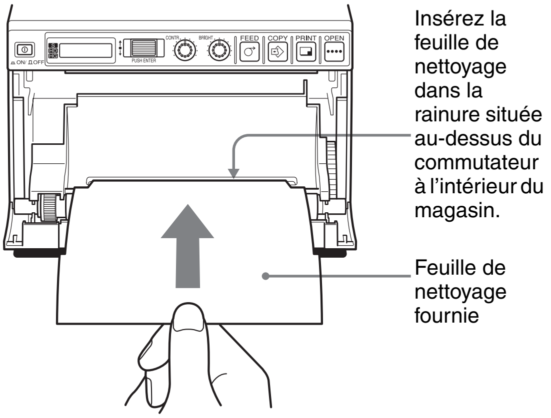


2 Ouvrez le magasin en appuyant sur la touche OPEN.



Si le papier est chargé dans le magasin, retirez-le.

3 En orientant la face noire vers le bas, insérez la feuille de nettoyage dans la rainure située à l'intérieur du magasin.



4 Refermez le magasin et appuyez sur son capot jusqu'à ce qu'il s'enclenche.

5 Appuyez sur la molette Jog.
L'élément de menu que vous avez modifié pour la dernière fois s'affiche.

6 Affichez « CLEAN » en tournant la molette Jog puis appuyez sur celle-ci.

7 Confirmez que « CL:OK » est affiché, puis appuyez sur la molette Jog.
L'imprimante commence à nettoyer la tête d'impression.
« CLEAN » s'affiche sur l'écran LCD.
Lorsque la feuille de nettoyage s'arrête et que le bip d'alerte sonne, le nettoyage est terminé.

8 Ouvrez le magasin en appuyant sur la touche OPEN puis retirez la feuille de nettoyage.

9 Refermez le magasin et appuyez sur son capot jusqu'à ce qu'il s'enclenche.

Remarque

Vous ne devez nettoyer la tête thermique que lorsque cela est nécessaire. En effet, un nettoyage trop fréquent de la tête thermique risque d'endommager cette dernière.

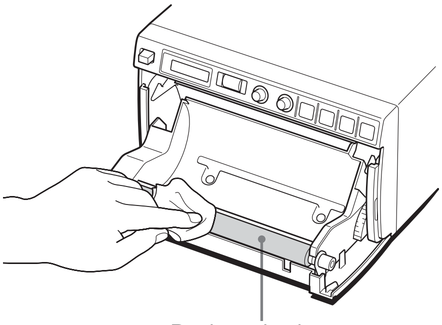
Nettoyage du rouleau du plateau

Si le papier ne s'éjecte pas en douceur après l'impression, le rouleau du plateau est peut-être encrassé.
Dans ce cas, nettoyer le rouleau du plateau avec un chiffon doux humide ou un chiffon humide imbibé d'eau et un détergent doux.

1 Mettez l'interrupteur ON/OFF sur ON pour mettre l'imprimante sous tension.

2 Ouvrez le magasin en appuyant sur la touche OPEN.
Si le papier est chargé dans le magasin, retirez-le.

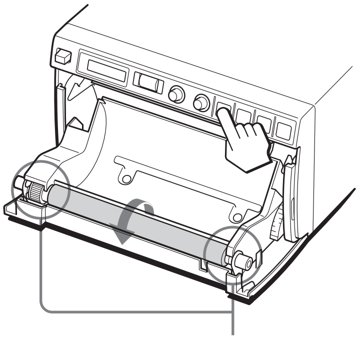
3 Nettoyez le rouleau du plateau délicatement avec un chiffon imbibé d'eau et un détergent doux.



Remarques

- Après séchage complet de la surface nettoyée du rouleau de plateau, tournez le rouleau pour en nettoyer une autre partie.
- Ne pas tourner le rouleau de plateau à la main. Utiliser la touche FEED pour le tourner. Pour nettoyer une autre partie de la surface du rouleau de plateau, passer à l'étape suivante.

4 Appuyez sur la touche FEED et maintenez-la enfoncée pour que le rouleau de plateau tourne automatiquement. Relâchez la touche FEED lorsque la surface à nettoyer apparaît.



Remarques

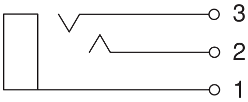
- Le rouleau de plateau tourne lorsque vous appuyez sur la touche FEED. Veillez à ne pas vous coincer les doigts dans le rouleau de plateau en rotation.
- Commencez à nettoyer uniquement une fois que le rouleau de plateau s'est arrêté complètement.

5 Répétez les étapes 3 et 4 jusqu'à ce que le rouleau de plateau soit propre.

6 Une fois que vous avez complètement séché le rouleau de plateau, refermez le magasin en poussant dessus.

Spécifications

Alimentation Secteur de 100 à 240 V AC, 50/60 Hz
Courant d'entrée
1,5 A à 0,8 A
Température d'utilisation
5°C à 35°C (41°F à 95°F)
Humidité de fonctionnement
20% à 80%
Température de stockage et de transport
-20°C à 60°C (-4°F à 140°F)
Humidité de stockage et de transport
20% à 90%
Dimensions 154 × 88 × 240 mm (l/h/p)
(6 1/6 × 3 1/2 × 9 1/2 pouces)
Poids 2,6 kg (5 lb 11 oz) (imprimante uniquement)
Tête thermique Tête thermique pour papier mince, 1 280 points
Niveaux de gris 256 niveaux de gris (8 bits)
Résolution (si « SC:WD1 » est sélectionné dans « SCAN »)
EIA : 1 210 × 490 points
CCIR : 1 210 × 582 points
Taille de l'image (si « SC:WD1 » ou « SC:NOR » est sélectionné dans « SCAN »)
Quand « S:STD » est sélectionné dans « SIDE »
EIA : 94 × 73 mm
CCIR : 94 × 71 mm
Quand « S:SIDE » est sélectionné dans « SIDE »
EIA : 124 × 96 mm
CCIR : 127 × 96 mm
Vitesse d'impression
Environ 2 sec./image (au réglage standard) (lorsque « SP:HI » est sélectionné dans « SPEED »)
Environ 3,3 sec./image (au réglage standard) (lorsque « SP:NOR » est sélectionné dans « SPEED »)
Mémoire d'images
10 images (800 k × 8 bits par image)
Connecteur d'entrée
VIDEO IN (type BNC)
Signaux vidéo composites EIA ou CCIR
1,0 Vp-p, 75 ohms/haute impédance (différenciation EIA/CCIR automatique)
Connecteur de sortie
VIDEO OUT (type BNC)
Signaux vidéo composites EIA ou CCIR
1,0 Vp-p, 75 ohm en boucle/ commutable EE
Connecteur REMOTE (miniprise stéréo)



1 GND
2 PRINT SIGNAL (TTL)
L'entrée d'impulsion LOW sur 100 msec. lance l'impression.
3 PRINT BUSY (TTL)
Devient HIGH pendant l'impression
Accessoires fournis
Feuille de nettoyage de la tête thermique (1)
Etiquette des supports (1)
Mode d'emploi (1)
Liste des services de maintenance (1)

Spécifications médicales
Protection contre les décharges électriques :
Classe I
Protection contre la pénétration néfaste d'eau :
Ordinaire
Degré de sécurité en présence d'anesthésiants inflammables ou d'oxygène :
Ne convient pas à une utilisation en présence d'anesthésiques ou d'oxygène inflammables
Mode de fonctionnement :
Continu

La conception et les spécifications de l'imprimante sont susceptibles d'être modifiées sans préavis.

Dépannage

Avant d'appeler un technicien de maintenance, consultez le tableau ci-dessous. Si vous ne parvenez pas à résoudre l'incident, contactez votre revendeur agréé le plus proche.

Symptôme	Causes/solutions
Des petits points apparaissent sur les premières impressions.	Venez-vous juste d'installer un nouveau rouleau de papier ? →Si vous venez d'installer un nouveau rouleau de papier, il se peut que la poussière de papier soit à l'origine de ces quelques points sur les images imprimées. Appuyez sur la touche FEED et maintenez-la enfoncée afin de faire avancer 15 à 20 cm (6 à 8 po.) environ de papier, puis relâchez la touche. (page 61)
Le travail d'impression ne démarre pas.	• Le papier n'avance pas. →L'imprimante est-elle sous tension ? →L'imprimante est-elle connectée correctement ? (page 59) →Rouleau de papier détaché ? (page 60) →« MU:MLT » sélectionné dans l'élément « MULTI » du menu ? (page 64) • Signaux sonores. →Le papier est-il chargé correctement ? (page 61) →Surchauffe de la tête thermique ? La tête thermique peut être en surchauffe lorsque l'imprimante imprime en continu des images sombres. Attendre qu'elle ait refroidi. →Le signal vidéo de l'image est-il transmis ? (page 59) • Le papier avance mais l'impression ne démarre pas. →L'orientation du papier dans le magasin est-elle correcte ? (page 61)
Bordures noires ou parties manquantes sur le pourtour du tirage	Ce problème peut être dû à l'entrée de signal vidéo de l'appareil. →Modifier le réglage de l'élément « SCAN » du menu. (page 65)

Symptôme	Causes/solutions
Bourrages papier	• Le bourrage est-il visible ? →Ouvrez le magasin en appuyant sur la touche OPEN, retirez le tirage ou le rouleau de papier, puis extrayez délicatement le papier coincé. • Existe-t-il des traces de condensation dans l'imprimante ? →Si l'imprimante vient d'être déplacé d'un endroit frais vers une pièce chaude, il se peut que de la condensation se soit formée à l'intérieur de l'imprimante. Eteignez l'imprimante et laissez-la reposer pendant 1 à 2 heures (jusqu'à ce qu'elle atteigne la température de la pièce) puis réessayez d'imprimer.
Les impressions sont sales.	La tête thermique est-elle sale ? →Nettoyez la tête thermique à l'aide de la feuille de nettoyage fournie à cet effet. (page 75)
L'alimentation en papier ne s'effectue pas en douceur.	Rouleau de plateau encrassé ? →Nettoyer le rouleau du plateau. (page 76)
L'imprimante s'arrête pendant l'impression d'images presque noires et le message « COOL » s'affiche sur l'écran LCD.	En cas d'impression d'images presque noires en continu, le circuit de protection de la tête thermique peut arrêter l'imprimante pour éviter la surchauffe de la tête thermique. →Arrêtez l'impression et attendez que la tête thermique refroidisse.
Les lignes blanches ou petites lettres à l'écran ne s'impriment pas clairement.	« CO:ON » est-il sélectionné dans l'élément « COLOR » du menu pour les signaux d'entrée noirs et blancs ? →Sélectionnez « CO:OFF » dans « COLOR » lorsque le signal d'entrée est un signal noir et blanc. (page 63)
Des petits carrés apparaissent sur tout l'écran.	« CO:OFF » est-il sélectionné dans l'élément « COLOR » du menu pour les signaux d'entrée en couleur ? Sélectionnez « CO:ON » dans « COLOR » lorsque le signal d'entrée est un signal couleur. (page 63)
Le tirage est trop sombre ou trop clair.	• Le sélecteur 75 Ω est-il correctement réglé ? (page 59) • L'élément « MEDIA » du menu est-il correctement réglé ? (page 64) • L'élément « GAMMA » du menu est-il correctement réglé ? (page 63)
Le tirage semble étiré ou élargi.	« AS:1:1 » est-il sélectionné dans l'élément « ASPCT » du menu ? →Sélectionnez « AS:4:3 ». (page 63)

Messages d'erreur

Les messages apparaissent sur l'écran LCD dans les conditions suivantes. Suivez les instructions indiquées en regard des messages pour résoudre le problème.

Messages	Description et remède
DOOR	Le panneau du magasin papier est ouverte. →Fermez-la complètement.
EMPTY	• Il n'y a pas de papier. • Il n'y a plus de papier. →Mettez en place du papier. (page 60)
COOL	Le circuit de protection qui empêche la tête d'impression thermique de surchauffer a été activé. →Attendez que le message disparaisse. L'impression reprend automatiquement.
LOCK	La fonction d'utilisation du menu est verrouillée. La molette Jog ainsi que les boutons CONTR et BRIGHT sont désactivés. →Si vous souhaitez effectuer des opérations de menu ou utiliser ces commandes, contactez votre revendeur agréé le plus proche.

Index

C

Connexions 59

D

Dépannage 78

E

Emplacement et fonction des composants et commandes
- panneau arrière 58
- panneau avant 57

Entretien
- nettoyage de la tête thermique 75
- nettoyage du châssis 75
- nettoyage du rouleau du plateau 76

G

Généralités 57

I

Impression
- ajustement de la luminosité 72
- ajustement du contraste 72
- annulation 69
- lancement d'un travail d'impression 69

M

Menu
- chargement des réglages de menu 68
- fonctionnement de base 66
- impression de la liste de menu 68
- liste 63
- menu déroulant 62
- stockage des réglages de menu 68

Messages d'erreur 79

P

Papier
- chargement 60
- papiers supportés 59
- remarques sur le stockage et la manipulation 59

Précautions
- installation 74
- massicot 74
- sécurité 74
- transport de l'imprimante 74

Prise en main 57

S

Spécifications 77

VORSICHT

Um die Gefahr von Bränden oder elektrischen Schlägen zu verringern, darf dieses Gerät nicht Regen oder Feuchtigkeit ausgesetzt werden.

Um einen elektrischen Schlag zu vermeiden, darf das Gehäuse nicht geöffnet werden. Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

DIESES GERÄT MUSS GEERDET WERDEN.

Symbol

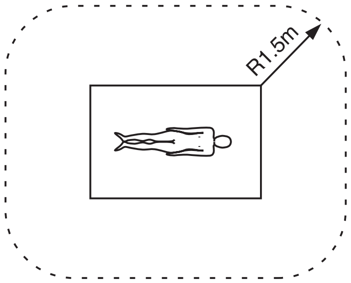
Dieses Symbol kennzeichnet den Anschluss für Potenzialausgleichsleiter.
Sinn des Potenzialausgleichsleiters ist das Herstellen einer potenzialgleichen Umgebung für den Patienten.

Dieses Symbol weist den Benutzer auf das Vorhandensein wichtiger Informationen zur Bedienung und Wartung (Service) in den bei diesem Gerät mitgelieferten Dokumenten hin.

Wichtige Sicherheitshinweise für den Gebrauch in medizinischen Umgebungen

1. Alle Geräte, die an diese Einheit angeschlossen sind, müssen den Standards IEC60601-1, IEC60950-1 und IEC60065 oder anderen IEC-/ISO-Standards, die für die Geräte gelten, entsprechen.
2. Wenn diese Einheit zusammen mit anderen Geräten in der Patientenumgebung* verwendet wird, müssen die Geräte entweder mit einem Isolationstransformator betrieben oder über einen zusätzlichen Schutzleitungsanschluss mit der Gehäusemasse verbunden werden, es sei denn, sie entsprechen dem Standard IEC60601-1.

* Patientenumgebung



3. Der Ableitstrom kann sich beim Zusammenschluss mehrerer Geräte summieren und höhere Werte annehmen.
4. Dieses Gerät erzeugt und verwendet Hochfrequenzenergie und kann diese auch abstrahlen. Wenn das Gerät nicht entsprechend den Anweisungen in dieser Anleitung installiert und verwendet wird, kann es Interferenzen mit anderen Geräten hervorrufen. Dies können Sie leicht feststellen, indem Sie das Netzkabel vom Gerät lösen. Versuchen Sie bei Interferenzen Folgendes: Stellen Sie das Gerät weiter entfernt vom gestörten Gerät auf. Schließen Sie dieses Gerät und das andere Gerät an verschiedene Stromkreise an. Wenden Sie sich für weitere Informationen an Ihren Händler. (Entspricht Standard EN60601-1-2 und CISPR11, Klasse B, Gruppe 1)

Vorsicht

Beachten Sie bei der Entsorgung des Geräts bzw. des Zubehörs die gesetzlichen Vorschriften des jeweiligen Landes oder der Region und die Vorschriften im betreffenden Krankenhaus.

Warnhinweis zum Netzanschluss

Verwenden Sie das für die Stromversorgung in Ihrem Land geeignete Netzkabel.

1. Verwenden Sie ein geprüftes Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen geprüften Geräteanschluss/einen geprüften Stecker mit Schutzkontakten entsprechend den Sicherheitsvorschriften, die im betreffenden Land gelten.
2. Verwenden Sie ein Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen Geräteanschluss/einen Stecker mit den geeigneten Anschlusswerten (Volt, Ampere).

Wenn Sie Fragen zur Verwendung von Netzkabel/ Geräteanschluss/Stecker haben, wenden Sie sich bitte an qualifiziertes Kundendienstpersonal.

Inhalt

Vorbereitungen

Kurzbeschreibung ... 84
Positionen und Funktionen der Teile und Bedienelemente ... 84
Frontplatte ... 84
Rückwand ... 85
Anschlüsse ... 86
Verbinden mit dem USB-Anschluss ... 86
Papier ... 86
Geeignetes Papier ... 86
Einlegen von Papier in das Gerät ... 87
Einlegen von Papier ... 87

Bedienung

Einstellen und Anpassen des Geräts mit dem Menü ... 89
Menüaufbau ... 89
Menüliste ... 90
Grundfunktionen des Menüs ... 94
Speichern von Menüeinstellungen ... 95
Ausdrucken der Menüliste ... 96
Druckvorgang ... 97
Starten eines Druckvorgangs ... 97
Druckrichtung und Bildgröße auswählen ... 99
Anpassen von Kontrast und Helligkeit ... 100

Sonstiges

Sicherheitsmaßnahmen ... 101
Sicherheit ... 101
Transport ... 101
Aufstellung ... 101
Pflege ... 102
Reinigen des Gehäuses ... 102
Reinigen des Thermodruckkopfes ... 102
Reinigen der Führungswalze ... 103
Technische Daten ... 104
Fehlersuche ... 105
Fehlermeldungen ... 106
Index ... 107

Vorbereitungen

Kurzbeschreibung

Ruhiges und schnelles Drucken mit hoher Qualität

- Hochauflösende Bilder mit 12,8 Punkten/mm dank eines schmalen Thermodruckkopfes mit eingebauter Hochgeschwindigkeitsansteuerung-IC.
- Druckgeschwindigkeit für ein hochauflösendes Bild (Einzelausdruck im Format A7): 2 Sekunden beim Drucken mit hoher Geschwindigkeit (wenn für die Menüoption „SPEED“ die Einstellung „SP:HI“ gesetzt ist).
- Einfarbiger Ausdruck mit 256 Graustufen.
- Eingebauter temperaturkorregierender Schaltkreis verhindert Temperaturänderungen, die einen unscharfen Ausdruck zur Folge haben könnten.

Leichte Einstellung des Druckers über ein Menü

Sie können über das Menü Ihren Anforderungen entsprechende Einstellungen vornehmen. Sie können bis zu drei Einstellungssätze speichern.

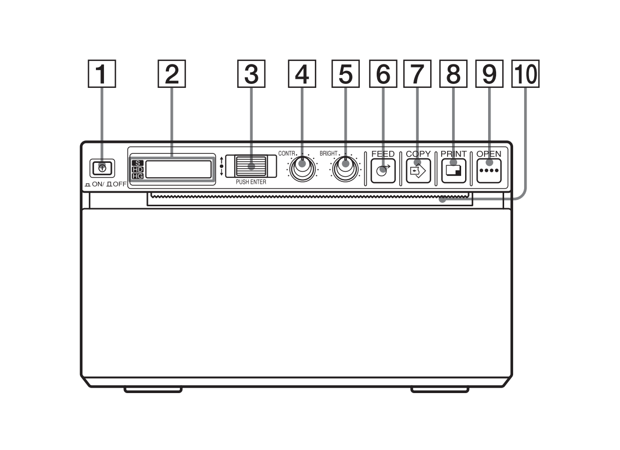
Einfaches Einlegen von Papier

Ein freier Zugang zum Deckel gewährleistet ein einfaches Einlegen von Papier.

Positionen und Funktionen der Teile und Bedienelemente

Schlagen Sie für detaillierte Informationen auf den in Klammern () angegebenen Seiten nach.

Frontplatte



1 **①Netzschalter ON/OFF (87, 94, 97, 102)**
Schalten Sie den Drucker mit dem Netzschalter auf ON ein. Die LCD-Anzeige leuchtet grün auf.

2 **Druckerdisplay (LCD: Flüssigkristallanzeige) (89, 97)**
Bei normalem Betrieb ist die Beleuchtung grün. Außerdem wird bei normalem Betrieb das zurzeit gewählte Papier durch den Pfeil auf der LCD-Anzeige angezeigt.
Detaillierte Informationen zum Papier finden Sie in „Papier“ auf Seite 86 und „Zurzeit gewähltes Papier“ auf Seite 97.
Wenn ein Fehler auftritt, wird die entsprechende Warnmeldung angezeigt.
Bei Menüvorgängen werden die Menüoptionen und Einstellungen angezeigt.

3 **Cursor-Steuerung (94, 102)**
Hiermit werden Menüvorgänge ausgeführt.

4 **Regler CONTR (Kontrast) (100)**
Dient zum Einstellen des Kontrasts der Ausdrucke.

5 **Regler BRIGHT (Helligkeit) (100)**
Dient zum Einstellen der Helligkeit der Ausdrucke.

6 Taste FEED (88, 97)
Halten Sie die Taste gedrückt, um Papier einzuziehen. Drücken Sie diese Taste, um einen Druckvorgang zu stoppen.

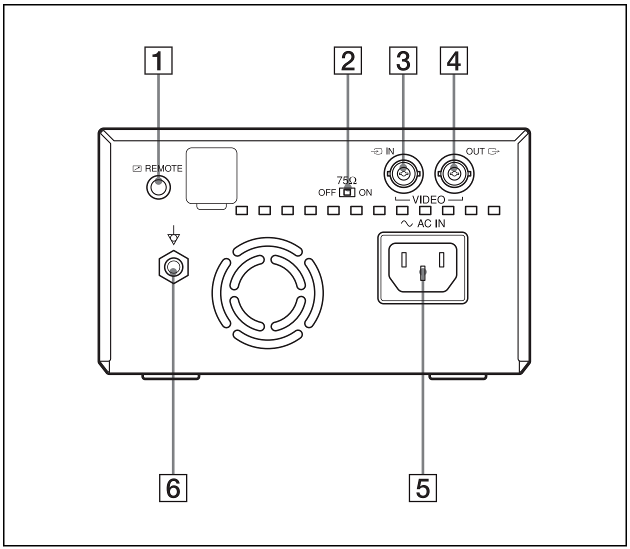
7 Taste COPY (98)
Druck ein weiteres Exemplar des vorherigen Ausdrucks.
Bei jeder Betätigung dieser Taste können Sie nur eine Kopie anfertigen, unabhängig von der Einstellung der Druckmenge über das Menü.

8 Taste PRINT
Druckt das auf dem Videomonitor momentan angezeigte Bild aus. Das Bild, das beim Betätigen der Taste PRINT angezeigt wird, wird im Speicher abgelegt.

9 Taste OPEN (88, 97)
Zum Öffnen des Deckels. Drücken Sie diese Taste, um einen Druckvorgang zu stoppen.

10 Schneidevorrichtung
Schneidet das Druckpapier nach dem Drucken eines Bildes ab.

Rückwand



1 Anschluss REMOTE (86)
Zum Anschluss einer Fernbedienung RM-91 oder eines Fußschalters für die Fernsteuerung der Druckfunktion.

2 75 Ω Wahlschalter
ON: Bringen Sie den Schalter in diese Stellung, wenn der Anschluss VIDEO OUT nicht belegt ist.
OFF: Bringen Sie den Schalter in diese Stellung, wenn ein Videomonitor oder ein anderes Videogerät am Anschluss VIDEO OUT angeschlossen ist.

3 Anschluss VIDEO IN (Eingang) (BNC-Typ)
Schließen Sie hier den Video-Ausgang des Videogeräts an.

4 Anschluss VIDEO OUT (Ausgang) (BNC-Typ)
Schließen Sie hier den Video-Eingang des Videomonitors an. Das Ausgangssignal hängt von der Einstellung des Menüoption „VIDEO“ ab.

5 AC IN-Buchse
Verwenden Sie das für die Stromversorgung in Ihrem Land geeignete Netzkabel (nicht im Lieferumfang enthalten).
Lesen Sie „Warnhinweis zum Netzanschluss“ auf Seite 82.

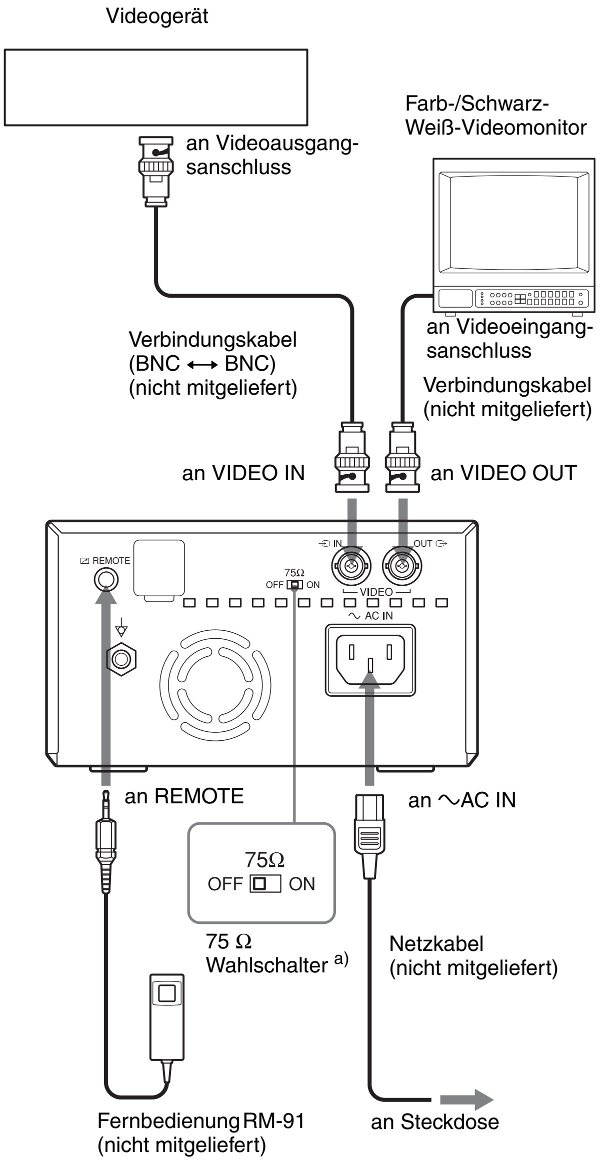
6 Anschluss für Potenzialausgleichsleiter
Zum Anschluss des Masseleiters, der die verschiedenen Teile eines Systems mit einer gemeinsamen Erde verbindet. Siehe „Wichtige Sicherheitshinweise für den Gebrauch in medizinischen Umgebungen“ auf Seite 82.

Anschlüsse

Hinweise

- Schalten Sie jedes Gerät aus, bevor Sie dort Kabel anschließen.
- Schließen Sie das Netzkabel zuletzt an.

Verbinden mit dem USB-Anschluss



a) Stellen Sie den 75 Ω Wahlschalter folgendermaßen ein.
ON: Bringen Sie den Schalter in diese Stellung, wenn der Anschluss VIDEO OUT nicht belegt ist.
OFF: Bringen Sie den Schalter in diese Stellung, wenn ein Videomonitor oder ein anderes Videogerät am Anschluss VIDEO OUT angeschlossen ist.

Papier

Verwenden Sie ausschließlich Papier der Serie UPP-110S/110HD/110HG von Sony, das für dieses Gerät bestimmt ist. Bei anderem Papier kann sich die Druckqualtität verschlechtern, und es kann zu Fehlfunktionen des Geräts kommen.
Das für den UP-880/890MD bestimmte Druckpapier UPP-110HA kann nicht verwendet werden.

Geeignetes Papier

Das Druckpapier hat die folgenden Eigenschaften:

Druckeigenschaften	Papiertyp
TYPE I (Normal)	UPP-110S
TYPE II (Hohe Dichte)	UPP-110HD
TYPE V (Hochglanz)	UPP-110HG

Hinweise zum Lagern und Verarbeiten von Papier

Lagern von unbenutztem Papier

- Lagern Sie unbenutztes Papier unter 30 °C und trocken und setzen Sie es nicht direktem Sonnenlicht aus.
- Lagern Sie unbenutztes Papier nicht in der Nähe von flüchtigen Flüssigkeiten und achten Sie darauf, dass weder flüchtiges organisches Lösungsmittel noch Zellophanfolie oder andere Vinylchloridverbindungen auf das Papier gelangen.

Einlegen von Papier

- Beim Einlegen des Papiers den zu bedruckenden Bereich nicht mit den Fingern anfassen. Verschmutzungen auf dem Papier kann zu unscharfen Bildern führen.
- Ziehen Sie vor dem Druckvorgang das Papier um 15~20 cm heraus, nachdem Sie den Klebestreifen von der vordersten Kante entfernt haben. Rückstände des Etikettenklebers auf dem Papier können die Ausgabequalität beeinträchtigen.

Lagern von gedruckten Bildern

- Um ein Ausbleichen oder eine Farbänderung der Ausdrucke zu vermeiden, sollten sie an einem kühlen, trockenen Ort aufbewahrt werden, an dem die Temperatur nicht höher als 30 °C ist.
- Lagern Sie Ausdrucke in einem Polypropylenbeutel oder zwischen Blättern, die keinen Kunststoff enthalten.
- Lagern Sie Ausdrucke nicht an einem Ort, an dem sie direktem Sonnenlicht oder einer hoher Luftfeuchtigkeit ausgesetzt sind.

- Lagern Sie Ausdrucke nicht in der Nähe von flüchtigen Flüssigkeiten und achten Sie darauf, dass weder flüchtiges organisches Lösungsmittel noch Zellophanfolie oder andere Vinylchloridverbindungen auf die Ausdrucke gelangen.
- Legen Sie Ausdrucke auf oder unter ein Lichtpauspapier, um ein Ausbleichen zu vermeiden.
- Wenn Sie Ausdrucke auf anderem Papier befestigen wollen, verwenden Sie doppelseitiges Klebeband oder einen Klebstoff auf Wasserbasis.
- Verbrennen Sie Restpapier nicht.

Einlegen von Papier in das Gerät

Hinweise

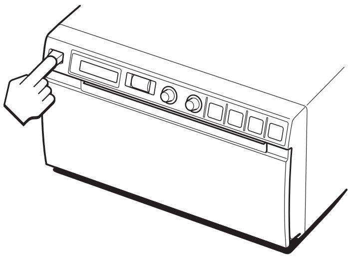
- Schlagen Sie vor dem Einlegen von Papier im Kapitel „Hinweise zum Lagern und Verarbeiten von Papier“ (Seite 86) nach.
- Gehen Sie beim Einlegen von Papier stets vorsichtig vor, um die Qualität der Ausdrucke nicht zu mindern. Vermeiden Sie, dass das Papier gebogen oder zerknittert wird. Die Oberfläche sollte nicht mit den Fingern berührt werden. Verschmutzungen auf dem Papier können die Ausgabequalität beeinträchtigen.
- Verwenden Sie ausschließlich Papier der Serie UPP-110S/110HD/110HG. (Seite 86)
- Vergewissern Sie sich, dass in der Menüoption „MEDIA“ das gewünschte Papier eingestellt ist. Über die LCD-Anzeige können Sie das aktuell gewählte Druckmaterial überprüfen. (Seite 91)

Einlegen von Papier

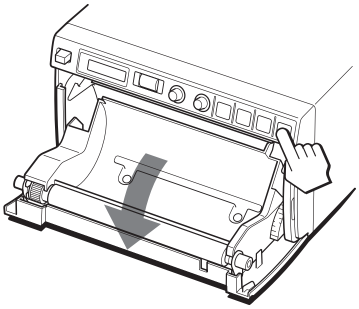
Vorsicht

Das Gerät ist mit einer Schneidevorrichtung ausgestattet. Achten Sie beim Einlegen des Papiers darauf, nicht die Schneidevorrichtung zu berühren. Ein Berühren der Schneidevorrichtung könnte eine Verletzung verursachen.

1 Schalten Sie das Gerät mit dem Netzschalter ON/OFF ein.
Wenn noch kein Papier eingelegt wurde, leuchtet die LCD-Anzeige braun und die Meldung „EMPTY“ wird angezeigt.



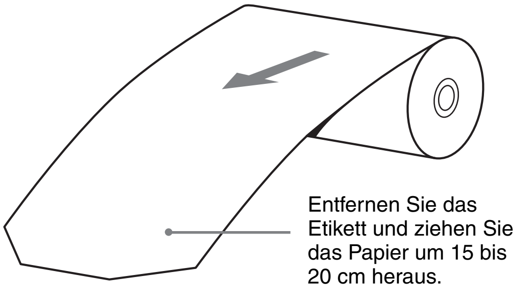
2 Öffnen Sie den Papierfachdeckel mit der Taste OPEN.

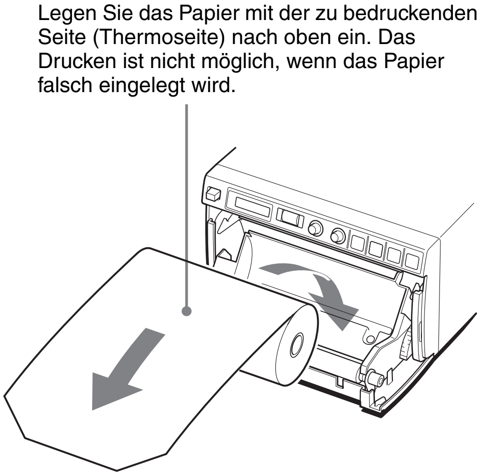


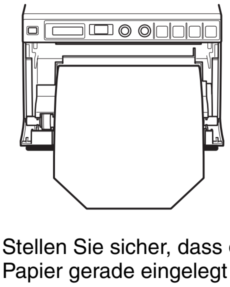
3 Entfernen Sie das Etikett von der Vorderkante des Papiers und ziehen Sie das Papier um 15~20 cm heraus. Legen Sie dann die Papierrolle in das Papierfach ein.

Hinweis

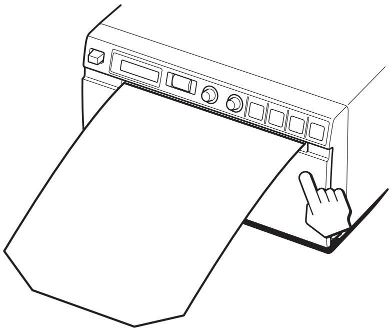
Gehen Sie stets vorsichtig mit dem Papier um, wenn Sie es aus der Packung entnehmen und in das Gerät einlegen, damit das Papier nicht in Kontakt mit Staub, Schmutz etc. kommt. Andernfalls kann es für das Drucken nicht mehr verwendet werden.

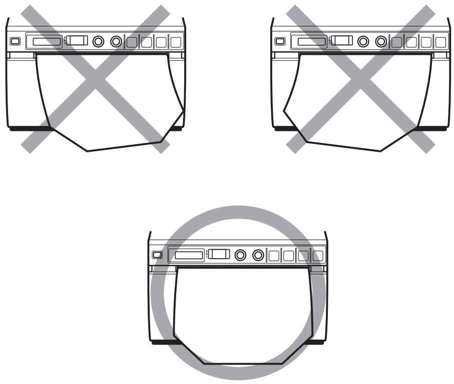






4 Drücken Sie den Papierfachdeckel in die Verriegelung, um das Fach zu schließen.





Hinweise

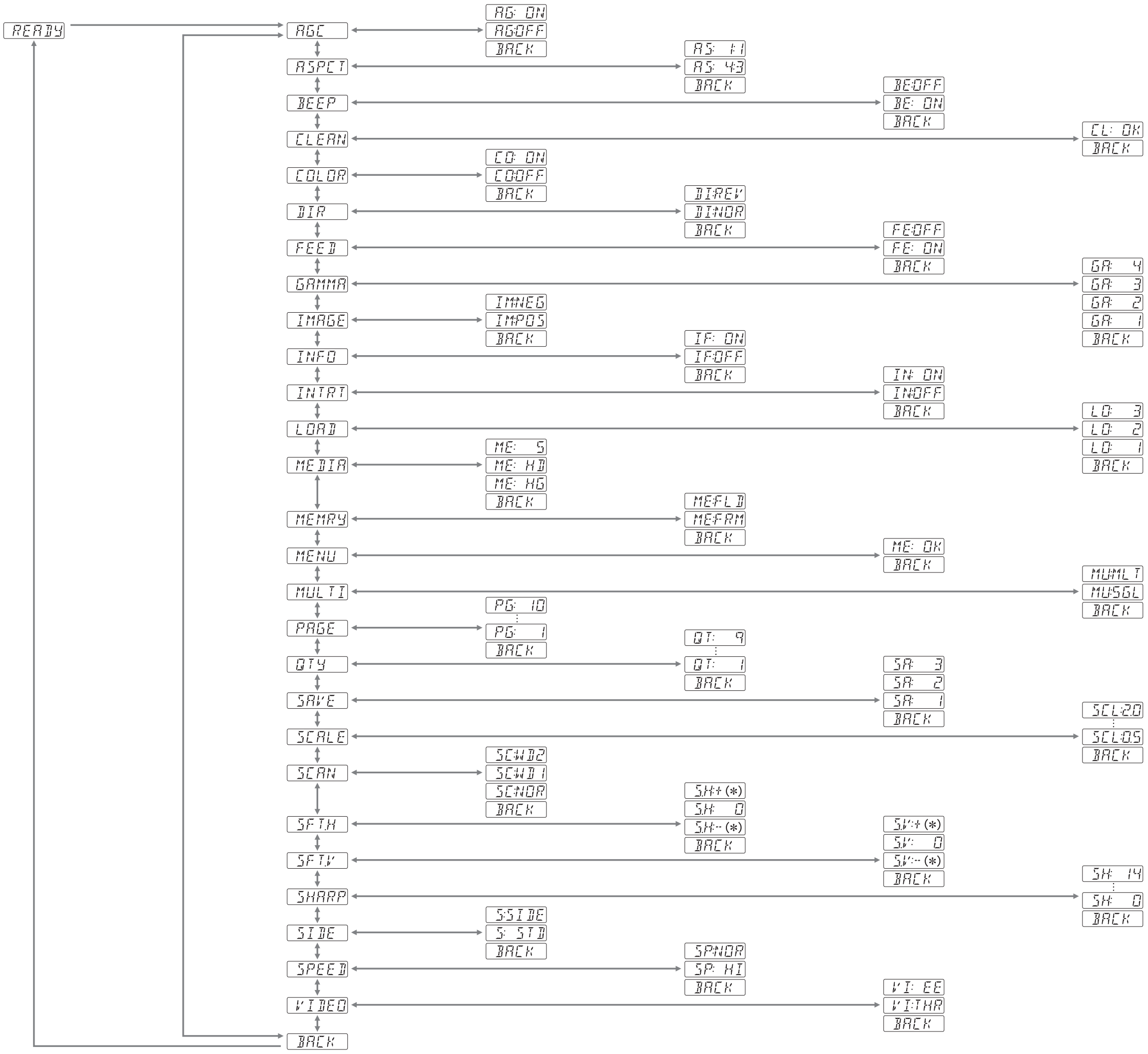
- Stellen Sie sicher, dass das Papier gerade eingelegt ist. Es könnte ein Papierstau auftreten, wenn das Papier schräg eingelegt ist.
- Haben Sie bei Schritt 3 nicht genügend Papier herausgezogen, drücken Sie, ohne am Papier zu ziehen, auf die Taste FEED auf dem Bedienfeld.

Einstellen und Anpassen des Geräts mit dem Menü

Sie können das Gerät Ihren Anforderungen entsprechend einstellen und anpassen. Diese Einstellungen und Anpassungen bleiben auch nach dem Ausschalten des Geräts erhalten.
Sie können das Gerät seinem beabsichtigten Zweck, den angeschlossenen Geräten oder Ihren individuellen Wünschen entsprechend konfigurieren.
Sie können bis zu drei Einstellungssätze speichern.

Menüaufbau

Mit dem Drehen der Cursor-Steuerung ändert sich die LCD-Anzeige entsprechend der folgenden Menüaufbauübersicht und Sie können zu jeder Menüoption die gewünschte Einstellung vornehmen.



Bedeutung von * in den Menüoptionen „SFT:H“ und „SFT:V“
* ist der numerische Wert, der durch Drehen der Cursor-Steuerung angezeigt wird. Dieser numerische Wert verändert sich in Abhängigkeit von den Einstellungen von „SCALE“, „SCAN“ und „SIDE“ sowie des Signalsystems des Bildes, das erfasst werden soll.

Menüliste

In diesem Abschnitt werden die Menüs beschrieben, die beim Drehen der Cursor-Steuerung angezeigt werden. Die mit [ ] markierte Einstellung ist die werkseitige Einstellung.

Option	Funktion	Einstellungen
AGC	Einstellung des Eingangssignals auf den optimalen Pegel zum Drucken	AG:ON: Stellt das Eingangssignal auf den optimalen Pegel zum Drucken ein, wenn der Ausdruck zu dunkel oder zu hell ist. [AG:OFF]: Wählen Sie normalerweise diese Einstellung. BACK: Die Optionsauswahl wird wieder angezeigt, ohne dass die Einstellungsänderung gespeichert wird.
ASPCT [a)]	Auswahl des Seitenverhältnisses	AS:1:1: Druckt ein Videosignal im Seitenverhältnis 1:1. [AS: 4:3]: Wählen Sie normalerweise diese Einstellung. BACK: Die Optionsauswahl wird wieder angezeigt, ohne dass die Einstellungsänderung gespeichert wird.
BEEP	Auswahl der akustischen Betriebs- und Fehlersignale	BE: OFF: Das akustische Betriebssignal ist deaktiviert. [BE: ON]: Die akustischen Betriebs- und Fehlersignale sind aktiviert. BACK: Die Optionsauswahl wird wieder angezeigt, ohne dass die Einstellungsänderung gespeichert wird.
CLEAN	Starten der Druckkopfreinigung	[CL: OK]: Startet die Druckkopfreinigung. Achten Sie darauf, dass mitgelieferte Reinigungsblatt zu verwenden. BACK: Die Druckkopfreinigung wird abgebrochen und die Optionsauswahl wird wieder angezeigt.
COLOR	Auswahl des zu druckenden Eingangssignals	CO:ON: Druckt das Farbsignal. [CO:OFF]: Druckt das Schwarz-Weiß-Signal. BACK: Die Optionsauswahl wird wieder angezeigt, ohne dass die Einstellungsänderung gespeichert wird.
DIR [b)]	Auswahl, ob der Druckvorgang am oberen oder unteren Bildschirmrand beginnt	DI: REV: Der Druck erfolgt in umgekehrter Richtung (vom oberen Bildschirmrand). [DI: NOR]: Der Druck erfolgt in normaler Richtung (vom unteren Bildschirmrand). BACK: Die Optionsauswahl wird wieder angezeigt, ohne dass die Einstellungsänderung gespeichert wird.
FEED	Auswahl der nach dem Druck zu verwendenden Papiereinzugsmethode	FE: OFF: Um Papier zu sparen, wird zwischen Drucken weniger Papier eingezogen. Es können mehrere Bilder auf einem Blatt gedruckt werden, aber da sich zwischen den gedruckten Bildern nur ein schmaler Zwischenraum befindet, muss die Taste FEED gedrückt werden, bevor das Papier abgeschnitten wird. [FE: ON]: Nach jedem Druck wird zusätzliches Papier eingezogen. BACK: Die Optionsauswahl wird wieder angezeigt, ohne dass die Einstellungsänderung gespeichert wird.
GAMMA (Wenn in „MEDIA“ die Option „ME:S“ ausgewählt ist, wird für GAMMA TONE 1 vorgegeben.)	Auswahl der Graustufen für den Ausdruck	GA:4: TONE 4 Weicheste Abstufung GA:3: TONE 3 Harte Abstufung [GA:2]: TONE 2 Standard GA:1: TONE 1 Weiche Abstufung BACK: Die Optionsauswahl wird wieder angezeigt, ohne dass die Einstellungsänderung gespeichert wird.

Option	Funktion	Einstellungen
IMAGE	Auswahl des positiven oder negativen Ausdrucks	IM:NEG: Negativer Ausdruck. [IM:POS]: Normaler Ausdruck. BACK: Die Optionsauswahl wird wieder angezeigt, ohne dass die Einstellungsänderung gespeichert wird.
INFO	Auswahl, ob die Druckbedingungen (wie etwa Angaben zu Kontrast, Helligkeit, Gammas and Schärfe) unter dem Bild ausgedruckt werden	IF:ON: Die Angaben werden ausgedruckt. [IF:OFF]: Die Angaben werden nicht ausgedruckt. BACK: Die Optionsauswahl wird wieder angezeigt, ohne dass die Einstellungsänderung gespeichert wird.
INTRT	Festlegen des Verfahrens für die Druckunter-brechung	IN:ON: Bricht den Druck ab, wenn Sie die Taste PRINT während eines Druckvorgangs betätigen, und druckt ein neues Bild aus, das in dem Moment erfasst wurde, an dem Sie die Taste PRINT betätigt haben. [IN:OFF]: Der Druck wird nicht abgebrochen, auch wenn die Taste PRINT betätigt wird. Nachdem der aktuelle Druckvorgang abgeschlossen ist, druckt das Gerät ein neues Bild aus, das in dem Moment erfasst wurde, an dem Sie die Taste PRINT betätigt haben. BACK: Die Optionsauswahl wird wieder angezeigt, ohne dass die Einstellungsänderung gespeichert wird.
LOAD	Laden der gespeicherten Einstellungen	LO:3: Lädt den mit der Menüoption „SAVE“ gespeicherten Einstellungssatz „SA:3“. LO:2: Lädt den mit der Menüoption „SAVE“ gespeicherten Einstellungssatz „SA:2“. [LO:1]: Lädt den mit der Menüoption „SAVE“ gespeicherten Einstellungssatz „SA:1“. BACK: Die Optionsauswahl wird wieder angezeigt, ohne dass die Einstellungsänderung gespeichert wird.

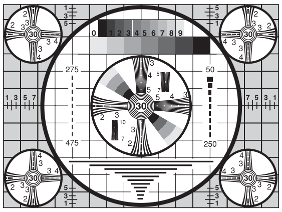
Option	Funktion	Einstellungen
MEDIA	Auswahl des Papiertyps	ME:S: Verwendet UPP-110S. ME:HD: Verwendet UPP-110HD. [ME: HG]: Verwendet UPP-110HG. BACK: Die Optionsauswahl wird wieder angezeigt, ohne dass die Einstellungsänderung gespeichert wird.
MEMRY	Auswahl des Speichermodus	ME:FLD: Beim Drucken von Bildern, die schnelle Bewegungen erfassen (z.B. ein Ball in Wurfbewegung) kann der Ausdruck blau erscheinen. In diesem Fall diese Einstellung auswählen. [ME:FRM]: Wählen Sie normalerweise diese Einstellung. BACK: Die Optionsauswahl wird wieder angezeigt, ohne dass die Einstellungsänderung gespeichert wird.
MENU	Ausdrucken der momentan ausge-wählten Menü-einstellungen	[ME:OK]: Druckt die momentan ausgewählte Menüliste. BACK: Der Ausdruck wird abgebrochen und die Optionsauswahl wird wieder angezeigt.
MULTI	Festlegen der Anzahl der Bilder, die auf einem Blatt ausgedruckt werden sollen	MU:MLT: Druckt zwei Bilder auf einem Ausdruckblatt aus (zwei verkleinerte Bilder). [MU:SGL]: Druckt ein Bild aus. (Bild in voller Größe). BACK: Die Optionsauswahl wird wieder angezeigt, ohne dass die Einstellungsänderung gespeichert wird.
PAGE (Diese Option wird nicht angezeigt, wenn in „MULTI“ die Einstellung „MU:MLT“ ausgewählt wurde.	Bei jedem Betätigen der Taste PRINT wird das Bild im Speicher abgelegt. Es können maximal zehn Bilder abgespeichert werden. Sie können aus den im Speicher abgelegten 10 Bildern das gewünschte Bild auswählen und ausdrucken.	[PG:1] bis PG:10: Nach Auswahl aus den Bildern 1 bis 10 wird durch Drücken der Taste COPY das ONE gewünschte Bild ausgedruckt. BACK: Die Optionsauswahl wird wieder angezeigt, ohne dass die Einstellungsänderung gespeichert wird.

Option	Funktion	Einstellungen
QTY	Festlegen der Druckmenge	QT:1 bis QT:9: Druckt ein und dasselbe Bild aus. Sie können die Anzahl der Ausdrucke ein und desselben Bildes zwischen 1 und 9 festlegen. BACK: Die Optionsauswahl wird wieder angezeigt, ohne dass die Einstellungsänderung gespeichert wird.
SAVE	Speichert bis zu drei Einstellungssätze	SA:3: Speichert die Menüeinstellungen unter 3. SA:2: Speichert die Menüeinstellungen unter 2. SA:1: Speichert die Menüeinstellungen unter 1. BACK: Die Optionsauswahl wird wieder angezeigt, ohne dass die Einstellungsänderung gespeichert wird.
SCALE	Vergrößern oder Verkleinern des zu druckenden Bildes	Der Maßstab kann zwischen SCL:2,0 (zweifach) und SCL:0,5 (halbiert) in Schritten von 0,5 eingestellt werden. [SCL:1,0] ist die Werkseinstellung. BACK: Die Optionsauswahl wird wieder angezeigt, ohne dass die Einstellungsänderung gespeichert wird.
SCAN c)	Einstellung des Druckbereichs des Bildes	Der Druckbereich wird aufsteigend in der Reihenfolge SC:NOR, SC:WD1 und SC:WD2 vergrößert. BACK: Die Optionsauswahl wird wieder angezeigt, ohne dass die Einstellungsänderung gespeichert wird.

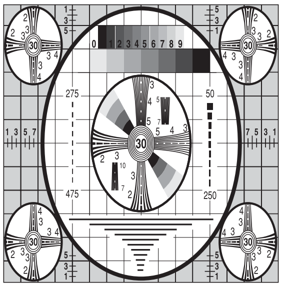
Option	Funktion	Einstellungen
SFT.H	Einstellung der horizontalen Position des zu druckenden Bildes	[S.H:0]: Stellt die horizontale Position ein. Der numerische Wert, der durch Drehen der Cursorsteuerung angezeigt wird, verändert sich in Abhängigkeit von den Einstellungen von „SCALE“, „SCAN“ und „SIDE“ sowie des Signalsystems des Bildes, das erfasst werden soll. BACK: Die Optionsauswahl wird wieder angezeigt, ohne dass die Einstellungsänderung gespeichert wird.
SFT.V	Einstellung der vertikalen Position des zu druckenden Bildes	[S.V:0]: Stellt die vertikale Position ein. Der numerische Wert, der durch Drehen der Cursorsteuerung angezeigt wird, verändert sich in Abhängigkeit von den Einstellungen von „SCALE“, „SCAN“ und „SIDE“ sowie des Signalsystems des Bildes, das erfasst werden soll. BACK: Die Optionsauswahl wird wieder angezeigt, ohne dass die Einstellungsänderung gespeichert wird.
SHARP	Anpassen der Ausdruckschärfe	Die Schärfe kann in 15 Schritten auf einen Wert zwischen 0 und 14 eingestellt werden. Bei 0 wird der Umriss des Ausdrucks nicht betont. 2 ist die werkseitige Einstellung. BACK: Die Optionsauswahl wird wieder angezeigt, ohne dass die Einstellungsänderung gespeichert wird.
SIDE d)	Auswahl der Richtung, in der das Bild gedruckt wird	S:SIDE: Das Bild wird beim Druck um 90 Grad gegen den Uhrzeigersinn gedreht. S:STD: Das Bild wird in derselben Richtung ausgedruckt, in der es auf dem Bildschirm angezeigt wird. BACK: Die Optionsauswahl wird wieder angezeigt, ohne dass die Einstellungsänderung gespeichert wird.

Option	Funktion	Einstellungen
SPEED (Wenn unter „MEDIA“ die Einstellung „ME:HD“ gewählt wurde, ist die Druckgeschwindigkeit fest auf „SP:NOR“ eingestellt und diese Option wird nicht angezeigt.)	Auswahl der Druckgeschwindigkeit	SP:NOR: Druckt mit normaler Geschwindigkeit. SP:HI: Druckt mit hoher Geschwindigkeit. BACK: Die Optionsauswahl wird wieder angezeigt, ohne dass die Einstellungsänderung gespeichert wird. **Hinweis** Wenn „SP:HI“ gewählt wurde, steigt der Stromverbrauch im Vergleich zum Druck mit normaler Geschwindigkeit etwas an.
VIDEO	Zur Auswahl des Videosignalausgangs über den Anschluss VIDEO OUT an der Rückseite	VI:EE: Gibt das Signal aus, nachdem es durch den Drucker verarbeitet worden ist. VI:THR: Gibt das Signal direkt ohne Verarbeitung aus. BACK: Die Optionsauswahl wird wieder angezeigt, ohne dass die Einstellungsänderung gespeichert wird.
BACK	Zum Beenden des Menümodus	Zeigen Sie diese Option an und drücken Sie auf die Cursor-Steuerung. Das Gerät verlässt den Menümodus und auf der LCD-Anzeige wird „READY“ angezeigt.

a) Das Seitenverhältnis ist wie folgt.

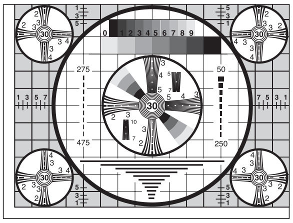


Bei Auswahl von AS:4:3

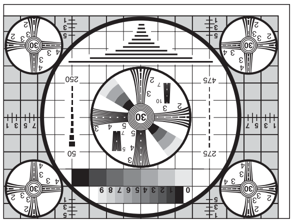


Bei Auswahl von AS:1:1

b) Die Druckrichtung ist wie folgt.

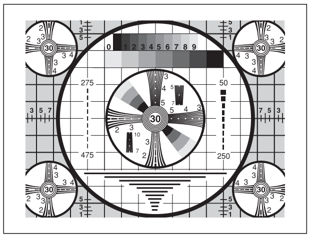


Bei Auswahl von DI:NOR

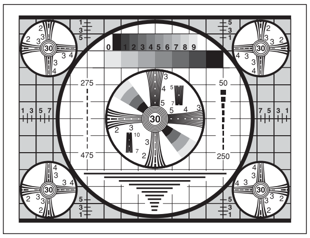


Bei Auswahl von DI: REV

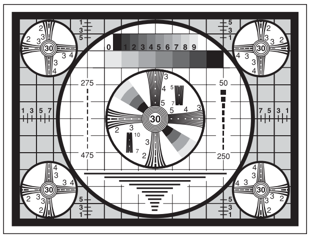
c) Der Druckbereich des zu druckenden Bildes ist wie folgt.



Bei Auswahl von SC:NOR



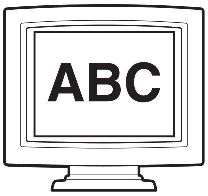
Bei Auswahl von SC:WD1



Bei Auswahl von SC:WD2

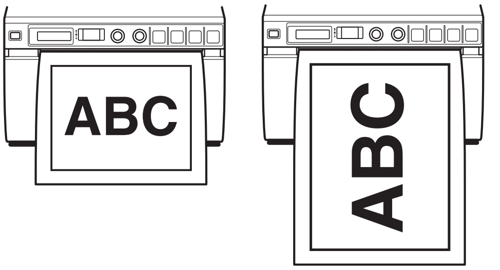
d) Die Druckrichtung der Druckbilder ist wie folgt.

Auf dem Bildschirm angezeigtes Bild



Ausdrucke

Bei Auswahl von S:STD   Bei Auswahl von S:SIDE

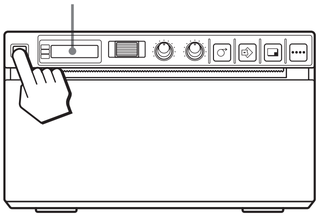


Grundfunktionen des Menüs

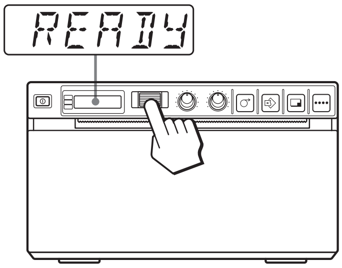
In diesem Abschnitt werden die allen Menüs gemeinsamen Grundfunktionen beschrieben, wobei „Einstellen der Druckrichtung“ als Beispiel verwendet wird.

1 Stellen Sie den Netzschalter ON/OFF auf ON, um das Gerät einzuschalten.
Die LCD-Anzeige leuchtet grün auf.

LCD

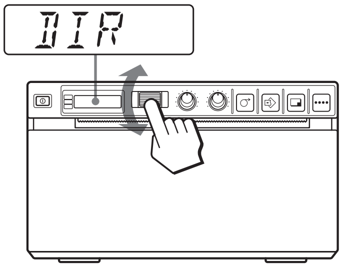


2 Bestätigen Sie, dass „READY“ auf der LCD-Anzeige angezeigt wird und drücken Sie dann auf die Cursor-Steuerung.

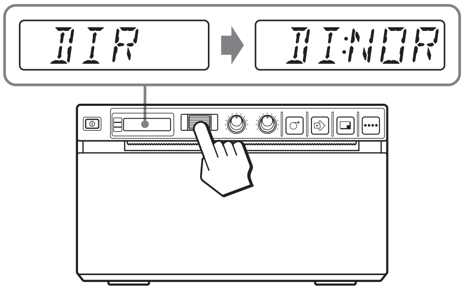


Das Gerät wechselt in den Menümodus.
Wenn Sie zum ersten Mal einen Menüvorgang nach dem Kauf des Geräts ausführen, wird die erste Option im Menü „AGC“ angezeigt.
Wenn Sie bereits einen Menüvorgang ausgeführt haben, wird die zuletzt eingestellte Option angezeigt.

3 Drehen Sie die Cursor-Steuerung aufwärts oder abwärts, um „DIR“ anzuzeigen.

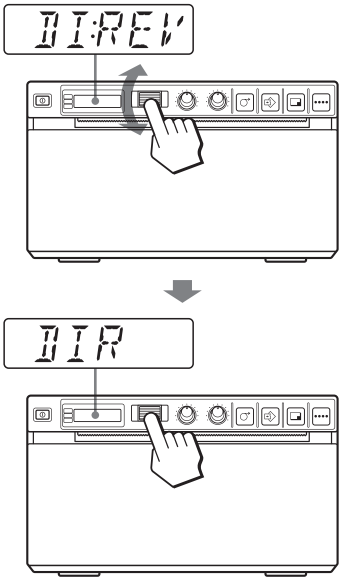


4 Drücken Sie auf die Cursor-Steuerung.



Das Gerät wechselt in den Modus, in dem Sie die Druckrichtung auswählen können.
„DI:NOR“ (die werkseitige Einstellung) wird auf der LCD-Anzeige angezeigt, d. h. die aktuell gewählte Einstellung ist „DI:NOR“ .
In diesem Menüvorgang ändern Sie die Einstellung in „DI:REV“ .

5 Drehen Sie die Cursor-Steuerung aufwärts oder abwärts, um „DI:REV“ anzuzeigen, drücken Sie dann auf die Cursor-Steuerung.



Damit wurde „DI:REV“ als Druckrichtung gespeichert.

Hinweis

Wenn nach der Anzeige einer Menüoption oder Einstellung 20 Sekunden ohne weitere Aktivität verstreichen, verlässt das Gerät den Menümodus und auf der LCD-Anzeige wird wieder „READY“ angezeigt. In einem solchen Fall wird die Einstellung von „DIR“ nicht geändert.

So brechen Sie eine Einstellung ab

1 Drehen Sie die Cursor-Steuerung wie in Schritt 5, um „BACK“ anzuzeigen.

2 Drücken Sie auf die Cursor-Steuerung.
Auf der LCD-Anzeige wird wieder „DIR“ angezeigt.

So setzen Sie Menüvorgänge fort

Wiederholen Sie die Schritte 3 bis 5, um die gewünschten Einstellungen vorzunehmen.

So beenden Sie die Menüfunktionen

1 Drehen Sie die Cursor-Steuerung, um „BACK“ anzuzeigen, nachdem Sie Schritt 5 ausgeführt haben.

2 Drücken Sie auf die Cursor-Steuerung.
Auf der LCD-Anzeige wird wieder „READY“ angezeigt.
Das Gerät verlässt den Menümodus.

Menüsperre

Wenn beim Drücken der Cursor-Steuerung die Meldung „LOCK“ angezeigt und ein Warnton ausgegeben wird, ist die Cursor-Steuerung deaktiviert, da die Menübedienfunktion gesperrt ist. Wenn Sie einen Menüvorgang ausführen wollen, kontaktieren Sie einen nahe gelegenen autorisierten Vertragshändler.

Speichern von Menüeinstellungen

Sie können bis zu drei über das Menü vorgenommene Einstellungssätze speichern und den gewünschten Einstellungssatz bei Bedarf laden. Diese Einstellungen bleiben erhalten, selbst wenn das Gerät ausgeschaltet wird.

Hinweis

Wenn Sie das Gerät zum ersten Mal nach dem Kauf verwenden, enthalten alle drei gespeicherten Sätze die werkseitigen Einstellungen.

Speichern neuer Einstellungen

1 Nehmen Sie alle gewünschten Einstellungen vor.

2 Drehen Sie die Cursor-Steuerung, um „SAVE“ anzuzeigen, und drücken Sie dann auf die Cursor-Steuerung.

3 Drehen Sie die Cursor-Steuerung erneut, um die gewünschte Zahl anzuzeigen, und drücken Sie dann auf die Cursor-Steuerung.
Die in Schritt 1 vorgenommenen Einstellungen werden unter der in Schritt 3 ausgewählten Zahl gespeichert.

Laden der gewünschten Einstellungen

Sie können die gewünschten Einstellungen laden, um mit ihnen Ausdrucke anzufertigen.

1 Bestätigen Sie, dass „READY“ auf der LCD-Anzeige angezeigt wird und drücken Sie dann auf die Cursor-Steuerung.

2 Drehen Sie die Cursor-Steuerung erneut, um „LOAD“ anzuzeigen, und drücken Sie dann auf die Cursor-Steuerung.

3 Zeigen Sie die Zahl unter der die gewünschten Einstellungen gespeichert wurden an und drücken Sie dann auf die Cursor-Steuerung.
Die in Schritt 3 gespeicherten Einstellungen werden geladen.

Ändern der geladenen Einstellungen

Das Gerät verhält sich gemäß der geänderten Einstellungen, und zwar bis ein anderer Einstellungssatz geladen wird, selbst wenn Sie das Gerät ausschalten. Durch das Laden eines anderen Einstellungssatzes werden die zuvor geladenen Einstellungen entfernt.

Beibehalten von zuvor geladenen Einstellungen

Beispiel: Die unter „SA:1“ gespeicherten Einstellungen wurden geladen und sollen geändert werden. Gehen Sie folgendermaßen vor, um die ursprünglichen Einstellungen von „SA:1“ beizubehalten und die neuen Einstellungen unter „SA:2“ zu speichern.

1 Laden Sie die Einstellungen unter „LO:1“ gemäß dem Verfahren zum Laden der gewünschten Einstellungen.

2 Ändern Sie die geladenen Einstellungen Ihren Anforderungen entsprechend.

3 Wählen Sie „SA:2“ gemäß dem Verfahren zum Speichern der Einstellungen.

4 Drücken Sie auf die Cursor-Steuerung.
Die in No.2 geänderten Einstellungen werden unter „SA:2“ gespeichert.

Ausdrucken der Menüliste

Sie können die aktuellen Menüeinstellungen ausdrucken.

1 Drücken Sie auf die Cursor-Steuerung.
Die zuletzt geänderte Menüoption wird angezeigt.

2 Drehen Sie die Cursor-Steuerung, um „MENU“ anzuzeigen, und drücken Sie dann auf die Cursor-Steuerung.

3 Drehen Sie die Cursor-Steuerung, um „ME:OK“ anzuzeigen, und drücken Sie dann auf die Cursor-Steuerung.
Die aktuellen Menüeinstellungen werden ausgedruckt.
Auf der LCD-Anzeige wird „MENU“ angezeigt.

4 Drehen Sie die Cursor-Steuerung, um „BACK“ anzuzeigen, und drücken Sie dann auf die Cursor-Steuerung.
Auf der LCD-Anzeige wird „READY“ angezeigt und das Gerät kehrt zurück in den normalen Druckmodus.

Druckvorgang

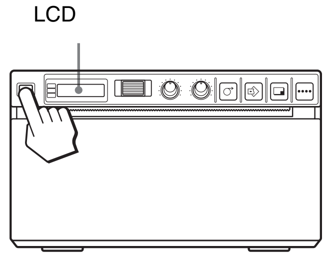
Vor dem Starten eines Druckvorgangs
Überprüfen Sie stets die folgenden Punkte:

- Ist das Gerät richtig angeschlossen? (Seite 86)
- Ist das Papier richtig eingelegt? (Seite 87)
- Wurden Menüeinstellungen und -anpassungen korrekt ausgeführt? (Seite 89)
- Liegt das Eingangssignal der Videoquelle an? (Seite 86)

Starten eines Druckvorgangs

Über das Menü können Sie Druckrichtung, Bildgröße, und alle anderen Druckeinstellungen vornehmen. Dieser Abschnitt beschreibt die Schritte, die nach Abschluss der Einstellungen über das Menü durchzuführen sind.

1 Schalten Sie das Gerät mit dem Netzschalter ON/OFF ein.
Die LCD-Anzeige leuchtet grün und die Meldung „READY“ wird angezeigt.



2 Starten Sie die Videoquelle.
Benutzen Sie für diese Schritte die Bedienelemente am Videogerät, das als Videoquelle benutzt wird.

3 Drücken Sie die Taste PRINT, wenn auf dem Videomonitor das Bild angezeigt wird, das Sie drucken möchten.
Das Bild, das beim Drücken der Taste PRINT angezeigt wurde, wird im Speicher abgelegt und sofort ausgedruckt. Es werden maximal 10 Bilder im Speicher abgelegt. Bei Überschreitung der maximalen Anzahl von 10 Bildern im Speicher wird das älteste Bild überschrieben.

Anzeige einer Fehlermeldung auf der LCD-Anzeige

Wenn ein Problem auftritt, wechselt die Beleuchtung der LCD-Anzeige zu braun und eine das Problem beschreibende Meldung wird angezeigt.

Meldung	Ursache und Abhilfemaßnahme
EMPTY	Es ist kein Papier eingelegt. Legen Sie Papier ein.
DOOR	Die Geräteklappe ist geöffnet. Schließen Sie die Geräteklappe.

Das Gerät hält während des Drucks an

Beim andauernden Ausdrucken von fast schwarzen Bildern kann die Schutzschaltung des Thermodruckkopfs eine Überhitzung verhindern. In diesem Fall wird auf der LCD-Anzeige die Meldung „COOL“ angezeigt.
Warten Sie, bis der Druckkopf sich abgekühlt hat und die Meldung verschwindet.

So brechen Sie einen laufenden Druckvorgang ab

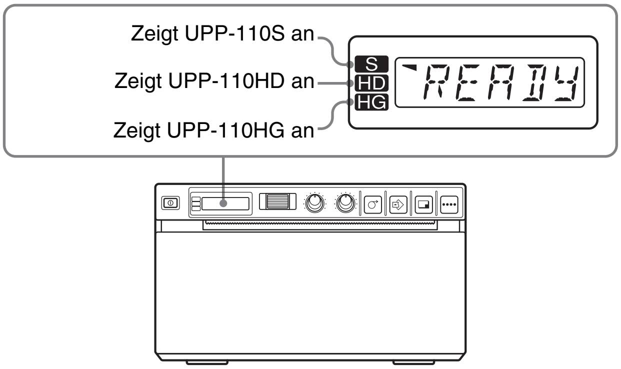
Drücken Sie die Taste OPEN oder FEED, um einen Druckvorgang, der bereits ausgeführt wird, abzubrechen.

Einziehen von Papier

Halten Sie die Taste FEED gedrückt, um Papier einzuziehen. Es wird Papier eingezogen, so lange Sie die Taste FEED gedrückt halten. Versuchen Sie nicht, das Papier mit den Händen herauszuziehen.

Zurzeit gewähltes Papier

Sie können das zurzeit gewählte Papier auf der LCD-Anzeige ablesen. Der Pfeil zeigt auf das zurzeit gewählte Papier. In der folgenden Abbildung handelt es sich beim zurzeit gewählten Papier um UPP-110S.



Der Ausdruck ist unscharf

Ein Bild mit schnellen Bewegungen kann beim Ausdrucken unscharf sein. Ist dies der Fall, Ausdruck mit der Einstellung „ME:FLD“ in der Menüoption „MEMRY“ durchführen.

Bedienung

Im Speicher abgelegte Bilder ausdrucken

Bei jedem Betätigen der Taste PRINT wird das Bild im Speicher abgelegt. Nachdem 10 Bilder abgespeichert worden sind, wird das älteste Bild mit dem neuesten in der zeitlichen Reihenfolge überschrieben. Im Speicher werden stets 10 Bilder abgelegt. Aus diesen Bildern können Sie das gewünschte auswählen und über das Menü ausdrucken.

1 Wählen Sie die Menüoption „PAGE“ aus.
Weitere Einzelheiten zu Menüfunktionen finden Sie unter „Grundfunktionen des Menüs“ auf Seite 94.

2 Drücken Sie auf die Cursor-Steuerung.
Auf dem LCD-Anzeige wird „PG:1“ angezeigt, und auf dem Monitor erscheint das zuletzt gedruckte Bild.
Bei steigender Zahl wird das angezeigte Bild älter.

3 Drehen Sie die Cursor-Steuerung nach unten oder oben, um das Bild anzuzeigen, das Sie drucken möchten.

4 Drücken Sie auf die Cursor-Steuerung.
Das in Schritt 3 abgelegte Bild wird geladen.

5 Drücken Sie die Taste COPY.
Das in Schritt 3 abgelegte Bild wird gedruckt.

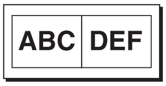
Zwei unterschiedliche Bilder auf einem Blatt ausdrucken

Mit der Einstellung „MU:MLT“ in der Menüoption „MULTI“ können Sie zwei unterschiedliche Bilder erfassen und auf ein und demselben Blatt ausdrucken.

1 Wählen Sie „MU:MLT“ in der Menüoption „MULTI“.

2 Nachdem Sie die in „Starten eines Druckvorgangs“ auf Seite 97 beschriebenen Schritte durchgeführt haben, drücken Sie die Taste PRINT in Schritt 3.
Das Bild, das beim Drücken der Taste PRINT angezeigt wurde, wird erfasst.

3 Drücken Sie die Taste PRINT erneut, sobald auf dem Videomonitor das Bild angezeigt wird, das Sie drucken möchten.
Der Drucker beginnt mit dem Ausdruck von zwei Bildern auf einem Blatt wie folgt.



Wenn „IF:ON“ unter „INFO“ ausgewählt ist, werden die Daten zu Kontrast und Helligkeit des bei Schritt 3 erfassten Bildes unten auf dem Bild angegeben.

Anfertigen einer Kopie des vorherigen Ausdrucks

Drücken Sie die Taste COPY. Das Gerät druckt ein weiteres Exemplar des vorherigen Ausdrucks. Das Bild des vorherigen Ausdrucks bleibt im Gerätespeicher erhalten, bis ein weiteres Bild gedruckt, oder das Gerät ausgeschaltet wird. Sie können nur eine Kopie anfertigen, unabhängig von der Einstellung der Druckmenge im Menü.

Hinweise

- Wenn Sie die Taste COPY sofort nach dem Einschalten des Geräts drücken, ertönt der Warnsummer, da im Gerätespeicher keine Daten vorhanden sind.
- Beim Ausschalten des Druckers geht das im Speicher abgelegte Bild verloren.

Anfertigen mehrerer Kopien eines Ausdrucks

Drücken Sie die Taste COPY so oft wie erforderlich, während der erste Ausdruck kopiert wird (maximal 20 Kopien einschließlich des ersten Ausdrucks). Bei jedem Drücken der Taste COPY ertönt ein kurzer Summton.

Hinweis

Die Maximalanzahl enthält auch die Anzahl der Ausdrucke, die durch Drücken der Taste PRINT erstellt wurden. Wenn Sie z.B. die Taste COPY drücken, nachdem Sie die Taste PRINT fünf Mal gedrückt und fünf Ausdrucke erstellt haben, wird ein und derselbe Ausdruck in 15 Kopien vervielfältigt.

Abbrechen des Kopiervorgangs

Drücken Sie die Taste OPEN oder FEED während des Kopiervorgangs.

Kopien mit unterschiedlicher Druckrichtung und Größe erstellen

Sie können vom zuletzt gespeicherten Bild eine Kopie in unterschiedlicher Druckrichtung und Größe erstellen. Wählen Sie zunächst Druckrichtung und Größe, bevor Sie die Taste COPY drücken.

Druckrichtung und Bildgröße auswählen

Mit den folgenden Menüoptionen können Sie Druckrichtung und Bildgröße auswählen.
„SIDE“: Wählt die Richtung aus, in der das Bild gedruckt wird.
„SCALE“: Vergrößert oder verkleinert das zu druckende Bild.
SFT.H und SFT.V: Stellt den Druckbereich horizontal und vertikal ein.

Druckrichtung auswählen

Sie können die Druckrichtung mit der Menüoption „SIDE“ auswählen.

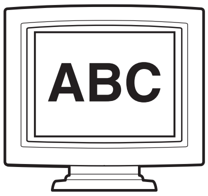
Ausdruck in derselben Richtung wie die Anzeige auf dem Videomonitor

Wählen Sie „S:STD“ in „SIDE.“

Bild beim Druck um 90 Grad gegen den Uhrzeigersinn drehen

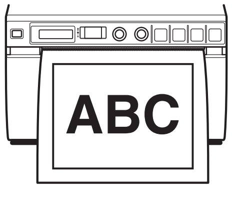
Wählen Sie „S:SIDE“ in „SIDE.“

Auf dem Videomonitor angezeigtes Bild

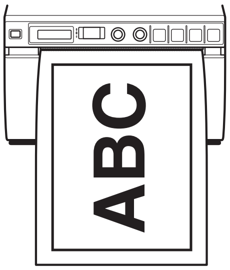


Ausdrucke

Bei Auswahl von „S:STD“



Bei Auswahl von „S:SIDE“



Bildgröße auswählen

Mit der Menüoption „SCALE“ können Sie Bilder vergrößern oder verkleinern. Die Bildgröße kann von der halben Normalgröße bis zur zweifachen Normalgröße in Schritten von 0,1 eingestellt werden.

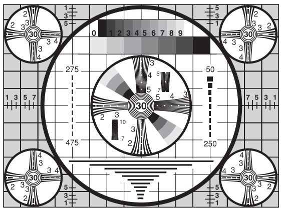
Druckbereichs des Bildes einstellen

Mit den Menüoptionen „SFT.V“ und „SFT.H“ können Sie den Druckbereich des Bildes vertikal und horizontal einstellen.

Sie können den Druckbereich einstellen, während Sie das auf dem Monitor angezeigte Bild betrachten.
Der auf dem Monitor angezeigte Rahmen bewegt sich entsprechend dem über die Cursorsteuerung eingegebenen Wert. Das Bild innerhalb des Rahmens wird gedruckt.

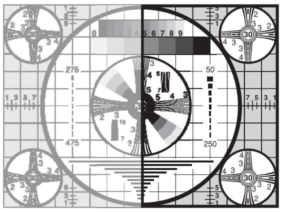
Beispiel: Auswahl von „S:STD“ in „SIDE“ und Auswahl von „SCL:2,0“ in „SCALE“

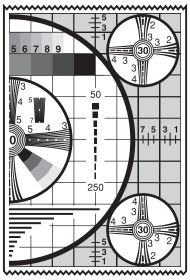
Originalbild



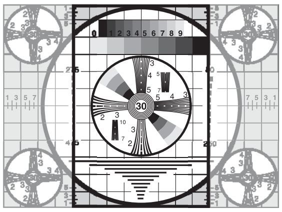
Bilder auf dem Monitor | **Ausdrucke**

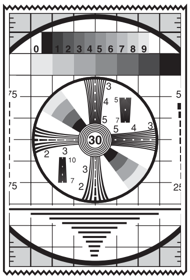
Bei Auswahl von „S.H:+(*)“



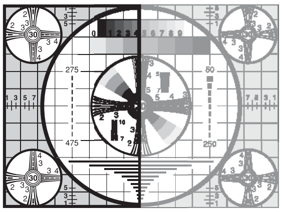


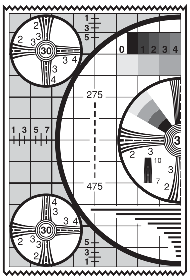
Bei Auswahl von „S.H:0“





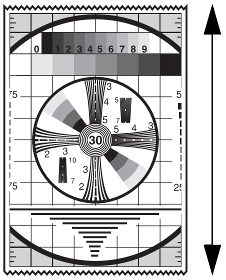
Bei Auswahl von „S.H:–(*)“





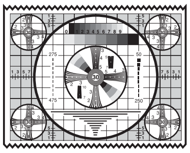
Unterschiedliche Bildgröße des Ausdrucks je nach Einstellung von „SCALE“

Bei Auswahl von „S:STD“ in „SIDE“ und Auswahl von „SCL:2,0“ in „SCALE“



Doppelte Länge im Vergleich zur Länge bei Auswahl von „SCL:1,0“.

Bei Auswahl von „S:STD“ in „SIDE“ und Auswahl von „SCL:1,0“ in „SCALE“

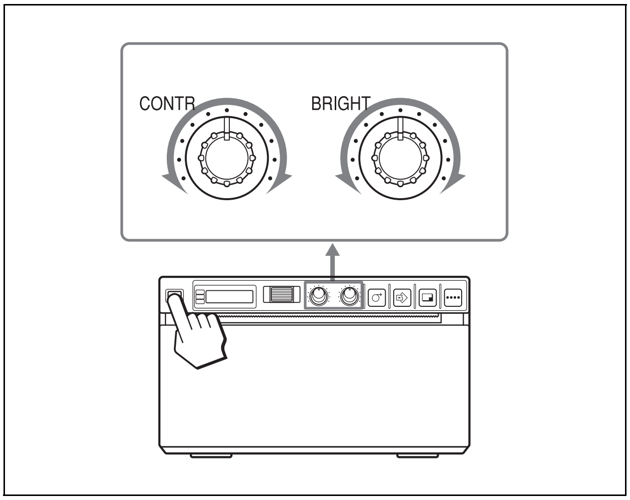


Hinweis

Wenn die Menübedienfunktion gesperrt ist, sind die Regler CONTR und BRIGHT zusätzlich zur Cursor-Steuerung ebenfalls gesperrt. Wenn Sie die Regler CONTR und BRIGHT verwenden möchten, kontaktieren Sie einen nahe gelegenen autorisierten Vertragshändler.

Anpassen von Kontrast und Helligkeit

Sie können den Kontrast und die Helligkeit mit den Reglern CONTR und BRIGHT auf der Frontplatte anpassen.



So passen Sie den Kontrast an

Sie können den Kontrast von Ausdrucken mit dem Regler CONTR anpassen.

Stärkerer Kontrast: Drehen Sie den Regler CONTR im Uhrzeigersinn.

Schwächerer Kontrast: Drehen Sie den Regler CONTR gegen den Uhrzeigersinn.

So stellen Sie die Helligkeit ein

Sie können die Helligkeit von Ausdrucken mit dem Regler BRIGHT anpassen.

Helleres Bild: Drehen Sie den Regler BRIGHT im Uhrzeigersinn.

Dunkleres Bild: Drehen Sie den Regler BRIGHT gegen den Uhrzeigersinn.

Sicherheitsmaßnahmen

Sicherheit

- Überprüfen Sie vor dem Drucken die Betriebsspannung.
  Betreiben Sie das Gerät nur an einer unter „Technische Daten“ angegebenen Stromquelle.
- Stoppen Sie den Druckvorgang sofort, wenn Flüssigkeiten oder Fremdkörper in das Gehäuse gelangen. Ziehen Sie den Netzstecker aus der Steckdose, und lassen Sie das Gerät von qualifiziertem Fachpersonal überprüfen.
- Wollen Sie das Gerät längere Zeit nicht benutzen, ziehen Sie den Netzstecker aus der Steckdose. Ziehen Sie dazu immer am Stecker. Nie am Kabel selbst ziehen.
- Zerlegen Sie das Gehäuse nicht. Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.
- Schließen Sie den Netzstecker des Geräts an eine Netzsteckdose mit Schutzerdung an. Die Schutzerdung muss ordnungsgemäß funktionieren.

Vorsicht im Umgang mit der Schneidevorrichtung

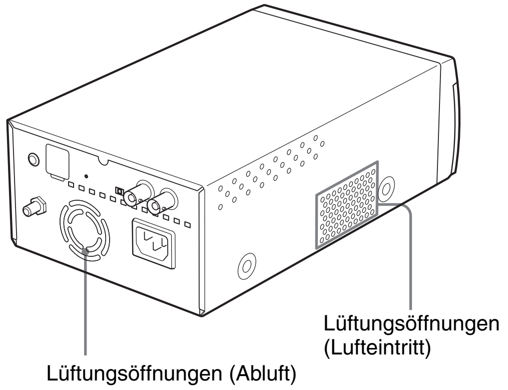
Das Gerät ist mit einer Schneidevorrichtung ausgestattet. Achten Sie beim Einlegen oder Entfernen von Papier darauf, nicht die Schneidevorrichtung zu berühren. Ein Berühren der Schneidevorrichtung könnte eine Verletzung verursachen.

Transport

Tragen oder bewegen Sie das Gerät nicht, wenn eine Papierrolle eingelegt ist. Dies kann zu einer Fehlfunktion führen.

Aufstellung

- Stellen Sie das Gerät auf eine ebene und stabile Oberfläche.
  Wenn Sie das Gerät auf eine unebene Oberfläche stellen, kann es zu Fehlfunktionen kommen.
- Stellen Sie das Gerät nicht in der Nähe von Wärmequellen auf. Stellen Sie das Gerät nicht in der Nähe von Heizkörpern oder Warmluftauslässen oder an Orten auf, an denen es direktem Sonnenlicht, außergewöhnlich viel Staub, Feuchtigkeit oder Erschütterungen ausgesetzt ist.
- Achten Sie auf ausreichende Luftzufuhr, damit sich im Gerät kein Wärmestau bildet. Stellen Sie das Gerät nicht auf Oberflächen wie Teppichen oder Decken oder in der Nähe von Textilien wie Gardinen und Wandbehängen auf.
- Stellen Sie den Drucker so auf, dass eine ausreichende Luftzirkulation um den Drucker durch die Lüftungsöffnungen (Lufteintritt) an der linken Seite und die Lüftungsöffnungen (Abluft) auf der Rückseite besteht, um einen internen Wärmestau zu verhindern.



- Wenn der Drucker plötzlichen, starken Temperaturschwankungen ausgesetzt wird (beispielsweise beim Transport von einem kalten in einen warmen Raum oder in einem Raum mit einem Heizkörper, der viel Feuchtigkeit erzeugt), kann sich im Gerät Kondenswasser bilden. In einem solchen Fall arbeitet das Gerät in der Regel nicht korrekt. Wenn Sie es dennoch längere Zeit benutzen, kann es sogar zu Beschädigungen kommen. Hat sich im Gerät Feuchtigkeit niedergeschlagen, schalten Sie es aus und lassen Sie es mindestens eine Stunde lang unbenutzt stehen.

Pflege

Reinigen des Gehäuses

Verwenden Sie zum Reinigen der Gehäuseoberfläche ein ausgewrungenes feuchtes Tuch mit Wasser und einem milden Reinigungsmittel.
Verwenden Sie zur Reinigung des Gehäuses niemals Verdünner, ein organisches Lösungsmittel oder Scheuermittel.

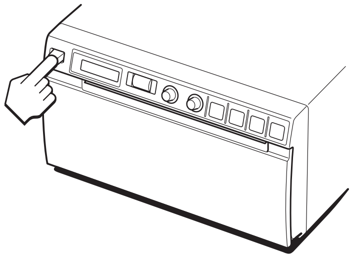
Reinigen des Thermodruckkopfes

Ist der Ausdruck verschmutzt oder weist er weiße Streifen auf, müssen Sie den Thermodruckkopf mit dem mitgelieferten Reinigungsblatt reinigen.
Führen Sie das Reinigen des Thermodruckkopfs anhand des Menüs aus.

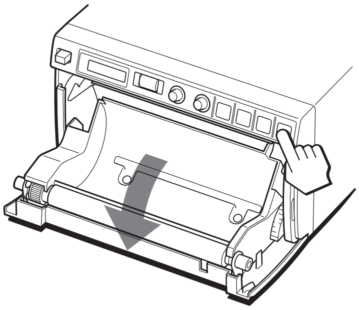
Hinweis

Das Gerät ist mit einer Schneidevorrichtung ausgestattet. Achten Sie beim Reinigen des Thermodruckkopfs darauf, nicht die Schneidevorrichtung zu berühren. Ein Berühren der Schneidevorrichtung könnte eine Verletzung verursachen.

1 Stellen Sie den Netzschalter ON/OFF auf ON, um das Gerät einzuschalten.

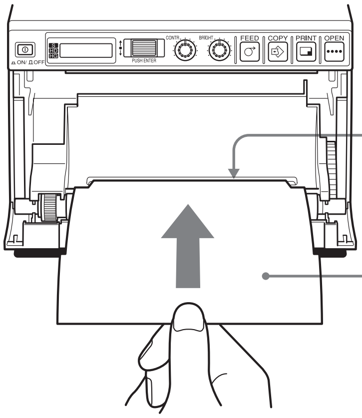


2 Öffnen Sie den Deckel mit der Taste OPEN.



Entfernen Sie ggf. im Papierfach befindliches Papier.

3 Legen Sie das Reinigungsblatt mit der schwarzen Seite nach unten in den Schlitz des Papierfachs ein.



4 Schließen Sie den Deckel.

5 Drücken Sie auf die Cursor-Steuerung.
Die zuletzt geänderte Menüoption wird angezeigt.

6 Drehen Sie die Cursor-Steuerung, um „CLEAN“ anzuzeigen, und drücken Sie dann auf die Cursor-Steuerung.

7 Vergewissern Sie sich, dass „CL:OK“ angezeigt wird, und drücken Sie dann die Cursor-Steuerung.
Das Gerät beginnt mit dem Reinigen des Thermodruckkopfs.
Auf der LCD-Anzeige wird „CLEAN“ angezeigt.
Wenn das Reinigungsblatt anhält und das Warnsignal ertönt, ist der Reinigungsvorgang abgeschlossen.

8 Drücken Sie zum Öffnen des Deckels die Taste OPEN und nehmen Sie das Reinigungsblatt heraus.

9 Schließen Sie den Deckel.

Hinweis

Reinigen Sie den Thermodruckkopf nur bei Bedarf. Ein zu häufiges Reinigen des Thermodruckkopfs könnte zu einer Fehlfunktion führen.

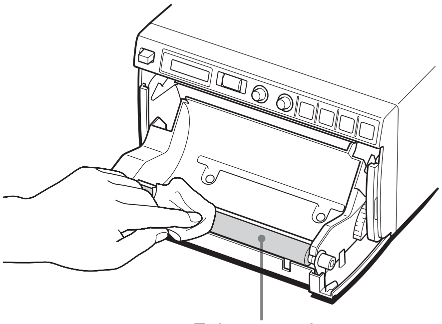
Reinigen der Führungswalze

Wenn das Papier nach dem Druckvorgang nicht gleichmäßig ausgeworfen wird, könnte eine verschmutzte Führungswalze die Ursache sein. Reinigen Sie in einem solchen Fall die Führungswalze mit einem weichen, mit Wasser und mildem Reinigungsmittel getränkten Tuch.

1 Stellen Sie den Netzschalter ON/OFF auf ON, um das Gerät einzuschalten.

2 Öffnen Sie den Deckel mit der Taste OPEN. Entfernen Sie ggf. im Papierfach befindliches Papier.

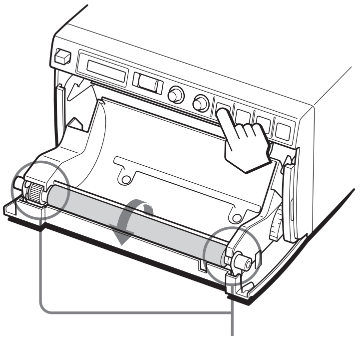
3 Reinigen Sie die Führungswalze vorsichtig mit einem mit Wasser und mildem Reinigungsmittel getränkten Tuch.



Hinweise

- Nachdem die Führungswalze gereinigt worden und vollständig abgetrocknet ist, drehen Sie sie, um einen weiteren Bereich der Walze zu reinigen.
- Die Führungswalze nicht mit den Händen drehen. Verwenden Sie zum Drehen die Taste FEED. Um einen weiteren Bereich der Führungswalze zu reinigen, fahren Sie mit dem nächsten Schritt fort.

4 Drücken und halten Sie die Taste FEED, so dass sich die Führungswalze automatisch dreht. Lassen Sie die Taste FEED los, sobald der zu reinigende Bereich der Walze sichtbar wird.



Hinweise

- Die Führungswalze dreht sich, wenn Sie die Taste FEED drücken. Gehen Sie umsichtig vor, damit Ihre Finger nicht von der drehenden Führungswalze erfasst werden.
- Vergewissern Sie sich, dass die Führungswalze vollständig zum Stillstand gekommen ist, bevor Sie mit dem Reinigen beginnen.

5 Wiederholen Sie die Schritte 3 und 4, bis die Führungswalze vollständig gereinigt ist.

6 Schließen Sie den Deckel, wenn die Führungswalze vollständig getrocknet ist.

Technische Daten

Spannungsversorgung
100 bis 240 V AC, 50/60 Hz

Eingangsstromstärke
1,5 A bis 0,8 A

Betriebstemperatur
5 °C bis 35 °C

Luftfeuchtigkeit bei Betrieb
20 % bis 80 %

Temperatur bei Lagerung und Transport
–20 °C bis +60 °C

Luftfeuchtigkeit bei Lagerung und Transport
20 % bis 90 %

Abmessungen 154 × 88 × 240 mm (B/H/T)

Gewicht 2,6 kg (nur Drucker)

Thermodruckkopf
Dünnfilmthermokopf, 1280 Punkte

Graustufen 256 (8 Bit)

Auflösung (bei Auswahl von „SC:WD1“ in „SCAN“)
EIA: 1210 × 490 Punkte
CCIR: 1210 × 582 Punkte

Bildgröße (bei Auswahl von „SC:WD1“ oder „SC:NOR“ in „SCAN“)
Bei Auswahl von „S:STD“ in „SIDE“
EIA: 94 × 73 mm
CCIR: 94 × 71 mm
Bei Auswahl von „S:SIDE“ in „SIDE“
EIA: 124 × 96 mm
CCIR: 127 × 96 mm

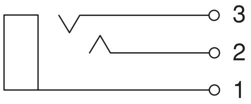
Druckgeschwindigkeit
ca. 2 Sek./Bild
(bei Standardeinstellung)
(bei Auswahl von „SP:HI“ in „SPEED“)
ca. 3,3 Sek./Bild
(bei Standardeinstellung)
(bei Auswahl von „SP:NOR“ in „SPEED“)

Bildspeicher 10 Bilder (800 k × 8 Bits für ein Bild)

Eingangsanschluss
VIDEO IN (BNC-Typ)
FBAS-Videosignale nach EIA oder CCIR
1,0 Vp-p, 75 Ohm/hochohmig (EIA/CCIR automatisch selektiert)

Ausgangsanschluss
VIDEO OUT (BNC-Typ)
FBAS-Videosignale nach EIA oder CCIR
1,0 Vp-p, 75 Ohm durchgeschleift/EE-schaltbar

Anschluss REMOTE (Stereo-Minibuchse)



1 GND
2 PRINT SIGNAL (TTL)
LOW Impulseingang über 100 mSek. löst Druck aus.
3 PRINT SIGNAL (TTL)
Geht während des Druckens auf HIGH

Mitgeliefertes Zubehör
Druckkopfreinigungsblatt (1)
Druckmaterialetikett (1)
Bedienungsanleitung (1)
Wartungskontaktadressen (1)

Medizinische Daten
Schutz gegen elektrischen Schlag:
Klasse I
Schutz gegen eindringendes Wasser:
Normal
Gerätesicherheit bei entflammbaren Anästhetika oder Sauerstoff:
Nicht geeignet zum Einsatz mit brennbaren Anästhetika oder Sauerstoff
Betriebsmodus:
Kontinuierlich

Änderungen, die dem technischen Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

Fehlersuche

Überprüfen Sie zunächst die unten beschriebenen Probleme und Lösungen, bevor Sie sich mit dem Kundendienst in Verbindung setzen. Können Sie das Problem nicht selbstständig beheben, so wenden Sie sich an einen nahe gelegenen autorisierten Vertragshändler.

Symptom	Ursachen/Maßnahmen
Weiße Flecken auf den ersten Ausdrucken.	Wurde gerade eine neue Papierrolle eingelegt? →Wenn Sie mit einer neu eingelegten Papierrolle drucken, können Verunreinigungen auf der Papieroberfläche weiße Flecken auf dem Ausdruck verursachen. Halten Sie die Taste FEED gedrückt, bis ca. 15~20 cm Papier ausgegeben wurden und lassen Sie die Taste wieder los. (Seite 88)
Druckvorgang startet nicht.	• Papier wird nicht eingezogen. →Ist das Gerät eingeschaltet? →Ist das Gerät richtig angeschlossen? (Seite 86) →Hat sich die Papierrolle gelockert? (Seite 87) →„MU:MLT“ in der Menüoption „MULTI“ ausgewählt? (Seite 91) • Signaltöne →Ist das Papier richtig eingelegt? (Seite 88) →Hat sich der Thermokopf überhitzt? Der Thermokopf kann sich überhitzen, wenn ununterbrochen dunkle Bilder gedruckt werden. Warten Sie, bis sich der Kopf abgekühlt hat. →Liegt das Videosignal des Bildes an? (Seite 86) • Das Papier wird eingezogen, aber der Druckvorgang beginnt nicht. →Ist das Papier mit der falschen Seite eingelegt? (Seite 88)
Schwarze Ränder oder Fehlstellen an den Rändern des Ausdrucks	Ursache dieses Problems könnte der Videosignaleingang in das Gerät sein. →Ändern Sie die Einstellung der Menüoption „SCAN“. (Seite 92)

Symptom	Ursachen/Maßnahmen
Papierstau	• Ist das gestaute Papier sichtbar? →Öffnen Sie mit der Taste OPEN den Papierfachdeckel, entfernen Sie den Ausdruck oder die Papierrolle, und ziehen Sie das gestaute Papier langsam heraus. • Hat sich Feuchtigkeit im Gerät gebildet? →Wird das Gerät von einem kalten in einen warmen Raum gebracht, kann sich im Gerät Kondensation bilden. Schalten Sie es aus und lassen Sie es 1 - 2 Stunden lang unbenutzt stehen (bis es Raumtemperatur erreicht hat) und versuchen Sie dann erneut zu drucken.
Ausdruck ist verschmutzt.	Ist der Thermodruckkopf verschmutzt? →Verwenden Sie zur Reinigung des Thermodruckkopfs das mitgelieferte Reinigungsblatt. (Seite 102)
Papier wird nicht gleichmäßig eingezogen.	Ist die Führungswalze verschmutzt? →Führungswalze reinigen. (Seite 103)
Das Gerät hält beim Drucken von fast schwarzen Bildern an und auf der LCD-Anzeige wird die Meldung „COOL“ angezeigt.	Beim andauernden Ausdrucken von fast schwarzen Bildern kann die Schutzschaltung des Thermodruckkopfs eine Überhitzung verhindern. →Unterbrechen Sie den Druckvorgang und lassen Sie den Thermodruckkopf abkühlen.
Weiße Linien oder kleine Buchstaben erscheinen auf dem Ausdruck undeutlich.	Ist „CO:ON“ in der Menüoption „COLOR“ für Schwarz/Weiß-Eingangssignale ausgewählt? →Wählen Sie „CO:OFF“ in „COLOR“, wenn das Eingangssignal ein Schwarz/Weiß-Signal ist. (Seite 90)
Auf dem gesamten Bildschirm erscheinen kleine Quadrate.	Ist „CO:OFF“ in der Menüoption „COLOR“ für Farb-Eingangssignale ausgewählt? Wählen Sie „CO:ON“ in „COLOR“, wenn das Eingangssignal ein Farb-Signal ist. (Seite 90)
Der Ausdruck ist zu dunkel oder zu hell.	• Ist der 75 Ω Wahlschalter korrekt eingestellt? (Seite 86) • Wurden in der Menüoption „MEDIA“ korrekte Einstellungen vorgenommen? (Seite 91) • Wurden in der Menüoption „GAMMA“ korrekte Einstellungen vorgenommen? (Seite 90)
Der Ausdruck erscheint in die Länge gezogen oder vergrößert.	Wurde die Einstellung „AS:1:1“ in der Menüoption „ASPCT“ ausgewählt? →Wählen Sie „AS:4:3.“ (Seite 90)

Fehlermeldungen

Meldungen werden unter folgenden Bedingungen auf dem LCD angezeigt. Nehmen Sie zur Fehlerbehebung bitte die entsprechenden Maßnahmen vor, die neben der Meldung angezeigt werden.

Meldungen	**Beschreibung und Abstellmaßnahme**
DOOR	Die Papierfachklappe ist geöffnet. →Schließen Sie die Papierfachklappe, bis sie sicher einrastet.
EMPTY	• Es wurde kein Papier eingelegt. • Kein Papier mehr. →Legen Sie Papier ein. (Seite 87)
COOL	Die Schutzschaltung, die ein Überhitzen des Thermodruckkopfs verhindert, wurde aktiviert. →Warten Sie, bis die Meldung ausgeblendet wird. Der Druckvorgang wird anschließend automatisch fortgesetzt.
LOCK	Die Menübedienfunktion ist gesperrt. Cursor-Steuerung und die Regler CONTR und BRIGHT sind deaktiviert. →Wenn Sie Menüvorgäge ausführen oder diese Regler verwenden wollen, kontaktieren Sie einen nahe gelegenen autorisierten Vertragshändler.

Sonstiges

Index

A

Anschlüsse 86

D

Druckvorgang
  Abbrechen 97
  Druckvorgang starten 97
  Helligkeit anpassen 100
  Kontrast anpassen 100

F

Fehlerbehebung 105
Fehlermeldungen 106

K

Kurzbeschreibung 84

M

Menü
  Liste 90
  Menüaufbau 89
  Menüeinstellungen laden 95
  Menüeinstellungen speichern 95
  Menüfunktionen 94
  Menüliste ausdrucken 96

P

Papier
  Einlegen 87
  Geeignetes Papier 86
  Hinweise zum Lagern und Verarbeiten 86
Pflege
  Reinigen des Gehäuses 102
  Reinigen des Thermodruckkopfs 102
  Reinigung der Führungswalze 103
Positionen und Funktionen der Teile und Bedienelemente
  Rückwand 85
  Vorderseite 84

S

Sicherheitsmaßnahmen
  Aufstellung 101
  Schneidevorrichtung 101
  Sicherheit 101
  Transport 101

T

Technische Daten 104

V

Vorbereitungen 84

ATTENZIONE

Per ridurre il rischio di incendi o scosse elettriche, non esporre questo apparato alla pioggia o all'umidità.

Per eventuali riparazioni, rivolgersi esclusivamente a personale qualificato.

QUESTO APPARECCHIO DEVE ESSERE MESSO A TERRA.

Simboli sui prodotti

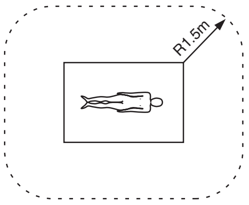
Questo simbolo indica il terminale equipotenziale che porta i vari componenti di un sistema allo stesso potenziale.

Questo simbolo indica che il manuale in dotazione contiene importanti istruzioni per il funzionamento e la manutenzione dell'apparecchio.

Importanti avvertenze per l'uso in ambienti medicali

1. Tutte le apparecchiature collegate a questo apparecchio devono essere certificate conformi agli standard IEC60601-1, IEC60950-1, IEC60065 o ad altri standard IEC/ISO applicabili alle apparecchiature.
2. Quando questo apparecchio viene utilizzato insieme ad altre apparecchiature nell'area del paziente*, è necessario che esso venga alimentato da un trasformatore isolato oppure che venga collegato per mezzo di un terminale di messa a terra aggiuntivo alla messa a terra del sistema, a meno che esso non venga certificato conforme allo standard IEC60601-1.

* Area del paziente



3. Se collegato ad altre apparecchiature, la corrente di dispersione potrebbe aumentare.
4. Questo apparecchio genera, utilizza e può irradiare energia di frequenza e, se non viene installato in conformità alle istruzioni del manuale, può provocare interferenze ad altre apparecchiature. Se ciò dovesse succedere (per determinare ciò è sufficiente scollegare il cavo dall'apparecchio) adottare le misure seguenti: collocare l'apparecchio in una diversa postazione. Collegare questo apparecchio e l'apparecchiatura in questione a circuiti diversi. Consultare il vostro rivenditore, (secondo lo standard EN60601-1-2 e CISPR11, classe B, gruppo 1).

Attenzione

Per lo smaltimento dell'apparecchio o degli accessori è necessario rispettare la legge del paese e la normativa dell'ospedale in questione.

Avvertenza sul collegamento dell'alimentazione

Utilizzare un cavo di alimentazione appropriato per l'alimentazione locale.

1. Utilizzare un cavo di alimentazione (a 3 anime)/ connettore per l'apparecchio/spina con terminali di messa a terra approvati che siano conformi alle normative sulla sicurezza in vigore in ogni paese, se applicabili.
2. Utilizzare un cavo di alimentazione (a 3 anime)/ connettore per l'apparecchio/spina conformi alla rete elettrica (voltaggio, ampere).

In caso di domande relative all'uso del cavo di alimentazione/connettore per l'apparecchio/spina di cui sopra, consultare personale qualificato.

Sommario

Operazioni preliminari

Presentazione **110**
Posizione e funzione dei componenti e dei comandi **110**
Pannello anteriore 110
Pannello posteriore 111
Collegamenti **112**
Collegamento al connettore USB 112
Carta **112**
Tipi di carta utilizzabili 112
Caricamento della carta nella stampante **113**
Caricamento della carta 113

Funzionamento

Regolazioni e impostazioni mediante il menu **115**
Sequenza menu 115
Elenco menu 116
Operazioni di base dei menu 119
Memorizzazione impostazioni menu 121
Stampa dell'elenco dei menu 121
Stampa **122**
Inizio dell'operazione di stampa 122
Selezione della direzione di stampa e della dimensione dell'immagine 124
Regolazione del contrasto e della luminosità 125

Altre

Precauzioni **127**
Sicurezza 127
Trasporto della stampante 127
Installazione 127
Manutenzione **128**
Pulizia delle parti esterne dell'apparecchio 128
Pulizia della testina termica 128
Pulizia del rullo di supporto 128
Caratteristiche tecniche **130**
Soluzione dei problemi **131**
Messaggi di errore **132**
Indice **133**

Operazioni preliminari

Presentazione

Stampa di alta qualità, silenziosa e rapida

- Impiega una testina termica sottile con un circuito integrato di pilotaggio ad alta velocità IC, che permette la stampa di immagini ad alta definizione di 12,8 punti/mm.
- Velocità di stampa di circa 1 immagine ad alta qualità (stampa singola dimensione A7) ogni 2 secondi in fase di stampa ad alta velocità (con “SP:HI” selezionato nella voce di menu “SPEED”).
- Stampa in bianco e nero con un massimo di 256 gradazioni di tonalità (tonalità).
- Circuiti di correzione della temperatura che evitano sfocature nella stampa causate da cambiamenti di temperatura.

Facile impostazione della stampante da un menu

È possibile effettuare le impostazioni per soddisfare i propri requisiti utilizzando un menu. Si possono memorizzare fino a tre impostazioni come gruppo di impostazioni utente.

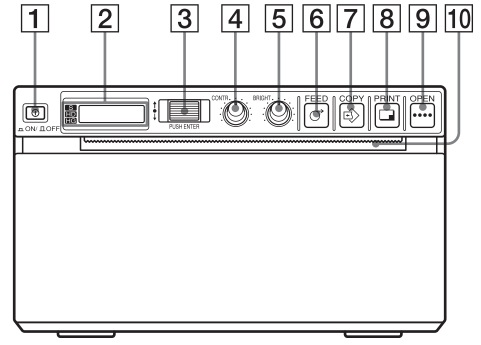
Facilità di inserimento della carta

Il libero accesso allo sportello dello scomparto carta permette di inserire la carta nella stampante con estrema facilit.

Posizione e funzione dei componenti e dei comandi

Per maggiori dettagli consultare le rispettive pagine indicate tra parentesi ().

Pannello anteriore



1 **⏻Interruttore ON/OFF (113, 119, 122, 128)**
Premere l’interruttore su ON per accendere la stampante. La retroilluminazione del display LCD si accende in verde.

2 **Display stampante (LCD: display a cristalli liquidi) (115, 122)**
La retroilluminazione verde quando l’apparecchio funziona normalmente. Inoltre, in normali condizioni di funzionamento, l’indicatore evidenzia il tipo di carta attualmente selezionato sul display LCD.
Per informazioni dettagliate sulla carta, vedere “Carta” a pagina 112 e “Tipo di carta attualmente selezionato” a pagina 122.
In caso di errore, compare un messaggio di segnalazione corrispondente.
Durante le operazioni del menu, le voci del menu e le impostazioni sono visualizzate.

3 **Comando jog (119, 128)**
Utilizzati per eseguire le operazioni relative al menu.

4 **Comando CONTR (contrasto) (125)**
Regola il contrasto della stampa.

5 **Comando BRIGHT (luminosità) (125)**
Regola la luminosità della stampa.

6 Tasto FEED (114, 122)
Tenerlo premuto per alimentare la carta. Durante la stampa, premerlo per annullare l'operazione di stampa.

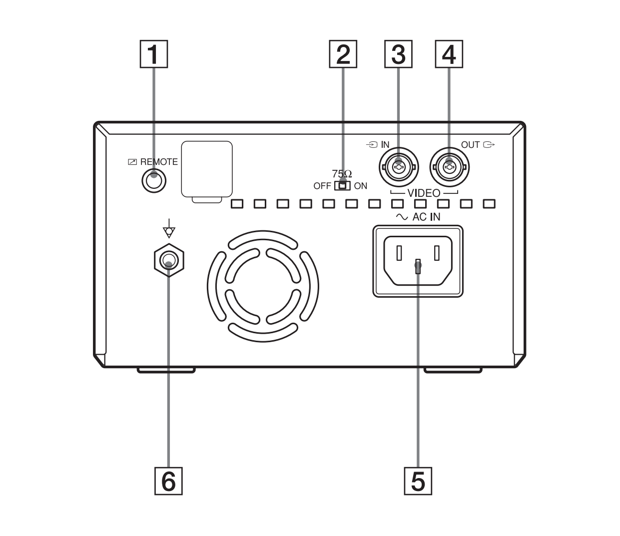
7 Tasto COPY (123)
Stampa un'altra copia della stampa precedente.
È possibile eseguire solo una copia ogni volta che viene premuto questo tasto indipendentemente dalla quantità di stampe impostata utilizzando il menu.

8 Tasto PRINT
Stampa l'immagine attualmente visualizzata sul monitor video. L'immagine visualizzata quando si preme il tasto PRINT viene memorizzata.

9 Tasto OPEN (114, 122)
Premerlo per aprire lo scomparto della carta. Durante la stampa, premerlo per annullare l'operazione di stampa.

10 Seghetta di taglio carta
Taglia la carta man mano che ciascuna immagine viene stampata.

Pannello posteriore



1 Connettore REMOTE (112)
Collega il telecomando RM-91 o l'interruttore a pedale per controllare il funzionamento della stampante a distanza.

2 Interruttore di selezione 75 Ω
ON: Se nessun elemento è collegato al connettore VIDEO OUT, impostare l'interruttore su questa posizione.
OFF: Con un monitor video o un altro apparecchio video collegato al connettore VIDEO OUT, impostare l'interruttore su questa posizione.

3 Connettore VIDEO IN (ingresso) (tipo BNC)
Collegarlo al connettore di uscita video dell'apparecchio video.

4 Connettore VIDEO OUT (uscita) (tipo BNC)
Collegarlo al connettore di ingresso video del monitor video. I segnali di uscita dipendono dall'impostazione della voce "VIDEO" del menu.

5 Connettore AC IN
Per l'alimentazione locale, usare sempre un cavo di alimentazione appropriato (non in dotazione). Vedere "Avvertenza sul collegamento dell'alimentazione" a pagina 108.

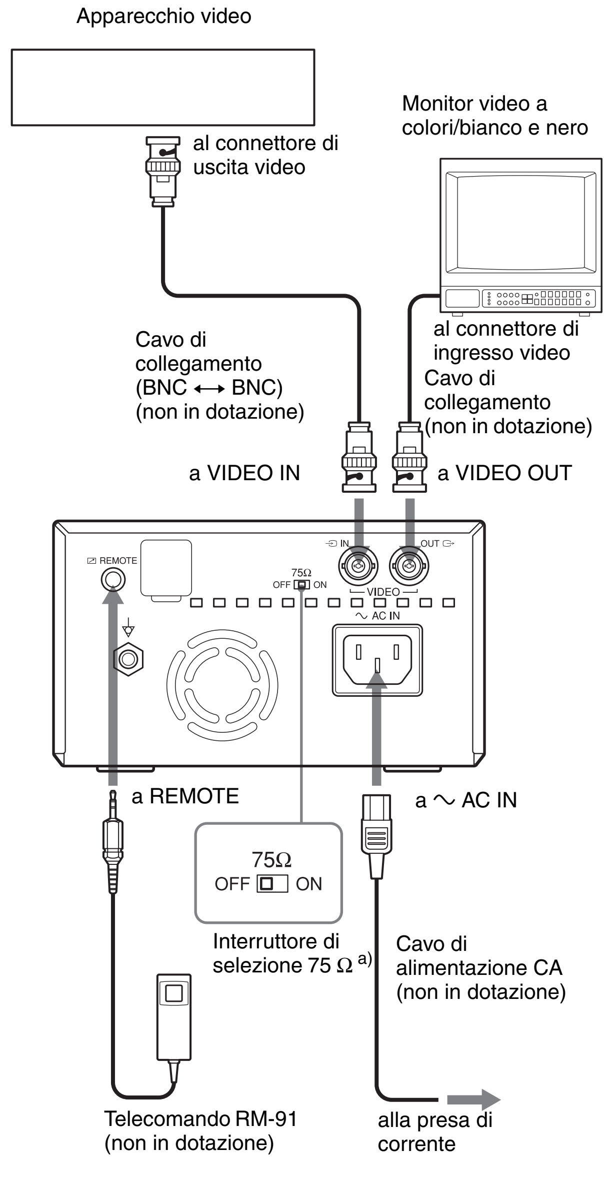
6 Terminale equipotenziale
Permette di collegare la presa equipotenziale per portare tutti i componenti del sistema allo stesso potenziale. Vedere "Importanti avvertenze per l'uso in ambienti medicali" a pagina 108.

Collegamenti

Note

- Spegnere tutti i dispositivi prima di effettuare qualsiasi collegamento.
- Collegare il cavo di alimentazione CA per ultimo.

Collegamento al connettore USB



a) Impostare l'interruttore di selezione 75 Ω come descritto di seguito.
ON: Se nessun elemento è collegato al connettore VIDEO OUT, impostare l'interruttore su questa posizione.
OFF: Con un monitor video o un altro apparecchio video collegato al connettore VIDEO OUT, impostare l'interruttore su questa posizione.

Carta

Utilizzare esclusivamente carta Sony UPP-110S/110HD/110HG, studiata appositamente per l'utilizzo con questa stampante. L'alta qualità della stampa non è garantita se si usa un altro tipo di carta, la quale potrebbe inoltre danneggiare la stampante.
Non è possibile utilizzare UPP-110HA come specificato per la stampante serie UP-880/890MD.

Tipi di carta utilizzabili

I tipi di carta utilizzabili sono i seguenti.

Qualità stampa	Tipo di carta
TYPE I (Normale)	UPP-110S
TYPE II (Alta densità)	UPP-110HD
TYPE V (Superiore)	UPP-110HG

Note sulla conservazione e sull'utilizzo della carta

Conservazione della carta non utilizzata

- Conservare la carta non utilizzata a una temperatura minore di 30°C in un luogo asciutto non esposto direttamente ai raggi solari.
- Non conservare la carta non utilizzata vicino a liquidi volatili ed evitarne il contatto con liquidi volatili organici, nastri o pellicole di cellophane o composti di cloruro di vinile.

Caricamento della carta

- Maneggiare la carta con cura durante il caricamento, evitando di toccare la superficie di stampa con le dita. Il sudore o gli oli della pelle potrebbero causare immagini sfocate.
- Dopo avere rimosso l'etichetta dal bordo della carta, estrarre i primi 15~20 cm prima di stampare. L'adesivo dell'etichetta che rimane sulla carta può danneggiare l'immagine.

Conservazione delle stampe

- Per evitare che le stampe sbiadiscano o cambino di colore, conservarle in un luogo fresco e asciutto a una temperatura non oltre 30°C.
- Conservare le stampe in buste di polipropilene o tra fogli di carta che non contengano plastica.
- Non conservare le stampe in luoghi esposti alla luce solare diretta o a umidit elevata.
- Non conservare le stampe vicino a liquidi volatili ed evitarne il contatto con liquidi volatili organici, nastri o pellicole di cellophane o composti di cloruro di vinile.

- Per evitare che le immagini sbiadiscano, non collocare le stampe sopra o sotto un foglio copiato diazoicamente.
- Per fissare le stampe su un altro foglio di carta, utilizzare nastri biadesivi o una colla a base di acqua.
- Non incenerire la carta da stampante di scarto.

Caricamento della carta nella stampante

Note

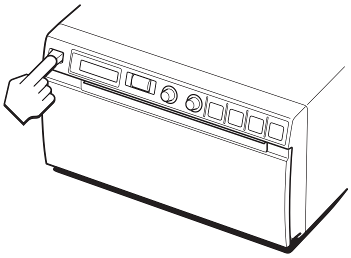
- Prima di inserire la carta nella stampante, vedere "Note sulla conservazione e sull'utilizzo della carta" (pagina 112).
- Maneggiare sempre la carta con cura durante l'inserimento, per evitare di compromettere la qualità delle stampe. Non piegare o raggrinzire la carta e non toccare mai la superficie di stampa con le dita. Il sudore delle impronte può causare sfocature nelle immagini.
- Non usare altri tipi di carta a parte il tipo UPP-110S/110HD/110HG. (pagina 112)
- Accertarsi di impostare la voce di menu "MEDIA" sul tipo di carta da utilizzare. Confermare il tipo di carta selezionato sul display LCD. (pagina 117)

Caricamento della carta

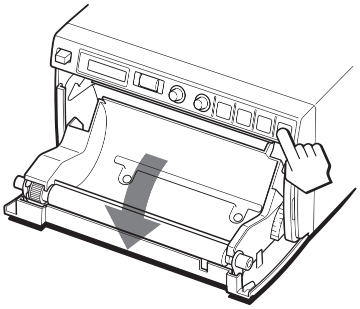
Attenzione

La stampante è dotata di seghetta di taglio della carta. Prestare attenzione a non toccare la seghetta di taglio durante il caricamento della carta per evitare infortuni.

1 Premere l'interruttore ON/OFF per accendere la stampante.
Se la carta non è ancora caricata, la retroilluminazione del display LCD è di color ambra e compare il messaggio "EMPTY".



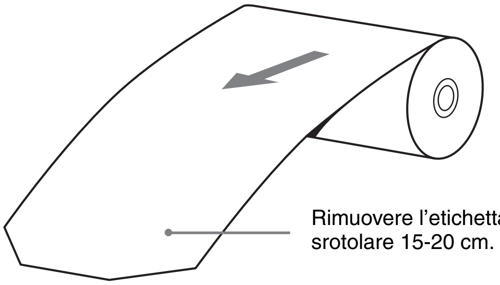
2 Premere il tasto OPEN per aprire lo scomparto della carta.

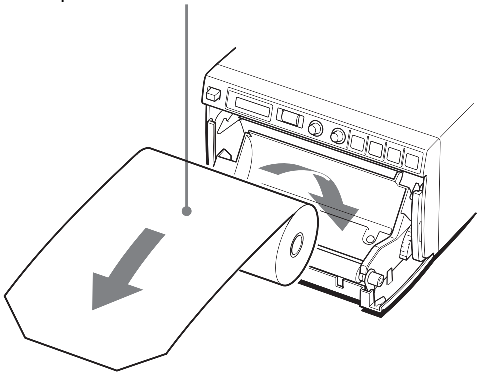


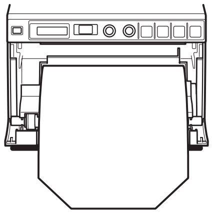
3 Rimuovere l'etichetta dal bordo del rotolo di carta, srotolare circa 15~20 cm di carta e collocare il rotolo nel vassoio della carta.

Nota

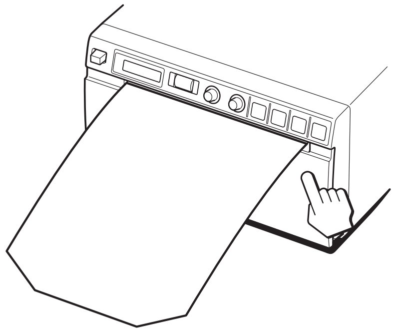
Per evitare di esporre la carta alla polvere, allo sporco, ecc., maneggiarla sempre con cura durante la rimozione dell'imballo e l'inserimento nella stampante. La carta polverosa o sporca non può essere usata per la stampa.

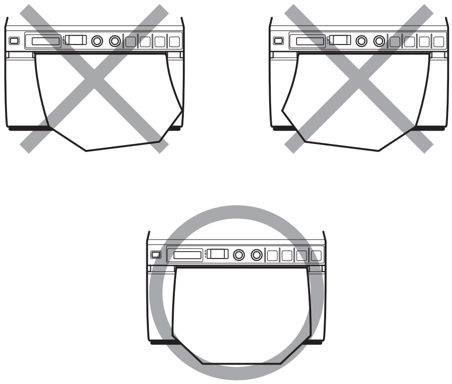






4 Chiudere lo sportello dello scomparto della carta e spingerlo per bloccarlo.





Note

- Verificare che la carta esca diritta. Se esce storta, la carta potrebbe incepparsi.
- Se al punto 3 non si è srotolata abbastanza carta, premere il tasto FEED sul pannello di comando per alimentare altra carta senza estrarla.

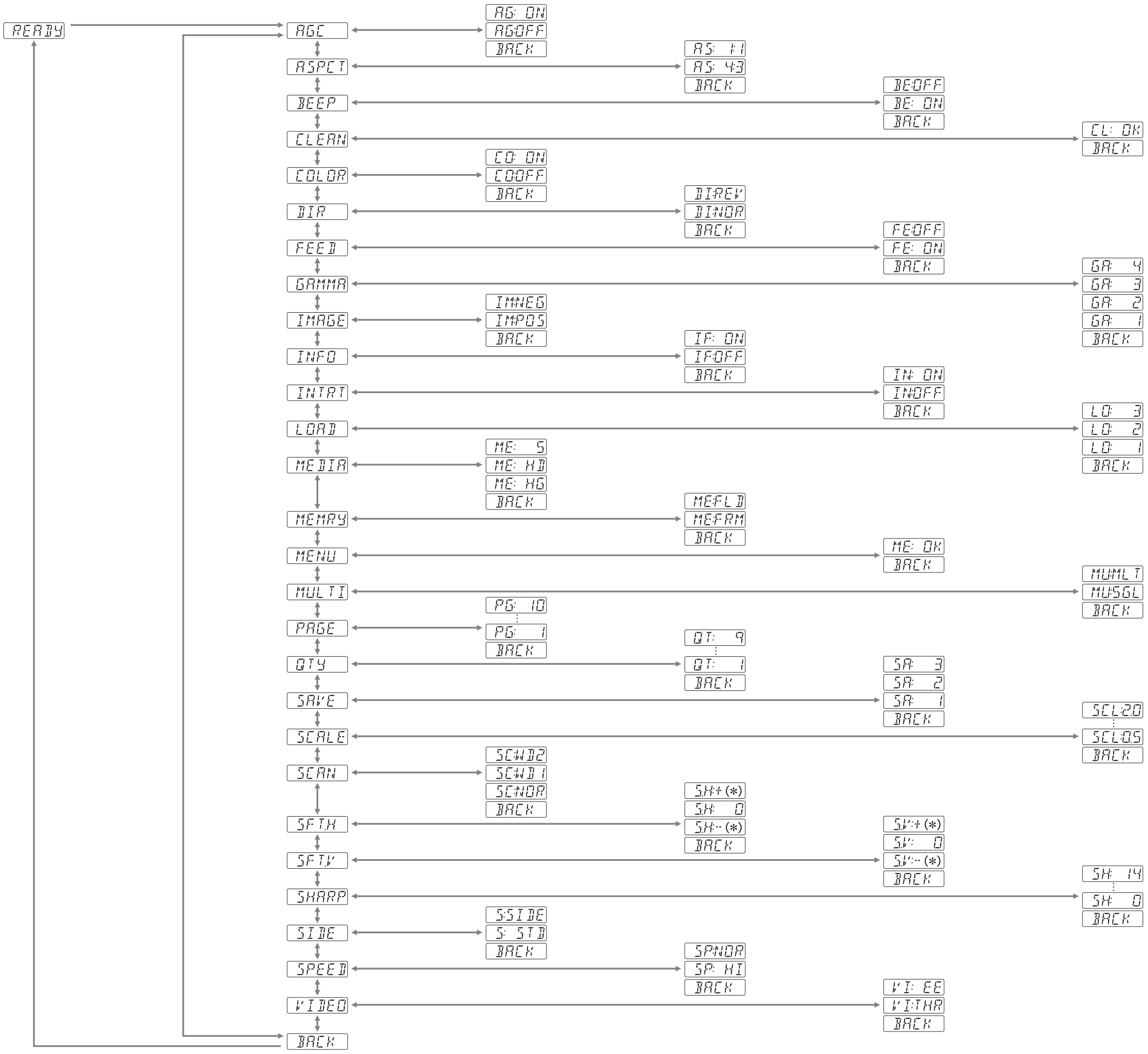
Funzionamento

Regolazioni e impostazioni mediante il menu

È possibile effettuare regolazioni e impostazioni in modo da soddisfare le proprie esigenze. Tali impostazioni e regolazioni vengono mantenute anche se l'apparecchio viene spento.
La stampante può essere impostata in base alle funzioni richieste, alle apparecchiature ad essa collegate e alle proprie preferenze.
Si possono memorizzare fino a tre impostazioni come gruppo di impostazioni utente.

Sequenza menu

Le informazioni visualizzate sul display LCD cambiano man mano che si ruota il comando jog, come indicato nel seguente schema di sequenza menu, permettendo di effettuare le impostazioni per ciascuna voce del menu.



Informazioni su * nelle voci di menu "SFT:H" e "SFT:V"
* indica il valore numerico visualizzato ruotando il comando jog. Questo valore numerico varia a seconda delle impostazioni di "SCALE", "SCAN" e "SIDE" e del sistema di segnali dell'immagine da acquisire.

Elenco menu

Questa sezione descrive i menu visualizzati man mano che si ruota il comando jog. L'impostazione racchiusa in un riquadro [ ] indica l'impostazione di fabbrica.

Voce	Funzione	Impostazioni
AGC	Regola il segnale di ingresso al livello di stampa ottimale	AG:ON: Regola il segnale di ingresso al livello ottimale, quando l'immagine della stampa troppo scura o troppo chiara. [AG:OFF]: Solitamente, selezionare questa impostazione. BACK: Annulla la modifica dell'impostazione e ritorna alla colonna di selezione voce.
ASPCT [a)]	Seleziona il rapporto di formato	AS:1:1: Stampa un segnale video con un rapporto di formato di 1:1. [AS: 4:3]: Solitamente, selezionare questa impostazione. BACK: Annulla la modifica dell'impostazione e ritorna alla colonna di selezione voce.
BEEP	Attiva i segnali acustici di funzionamento e di errore	BE: OFF: Il segnale acustico di funzionamento non suona. [BE: ON]: I segnali acustici di funzionamento e di errore suonano. BACK: Annulla la modifica dell'impostazione e ritorna alla colonna di selezione voce.
CLEAN	Avvia la pulizia della testina	[CL: OK]: Inizia la pulizia della testina. Accertarsi di utilizzare il foglio di pulizia fornito. BACK: Annulla la pulizia della testina e ritorna alla colonna di selezione voce.
COLOR	Seleziona il segnale di ingresso da stampare	CO:ON: Stampa il segnale a colori. [CO:OFF]: Stampa il segnale in bianco e nero. BACK: Annulla la modifica dell'impostazione e ritorna alla colonna di selezione voce.

Voce	Funzione	Impostazioni
DIR [b)]	Seleziona se stampare prima la parte superiore o quella inferiore dello schermo	DI: REV: Inizia a stampare in direzione opposta (dalla parte superiore dello schermo). [DI: NOR]: Inizia a stampare in direzione normale (dalla parte inferiore dello schermo). BACK: Annulla la modifica dell'impostazione e ritorna alla colonna di selezione voce.
FEED	Seleziona il metodo di alimentazione della carta da utilizzare dopo la stampa	FE: OFF: Alimenta meno carta tra le immagini stampate per risparmiare carta o durante la stampa di più immagini sullo stesso foglio. Si possono stampare più immagini su un foglio, ma poiché lo spazio tra le immagini stampate molto poco, necessario premere il tasto FEED prima di tagliare la carta. [FE: ON]: Inserisce un foglio vuoto tra le immagini stampate. BACK: Annulla la modifica dell'impostazione e ritorna alla colonna di selezione voce.
GAMMA (quando selezionata "ME:S" in "MEDIA", GAMMA fissa su TONE 1.)	Seleziona il tono della stampa (gradazione dell'intensità)	GA:4: TONE 4 Gradazione pi morbida GA:3: TONE 3 Gradazione marcata [GA:2]: TONE 2 Standard GA:1: TONE 1 Gradazione morbida BACK: Annulla la modifica dell'impostazione e ritorna alla colonna di selezione voce.
IMAGE	Imposta la stampa su positiva o negativa	IM:NEG: Effettua stampe negative. [IM:POS]: Effettua stampe normali. BACK: Annulla la modifica dell'impostazione e ritorna alla colonna di selezione voce.
INFO	Seleziona se stampare o meno le condizioni di stampa (quali le informazioni su contrasto, luminosità, gamma e nitidezza) sotto l'immagine	IF:ON: Stampa le informazioni. [IF:OFF]: Non stampa le informazioni. BACK: Annulla la modifica dell'impostazione e ritorna alla colonna di selezione voce.

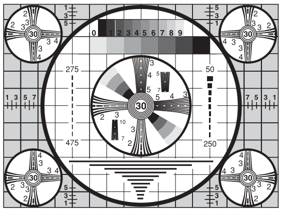
Voce	Funzione	Impostazioni
INTRT	Per modificare il funzionamento dell'interruzione di stampa	IN:ON: Interrompe la stampa premendo il tasto PRINT e stampa una nuova immagine, catturata nel momento in cui si è premuto il tasto PRINT. [IN:OFF]: Non interrompe la stampa anche se si preme il tasto PRINT. Dopo aver completato la stampa corrente, viene stampata l'immagine catturata nel momento in cui si è premuto il tasto PRINT. BACK: Annulla la modifica dell'impostazione e ritorna alla colonna di selezione voce.
LOAD	Carica le impostazioni memorizzate	LO:3: Carica le impostazioni "SA:3" memorizzate utilizzando l'opzione "SAVE" del menu. LO:2: Carica le impostazioni "SA:2" memorizzate utilizzando la voce di menu "SAVE". [LO:1]: Carica le impostazioni "SA:1" memorizzate utilizzando l'opzione "SAVE" del menu. BACK: Annulla la modifica dell'impostazione e ritorna alla colonna di selezione voce.
MEDIA	Seleziona il tipo di carta	ME:S: Utilizza il tipo UPP-110S. ME:HD: Utilizza il tipo UPP-110HD. [ME: HG]: Utilizza il tipo UPP-110HG. BACK: Annulla la modifica dell'impostazione e ritorna alla colonna di selezione voce.
MEMRY	Seleziona la modalit di memoria	ME:FLD: Durante la stampa di immagini in movimento rapido (come ad esempio, il lancio di una palla), la stampa potrebbe risultare blu. In tal caso, selezionare questa impostazione. [ME:FRM]: Solitamente, selezionare questa impostazione. BACK: Annulla la modifica dell'impostazione e ritorna alla colonna di selezione voce.

Voce	Funzione	Impostazioni
MENU	Stampa le impostazioni del menu attualmente selezionate	[ME:OK]: Stampa l'elenco menu impostato. BACK: Annulla la stampa e ritorna alla rispettiva colonna della voce.
MULTI	Specifica il numero di immagini da stampare su un foglio	MU:MLT: Stampa due immagini su un foglio (due immagini ridotte). [MU:SGL]: Stampa un'immagine. (Immagine singola). BACK: Annulla la modifica dell'impostazione e ritorna alla colonna di selezione voce.
PAGE (Questa voce non viene visualizzata se selezionata "MU:MLT" in "MULTI".	Ogni volta che si preme il tasto PRINT, l'immagine viene memorizzata. È possibile memorizzare fino a dieci immagini. È possibile selezionare l'immagine desiderata tra 10 tipi memorizzati ed eseguire la stampa.	Da [PG:1] a PG:10: Esegue la stampa selezionando l'immagine ONE desiderata tra quelle comprese tra 1 e 10 e premendo il tasto COPY. BACK: Annulla la modifica dell'impostazione e ritorna alla colonna di selezione voce.
QTY	Imposta la quantit di stampe	Da [QT:1] a QT:9: Effettua le stesse stampe. È possibile selezionare il numero di copie delle stampe desiderato tra 1 e 9. BACK: Annulla la modifica dell'impostazione e ritorna alla colonna di selezione voce.
SAVE	Memorizza fino a tre tipi di impostazione	SA:3: Memorizza le impostazioni menu come No.3. SA:2: Memorizza le impostazioni menu come No.2. [SA:1]: Memorizza le impostazioni menu come No.1. BACK: Annulla la modifica dell'impostazione e ritorna alla colonna di selezione voce.
SCALE	Ingrandisce o ridurre l'immagine da stampare	La scala può essere impostata tra SCL:2,0 (due volte) e SCL:0,5 (metà) in incrementi di 0,5. [SCL:1,0] L'impostazione di fabbrica. BACK: Annulla la modifica dell'impostazione e ritorna alla colonna di selezione voce.

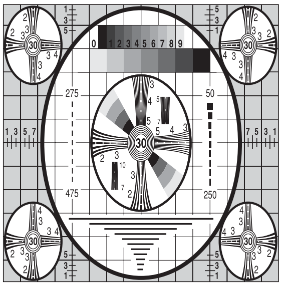
Voce	Funzione	Impostazioni
SCAN c)	Imposta la gamma dell’immagine da stampare	La gamma viene estesa nella sequenza di SC:NOR, SC:WD1 e SC:WD2. BACK: Annulla la modifica dell’impostazione e ritorna alla colonna di selezione voce.
SFT.H	Specifica la posizione orizzontale dell’immagine da stampare	[S.H:0]: Regola la posizione orizzontale. Il valore numerico visualizzato ruotando il comando jog varia a seconda delle impostazioni di “SCALE”, “SCAN” e “SIDE” e del sistema di segnali dell’immagine da acquisire. BACK: Annulla la modifica dell’impostazione e ritorna alla colonna di selezione voce.
SFT.V	Specifica la posizione verticale dell’immagine da stampare	[S.V:0]: Regola la posizione verticale. Il valore numerico visualizzato ruotando il comando jog varia a seconda delle impostazioni di “SCALE”, “SCAN” e “SIDE” e del sistema di segnali dell’immagine da acquisire. BACK: Annulla la modifica dell’impostazione e ritorna alla colonna di selezione voce.
SHARP	Regola la nitidezza della stampa	Si può impostare la nitidezza su uno dei 15 livelli, da 0 a 14. Al livello 0, il contorno della stampa non è marcato. Il livello 2 è l’impostazione di fabbrica. BACK: Annulla la modifica dell’impostazione e ritorna alla colonna di selezione voce.
SIDE d)	Seleziona la direzione in cui l’immagine viene stampata	S:SIDE: Stampa l’immagine ruotata di 90 gradi in senso antiorario. S:STD: Stampa l’immagine nella stessa direzione visualizzata sul monitor. BACK: Annulla la modifica dell’impostazione e ritorna alla colonna di selezione voce.

Voce	Funzione	Impostazioni
SPEED (Quando selezionata “ME: HD” in “MEDIA”, la velocità di stampa fissa su “SP: NOR” e tale voce non viene visualizzata).	Seleziona la velocità di stampa	SP:NOR: Stampa alla velocità normale. SP:HI: Stampa ad alta velocità. BACK: Annulla la modifica dell’impostazione e ritorna alla colonna di selezione voce. **Nota** Quando selezionata “SP:HI”, il consumo di corrente è leggermente pi elevato rispetto a quello di una stampa alla velocit normale.
VIDEO	Seleziona il segnale video inviato dal connettore VIDEO OUT sul pannello posteriore	VI:EE: Invia il segnale dopo averlo elaborato tramite stampante. VI:THR: Invia il segnale direttamente senza elaborarlo. BACK: Annulla la modifica dell’impostazione e ritorna alla colonna di selezione voce.
BACK	Permette di uscire dalla modalità menu	Visualizzare questa voce e premere il comando job. La stampante esce dalla modalità menu e sul display LCD viene visualizzato “READY”.

a) Il rapporto di formato indicato di seguito.



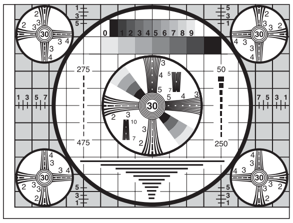
Quando è selezionata AS:4:3



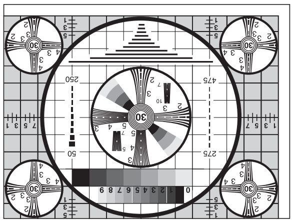
Quando è selezionata AS:1:1

Funzionamento

b) La direzione di stampa indicata di seguito.

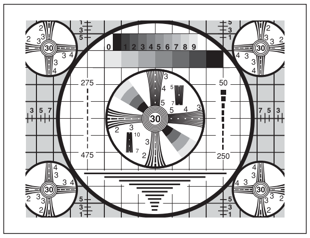


Quando è selezionata DI:NOR

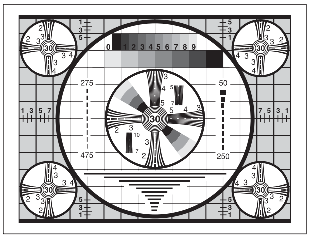


Quando è selezionata DI: REV

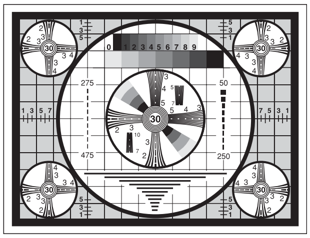
c) La gamma dell'immagine da stampare è indicata di seguito.



Quando è selezionata SC:NOR



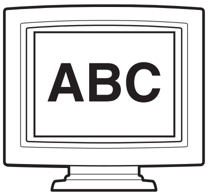
Quando è selezionata SC:WD1



Quando è selezionata SC:WD2

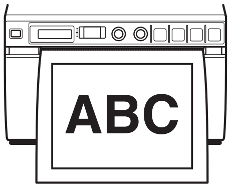
d) La direzione di stampa delle immagini è indicata di seguito.

Immagine visualizzata sul monitor

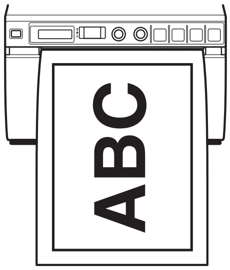


Stampe

Quando è selezionata S:STD



Quando è selezionata S:SIDE

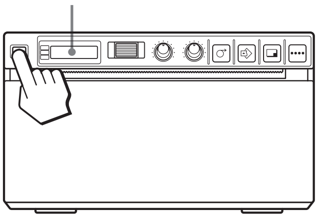


Operazioni di base dei menu

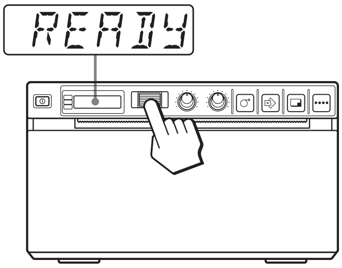
Questa sezione descrive le operazioni di base comuni a tutti i menu, prendendo come esempio "Impostazione della direzione di stampa".

1 Premere l'interruttore di accensione ON/OFF, posizionandolo su ON, per accendere la stampante. La retroilluminazione del display LCD si accende in verde.

LCD

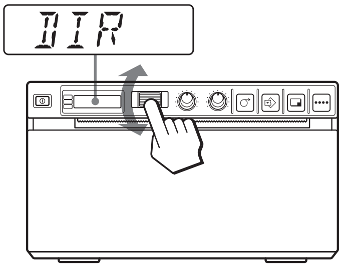


2 Verificare che il messaggio “READY” sia visualizzato sul display LCD e premere il comando jog.

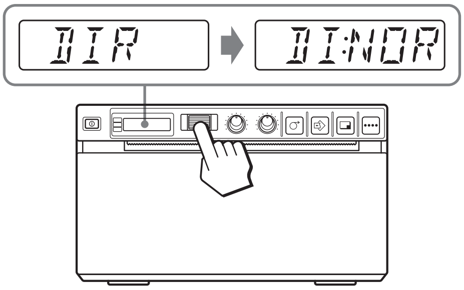


L’apparecchio entra nella modalità menu.
Quando si esegue un’operazione del menu per la prima volta dopo l’acquisto della stampante, viene visualizzata la voce superiore del menu “AGC”.
Se invece è già stata effettuata un’operazione del menu, viene visualizzata la voce impostata per ultima.

3 Visualizzare “DIR” ruotando il comando jog verso l’alto o verso il basso.

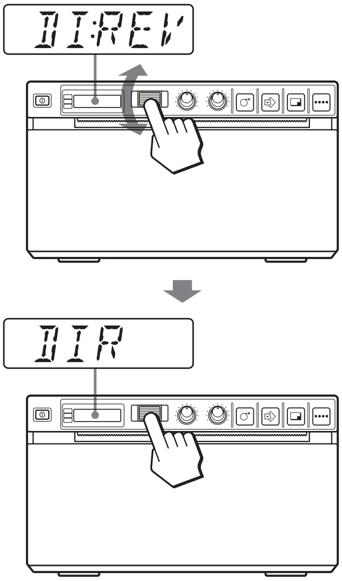


4 Premere il comando jog.



La stampante entra nella modalità di selezione della direzione di stampa.
“DI:NOR,” cioè l’impostazione di fabbrica, visualizzata sul display LCD. “DI:NOR” è l’impostazione attualmente selezionata.
In questa operazione del menu, si dovrà modificare l’impostazione su “DI:REV”.

5 Visualizzare “DI:REV” sul display LCD ruotando il comando jog verso l’alto o verso il basso, quindi premere il comando jog.



“DI:REV” è memorizzata come direzione di stampa.

Nota

Se passano circa 20 secondi senza aver effettuato alcuna operazione dopo aver visualizzato la voce del menu o l’impostazione, sul display LCD viene visualizzato nuovamente “READY” e la stampante esce dalla modalità menu. In tal caso l’impostazione “DIR” non è cambiata.

Annullamento dell’impostazione

1 Visualizzare “BACK” ruotando il comando jog sul livello 5.

2 Premere il comando jog.
Il display LDC ritorna su “DIR”.

Per continuare le operazioni di menu

Effettuare le impostazioni ripetendo i punti da 3 a 5.

Per terminare le operazioni di menu

1 Visualizzare “BACK” ruotando il comando jog dopo aver eseguito l’operazione al punto 5.

2 Premere il comando jog.
Il display visualizza nuovamente “READY”.
L’apparecchio esce dalla modalità menu.

Funzione di blocco del menu

Se viene visualizzato il messaggio “LOCK” e si sente il segnale di allarme quando si preme il comando jog, quest’ultimo viene disabilitato poiché la funzione del menu è bloccata. Se si desidera eseguire un’operazione del menu, contattare il più vicino rivenditore autorizzato.

Memorizzazione impostazioni menu

È possibile memorizzare fino a tre gruppi di impostazioni effettuate con il menu e caricare l’impostazione desiderata quando richiesto. La stampante mantiene tali impostazioni in memoria, anche se viene spenta.

Nota

Quando si utilizza la stampante per la prima volta dopo l’acquisto, tutte e tre le opzioni memorizzate contengono le impostazioni di fabbrica.

Memorizzazione delle nuove impostazioni

1. Effettuare le impostazioni richieste.
2. Visualizzare “SAVE” ruotando il comando jog e quindi premendolo.
3. Visualizzare il numero desiderato ruotando il comando jog e quindi premendolo nuovamente.
   Le impostazioni effettuate al punto 1 vengono memorizzate nel numero selezionato al punto 3.

Caricamento delle impostazioni desiderate

Si possono caricare le impostazioni desiderate ed eseguire stampe con tali impostazioni.

1. Verificare che il messaggio “READY” sia visualizzato sul display LCD e premere il comando jog.
2. Visualizzare “LOAD” ruotando il comando jog e quindi premendolo nuovamente.
3. Visualizzare il numero corrispondente all’impostazione desiderata, quindi premere il comando jog.
   Le impostazioni corrispondenti al numero selezionato al punto 3 vengono caricate.

Modifica delle impostazioni caricate

La stampante funziona in base alle impostazioni modificate. In questo caso l’apparecchio funziona in base a queste impostazioni fino a quando si carica un altro gruppo di impostazioni, anche se la stampante viene spenta. Quando si carica un altro gruppo di impostazioni, le impostazioni caricate in precedenza vengono annullate.

Per mantenere le impostazioni caricate in precedenza

Esempio: Le impostazioni memorizzate come “SA:1” vengono caricate e devono essere modificate. Per mantenere le impostazioni originali “SA:1” e memorizzare le nuove impostazioni come “SA:2”, procedere nel modo seguente.

1. Caricare le impostazioni di “LO:1” seguendo la procedura di caricamento delle impostazioni desiderate.
2. Modificare le impostazioni caricate come richiesto.
3. Selezionare “SA:2” seguendo la procedura di memorizzazione delle impostazioni.
4. Premere il comando jog.
   Le impostazioni modificate al punto 2 vengono memorizzate come “SA:2” (No.2).

Stampa dell’elenco dei menu

È possibile stampare le impostazioni del menu in uso.

1. Premere il comando jog.
   Viene visualizzata la voce del menu modificata per ultima.
2. Visualizzare “MENU” ruotando il comando jog e quindi premendolo.
3. Visualizzare “ME:OK” ruotando il comando jog e quindi premendolo.
   La stampante inizia a stampare le impostazioni del menu in uso.
   “MENU” è visualizzato sul display LCD.
4. Visualizzare “BACK” ruotando il comando jog e quindi premendolo.
   Il messaggio “READY” è visualizzato sul display LCD e l’apparecchio ritorna nella modalit di stampa normale.

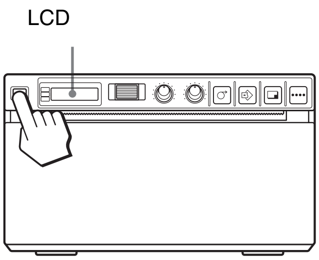
Stampa

Prima di stampare
Procedere sempre come segue:
- Verificare che la stampante sia collegata correttamente. (pagina 112)
- Verificare che la carta sia inserita correttamente. (pagina 113)
- Verificare che le impostazioni e le regolazioni dei menu siano effettuate correttamente. (pagina 115)
- Verificare che la sorgente video sia in ingresso. (pagina 112)

Inizio dell'operazione di stampa

È possibile impostare la direzione di stampa, la dimensione dell'immagine e tutte le impostazioni di stampa dal menu. Questa sezione descrive le operazioni da effettuare dopo aver completato tutte le impostazioni utilizzando il menu.

1 Premere l'interruttore ON/OFF per accendere la stampante.
La retroilluminazione del display LCD si accende in verde e viene visualizzato il messaggio "READY".



2 Accendere la sorgente video.
Per eseguire l'operazione, utilizzare i comandi dell'apparecchio video che si sta utilizzando come sorgente.

3 Premere il tasto PRINT quando l'immagine da stampare è visualizzata sul monitor video.
L'immagine visualizzata quando si preme il tasto PRINT viene memorizzata e stampata immediatamente. Vengono memorizzate fino a 10 immagini. Quando le immagini catturate sono più di 10, i dati più vecchi vengono sovrascritti con quelli più recenti nella sequenza.

Quando il messaggio visualizzato sul display LCD

In caso di guasti, la retroilluminazione del display LCD diventa color ambra e compare un messaggio di errore indicante il guasto verificatosi.

Messaggio	Causa e rimedio
EMPTY	La carta non è caricata. Caricare la carta.
DOOR	Lo sportello è aperto. Chiudere lo sportello.

Se la stampante interrompe la stampa

Quando si stampano continuamente immagini quasi tutte nere, è possibile che il circuito di protezione della testina termica spenga la stampante per evitare il surriscaldamento della testina. In tal caso viene visualizzato il messaggio "COOL" sul display LCD. Lasciare la stampante ferma fino a quando la testina non si è raffreddata e il messaggio non scomparso.

Per annullare un lavoro di stampa in corso

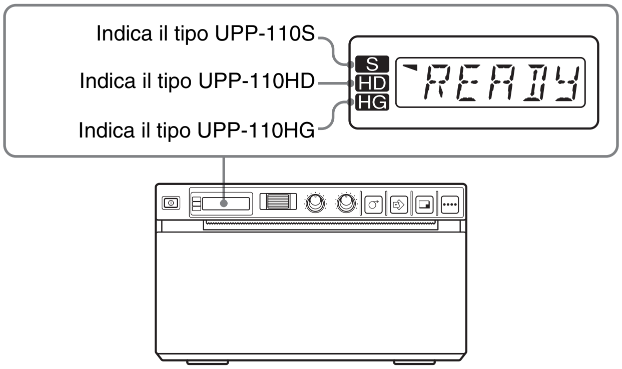
Per annullare l'operazione di stampa in corso, premere il tasto OPEN o il tasto FEED.

Per alimentare la carta

Per alimentare la carta, premere il tasto FEED. La stampante continua ad alimentare la carta finché si tiene premuto il tasto FEED. Non tentare di estrarre la carta dalla stampante con le mani.

Tipo di carta attualmente selezionato

Confermare il tipo di carta selezionato sul display LCD. L'indicatore è rivolto verso il tipo di carta attualmente selezionato. Nella figura seguente il tipo di carta attualmente selezionato è il UPP-110S.



Se l'immagine della stampa è sfocata

Un'immagine in rapido movimento, quando viene stampata, può risultare sfocata. In questo caso, eseguire una stampa con "ME:FLD" selezionata nella voce di menu "MEMRY".

Stampa delle immagini memorizzate

Ogni volta che si preme il tasto PRINT, l'immagine viene memorizzata. Dopo aver memorizzato 10 immagini, i dati dell'immagine più vecchia vengono sovrascritti con quelli dell'immagine più recente nella sequenza. Nella memoria vengono registrate sempre 10 immagini. È possibile caricare l'immagine desiderata scegliendo tra queste 10 e stamparla dal menu.

1 Selezionare "PAGE" tra le voci di menu.
Per maggiori informazioni sul funzionamento dei menu, vedere "Operazioni di base dei menu" a pagina 119.

2 Premere il comando jog.
Sul display LCD viene visualizzata "PG:1" e sul monitor viene visualizzata l'ultima immagine stampata.
Mano a mano che il numero aumenta, l'immagine visualizzata diviene più vecchia.

3 Visualizzare l'immagine da stampare ruotando il comando jog verso l'alto o verso il basso.

4 Premere il comando jog.
Viene caricata l'immagine selezionata come descritto al punto 3.

5 Premere il tasto COPY.
Viene stampata l'immagine selezionata come descritto al punto 3.

Stampa di due immagini differenti su un unico foglio

Selezionando "MU:MLT" nella voce di menu "MULTI" è possibile catturare due immagini differenti e stamparle su un unico foglio.

1 Selezionare "MU:MLT" nella voce di menu "MULTI".

2 Premere il tasto PRINT come descritto al punto 3, seguendo le operazioni illustrate in "Inizio dell'operazione di stampa" a pagina 122.
Viene catturata l'immagine visualizzata quando è stato premuto il tasto PRINT.

3 Premere nuovamente il tasto PRINT quando l'immagine da stampare è visualizzata sul monitor video.
La stampante inizia a stampare due immagini su un unico foglio come segue.

Quando si seleziona "IF:ON" in "INFO", i dati di contrasto e luminosità dell'immagine acquisita al punto 3 vengono stampati sotto l'immagine.

Copie dell'ultima stampa

Premere il tasto COPY. La stampante esegue una copia dell'ultima stampa. L'immagine dell'ultima stampa viene conservata nella memoria della stampante fino a quando viene stampata un'altra immagine o disinserita l'alimentazione. È possibile eseguire solo una copia indipendentemente dalla quantità di stampe impostata utilizzando il menu.

Note

- Se si preme il tasto COPY immediatamente dopo aver inserito l'alimentazione, il cicalino suona perché in memoria non è registrato nulla.
- Tuttavia, la disattivazione dell'alimentazione della stampante causerà la perdita dell'immagine memorizzata.

Per eseguire copie multiple della stessa stampa

Premere il tasto COPY tutte le volte necessarie (un massimo di 20 copie inclusa la prima stampa) durante la copia della prima stampa. Ogni volta che si preme il tasto COPY, il cicalino emette un breve segnale acustico.

Nota

Il numero di stampe eseguite premendo il tasto PRINT incluso nel numero massimo. Ad esempio, se si preme il tasto COPY dopo aver premuto cinque volte il tasto PRINT ed eseguito cinque stampe, il numero delle copie multiple della stessa stampa diventa 15.

Per interrompere l'operazione di copiatura

Premere il tasto OPEN o FEED durante la copiatura.

Per effettuare copie con direzioni e dimensioni differenti

È possibile copiare l'ultima immagine memorizzata in una direzione e in una dimensione differente. Prima di premere il tasto COPY, selezionare la direzione e la dimensione di stampa.

Selezione della direzione di stampa e della dimensione dell'immagine

È possibile selezionare la direzione di stampa e la dimensione dell'immagine utilizzando le seguenti voci di menu.
"SIDE": Seleziona la direzione in cui l'immagine viene stampata.
"SCALE": Ingrandisce o riduce la dimensione dell'immagine da stampare.
SFT.H e SFT.V: Imposta la gamma di stampa verticalmente e orizzontalmente.

Selezione della direzione di stampa

È possibile selezionare la direzione di stampa utilizzando la voce di menu "SIDE".

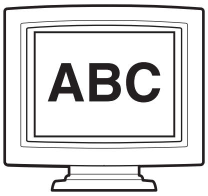
Per stampare nella stessa direzione visualizzata sul monitor video

Selezionare "S:STD" da "SIDE".

Per stampare l'immagine ruotata di 90 gradi in senso antiorario

Selezionare "S:SIDE" da "SIDE".

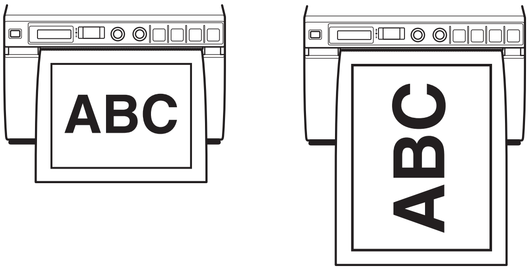
Immagine visualizzata sul monitor video



Stampe

Quando è selezionata "S:STD"

Quando è selezionata "S:SIDE"



Selezione della dimensione dell'immagine

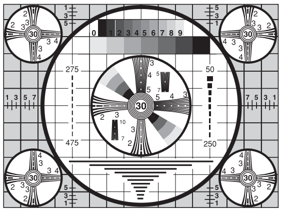
La voce di menu "SCALE" consente di ingrandire e ridurre la dimensione dell'immagine. È possibile impostare la dimensione dell'immagine da metà della dimensione normale a due volte la dimensione in incrementi di 0,1.

Per impostare la gamma dell'immagine da stampare

È possibile impostare la gamma di stampa verticalmente e orizzontalmente utilizzando le voci di menu "SFT.V" e "SFT.H".
La gamma può essere impostata osservando l'immagine visualizzata sul monitor.
Il riquadro visualizzato sul monitor si muove in base al valore che viene modificato utilizzando il comando jog. Viene stampata l'immagine all'interno del riquadro.

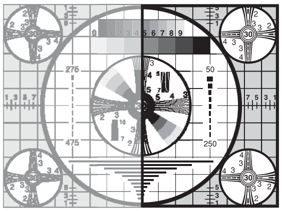
Esempio: “S:STD” selezionata da “SIDE” e “SCL:2,0” selezionata da “SCALE”

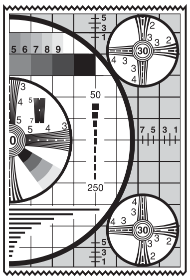
Immagine originale



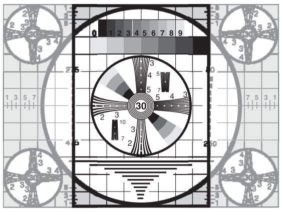
Immagini sul monitor	Stampe

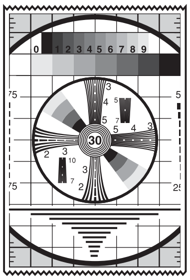
Quando è selezionata “S.H:+(*)”



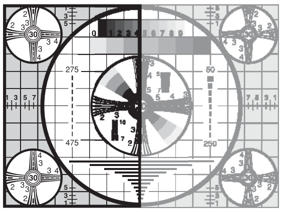


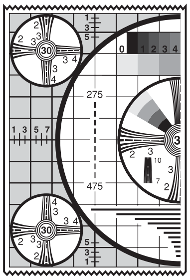
Quando è selezionata “S.H:0”





Quando è selezionata “S.H:–(*)”

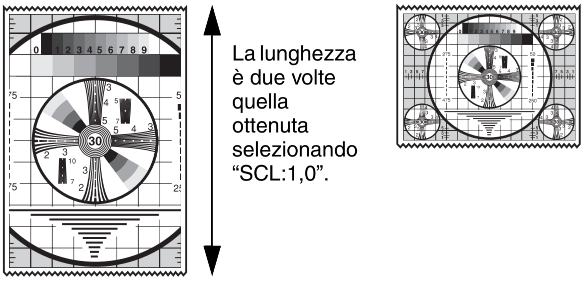




La differenza di dimensione della stampa dipende dall’impostazione di “SCALE”

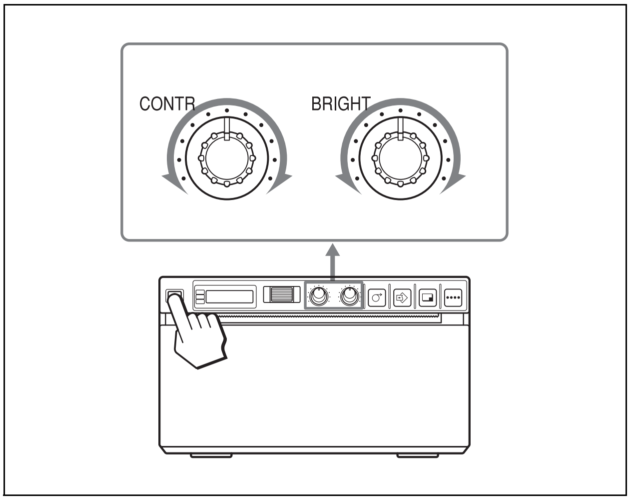
Quando è selezionata “S:STD” da “SIDE” e “SCL:2,0” da “SCALE”

Quando è selezionata “S:STD” da “SIDE” e “SCL:1,0” da “SCALE”



Regolazione del contrasto e della luminosità

È possibile regolare il contrasto e la luminosità della stampante utilizzando il comando CONTR e il comando BRIGHT situati sul pannello anteriore.



Regolazione del contrasto

È possibile regolare il contrasto della stampa utilizzando il comando CONTR.

Per aumentare il contrasto: Ruotare il comando CONTR in senso orario.

Per diminuire il contrasto: Ruotare il comando CONTR in senso antiorario.

Regolazione della luminosità

È possibile regolare la luminosit della stampa utilizzando il comando BRIGHT.

Per rendere l’immagine più luminosa: Ruotare il comando BRIGHT in senso orario.

Per rendere l’immagine più scura: Ruotare il comando BRIGHT in senso antiorario.

Nota

Quando la funzione del menu è bloccata, oltre al comando jog sono disabilitati anche i comandi CONTR e BRIGHT. Se si desidera utilizzare i comandi CONTR e BRIGHT, contattare il più vicino rivenditore autorizzato.

Precauzioni

Sicurezza

- Controllare la tensione operativa prima dell'uso. Alimentare l'apparecchio solo con la fonte di alimentazione specificata in "Caratteristiche tecniche".
- Interrompere immediatamente il funzionamento in caso di penetrazione di liquidi o di oggetti all'interno dell'apparecchio. Scollegare l'apparecchio dalla presa di corrente e farlo controllare da personale qualificato.
- Se non si intende utilizzare l'apparecchio per un lungo periodo, scollegare il cavo di alimentazione dalla presa a muro. Scollegare il cavo afferrandolo per la spina, Non tirare mai il cavo.
- Non smontare l'apparecchio. Per le riparazioni rivolgersi esclusivamente a personale qualificato.
- Collegare la spina del cavo di alimentazione a una presa a muro dotata di terminale a terra di protezione. La messa a terra di protezione deve essere corretta.

Attenzione alla seghetta di taglio della carta

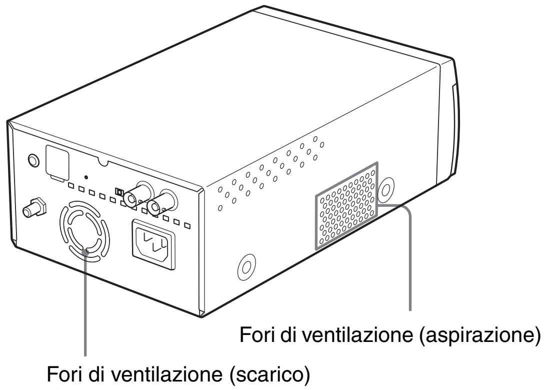
La stampante dotata di seghetta di taglio della carta. Prestare attenzione a non toccare la seghetta di taglio durante il caricamento della carta o la pulizia della stampante per evitare infortuni.

Trasporto della stampante

Non trasportare o spostare la stampante con il rotolo di carta inserito. In caso contrario potrebbero verificarsi dei danni.

Installazione

- Durante il funzionamento, collocare la stampante su una superficie piana e stabile.
  Se la stampante viene collocata su una superficie instabile, potrebbe non funzionare correttamente.
- Non collocare la stampante nei pressi di fonti di calore, come radiatori o condotti d'aria calda, né in luoghi esposti alla luce solare diretta, a polvere eccessiva, umidità, vibrazioni o scosse di natura meccanica.
- Consentire una buona circolazione d'aria per prevenire il surriscaldamento interno dell'apparecchio. Non collocare l'apparecchio su superfici quali tappeti, coperte, ecc., né vicino a tendaggi e drappeggi.
- Per evitare il surriscaldamento interno, lasciare abbastanza spazio intorno alla stampante affinché l'aria possa circolare attraverso i fori di ventilazione (aspirazione) sul lato sinistro e i fori di ventilazione (scarico) sul retro dell'apparecchio.



- Se la stampante viene sottoposta a variazioni di temperatura notevoli o improvvise, ad esempio se viene spostata da una stanza fredda ad una calda oppure se viene lasciata in una stanza con un riscaldatore che produce molta umidità, è possibile che si formi della condensa all'interno della stampante. In tal caso la stampante probabilmente non funzionerà in modo corretto e potrebbe sviluppare un guasto se si continuerà ad utilizzarla. Se si forma umidità o condensa, spegnere la stampante e attendere almeno un'ora prima di riattivarla.

Manutenzione

Pulizia delle parti esterne dell'apparecchio

Per pulire le parti esterne dell'apparecchio usare un panno umido o un panno imbevuto in acqua con un detergente delicato.
Per evitare danni alle parti esterne dell'apparecchio, non usare mai alcool, acquaragia o qualsiasi altro tipo di solvente organico per la pulizia dell'apparecchio.

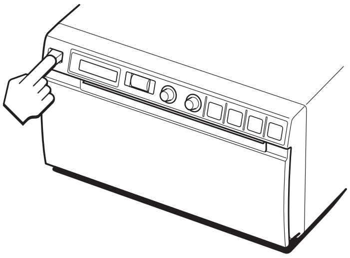
Pulizia della testina termica

Pulire la testina termica con l'apposito foglio di pulizia in dotazione se la stampa appare sporca o se compaiono strisce bianche sulle stampe.
Effettuare la pulizia della testina utilizzando il menu.

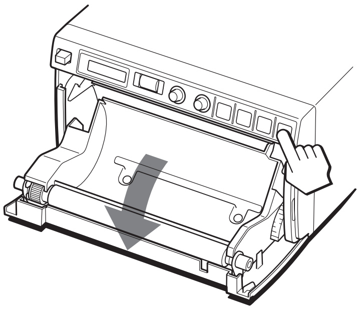
Nota

La stampante dotata di seghetta di taglio della carta. Durante la pulizia della testina termina, fare attenzione a non toccare la seghetta di taglio della carta per evitare infortuni.

1 Premere l'interruttore di accensione ON/OFF, posizionandolo su ON, per accendere la stampante.

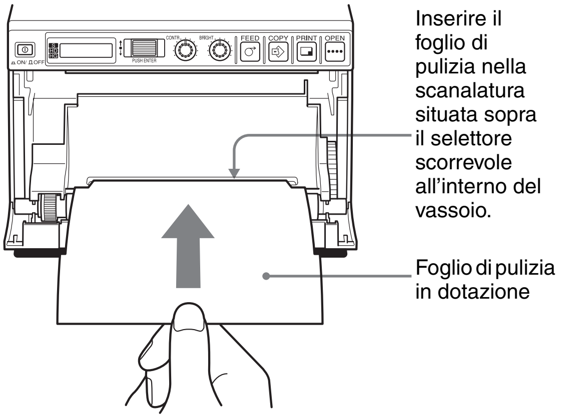


2 Premere il pulsante OPEN per aprire lo scomparto.



Se la carta è caricata nel vassoio, rimuoverla.

3 Inserire il foglio di pulizia nella fessura del vassoio della carta con la superficie nera rivolta verso il basso.



4 Chiudere lo scomparto spingendolo.

5 Premere il comando jog.
Viene visualizzata la voce del menu modificata per ultima.

6 Visualizzare "CLEAN" ruotando il comando jog e quindi premendolo.

7 Verificare che il messaggio "CL:OK" sia visualizzato e premere il comando jog.
La stampante inizia la pulitura della testina termica.
Sul display LCD è visualizzato "CLEAN" .
Quando il foglio di pulizia si ferma e l'allarme suona, la pulizia è completa.

8 Premere il tasto OPEN per aprire lo sportello e rimuovere il foglio di pulizia.

9 Chiudere lo scomparto spingendolo.

Nota

Pulire la testina termica solo se necessario. Una pulizia troppo frequente potrebbe causare un funzionamento anomalo della testina termica.

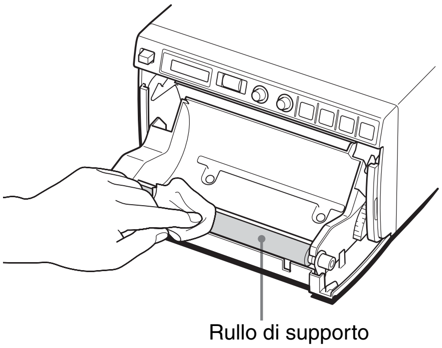
Pulizia del rullo di supporto

Se la carta non esce in modo regolare dalla stampante, il rullo di supporto potrebbe essere sporco.
In tal caso, pulire il rullo di supporto con un panno morbido imbevuto in acqua con un detergente delicato.

1 Premere l'interruttore di accensione ON/OFF, posizionandolo su ON, per accendere la stampante.

2 Premere il pulsante OPEN per aprire lo scomparto. Se la carta è caricata nel vassoio, rimuoverla.

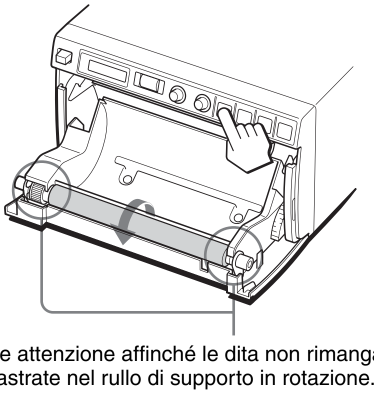
3 Pulire il rullo di supporto delicatamente con un panno morbido imbevuto in acqua con un detergente delicato.



Note

- Dopo aver asciugato completamente la superficie pulita, ruotare il rullo di supporto per pulire l'altra parte.
- Non ruotare il rullo di supporto manualmente ma utilizzare il tasto FEED. Per pulire un'altra parte della superficie del rullo di supporto, passare al punto successivo.

4 Premere e tenere premuto il tasto FEED in modo che il rullo di supporto venga ruotato automaticamente. Rilasciare il tasto FEED quando si vede la superficie da pulire.



Note

- Premendo il tasto FEED, il rullo di supporto ruota. Fare attenzione affinché le dita non rimangano incastrate nel rullo di supporto in rotazione.
- Accertarsi di iniziare la pulizia solo dopo che il rullo di supporto si è fermato completamente.

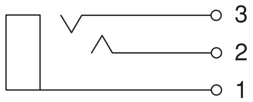
5 Per pulire il rullo di supporto ripetere le operazioni ai punti 3 e 4.

6 Dopo che il rullo di supporto si è completamente asciugato, chiudere lo sportello spingedolo.

Caratteristiche tecniche

Alimentazione
Da 100 a 240 V CA, 50/60 Hz
Corrente di ingresso
Da 1,5 A a 0,8 A
Temperatura di esercizio
5°C a 35°C
Umidità durante l'esercizio
20% all'80%
Temperature di deposito e trasporto
–20°C a +60°C
Umidità di deposito e trasporto
20% all'90%
Dimensioni 154 × 88 × 240 mm (l/a/p)
Massa 2,6 kg (solo stampante)
Testina termica Testina termica a pellicola fine da 1280 punti
Gradazione 256 livelli (8 bit)
Risoluzione (quando è selezionata "SC:WD1" da "SCAN")
EIA: 1210 × 490 punti
CCIR: 1210 × 582 punti
Dimensione immagine (quando è selezionata "SC:WD1" o "SC:NOR" da "SCAN")
Quando è selezionata "S:STD" da "SIDE"
EIA: 94 × 73 mm
CCIR: 94 × 71 mm
Quando è selezionata "S:SIDE" da "SIDE"
EIA: 124 × 96 mm
CCIR: 127 × 96 mm
Velocità di stampa
Circa 2 secondi/immagine (impostazione standard) (quando è selezionata "SP:HI" da "SPEED")
Circa 3,3 secondi/immagine (impostazione standard) (quando è selezionata "SP:NOR" da "SPEED")
Memoria immagine
10 fotogrammi (800 k × 8 bit per fotogramma)
Connettore di ingresso
VIDEO IN (tipo BNC)
Segnali video compositi EIA o CCIR 1,0 Vp-p, 75 ohm/impedenza alta (distinzione automatica EIA/CCIR)
Connettore di uscita
VIDEO OUT (tipo BNC)
Segnali video compositi EIA o CCIR 1,0 Vp-p, 75 ohm commutabile passanti/EE

Connettore REMOTE (minipresa stereo)



1 GND
2 PRINT SIGNAL (TTL)
L'ingresso di impulsi LOW su 100 millesimi di secondo avvia la stampa.
3 PRINT SIGNAL (TTL)
Passa a HIGH durante la stampa

Accessori in dotazione
Foglio di pulizia per testina termica (1)
Etichetta supporto (1)
Istruzioni per l'uso (1)
Elenco contatti servizio di assistenza (1)

Caratteristiche per ambienti medicali
Protezione contro scosse elettriche:
Classe I
Protezione contro infiltrazioni di acqua dannose:
Ordinaria
Grado di sicurezza in presenza di miscela anestetica infiammabile o ossigeno:
Apparecchio non adatto all'uso in presenza di miscela anestetica infiammabile o ossigeno
Modo di funzionamento:
Continuo

Il design e queste caratteristiche sono soggette ad una modifica senza previo avviso.

Soluzione dei problemi

Prima di rivolgersi al servizio di assistenza, controllare i problemi e le soluzioni descritti qui sotto. Se non si riesce a risolvere il problema, contattare il più vicino rivenditore autorizzato.

Sintomo	Cause/rimedi
I primi fogli stampati presentano macchioline bianche.	Il rotolo di carta è stato appena cambiato? →Se si appena inserito un nuovo rotolo di carta, la eventuale polvere della carta può causare la presenza di macchioline bianche sugli stampati. Premere il tasto FEED e tenerlo premuto fino ad alimentare circa 15~20 cm di carta, quindi rilasciarlo. (pagina 114)
La stampa non inizia.	• La carta non viene alimentata. →Verificare che la stampante sia accesa. →Verificare che la stampante sia collegata correttamente. (pagina 112) →Verificare se rotolo di carta allentato. (pagina 113) →Verificare che "MU:MLT" sia selezionata nella voce di menu "MULTI". (pagina 117) • Il cicalino di avvertimento suona. →Verificare che la carta sia inserita correttamente. (pagina 114) →Verificare che la testina termica non sia surriscaldata. La testina termica potrebbe surriscaldarsi se si stampano continuamente immagini nere. Attendere che la testina si raffreddi. →Verificare che il segnale video dell'immagine sia in ingresso. (pagina 112) • La carta viene alimentata ma la stampa non inizia. →Verificare che la carta sia inserita con il lato corretto verso l'alto. (pagina 114)
Margini neri o parti mancanti nella stampa	Questo problema può essere causato dall'ingresso del segnale video nella stampante. →Cambiare l'impostazione della voce di menu "SCAN". (pagina 118)

Sintomo	Cause/rimedi
Inceppamento della carta	• Controllare se la carta inceppata è visibile. →Premere il tasto OPEN per aprire lo scomparto della carta, quindi rimuovere la stampa o il rotolo di carta e tirare delicatamente la carta inceppata fuori dalla stampante. • Controllare se si è formata condensa all'interno della stampante. →Se la stampante è stata portata da un locale freddo a un locale caldo, si potrebbe essere formata condensa all'interno dell'apparecchio. Spegnere la stampante e lasciarla spenta per 1-2 ore (per far si che si riscaldi fino a temperatura ambiente), quindi provare di nuovo a stampare.
Gli stampati sono sporchi.	Controllare se la testina termica è sporca. →Pulire la testina termica con il foglio di pulizia testina in dotazione con la stampante. (pagina 128)
La carta non viene caricata in modo regolare.	Verificare che il rullo di supporto non sia sporco. →Pulire il rullo di supporto. (pagina 128)
La stampante smette di stampare durante la stampa di immagini quasi tutte nere e viene visualizzato il messaggio "COOL" sul display LCD.	Quando si stampano continuamente immagini quasi tutte nere, è possibile che il circuito di protezione della testina termica spenga la stampante per evitare il surriscaldamento della testina. →Interrompere la stampa e lasciare raffreddare la testina.
Le righe bianche o le lettere piccole sullo schermo non vengono stampate in modo chiaro.	Verificare che "CO:ON" sia selezionata nella voce di menu "COLOR" per i segnali di ingresso in bianco e nero. →Selezionare "CO:OFF" nella voce di menu "COLOR" quando il segnale di ingresso è un segnale in bianco e nero. (pagina 116)
Sull'intero schermo vengono visualizzati riquadri piccoli.	Verificare che "CO:OFF" sia selezionata nella voce di menu "COLOR" per i segnali di ingresso a colori. Selezionare "CO:ON" nella voce di menu "COLOR" quando il segnale di ingresso è un segnale a colori. (pagina 116)
La stampa è troppo scura o troppo chiara.	• Verificare che l'interruttore di selezione 75 Ω sia impostato correttamente. (pagina 112) • Verificare che la voce di menu "MEDIA" sia impostata correttamente. (pagina 117) • Verificare che la voce di menu "GAMMA" sia impostata correttamente. (pagina 116)

Sintomo	Cause/rimedi
La stampa sembra allungata o allargata.	Verificare che “AS:1:1” sia selezionata nella voce di menu “ASPCT”. →Selezionare “AS:4:3”. (pagina 116)

Messaggi di errore

I messaggi appaiono sul display LCD in presenza delle seguenti condizioni. Adottare le azioni correttive indicate accanto ai messaggi per rettificare il problema.

Messaggi	Descrizione e rimedio
DOOR	Lo scomparto della carta è aperto. →Chiudere lo scomparto della carta in modo che sia ben bloccato.
EMPTY	• La carta non è stata caricata. • La carta è esaurita. →Caricare della carta. (pagina 113)
COOL	Il circuito di protezione che impedisce alla testina termica di surriscaldarsi si è attivato. →Attendere che il messaggio scompaia. La stampa riprenderà automaticamente.
LOCK	La funzione del menu è bloccata. Il comando jog, il comando CONTR e il comando BRIGHT sono disabilitati. →Se si desidera eseguire delle operazioni del menu o utilizzare quei comandi, contattare il più vicino rivenditore autorizzato.

Indice

C

Caratteristiche tecniche 130
Carta
caricamento 113
note sulla conservazione e sull'utilizzo della carta 112
tipi di carta utilizzabili 112
Collegamenti 112

M

Manutenzione
pulizia del rullo di supporto 128
pulizia della testina termica 128
pulizia delle parti esterne dell'apparecchio 128
Menu
caricamento delle impostazioni menu 121
elenco 116
memorizzazione delle impostazioni menu 121
operazioni base 119
sequenza menu 115
stampa dell'elenco dei menu 121
Messaggi di errore 132

O

Operazioni preliminari 110

P

Posizione e funzione dei componenti e dei comandi
pannello anteriore 110
pannello posteriore 111
Precauzioni
installazione 127
seghetta di taglio carta 127
sicurezza 127
trasporto della stampante 127
Presentazione 110

S

Soluzione dei problemi 131
Stampa
annullamento 122
inizio dell'operazione di stampa 122
regolazione del contrasto 125
regolazione della luminosità 125

ADVERTENCIA

Para reducir el riesgo de electrocución, no exponga este aparato a la lluvia ni a la humedad.

Para evitar descargas eléctricas, no abra la unidad. En caso de avería, solicite el servicio de personal cualificado únicamente.

ESTE APARATO DEBE CONECTARSE A TIERRA.

Símbolos de los productos

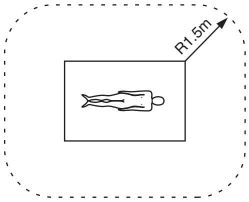
Este símbolo indica terminal equipotencial que pone varias partes de un sistema al mismo potencial.

Este símbolo está destinado a alertar al usuario sobre la presencia de instrucciones importantes de empleo y mantenimiento (servicio técnico) en la documentación suministrada con el aparato.

Normas/avisos de seguridad importantes para utilización en ambientes médicos

1. Todos los equipos conectados a esta unidad deberán estar certificados de acuerdo con la Norma IEC60601-1, IEC60950-1, o IEC60065 u otras Normas de la IEC/ISO aplicables a los equipos.
2. Cuando vaya a utilizar esta unidad junto con otros equipos en el área del paciente*, los equipos deberán alimentarse mediante un transformador aislador o conectados a través de un terminal de puesta a tierra protector adicional al sistema de puesta a tierra, a menos que estén certificados de acuerdo con la Norma IEC60601-1.

* Área del paciente



3. La fuga de corriente podría aumentar al realizar la conexión a otro equipo.
4. Este equipo genera, utiliza y puede radiar energía de frecuencia. Si no se instala y se utiliza de acuerdo con el manual de instrucciones, puede producir interferencias en otros equipos. Si esta unidad causa interferencias (que pueden determinarse desenchufando el cable de alimentación de la unidad), intente las siguientes medidas: Cambie la unidad de lugar con respecto al equipo susceptible. Enchufe esta unidad y el equipo susceptible en circuitos derivados diferentes. Consulte con su proveedor. (Según la Norma EN60601-1-2 y CISPR11, Clase B, Grupo 1)

Precaución

Cuando deseche la unidad o los accesorios, deberá cumplir con las normas de la zona o país correspondiente y con las del hospital en el que se encuentre.

Advertencia al conectar la alimentación

Utilice un cable de alimentación adecuado para la fuente de alimentación disponible.

1. Utilice el cable de alimentación (3 conductores eléctricos), el conector de dispositivos y el enchufe con contactos de puesta a tierra aprobados que cumplen con las normas de seguridad de cada país, si existen.
2. Utilice el cable de alimentación (3 conductores eléctricos), el conector de dispositivos y el enchufe que cumplen los valores nominales adecuados (voltaje, amperios).

Si tiene alguna pregunta acerca del uso del cable de alimentación, el conector de dispositivos o el enchufe, póngase en contacto con el personal de servicio cualificado.

Contenido

Introducción

Descripción general **136**
Ubicación y funciones de componentes y controles **136**
Panel frontal 136
Panel trasero 137
Conexiones **138**
Conexión al conector USB 138
Papel **138**
Papel que se puede utilizar 138
Colocación del papel en la unidad **139**
Colocación del papel 139

Operación

Ajustes y configuración mediante el menú **141**
Diagrama de flujo de los menús 141
Lista de menús 142
Operaciones básicas de menú 145
Registro de configuraciones de menú 147
Impresión de la lista de menús 147
Impresión **148**
Inicio de un trabajo de impresión 148
Selección de la dirección de impresión y el tamaño de la imagen 150
Ajuste del contraste y el brillo 151

Otros

Precauciones **153**
Seguridad 153
Transporte de la impresora 153
Instalación 153
Mantenimiento **154**
Limpieza del exterior de la unidad 154
Limpieza del cabezal térmico 154
Limpieza de la platina 154
Especificaciones **156**
Solución de problemas **157**
Mensajes de error **158**
Índice **159**

ES

Introducción

Descripción general

Impresión silenciosa, rápida y de alta calidad

- Utiliza un delgado cabezal térmico que incorpora un circuito integrado IC de accionamiento de alta velocidad, capaz de ofrecer imágenes de alta resolución de 12,8 puntos/mm.
- Velocidad aproximada de impresión de 1 imagen de alta calidad (una sola impresión de tamaño A-7) cada 2 segundos cuando se imprime a alta velocidad (con “SP:HI” seleccionado en la opción de menú “SPEED”).
- Impresión en monocromo con hasta 256 niveles de sombreado.
- Los circuitos integrados de corrección de temperatura evitan los cambios de temperatura que pueden producir impresiones borrosas.

Fácil configuración de la impresora utilizando un menú

Puede realizar la configuración para satisfacer sus necesidades utilizando un menú. Se pueden almacenar hasta tres configuraciones como un conjunto de ajustes de usuario.

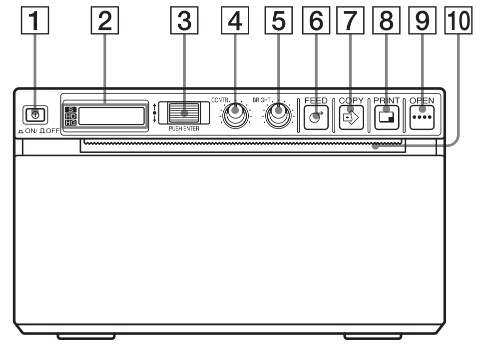
Carga fácil del papel

El libre acceso al panel de la puerta permite dejar caer el papel en la unidad para facilitar la carga.

Ubicación y funciones de componentes y controles

Para más información, remítase a los números de página indicados entre paréntesis ().

Panel frontal



1 **⏻Interruptor de encendido/apagado ON/OFF (139, 145, 148, 154)**
Pulse el interruptor a la posición ON para conectar la alimentación. La luz de fondo de la pantalla se ilumina en verde.

2 **Pantalla de la impresora (LCD: pantalla de cristal líquido) (141, 148)**
La luz de fondo se ilumina en verde durante el funcionamiento normal de la unidad. Además, durante el funcionamiento normal se señala el papel seleccionado actualmente mediante un indicador en la LCD.
Para más información sobre el papel, remítase a “Papel” en la página 138 y “Papel seleccionado actualmente” en la página 148.
Si se produce un error, se muestra el mensaje de alarma correspondiente.
Durante las operaciones de menú, se visualizan las opciones y los ajustes de los menús.

3 **Dial de desplazamiento (145, 154)**
Se utiliza para efectuar operaciones de menú.

4 **Mando CONTR (contraste) (151)**
Ajusta el contraste de las copias impresas.

5 **Mando BRIGHT (brillo) (151)**
Ajusta el brillo de las copias impresas.

6 Botón FEED (140, 148)
Manténgalo pulsado para alimentar papel. Mientras un trabajo de impresión está en curso, púlselo para cancelar el trabajo de impresión.

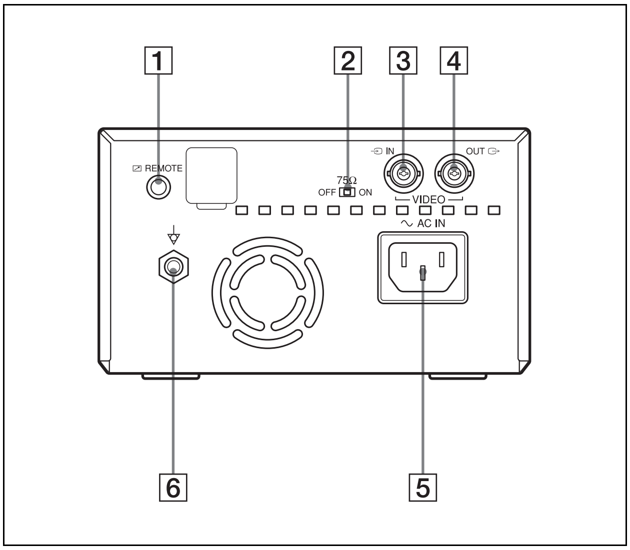
7 Botón COPY (149)
Imprime otra copia de la impresión anterior.
Solo se puede realizar una copia cada vez que se pulsa este botón, independientemente de la cantidad a imprimir seleccionada desde el menú.

8 Botón PRINT
Imprime la imagen que aparece en ese momento en el monitor de vídeo. La imagen que se ve en el monitor cuando se pulsa el botón PRINT se guarda en memoria.

9 Botón OPEN (140, 148)
Pulse para abrir la puerta del papel. Mientras un trabajo de impresión está en curso, púlselo para cancelar el trabajo de impresión.

10 **Cortador de papel**
Corta el papel cuando se imprime cada imagen.

Panel trasero



1 **Conector REMOTE (138)**
A él se conecta el mando a distancia RM-91 o el interruptor de pie para controlar la impresión a distancia.

2 **Interruptor de selección 75 Ω**
ON : Cuando no haya nada conectado al conector VIDEO OUT, coloque el interruptor en esta posición.
OFF: Cuando haya conectado un monitor de vídeo u otro equipamiento de vídeo al conector VIDEO OUT, coloque el interruptor en esta posición.

3 **Conector VIDEO IN (entrada) (tipo BNC)**
Conéctelo al conector de salida de vídeo del equipo de vídeo.

4 **Conector VIDEO OUT (salida) (tipo BNC)**
Conéctelo al conector de entrada de vídeo del monitor de vídeo. La señal de salida depende del ajuste de la opción “VIDEO” del menú.

5 **Conector ~ AC IN**
Utilice un cable de alimentación adecuado al suministro eléctrico local (no suministrado). Remítase a “Advertencia al conectar la alimentación” en la página 134.

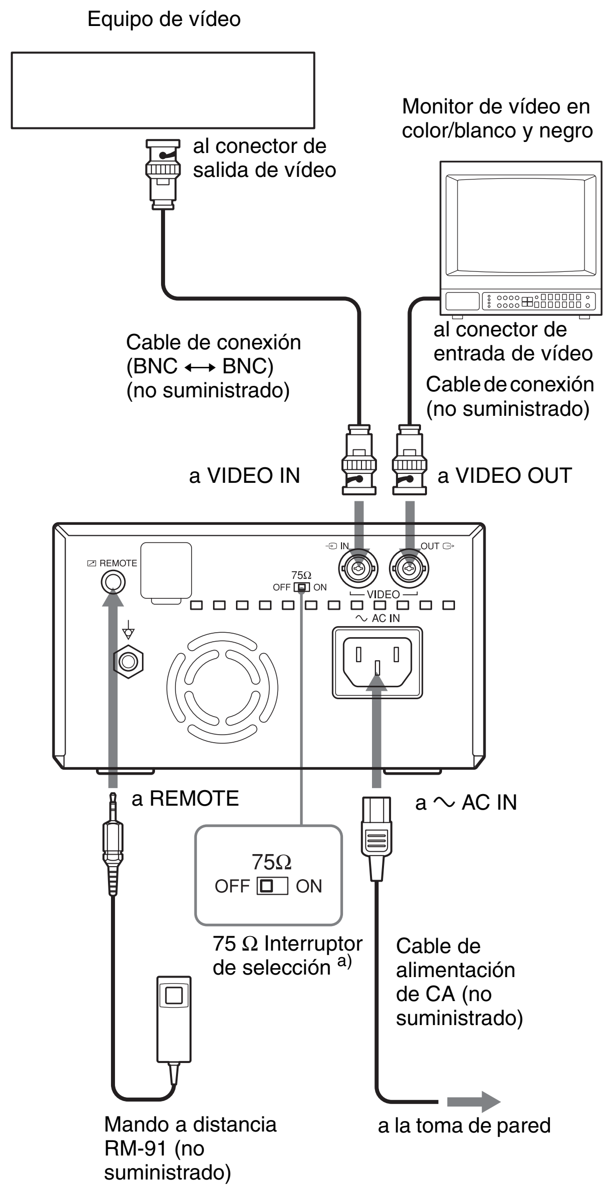
6 **Terminal equipotencial**
Se conecta al enchufe equipotencial para que todas las partes de un sistema tengan el mismo potencial. Remítase a “Normas/avisos de seguridad importantes para utilización en ambientes médicos” en la página 134.

Conexiones

Notas

- Apague la alimentación de tensión de todos los dispositivos antes de realizar cualquier conexión.
- Conecte el cable de alimentación de CA en último lugar.

Conexión al conector USB



a) Ajuste el interruptor de selección 75 Ω de la siguiente forma.
ON: Cuando no haya nada conectado al conector VIDEO OUT, coloque el interruptor en esta posición.
OFF: Cuando haya conectado un monitor de vídeo u otro equipamiento de vídeo al conector VIDEO OUT, coloque el interruptor en esta posición.

Papel

Utilice solamente papel Sony UPP-110S/110HD/110HG diseñado para su uso con esta unidad. No se puede garantizar una calidad alta de impresión si se utiliza otro tipo de papel con la unidad, y dicho tipo de papel puede dañar la unidad.
No se puede utilizar el papel UPP-110HA que se especifica para las impresoras de la serie UP-880/890MD.

Papel que se puede utilizar

Estas son las características del papel para impresión.

Características de impresión	Tipo de papel
TYPE I (Normal)	UPP-110S
TYPE II (alta densidad)	UPP-110HD
TYPE V (muy satinado)	UPP-110HG

Notas sobre el almacenamiento y la manipulación del papel

Almacenamiento del papel sin utilizar

- Almacene el papel sin utilizar a una temperatura inferior a 30°C en un lugar seco que no esté expuesto a la luz solar directa.
- No guarde el papel que no haya utilizado cerca de líquidos volátiles ni deje que entre en contacto con cualquier líquido volátil orgánico, cinta de celofán o cualquier compuesto de cloruro de vinilo.

Introducción del papel

- Manipule el papel con cuidado cuando lo introduzca y evite tocar la superficie de impresión con los dedos. El sudor o las sustancias grasas de sus manos pueden hacer que las imágenes salgan borrosas.
- Después de retirar la etiqueta del borde anterior del papel, extráigalo unos 15~20 cm antes de imprimir. Los restos de adhesivo sobre el papel pueden estropear una imagen.

Almacenamiento de las copias impresas

- Para evitar que el color de las impresiones se aclare o modifique con el tiempo, guárdelas en un lugar fresco y seco a una temperatura inferior a 30 °C.
- Guarde las impresiones en un sobre de polipropileno o entre hojas de papel que no contengan plástico.
- No guarde las impresiones en lugares expuestos a la luz solar directa o a humedad elevada.
- No guarde las impresiones cerca de líquidos volátiles ni deje que entren en contacto con líquidos volátiles orgánicos, cinta de celofán o cualquier compuesto de cloruro de vinilo.

- Para evitar que se decoloren, no guarde las copias ni encima ni debajo de papel de copia diazoico.
- Para colocar las impresiones sobre otra hoja de papel, utilice cinta de doble cara o un adhesivo a base de agua.
- No queme restos de papel de impresión.

Colocación del papel en la unidad

Notas

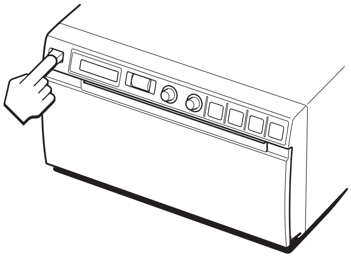
- Antes de introducir papel en la unidad, remítase a “Notas sobre el almacenamiento y la manipulación del papel” (página 138).
- Manipule siempre el papel con cuidado al introducirlo para evitar que la calidad de las impresiones se vea negativamente afectada. Nunca doble ni arrugue el papel, ni toque la superficie de impresión con los dedos. El sudor de las huellas dactilares puede producir impresiones borrosas.
- No utilice ningún papel que no sea UPP-110S/110HD/110HG (página 138).
- Asegúrese de ajustar la opción de menú “MEDIA” para el papel que se va a utilizar. Se puede confirmar el soporte seleccionado actualmente en la pantalla (página 143).

Colocación del papel

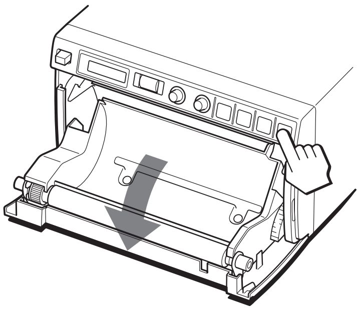
Precaución

La unidad lleva montado un cortador de papel. Cuando coloque el papel, tenga cuidado de no tocar la hoja afilada. Si se toca la hoja afilada se pueden producir lesiones.

1 Pulse el interruptor de alimentación ON/OFF para encender la unidad.
Cuando el papel no está colocado todavía, la luz de fondo de la pantalla LCD se ilumina en ámbar y aparece el mensaje “EMPTY”.



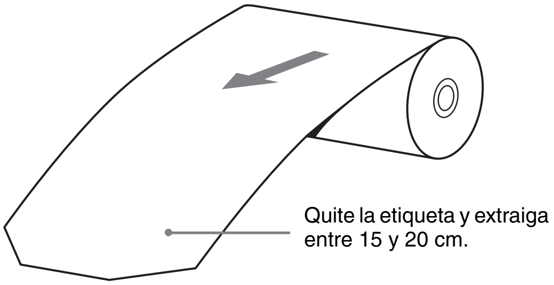
2 Pulse el botón OPEN para abrir la puerta del papel.

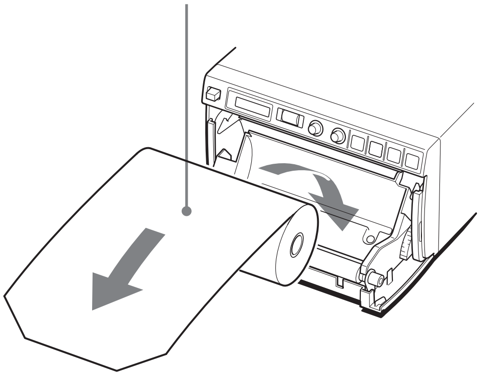


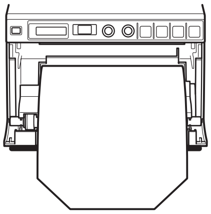
3 Retire la etiqueta del borde anterior del papel, extraiga unos 15~20 cm de papel y, a continuación, coloque el rollo de papel en la bandeja.

Nota

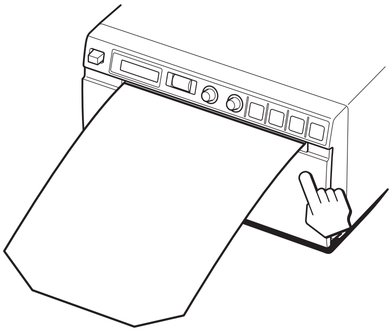
Para evitar exponer el papel al polvo, la suciedad, etc., manipúlelo siempre con cuidado al extraerlo de su envoltorio y colocarlo en la unidad. El papel expuesto a la suciedad o al polvo no se puede utilizar para imprimir.

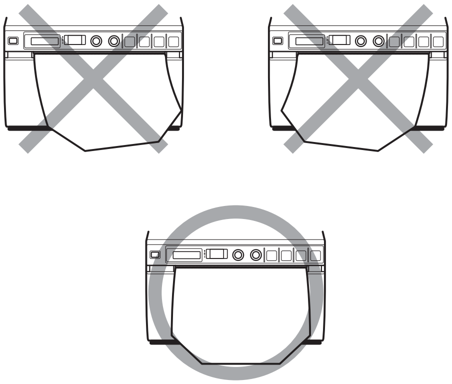






4 Cierre la puerta del papel y presiónela para cerrarla.





Notas

- Asegúrese de que el papel se coloca en línea recta. Si está torcido, pueden producirse atascos de papel.
- Si no ha extraído suficiente papel en el paso 3, pulse el botón FEED del panel de operación para extraer parte del papel fuera de la unidad sin tirar de él.

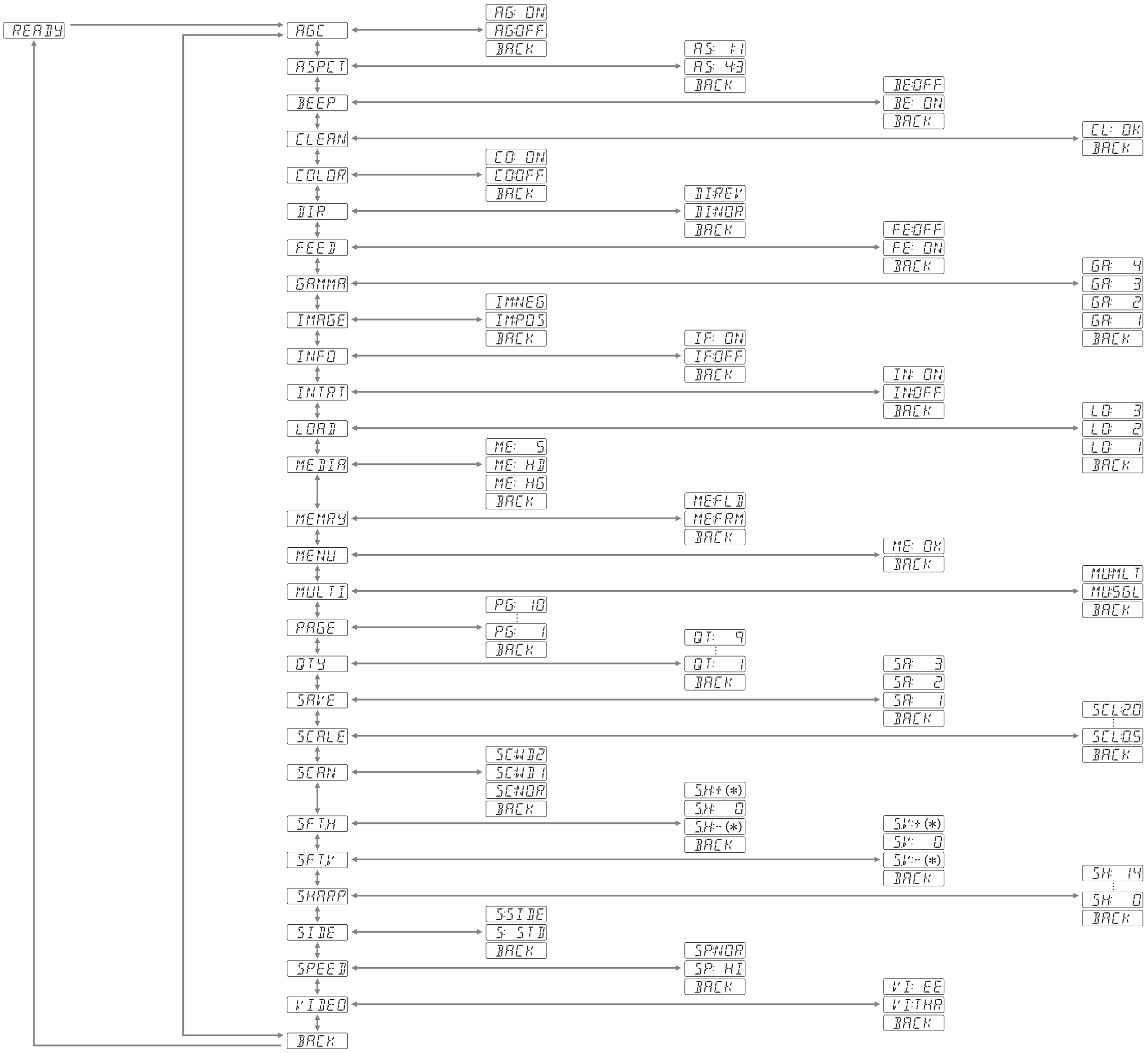
La unidad se puede configurar dependiendo del uso que se le pretende dar, los equipos a los que esté conectada o las preferencias personales.
Se pueden almacenar hasta tres configuraciones como un conjunto de ajustes de usuario.

Ajustes y configuración mediante el menú

Se pueden efectuar ajustes y configuraciones para adaptarse a sus necesidades. Las configuraciones y los ajustes se conservan aunque se apague la unidad.

Diagrama de flujo de los menús

El orden del contenido visualizado en la pantalla LCD cambia al girar el dial de desplazamiento como se indica en el siguiente diagrama de flujo de los menús, pudiéndose configurar cada opción de menú.



Información sobre * en la opciones de menú “SFT:H” y “SFT:V”
* es el valor numérico que aparece cuando se gira el dial de desplazamiento. Este valor numérico cambia dependiendo de los ajustes de “SCALE”, “SCAN” y “SIDE” y del sistema de señal de la imagen que se va a capturar.

Lista de menús

Esta sección describe los menús que se visualizan al girar el dial de desplazamiento. El ajuste rodeado por [ ] indica el ajuste de fábrica.

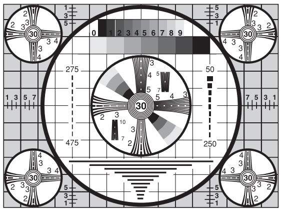
Opción	Función	Ajustes
AGC	Ajuste de la señal de entrada al nivel óptimo para la impresión	AG:ON: Ajusta la señal de entrada al nivel óptimo, cuando la imagen impresa aparece demasiado oscura o demasiado clara. [AG:OFF]: Normalmente, seleccione este ajuste. BACK: Cancela la modificación del ajuste y regresa a la columna de selección de opciones.
ASPCT [a)]	Selección de la relación de aspecto	AS:1:1: Imprime una señal de vídeo con una relación de aspecto de 1:1. [AS: 4:3]: Normalmente, seleccione este ajuste. BACK: Cancela la modificación del ajuste y regresa a la columna de selección de opciones.
BEEP	Selección de si suenan los tonos de confirmación de operación y error	BE: OFF: El tono de operación no suena. [BE: ON]: Suenan los tonos de operación y error. BACK: Cancela la modificación del ajuste y regresa a la columna de selección de opciones.
CLEAN	Inicio de la limpieza del cabezal	[CL: OK]: Inicia la limpieza del cabezal. Asegúrese de utilizar la hoja de limpieza suministrada. BACK: Cancela la limpieza del cabezal y regresa a la columna de selección de opciones.
COLOR	Selección de la señal de entrada que se va a imprimir	CO:ON: Imprime la señal en color. [CO:OFF]: Imprime la señal en blanco y negro. BACK: Cancela la modificación del ajuste y regresa a la columna de selección de opciones.
DIR [b)]	Selección de si se debe imprimir antes la parte superior o inferior de la pantalla	DI: REV: Se inicia la impresión en sentido inverso (desde la parte superior de la pantalla). [DI: NOR]: Se inicia la impresión en el sentido normal (desde la parte inferior de la pantalla). BACK: Cancela la modificación del ajuste y regresa a la columna de selección de opciones.
FEED	Selección del método de introducción del papel a utilizar después de la impresión	FE: OFF: Introduce menos papel entre cada impresión para ahorrar papel, o cuando se imprimen varias copias en la misma hoja. Se pueden imprimir más imágenes en una hoja, aunque debido a que hay tan poco espacio entre las imágenes impresas, se debe pulsar el botón FEED antes de cortar el papel. [FE: ON]: Introduce más papel en blanco entre cada copia impresa. BACK: Cancela la modificación del ajuste y regresa a la columna de selección de opciones.
GAMMA (Si se selecciona “ME:S” en la opción “MEDIA”, GAMMA se fija a TONE 1.)	Selección del tono de las copias impresas (gradación de densidad)	GA:4: TONE 4 Gradación más suave GA:3: TONE 3 Gradación dura [GA:2]: TONE 2 Estándar GA:1: TONE 1 Gradación suave BACK: Cancela la modificación del ajuste y regresa a la columna de selección de opciones.
IMAGE	Ajuste de la impresión en positivo o en negativo	IM:NEG: Realiza copias impresas en negativo. [IM:POS]: Realiza copias impresas normales. BACK: Cancela la modificación del ajuste y regresa a la columna de selección de opciones.
INFO	Selección de si se imprimen las condiciones de impresión (como, por ejemplo, información de contraste, brillo, gamma y nitidez) debajo de la imagen	IF:ON: Se imprime la información. [IF:OFF]: No se imprime la información. BACK: Cancela la modificación del ajuste y regresa a la columna de selección de opciones.

Opción	Función	Ajustes
INTRT	Cambio del funcionamiento de la interrupción de impresión	IN:ON: Para de imprimir pulsando el botón PRINT durante el proceso de impresión, e imprime una imagen nueva capturada en el momento en el que se pulsa el botón PRINT. [IN:OFF]: No deja de imprimir aunque se pulse el botón PRINT. Después de terminar el proceso de impresión en curso, la unidad imprime la imagen capturada en el momento en el que se pulsó el botón PRINT. BACK: Cancela la modificación del ajuste y regresa a la columna de selección de opciones.
LOAD	Carga de las configuraciones registradas	LO:3: Carga la configuración “SA:3” registrada mediante la opción de menú “SAVE”. LO:2: Carga la configuración “SA:2” registrada mediante la opción de menú “SAVE”. [LO:1]: Carga la configuración “SA:1” registrada mediante la opción de menú “SAVE”. BACK: Cancela la modificación del ajuste y regresa a la columna de selección de opciones.
MEDIA	Selección del tipo de papel	ME:S: Utiliza el UPP-110S. ME:HD: Utiliza el UPP-110HD. [ME: HG]: Utiliza el UPP-110HG. BACK: Cancela la modificación del ajuste y regresa a la columna de selección de opciones.
MEMRY	Selección del modo de memoria	ME:FLD: Cuando se imprimen imágenes en movimiento muy rápido (como cuando se lanza un balón), la impresión podría quedar azul. Si esto sucede, seleccione este ajuste. [ME:FRM]: Normalmente, seleccione este ajuste. BACK: Cancela la modificación del ajuste y regresa a la columna de selección de opciones.
MENU	Impresión de la configuración de menús seleccionada actualmente	[ME:OK]: Imprime la lista de menús ajustada actualmente. BACK: Cancela la impresión y regresa a su columna de opciones.
MULTI	Especificación del número de imágenes que se van a imprimir en una hoja	MU:MLT: Imprime dos imágenes en una hoja (dos imágenes reducidas). [MU:SGL]: Imprime una imagen (imagen de tamaño completo). BACK: Cancela la modificación del ajuste y regresa a la columna de selección de opciones.
PAGE (Este elemento no aparece cuando se selecciona “MU:MLT” en “MULTI”.)	Cada vez que se pulsa el botón PRINT, la imagen se guarda en memoria. Se pueden guardar hasta diez imágenes. Se puede seleccionar la imagen deseada entre las 10 imágenes guardadas en la memoria e imprimirla.	[PG:1] a PG:10: Imprime seleccionando la imagen ONE deseada de entre las imágenes 1 a 10 y pulsando el botón COPY. BACK: Cancela la modificación del ajuste y regresa a la columna de selección de opciones.
QTY	Ajuste de la cantidad de impresión	[QT:1] a QT:9: Hace la misma impresión. Se puede seleccionar el número de veces que se desea realizar la misma impresión entre 1 y 9. BACK: Cancela la modificación del ajuste y regresa a la columna de selección de opciones.
SAVE	Registro de hasta tres tipos de configuración	SA:3: Registra la configuración de menús como No.3. SA:2: Registra la configuración de menús como No.2. [SA:1]: Registra la configuración de menús como No.1. BACK: Cancela la modificación del ajuste y regresa a la columna de selección de opciones.
SCALE	Aumento o reducción de la imagen que se va a imprimir	El tamaño se puede ajustar entre SCL:2,0 (dos veces el tamaño de la imagen) y SCL:0,5 (la mitad del tamaño de la imagen) en incrementos de 0,5. [SCL:1,0] es el ajuste de fábrica. BACK: Cancela la modificación del ajuste y regresa a la columna de selección de opciones.

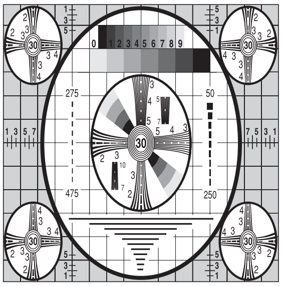
Opción	Función	Ajustes
SCAN c)	Selección del área de impresión de la imagen que se va a imprimir	El área de impresión se ensancha en la secuencia SC:NOR, SC:WD1 y SC:WD2. BACK: Cancela la modificación del ajuste y regresa a la columna de selección de opciones.
SFT.H	Especificación de la posición horizontal de la imagen que se va a imprimir	[S.H:0]: Ajusta la posición horizontal. El valor numérico que aparece girando el dial de desplazamiento depende de los ajustes de “SCALE”, “SCAN” y “SIDE”, y del sistema de señal de la imagen que se va a capturar. BACK: Cancela la modificación del ajuste y regresa a la columna de selección de opciones.
SFT.V	Especificación de la posición vertical de la imagen que se va a imprimir	[S.V:0]: Ajusta la posición vertical. El valor numérico que aparece girando el dial de desplazamiento depende de los ajustes de “SCALE”, “SCAN” y “SIDE”, y del sistema de señal de la imagen que se va a capturar. BACK: Cancela la modificación del ajuste y regresa a la columna de selección de opciones.
SHARP	Ajuste de la nitidez de la impresión	Se puede ajustar la nitidez en cualquiera de 15 niveles, entre 0 a 14. A un ajuste 0, no se resalta el contorno de la impresión. El ajuste 2 es el ajuste de fábrica. BACK: Cancela la modificación del ajuste y regresa a la columna de selección de opciones.
SIDE d)	Selección de la dirección de impresión de la imagen	S:SIDE: Imprime la imagen girada 90 grados a izquierdas. S:STD: Imprime la imagen en la misma dirección que se visualiza en el monitor. BACK: Cancela la modificación del ajuste y regresa a la columna de selección de opciones.

Opción	Función	Ajustes
SPEED (Si se selecciona “ME:HD” en “MEDIA”, la velocidad de impresión se ajusta a “SP:NOR”, y este elemento no se visualiza).	Selección de la velocidad de impresión	SP:NOR: Imprime a la velocidad normal. SP:HI: Imprime a alta velocidad. BACK: Cancela la modificación del ajuste y regresa a la columna de selección de opciones. **Nota** Si se selecciona “SP:HI”, el consumo de corriente es ligeramente superior en comparación con la impresión a velocidad normal.
VIDEO	Selección de la salida de señal de vídeo del conector VIDEO OUT del panel trasero	VI:EE: La señal sale después de que la impresora la haya procesado. VI:THR: La señal sale directamente sin que haya sido procesada. BACK: Cancela la modificación del ajuste y regresa a la columna de selección de opciones.
BACK	Salida del modo de menú	Visualice esta opción y pulse el dial de desplazamiento. La unidad sale del modo de menú y aparece “READY” en la pantalla LCD.

a) La relación de aspecto es la siguiente.

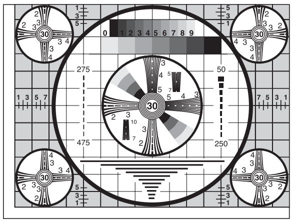


Si se selecciona AS:4:3

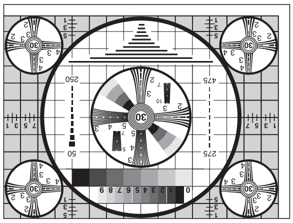


Si se selecciona AS:1:1

b) La dirección de impresión es como se indica a continuación.

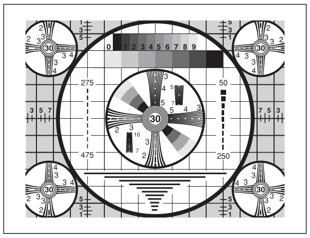


Si se selecciona DI:NOR

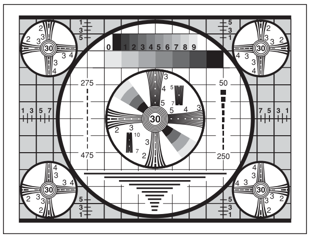


Si se selecciona DI: REV

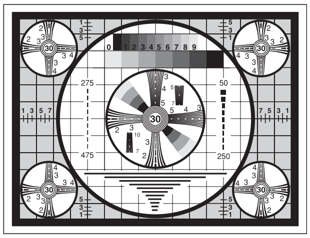
c) El área de impresión de la imagen que se va a imprimir es la siguiente.



Si se selecciona SC:NOR



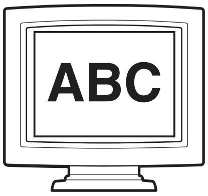
Si se selecciona SC:WD1



Si se selecciona SC:WD2

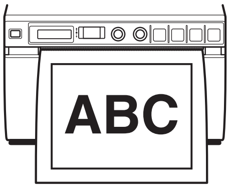
d) La dirección de impresión de las imágenes es como se indica a continuación.

Imagen visualizada en el monitor

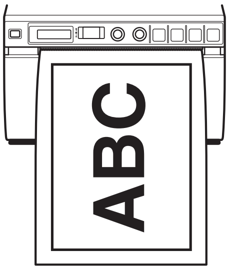


Impresiones

Si se ha seleccionado S:STD.



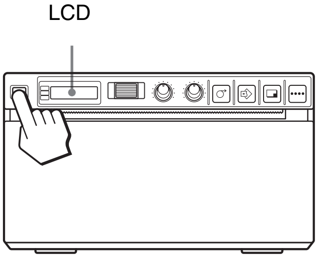
Si se ha seleccionado S:SIDE.



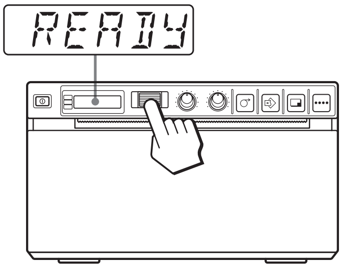
Operaciones básicas de menú

Esta sección describe las operaciones básicas de menú comunes a cada menú, tomando como ejemplo "Cómo ajustar la dirección de impresión".

1 Pulse el interruptor ON/OFF de alimentación en ON para encender la unidad.
La luz de fondo de la pantalla LCD se ilumina en verde.

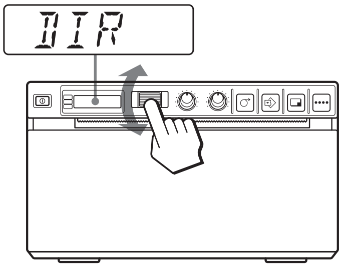


2 Confirme que aparece “READY” en la pantalla LCD y pulse el dial de desplazamiento.

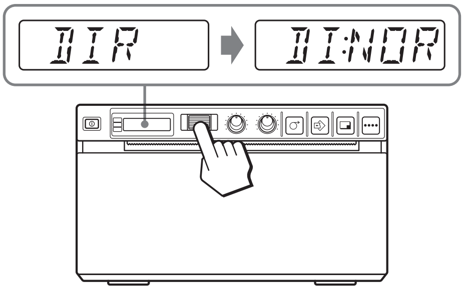


La unidad pasa al modo de menú.
Cuando se realiza una operación de menú por primera vez después de adquirir la unidad, aparece la primera opción del menú “AGC”.
Si ya ha efectuado alguna operación de menú, se visualiza la última opción que se ha ajustado.

3 Haga que se visualice “DIR” girando el dial de desplazamiento arriba o abajo.

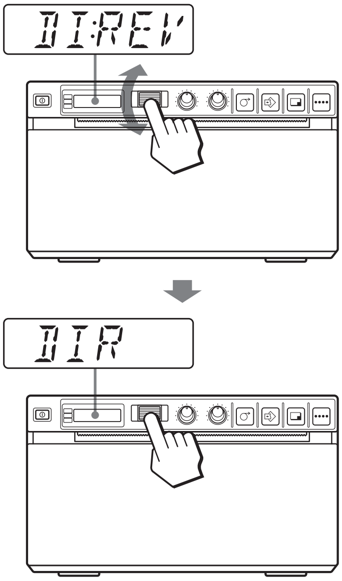


4 Pulse el dial de desplazamiento.



La unidad pasa al modo en el que se puede seleccionar la dirección de impresión.
“DI:NOR,” que es el ajuste predeterminado, aparece en la pantalla LCD. “DI:NOR” es el ajuste seleccionado actualmente.
En esta operación de menú, cambiaremos el ajuste a “DI:REV”.

5 Haga que se visualice “DI:REV” en la pantalla LCD girando el dial de desplazamiento arriba o abajo y, a continuación, pulse el dial.



Se registra “DI:REV” como dirección de impresión.

Nota

Si transcurren unos 20 segundos sin realizar ninguna operación de menú después de que haya aparecido la opción o ajuste de menú, en la pantalla LCD vuelve a aparecer “READY”, y la unidad sale del modo de menú. En tal caso, el ajuste de “DIR” no se modifica.

Cancelación del ajuste

1 Haga que se visualice “BACK” girando el dial de desplazamiento en el paso 5.

2 Pulse el dial de desplazamiento.
En la pantalla LCD vuelve a aparecer “DIR”.

Continuación de las operaciones de menú

Realice los ajustes repitiendo los pasos 3 a 5.

Finalización de la operación de menú

1 Gire el dial de desplazamiento hasta que aparezca “BACK” después de realizar la operación del paso 5.

2 Pulse el dial de desplazamiento.
En la pantalla vuelve a aparecer “READY”.
La unidad sale del modo de menú.

Función de bloqueo de menú

Si aparece el mensaje "LOCK" y se oye la alarma al pulsar el dial de desplazamiento, es que el dial de desplazamiento está desactivado porque la función de operaciones de menú está bloqueada. Si desea realizar una operación de menú, póngase en contacto con el proveedor autorizado más cercano.

Registro de configuraciones de menú

Se puede grabar hasta tres conjuntos de configuraciones realizadas mediante el menú, y cargar la configuración deseada cuando sea necesario. La unidad conserva estas configuraciones aunque se apague.

Nota

Cuando se utiliza la unidad por primera vez después de adquirirla, las tres opciones grabadas tienen registradas las configuraciones originales.

Registro de nuevas configuraciones

1. Efectúe todos los ajustes necesarios.
2. Gire el dial de desplazamiento hasta que aparezca "SAVE" y, a continuación, pulse el dial de desplazamiento.
3. Haga que se visualice el número deseado girando el dial de desplazamiento y, a continuación, pulse el dial.
   La configuración efectuada en el paso 1 se registra en el número seleccionado en el paso 3.

Carga de la configuración deseada

Se puede cargar la configuración deseada y realizar impresiones con la configuración cargada.

1. Confirme que aparece "READY" en la pantalla LCD y pulse el dial de desplazamiento.
2. Haga que se visualice "LOAD" girando el dial de desplazamiento y, a continuación, pulse de nuevo el dial.
3. Haga que se visualice el número correspondiente a la configuración deseada y, a continuación, pulse el dial.
   Se carga la configuración correspondiente al número seleccionado en el paso 3.

Si se modifica la configuración cargada

La unidad funciona según la configuración modificada. En este caso, la unidad funciona con arreglo a dicha configuración hasta que se cargue otra configuración, aunque se apague la unidad. Si se carga una configuración distinta, se borra la configuración cargada anteriormente.

Conservación de los ajustes cargados anteriormente

Ejemplo: La configuración registrada como "SA:1" está cargada y se debe modificar la configuración. Para conservar la configuración original de "SA:1", y registrar la nueva configuración como "SA:2", proceda del siguiente modo.

1. Cargue la configuración de "LO:1" siguiendo el procedimiento para cargar la configuración deseada.
2. Modifique la configuración cargada según sea necesario.
3. Seleccione "SA:2" siguiendo el procedimiento para registrar las configuraciones.
4. Pulse el dial de desplazamiento.
   La configuración modificada en el paso 2 se registra como "SA:2" (No.2).

Impresión de la lista de menús

Se puede realizar una impresión de la configuración actual de los menús.

1. Pulse el dial de desplazamiento.
   Aparece la opción de menú modificada en último lugar.
2. Haga que se visualice "MENU" girando el dial de desplazamiento y, a continuación, pulse el dial.
3. Haga que se visualice "ME:OK" girando el dial de desplazamiento y, a continuación, pulse el dial.
   La unidad empieza a imprimir la configuración actual de los menús.
   Aparece "MENU" en la pantalla.
4. Haga que se visualice "BACK" girando el dial de desplazamiento y, a continuación, pulse el dial.
   Aparece el mensaje "READY" en la pantalla LCD y la unidad regresa al modo de impresión normal.

Impresión

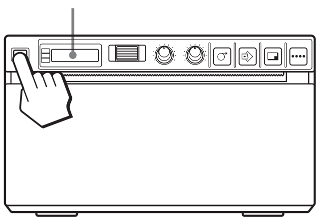
Antes de iniciar un trabajo de impresión
Compruebe siempre lo siguiente:

- ¿Está la unidad correctamente conectada? (Página 138)
- ¿Está correctamente colocado el papel? (Página 139)
- ¿Se han realizado correctamente las configuraciones de menú y los ajustes de menú? (Página 141)
- ¿Está entrando una fuente de vídeo? (Página 138)

Inicio de un trabajo de impresión

A través del menú se puede ajustar la dirección de impresión, el tamaño de la imagen y realizar todo tipo de ajustes de impresión. En esta sección se describen las operaciones que deben realizarse después de haber hecho todo tipo de ajustes utilizando el menú.

1 Pulse el interruptor de alimentación ON/OFF para encender la unidad.
La luz de fondo de la pantalla LCD se ilumina en verde y aparece “READY” en la pantalla.



2 Encienda la fuente de vídeo.
Esta operación se realiza a través de los mandos del equipo de vídeo que se utiliza como fuente.

3 Pulse el botón PRINT cuando la imagen que desee imprimir estén en el monitor de vídeo.
La imagen que aparece en pantalla en el instante en el que se pulsa el botón PRINT se captura en memoria y se imprime inmediatamente. En memoria se guardan hasta 10 imágenes capturadas. Cuando el número de imágenes capturadas es superior a 10, los datos más antiguos se sobrescriben con los últimos.

Cuando el mensaje se visualiza en la pantalla LCD

Si ocurre un problema, la luz de fondo de la pantalla se ilumina en ámbar y en la pantalla LCD aparece el mensaje de error que indica el problema.

Mensaje	Causa y solución
EMPTY	No se ha colocado papel. Coloque papel.
DOOR	La puerta está abierta. Cierre la puerta.

Si la unidad deja de imprimir durante la impresión

Si se imprimen imágenes casi completamente negras, es posible que el circuito de protección del cabezal térmico desconecte la unidad para impedir un calentamiento excesivo del cabezal térmico. En tal caso, aparece el mensaje “COOL” en la pantalla LCD.
No utilice la unidad hasta que el cabezal se enfríe y este mensaje desaparezca.

Cancelación de un trabajo de impresión en curso

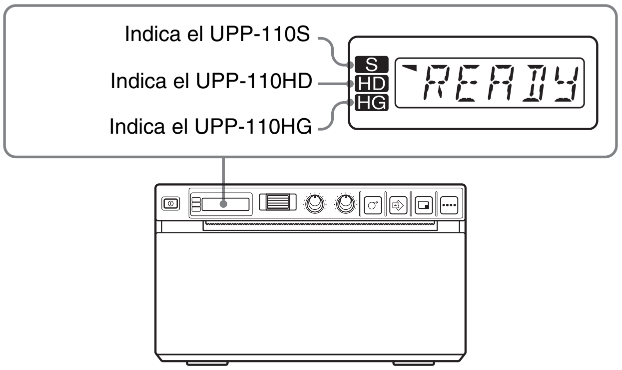
Para cancelar un trabajo de impresión en curso, pulse el botón OPEN o el botón FEED.

Introducción de papel

Para introducir papel, pulse el botón FEED. La unidad seguirá introduciendo papel mientras mantenga pulsado el botón FEED. No intente extraer el papel de la unidad con la mano.

Papel seleccionado actualmente

Se puede confirmar el papel seleccionado actualmente en la pantalla LCD. El indicador señala el papel seleccionado actualmente. En la ilustración siguiente, el papel seleccionado actualmente es el UPP-110S.



Si la impresión está borrosa

Es posible que las imágenes en movimiento rápido se vean borrosas. Si esto sucede, realice la impresión con “ME:FLD” seleccionado en la opción de menú “MEMRY”.

Impresión de imágenes guardadas en la memoria

Cada vez que se pulsa el botón PRINT, la imagen se guarda en memoria. Después de que se hayan guardado 10 imágenes, los datos de la imagen más antigua se sobrescriben con los de la última imagen capturada. Siempre hay 10 imágenes guardadas en la memoria. Cualquiera de ellas se puede cargar e imprimirla utilizando el menú.

1 Seleccione “PAGE” en las opciones de menú.
Para más información sobre las funciones del menú, remítase a “Operaciones básicas de menú” en la página 145.

2 Pulse el dial de desplazamiento.
En la pantalla LCD aparece “PG:1”, y en el monitor se ve la última imagen imprimida.
Conforme aumenta la cifra, la imagen visualizada es más antigua.

3 Haga aparecer en pantalla la imagen que desee imprimir girando el dial de desplazamiento hacia arriba o hacia abajo.

4 Pulse el dial de desplazamiento.
Se carga la imagen seleccionada en el paso 3.

5 Pulse el botón COPY.
Se imprime la imagen seleccionada en el paso 3.

Impresión de dos imágenes diferentes en una misma hoja

La selección de “MU:MLT” en la opción de menú “MULTI” le permite capturar dos imágenes diferentes e imprimirlas en una misma hoja.

1 Seleccione “MU:MLT” en la opción de menú “MULTI”.

2 Pulse el botón PRINT en el paso 3, siguiendo las operaciones descritas en “Inicio de un trabajo de impresión” en la página 148.
La imagen que aparece en pantalla en el momento en el que se pulsa el botón PRINT es capturada.

3 Vuelva a pulsar el botón PRINT cuando la imagen que desee imprimir esté en el monitor de vídeo.
La impresora comienza a imprimir las dos imágenes en una hoja de la siguiente forma.

Si se selecciona “IF:ON” en “INFO”, se imprimen debajo de la imagen los datos de contraste y brillo de la imagen capturados en el paso 3.

Realización de copias de la última impresión

Pulse el botón COPY. La unidad realiza una copia de la última impresión. La imagen de la última impresión se conserva en la memoria de la unidad hasta que imprima otra imagen o desconecte la alimentación. Solo se puede realizar una copia, independientemente de la cantidad de imágenes a imprimir seleccionada desde el menú.

Notas

- Si pulsa el botón COPY inmediatamente después de conectar la alimentación sonará el avisador de alarma, ya que no habrá nada almacenado en memoria.
- Si se desconecta la alimentación de la impresora, se perderá la imagen almacenada en memoria.

Realización de copias múltiples de la misma impresión

Pulse el botón COPY tantas veces como sea necesario (el máximo son 20 copias incluyendo la primera impresión) mientras copia la primera impresión. Cada vez que pulse el botón COPY sonará brevemente el avisador.

Nota

El número de impresiones realizadas pulsando el botón PRINT también está incluido en el número máximo. Por ejemplo, si se pulsa el botón COPY después de pulsar el botón PRINT cinco veces y haber realizado cinco impresiones, el número de copias múltiples que podrá hacer de la misma impresión es 15.

Interrupción del proceso de copia

Pulse el botón OPEN o el botón FEED durante el proceso de copia.

Realización de copias en diferentes direcciones y tamaños

La última imagen guardada en memoria se puede copiar en diferentes direcciones y tamaños. Antes de pulsar el botón COPY, seleccione la dirección de impresión y el tamaño.

Selección de la dirección de impresión y el tamaño de la imagen

La dirección de impresión y el tamaño de la imagen se pueden seleccionar utilizando las siguientes opciones de menú.
"SIDE": Selecciona la dirección en la que se va a imprimir la imagen.
"SCALE": Aumenta o reduce el tamaño de la imagen que se va a imprimir.
SFT.H y SFT.V: Ajusta el área de impresión vertical y horizontalmente.

Selección de la dirección de impresión

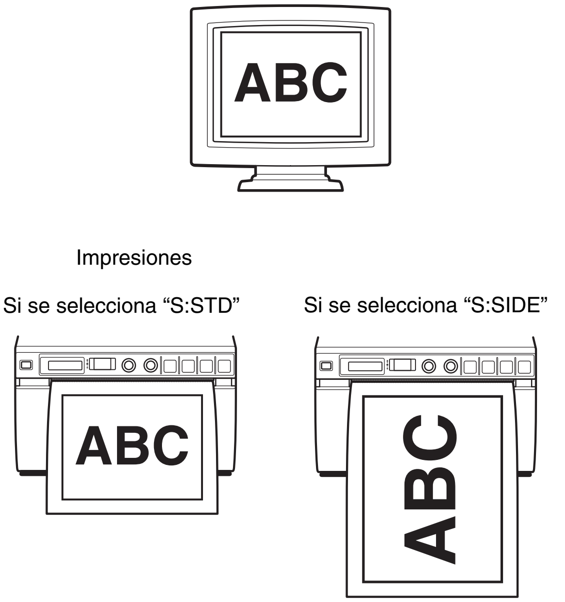
La dirección de impresión se puede seleccionar utilizando la opción de menú "SIDE".

Para imprimir en la misma dirección que la de la imagen que aparece en el monitor de vídeo

Seleccione "S:STD" en "SIDE".

Para imprimir la imagen girada 90 grados a izquierdas

Seleccione "S:SIDE" en "SIDE".



Selección del tamaño de la imagen

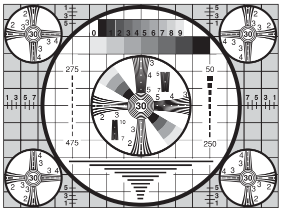
La opción de menú "SCALE" le permite aumentar o reducir el tamaño de la imagen. El tamaño de la imagen se puede ajustar desde la mitad del tamaño de la imagen hasta dos veces mayor que el tamaño de la imagen en incrementos de 0,1.

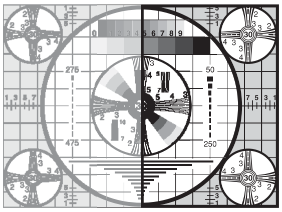
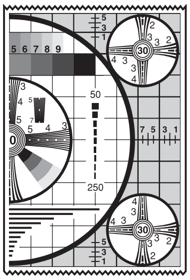
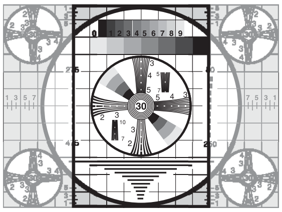
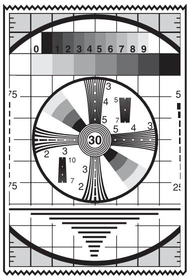
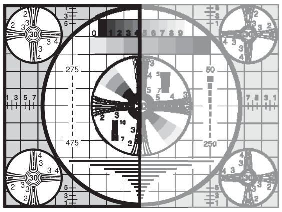
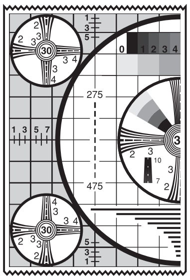
Selección del área de impresión de la imagen que se va a imprimir

El área de impresión se puede ajustar vertical u horizontalmente con las opciones de menú "SFT.V" y "SFT.H".
El área de impresión se puede seleccionar mientras se mira la imagen del monitor.
El marco que aparece en el monitor se mueve siguiendo los cambios que se producen en el valor con el dial de desplazamiento. Se imprime la imagen que queda dentro del marco.

Ejemplo: “S:STD” seleccionado en “SIDE” y “SCL:2,0” seleccionado en “SCALE”

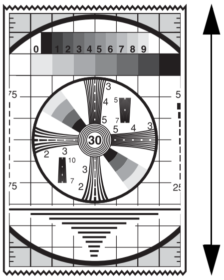
Imagen original



Imágenes en el monitor	Impresiones
Si se selecciona “S.H:+(*)” 	
Si se selecciona “S.H:0” 	
Si se selecciona “S.H:–(*)” 	

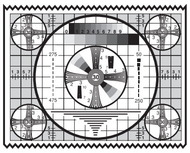
Diferencia del tamaño de la impresión dependiendo del ajuste de “SCALE”

Si se selecciona “S:STD” en “SIDE” y “SCL:2,0” en “SCALE”



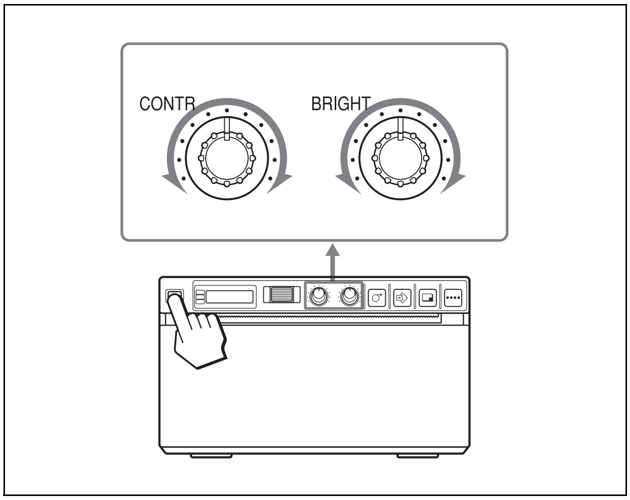
La longitud es dos veces superior a la de las impresiones realizadas con “SCL:1,0” seleccionado.

Si se selecciona “S:STD” en “SIDE” y “SCL:1,0” en “SCALE”



Ajuste del contraste y el brillo

Se pueden ajustar el contraste y el brillo de la unidad mediante el mando CONTR y el mando BRIGHT del panel frontal.



Ajuste del contraste

Se puede ajustar el contraste de las impresiones mediante el mando CONTR.

Para aumentar el contraste: Gire el mando CONTR a la derecha.

Para reducir el contraste: Gire el mando CONTR a la izquierda.

Ajuste del brillo

Se puede ajustar el brillo de las impresiones mediante el mando BRIGHT.

Para aumentar el brillo: Gire el mando BRIGHT a la derecha.

Para reducir el brillo: Gire el mando BRIGHT a la izquierda.

Nota

Cuando la función de operación a través del menú está bloqueada, además del dial de desplazamiento, también se inhabilitan los mandos CONTR y BRIGHT. Si desea utilizar los mandos CONTR y BRIGHT, póngase en contacto con el proveedor autorizado más cercano.

Precauciones

Seguridad

- Compruebe la tensión de funcionamiento antes del uso.
  Haga funcionar la unidad solamente con una fuente de alimentación que se ajuste a lo indicado en la sección “Especificaciones”.
- Detenga inmediatamente el funcionamiento si entra líquido o cualquier objeto sólido en la unidad. Desenchufe la unidad y llévela a revisar por parte de personal cualificado.
- Desenchufe la unidad de la toma de la pared si no va a utilizarla durante un período prolongado. Desenchufe el cable de alimentación cogiéndolo por el enchufe. Nunca tire del propio cable.
- No desmonte la unidad. Solicite asistencia técnica solamente a personal cualificado.
- Conecte el enchufe de alimentación de la unidad a una toma de pared que disponga de una toma de tierra de protección. La toma de tierra de seguridad debe estar correctamente instalada.

Precaución sobre el cortador de papel

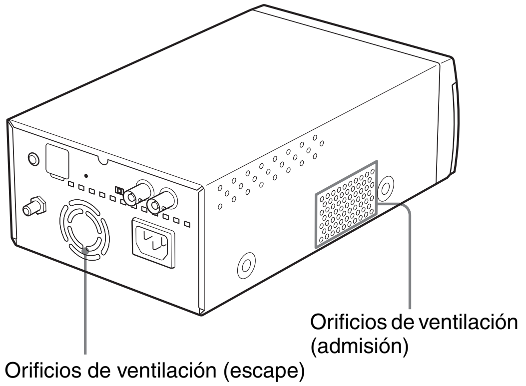
La unidad lleva montado un cortador de papel. Cuando coloque el papel o limpie la unidad, tenga cuidado de no tocar la hoja afilada. Si se toca la hoja afilada se pueden producir lesiones.

Transporte de la impresora

No transporte ni desplace la unidad con el rollo de papel colocado en la unidad. Si lo hace, se pueden producir fallos de funcionamiento.

Instalación

- Coloque la unidad sobre una superficie nivelada y estable.
  Si utiliza la unidad estando colocada en una superficie desigual, es probable que se produzcan fallos de funcionamiento de la unidad.
- No instale la unidad cerca de fuentes de calor. Evite las ubicaciones cerca de radiadores o conductos de aire, o en lugares expuestos a la luz solar directa o polvo excesivo, humedad, golpes o vibraciones.
- Proporcione una circulación de aire adecuada para evitar el recalentamiento. No coloque la unidad sobre superficies como cojines, sábanas, etc., ni cerca de materiales como cortinas y telas.
- Para evitar una acumulación excesiva de calor interno, deje suficiente espacio alrededor de la impresora para que pueda circular el aire a través de los orificios de ventilación (admisión) del lado izquierdo y los orificios de ventilación (escape) de la parte trasera de la unidad.



- Si expone la unidad a cambios de temperatura bruscos y repentinos, como al trasladarla de una sala fría a otra cálida, o si la deja en una habitación con un calefactor que tienda a producir un alto nivel de humedad, es posible que se condense humedad en su interior. En tales casos es posible que no funcione correctamente, e incluso lleguen a producirse fallos de funcionamiento si continúa utilizándola. Si se produce condensación de humedad, apague la unidad y no la utilice durante al menos una hora.

Mantenimiento

Limpieza del exterior de la unidad

Utilice un paño húmedo escurrido, o un paño húmedo empapado con agua y un detergente suave para limpiar la superficie exterior de la unidad.
A fin de evitar dañar la parte exterior de la unidad, nunca utilice alcohol, disolvente ni cualquier otro tipo de disolvente orgánico ni cualquier tipo de producto de limpieza abrasivo, para limpiar el exterior de la unidad.

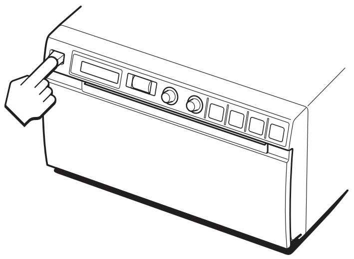
Limpieza del cabezal térmico

Si la impresión está sucia o aparecen rayas blancas en las copias impresas, limpie el cabezal de impresión con la hoja de limpieza suministrada.
Lleve a cabo la operación de limpieza del cabezal mediante el menú.

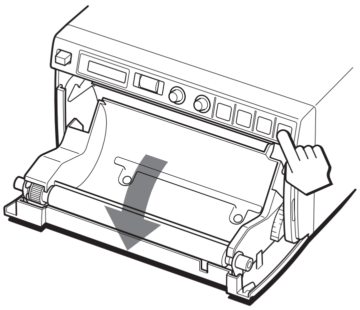
Nota

La unidad lleva montado un cortador de papel. Cuando se efectúe la limpieza del cabezal térmico, tenga cuidado de no tocar la hoja afilada. Si se toca la hoja afilada se pueden producir lesiones.

1 Pulse el interruptor ON/OFF de alimentación en ON para encender la unidad.

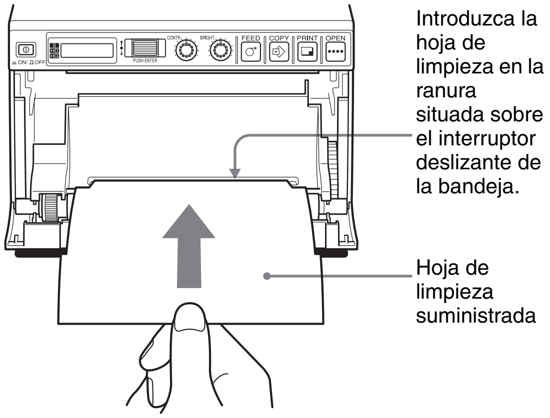


2 Pulse el botón OPEN para abrir la puerta.



Si hay papel colocado en la bandeja de papel, retírelo.

3 Introduzca la hoja de limpieza, con la superficie negra mirando hacia abajo, en la ranura de la bandeja de papel.



4 Cierre la puerta empujándola.

5 Pulse el dial.
Aparece la opción de menú modificada en último lugar.

6 Haga que se visualice "CLEAN" girando el dial de desplazamiento y, a continuación, pulse el dial.

7 Confirme que "CL:OK" aparece en pantalla y, a continuación, pulse el dial de desplazamiento.
La impresora inicia la limpieza del cabezal térmico. Aparece "CLEAN" en la pantalla LCD.
Cuando se detiene la hoja de limpieza y suena la alarma, la limpieza ha finalizado.

8 Pulse el botón OPEN para abrir la puerta y retire la hoja de limpieza.

9 Cierre la puerta empujándola.

Nota

Limpie el cabezal térmico sólo cuando sea necesario. Si limpia el cabezal térmico con demasiada frecuencia, pueden producirse averías.

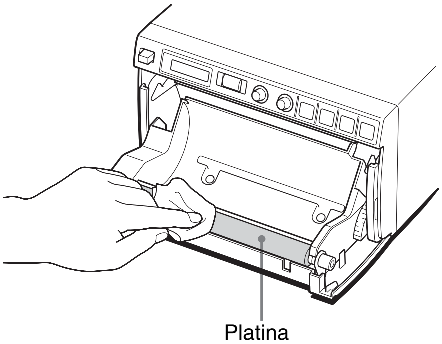
Limpieza de la platina

Si el papel no sale con suavidad después de la impresión, es posible que la platina esté sucia.
Si este es el caso, limpie la platina con un paño suave humedecido con una solución de agua y detergente suave.

1 Pulse el interruptor ON/OFF de alimentación en ON para encender la unidad.

2 Pulse el botón OPEN para abrir la puerta.
Si hay papel colocado en la bandeja de papel, retírelo.

3 Limpie suavemente la platina con un paño humedecido con una solución de agua y detergente suave.

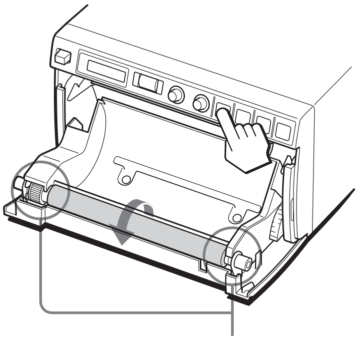


Platina

Notas

- Después de que la superficie de la platina que se ha limpiado se haya secado completamente, se puede hacer girar la platina para limpiar otro trozo.
- No gire la platina con las manos. Utilice el botón FEED para girarla. Para limpiar otra parte de la superficie de la platina, vaya al siguiente paso.

4 Mantenga pulsado el botón FEED de forma que la platina gire automáticamente. Suelte el botón FEED cuando aparezca la superficie de la platina que se desea limpiar.



Tenga cuidado de que la platina no le atrape los dedos al girar.

Notas

- La platina gira mientras se mantiene pulsado el botón FEED. Tenga cuidado de que la platina no le atrape los dedos al girar.
- Asegúrese de empezar a limpiar únicamente después de que la platina se haya detenido por completo.

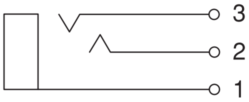
5 Repita los pasos 3 y 4 hasta que la platina quede limpia.

6 Cuando la platina esté totalmente seca, cierre la puerta empujándola.

Especificaciones

Requisitos de alimentación
100 a 240 V CA, 50/60 Hz
Corriente de entrada
1,5 A a 0,8 A
Temperatura de funcionamiento
5°C a 35°C
Humedad de funcionamiento
20% a 80%
Temperatura de transporte y almacenamiento
–20°C a +60°C
Humedad de transporte y almacenamiento
20% a 90%
Dimensiones 154 × 88 × 240 mm (an/al/pr)
Peso 2,6 kg (solo la impresora)
Cabezal térmico Cabezal térmico por película delgada, 1.280 puntos
Gradación 256 niveles de sombreado (8 bits)
Resolución (con “SC:WD1” seleccionado en “SCAN”)
EIA: 1.210 × 490 puntos
CCIR: 1.210 × 582 puntos
Tamaño de la imagen (con “SC:WD1” o “SC:NOR” seleccionado en “SCAN”)
Con “S:STD” seleccionado en “SIDE”
EIA: 94 × 73 mm
CCIR: 94 × 71 mm
Con “S:SIDE” seleccionado en “SIDE”
EIA: 124 × 96 mm
CCIR: 127 × 96 mm
Velocidad de impresión
Unos 2 seg./imagen (en el ajuste estándar) (con “SP:HI” seleccionado en “SPEED”)
Unos 3,3 seg./imagen (en el ajuste estándar) (con “SP:NOR” seleccionado en “SPEED”)
Memoria de imágenes
10 fotogramas (800 k × 8 bits por fotograma)
Conector de entrada
VIDEO IN (tipo BNC)
Señales de vídeo compuesto EIA o CCIR
1,0 Vp-p, 75 ohmios/impedancia alta (discriminación automática EIA/CCIR)
Conector de salida
VIDEO OUT (tipo BNC)
Señales de vídeo compuesto EIA o CCIR
1,0 Vp-p, 75 ohmios, conexión en bucle/EE conmutable

Conector REMOTE (minitoma estéreo)



1 GND
2 PRINT SIGNAL (TTL)
La entrada de una señal LOW durante 100 milisegundos inicia la impresión.
3 PRINT BUSY (TTL)
Pasa a HIGH durante la impresión

Accesorios suministrados
Hoja de limpieza del cabezal térmico (1)
Etiqueta del soporte (1)
Manual de instrucciones (1)
Lista de centros de asistencia (1)

Especificaciones de seguridad
Protección contra descargas eléctricas: Clase I
Protección contra filtraciones perjudiciales de agua: Ordinaria
Grado de seguridad en presencia de oxígeno o anestésicos inflamables: No es adecuado para su empleo en presencia de oxígeno o anestésicos inflamables
Modo de funcionamiento: Continuo

El diseño y las especificaciones están sujetas a modificación sin previo aviso.

Solución de problemas

Antes de llamar a asistencia técnica, consulte la lista de problemas y soluciones que se describen a continuación. Si no puede solucionar el problema, póngase en contacto con el proveedor autorizado más cercano.

Síntoma	Causa/Solución
Primeras impresiones manchadas con pequeños puntos.	¿Se acaba de colocar un nuevo rollo de papel? →Si se acaba de colocar un nuevo rollo de papel, el polvo del papel puede producir puntos blancos en las imágenes impresas. Pulse el botón FEED y manténgalo pulsado para que se introduzcan unos 15~20 cm y, a continuación, suéltelo (Página 140).
El trabajo de impresión no se inicia.	• El papel no se introduce. →¿Está conectado el interruptor de alimentación? →¿Está la unidad correctamente conectada? (Página 138) →¿Está suelto el rollo de papel? (Página 139) →¿Se ha seleccionado “MU:MLT” en la opción de menú “MULTI”? (Página 143) • Suena la alarma. →¿Está correctamente colocado el papel? (Página 140) →¿Se ha sobrecalentado el cabezal térmico? El cabezal térmico puede sobrecalentarse si la impresora imprime imágenes oscuras continuamente. Espere hasta que el cabezal se enfríe. →¿Entra la señal de vídeo de la imagen? (Página 138) • El papel se introduce pero no se inicia la impresión. →¿Está cargado el papel con la cara incorrecta hacia arriba? (Página 140)
Bordes negros o faltan trozos alrededor de la impresión	Este problema puede estar causado por la entrada de señal de vídeo a la unidad. →Cambie el ajuste de la opción de menú “SCAN” (Página 144).

Síntoma	Causa/Solución
Atascos de papel	• ¿Hay papel atascado visible? →Pulse el botón OPEN para abrir la puerta del papel, retire la impresión o el rollo de papel, y tire suavemente del papel atascado para extraerlo de la unidad. • ¿Se ha acumulado condensación en la unidad? →Si la unidad se acaba de trasladar a una sala cálida desde una ubicación fría, puede haberse formado condensación en el interior de la unidad. Apague la unidad y déjela reposar durante 1 ó 2 horas (hasta que se aclimate a la temperatura ambiente) e intente de nuevo la impresión.
Impresiones sucias.	¿Cabezal térmico sucio? →Utilice la hoja de limpieza del cabezal suministrada con la unidad para limpiar el cabezal térmico (Página 154).
El papel no sale con suavidad.	¿Platina sucia? →Limpie la platina (Página 154).
La unidad deja de imprimir cuando se imprimen imágenes casi completamente negras y aparece el mensaje “COOL” en la pantalla LCD.	Si se imprimen imágenes casi completamente negras, es posible que el circuito de protección del cabezal térmico desconecte la unidad para impedir un calentamiento excesivo del cabezal térmico. →Deje de imprimir y deje enfriar el cabezal térmico.
Las líneas blancas o las pequeñas letras de la pantalla no se imprimen con claridad.	¿Se ha seleccionado “CO:ON” en la opción de menú “COLOR” para señales de entrada en blanco y negro? →Seleccione “CO:OFF” en la opción de menú “COLOR” cuando la señal de entrada sea una señal de imagen en blanco y negro (Página 142).
Aparecen pequeños cuadrados por toda la pantalla.	¿Se ha seleccionado “CO:OFF” en la opción de menú “COLOR” para señales de entrada en color? Seleccione “CO:ON” en la opción de menú “COLOR” cuando la señal de entrada sea una señal de imagen en color (Página 142).
La impresión es demasiado oscura o demasiado clara.	• ¿Está correctamente ajustado el interruptor de selección 75 Ω? (Página 138) • ¿Está correctamente ajustada la opción de menú “MEDIA”? (Página 143) • ¿Está correctamente ajustada la opción de menú “GAMMA”? (Página 142)
La impresión parece que se ha alargado o aumentado.	¿Se ha seleccionado “AS:1:1” en la opción de menú “ASPCT”? →Seleccione “AS:4:3” (Página 142).

Mensajes de error

Aparecen mensajes en la pantalla LCD en los siguientes casos. La aparición de un mensaje implicará la necesidad de tomar acciones para corregir el problema.

Mensajes	Descripción y solución
DOOR	La puerta del papel está abierta. →Cierre la puerta del papel hasta que esté bloqueada correctamente.
EMPTY	• No hay papel cargado. • El papel se ha agotado. →Introduzca más papel (Página 139).
COOL	El circuito de protección contra el sobrecalentamiento del cabezal térmico se ha activado. →Espere a que el mensaje desaparezca. La impresión continuará automáticamente.
LOCK	La función de la operación de menú está bloqueada. El dial de desplazamiento, el mando CONTR y el mando BRIGHT están desactivados. →Si desea realizar operaciones de menú o utilizar dichos mandos, póngase en contacto con el proveedor autorizado más cercano.

Índice

C

Conexiones 138

D

Descripción general 136

E

Especificaciones 156

I

Impresión
- ajuste del brillo 151
- ajuste del contraste 151
- cancelación 148
- inicio de un trabajo de impresión 148

M

Mantenimiento
- limpieza de la platina 154
- limpieza del cabezal térmico 154
- limpieza del exterior de la unidad 154

Mensajes de error 158

Menú
- carga de las configuraciones de menú 147
- diagrama de flujo de los menús 141
- grabación de las configuraciones de menú 147
- impresión de la lista de menús 147
- lista 142
- operaciones básicas 145

P

Papel
- colocación 139
- notas sobre el almacenamiento y manipulación 138
- papel que se puede utilizar 138

Precauciones
- cortador de papel 153
- instalación 153
- seguridad 153
- transporte de la impresora 153

Procedimientos iniciales 136

S

Solución de problemas 157

U

Ubicación y funciones de componentes y mandos
- panel frontal 136
- panel trasero 137

この説明書は 100% 古紙再生紙を使用しています。
Printed on 100% recycled paper.

お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35 http://www.sony.net/

Printed in Japan